

# 2019年度 昼間スクーリング(前期)の手引

スクーリング受講手続日程		体育実技のみ	
①	受講手続説明会	4/ 4(木)	4/ 4(木)
②	受講申込開始日 (ポータルサイト)	4/ 4(木)	7/12(金)
③	履修登録締切日	4/22(月)	7/26(金)
	受講申込締切日	ポータルサイト【24:00まで】 窓口提出の場合【事務取扱時間内厳守】 郵送の場合【必着】	
④	受講資格審査 通知予定日	5/10(金)	8/ 9(金)
		ポータルサイトに掲載します。	
⑤	振込用紙発送予定日	5/10(金)	8/ 9(金)
		発送予定日から5日経過しても通知が届かない場合は会計課に連絡してください。	
⑥	受講辞退手続締切日	5/17(金)	8/16(金)
		窓口提出の場合【事務取扱時間内厳守】 郵送の場合【必着】	
⑦	受講料納入期限	5/24(金)	8/26(月)
		銀行窓口にて【厳守】	
⑧	結果通知予定	8月下旬	10月上旬
		ポータルサイトに掲載します。	

## 開講日程

昼間開講日程	4/ 9(火)~7/26(金)
補講予定日	7/13(土), 7/22(月)
体育実技開講日程	8/31(土)~9/ 2(月)

# 開講日程

## 開講日程

年	月	日	月	火	水	木	金	土					
2019年	4月		1	2	3	4	受講手続説明会	5	6				
		7	8	9	前期 昼 1	10	前期 昼 1	11	前期 昼 1	12	前期 昼 1	13	
		14	15	16	前期 昼 2	17	前期 昼 2	18	前期 昼 2	19	前期 昼 2	20	
		21	22	23	前期 昼 3	24	前期 昼 3	25	前期 昼 3	26	前期 昼 3	27	
		28	29	昭和の日	30	1	2	3	憲法記念日	4	みどりの日		
	5月	5	こどもの日	6	7	前期 昼 4	8	前期 昼 4	9	前期 昼 4	10	前期 昼 4	11
		12	13	14	前期 昼 5	15	前期 昼 5	16	前期 昼 5	17	前期 昼 5	18	
		19	20	21	前期 昼 6	22	前期 昼 6	23	前期 昼 6	24	前期 昼 6	25	
		26	27	28	前期 昼 7	29	前期 昼 7	30	前期 昼 7	31	前期 昼 7	1	
	6月	2	3	4	前期 昼 8	5	前期 昼 8	6	前期 昼 8	7	前期 昼 8	8	
		9	10	11	前期 昼 9	12	前期 昼 9	13	前期 昼 9	14	前期 昼 9	15	
		16	17	18	前期 昼 10	19	前期 昼 10	20	前期 昼 10	21	前期 昼 10	22	
		23	24	25	前期 昼 11	26	前期 昼 11	27	前期 昼 11	28	前期 昼 11	29	
		30	1	2	前期 昼 12	3	前期 昼 12	4	前期 昼 12	5	前期 昼 12	6	
	7月	7	8	9	前期 昼 13	10	前期 昼 13	11	前期 昼 13	12	前期 昼 13	13	前期 補講日
		14	15	海の日	16	前期 昼 14	17	前期 昼 14	18	前期 昼 14	19	前期 昼 14	20
		21	22	前期 補講日	23	前期 昼 15	24	前期 昼 15	25	前期 昼 15	26	前期 昼 15	27
			29				1				3		
	夏 休 み												
		18		20		21		23					
		25	26	27	28	29	30	31	体育実技				
	9月	1	体育実技	2	体育実技	3	4	5	6	7			
		8	9	10	11	12	13	14					
		15	16	敬老の日	17	18	19	20	21				
		22	23	秋分の日	24	25	26	27	28				
		29	30										

…授業日及び補講日

補講は7月13日(土)、7月22日(月)の2日間だけでなく、その他の曜日にも実施することがあります。補講が行われる場合、指定された補講日に出席する必要があります。

また、補講を行う時限は他講座の補講日程の関係上、必ずしも通常と同じ時限で開講されるものとは限りません。以上のことを承知した上で申込みをしてください。

# はじめに

面接授業（スクーリング）とは、教員による直接の講義・演習・実技を受講することをいいます。その目的は、教材による在宅学修では十分に学修効果を上げることが困難な科目の一面を補い、教育効果を高めることにあります。このような主旨・目的から、スクーリングは卒業のための必修となっています。

本学の通信教育部では、学生に多くの受講機会が得られるよう、多種多様なスクーリングを開講しています。この『手引』は、その実施要領などをとりまとめて掲載しています。

スクーリングを受講希望する場合には、手続きの前にこの『手引』をよく読み、その指示に従って受講してください。

## 昼間スクーリングの特色

昼間スクーリングが他のスクーリングと異なる点は、通学課程と同形態の授業を行うことにあります。また、前期・後期と連続して受講することで、より学修効果が高まります。

なお、大学では適正規模の授業を実施し、かつ多くの学生が等しく受講機会を得られるように一人（受講者）当たりの受講制限を設けていますが、このスクーリングもその例外ではありません。

さらにこのスクーリングでは、2年生以上の学生を対象に卒業論文指導講座を設け、その指導の強化充実を図り、より優れた卒業論文となるよう指導します。

## 【受講の調整について】

スクーリングには、十分な教育効果を得るための適正な受講者数の基準が設定されています。受講申込者数が、適正受講者数でない場合、大学側で受講の調整を行うことがあります。

調整にあたっては、「受講機会の均等」の観点から、各申込者の受講調整履歴、スクーリング受講状況、単位修得状況、在学年数等を総合的に判断し、対象者を確定しますので、あらかじめご了承ください。

なお、講座の適正人数は、おおよそ下表の人数を目安としますが、講座の特性、スクーリングの形態、スクーリング会場の試験時定員数、パソコン台数及び受講学生の履修要件等により、下表によらない場合もあります。

講 座	受講者数の上限	受講者数の下限
外国語科目講座	65名	5名
演 習 講 座	30名	5名
上記以外の講座	100名	10名

〔調整方法等〕

- 1 希望した講座が受講者数の上限を超えた場合、同じ曜日に開講されている同じ科目の講座に振り分けることがあります。
- 2 超過人数の状況により新たに講座を増設（分割）して開講する場合があります。
- 3 超過人数の状況により複数の講堂に「サテライト配信」を利用して授業を行う場合があります。（メインとなる授業講堂以外は、映像による配信となります。）
- 4 上記1・2・3の方法で対応できない場合、調整対象者は当該講座の受講ができません。
- 5 受講申込者数が下限に満たない場合、開講を取りやめることがあります。
- 6 受講許可講座以外の講座の受講は、認められません。また、一度決定した受講許可講座の追加・変更はできません。

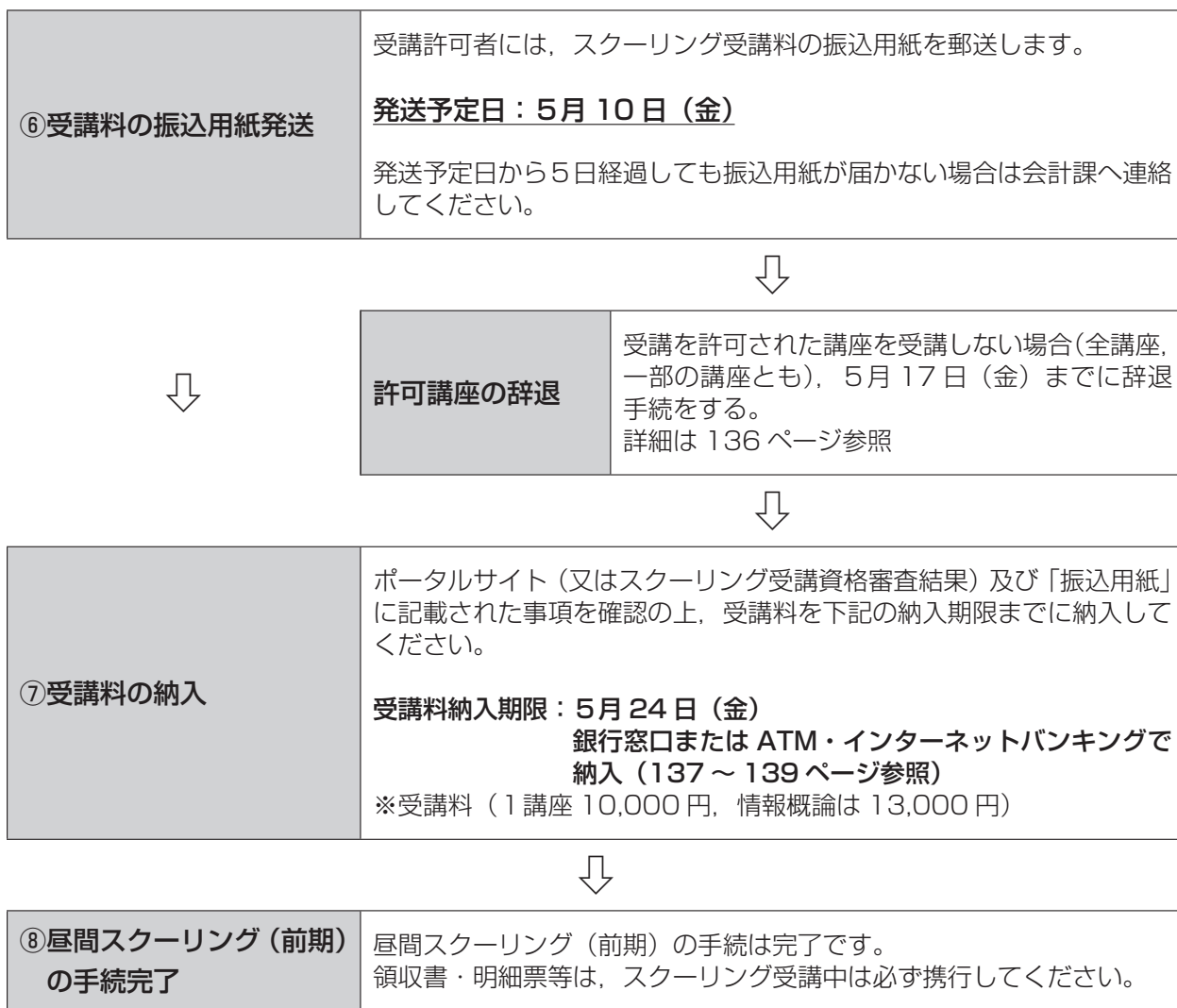


# 目次

<p><b>I</b> 受講申込から受講料納入までの流れ ..... 2</p> <p><b>II</b> 講座の選定 1 受講講座の選定..... 4 2 「教職に関する科目」における新・旧科目について..... 6 3 「英語」科目のレベル標記について ..... 6</p> <p><b>III</b> 時間割 1 時間割..... 8</p> <p><b>IV</b> 開講講座表及び講座内容（シラバス） 1 「開講講座表」の見方 ..... 10 2 開講講座表・シラバス・使用教材 【曜日・時限順】..... 11</p> <p><b>V</b> 受講及び試験 1 講座受講時の注意点..... 124 2 スクーリング結果の確認..... 125</p> <p><b>VI</b> 受講手続 1 履修登録をする..... 126 2 講座を申し込む..... 129 3 受講講座の変更・追加..... 133</p> <p><b>VII</b> 申込講座の許可と不許可 1 受講許可を確認する..... 134 2 講座振り分け及び受講不許可について... 135 3 許可講座を辞退する..... 136</p>	<p><b>VIII</b> 受講料等の納入 ..... 137</p> <p><b>IX</b> 受講準備 1 使用教材の入手..... 140 2 通学定期券の購入手続..... 142</p> <p><b>X</b> 体育実技の受講について ..... 144</p> <p><b>XI</b> オープン受講 ..... 150</p> <p><b>XII</b> 胸部X線検査 ..... 151</p> <p><b>XIII</b> 各種用紙 「為替」送付時の注意事項 ..... 154 履修届..... 155 昼間スクーリング（前期）受講届..... 157 昼間スクーリング（前期）体育実技受講届... 159 オープン受講届（在学生用） ..... 161 オープン受講届（社会人等（卒業生用））..... 163 「スクーリング」受講講座変更届 ..... 165 受講申込辞退願..... 167 体育実技受講申込辞退願..... 169 教材配本申請書..... 171 教材購入用紙（丸沼書店用） ..... 173 教材購入願（通信教育教材用） ..... 175 通学定期乗車券発行控..... 177</p> <p><b>XIV</b> 付録 ..... 179</p>
---	--

# I 受講申込から受講料納入までの流れ

①受講手続説明会 4月4日(木)	『昼間スクーリング(前期)の手引』を読み、受講手続方法から試験までの流れを確認。受講制限・時間割を確認し、受講講座を選択する。
↓	
②授業開始までの準備	授業期間は15週にわたります。シラバスや時間割をよく読み、受講講座を選択。特に下記の項目を事前に確認すること。 ①開講日程及び時間割 ②使用教材(教科書)の有無 ③準備学修 ④成績評価基準 【要確認】授業期間に出席可能なこと。
↓	
③授業開始 第1週 4月9日(火) ～4月12日(金)	各授業の第1週目は、授業の方法、授業計画、準備学修、テキスト及び成績評価基準等についての説明を行った後、授業を行います。 ※昼間スクーリングは受講者数の関係から受講調整を行うことがあります。以下の内容を必ず確認してください。  【受講調整について】 受講希望者が多い場合、担当教員より受講制限を行うことがあります。この場合、第1週の授業に参加していない学生は、 <u>たとえ受講申込みを行っても、授業を受けることができません</u> 。特に「情報概論」(パソコン台数制限有)、外国語科目、実習科目は制限をかけることが多いため、必ず第1週の授業から出席するようにしてください。 また希望者が少ない講座は開講を取り止めることがあります。あらかじめご理解ください。(「受講の調整について」参照)
↓	
④履修登録・ 受講申込締切	申込締切：4月22日(月) (窓口提出)18時00分(事務取扱時間)まで (ポータルサイト)締切日24時00分まで 提出先：(郵送)提出締切日 必着 (窓口)教務課窓口提出 事務取扱時間内厳守 ※1 受講届で申し込んだ講座がわかるように必ず申込内容の控えを取り各自で保管してください。 ※2 提出期限を過ぎてからの追加・変更はできません。4月22日(月)までに受講予定の全ての講座を決定した上で提出してください。
↓	
⑤受講許可の確認	ポータルサイト上の「スクーリング・メディア授業情報一覧」にて申し込んだ講座が「申請許可」になっているか確認。 ※受講届提出者には、「スクーリング受講資格審査結果通知書」を送付しますので、確認してください。  必ず以下の内容を確認すること。 ※1 申込講座・時間割の確認及び担当講師 ※2 充当科目コード 特に外国語科目、各種演習科目は注意(後掲10ページ参照)。



# Ⅱ 講座の選定

## 1 受講講座の選定

### ① 受講対象者及び受講条件

昼間スクーリング（前期）の受講者は、以下の受講条件を必ず守り、申込みをしてください。

1 受講申込対象者 (申込時点において右記の条件を満たすこと)	①年度授業料を納入していること、または所定の締切日までに納入が可能なこと。 ②昼間スクーリング（前期）受講料を納入期日までに納入が可能なこと。 ③昼間スクーリング（前期）の授業日程に出席できること。
2 受講講座数	【申込講座の上限】 14 講座まで  火曜日から金曜日までの各時限から1講座ずつ、最多で14講座まで申し込むことができます。 ※履修登録がされている科目のみ申し込みできます。 ※体育実技は上限に含みません。
3 受講制限	上記1, 2の条件を満たしていても、全ての講座を申し込めるわけではありません。下記の制限により申し込めない講座がありますので、項目を確認し、受講講座を選定してください。

### ② 受講制限について

すべての方がすべての講座を申し込めるものではありません。自分の学年・学科（専攻）、カリキュラム及びその他の理由により申し込むことができない講座があります。以下、それぞれの受講制限を掲載しますので、必ず確認の上、申込みをしてください。

#### (1) 配当学年による受講制限

##### ア 1 学年生

各期の「開講講座表」の「配当学年」欄に「1年」と記載されている講座のみ受講可能です。それ以外の講座は受講できません。

なお、講座によっては特定の学科（専攻）のみ受講を許可する講座があるので、各期の「開講講座表」の「制限・注意」欄で確認してください。

##### イ 2 学年生

各期の「開講講座表」の「配当学年」欄に「1年」又は「2年」と記載されている講座の受講が可能です。それ以外の講座は受講できません。

なお、講座によっては特定の学科（専攻）のみ受講を許可する講座があるので、各期の「開講講座表」の「制限・注意」欄で確認してください。

##### ウ 3・4 学年生

配当学年による受講の制限はありませんが、講座によっては特定の学科（専攻）のみ受講を許可する講座があるので、各期の「開講講座表」の「制限・注意」欄で確認してください。



## (2) 科目履修生の受講制限

入学時の「履修申請書」で履修登録した科目に該当する講座のみ受講できます。

## (3) シラバスによる受講制限

シラバスに、過去のスクーリングと積み重ね不可の記載がある場合、受講できません。

## (4) その他の理由による受講制限

以下のいずれかに該当する場合、その講座は受講できません。

ア 既に所定単位を修得している科目及び単位修得方式が確定している科目を充当科目とする講座の受講

イ 履修登録をしていない科目を充当科目とする1講座の受講

ウ 受講の調整による受講制限

一部の講座については、申込希望者が講座の適正人員を超える場合があり、この場合、大学側で受講の調整を行います。

**調整により、受講申込講座と異なる講座での受講を許可する場合や、受講不許可となる場合があります。**

そのため、**必ずポータルサイト上の「スクーリング・メディア授業情報一覧」にて、許可された講座を受講してください**（受講許可講座と異なる講座の受講は、認められません）。

※受講届提出者は、「受講資格審査結果通知」を確認してください。

## 2 「教職に関する科目」における新・旧科目について

2011年度に下表の「教職に関する科目」4科目については、科目名称が変更となり、2011年度1学年入学者から学年進行により順次、新科目名での履修となります。

スクーリングの開講にあたっては、同一講座で新・旧両方の科目を充当科目として開講しますので、下表により適用となる充当科目を確認の上、受講申込みをしてください。

旧科目名		新科目名	
T10300	教育の思想	T10200	教育原論
T21400	道德教育の研究	T21300	道德教育の理論と方法
T21600	特別活動の研究	T21500	特別活動論
T30700	教育カウンセリング論	T30600	教育相談
旧科目名での履修対象者		新科目名での履修対象者	
右記以外の学生	入学年度	入学形態	
	2011年度	1学年入学生	
	2012年度	1学年入学生 2学年編入・再入学生	
	2013年度	1学年入学生 2学年編入・再入学生 3学年編入・再入学生	
	2014年度以降	全入学生	

## 3 「英語」科目のレベル標記について

昼間スクーリングの「英語」では、受講講座選択の参考として、新たに授業内容のレベル（目安）を★で標記しています。受講講座の参考にしてください。

<レベル>★の数が増えるほど、難易度が上がります。

【★☆☆】 ⇔ 【★★☆】 ⇔ 【★★★】 ⇔ 【★★★★】  
 基礎                  初級                  中級                  上級

※レベル標記はあくまで「目安」です。レベルの感じ方には、個人差があります。

また同一レベル標記でも講座により、難易度が多少異なる場合もあります。

必ずシラバス全体をよく読んだ上で、各自で判断してください。

※講座受講者の状況により、担当講師の判断で適宜調整を図りますので、あらかじめご了承ください。



# Ⅲ 時間割

## 1 時間割

時限	火曜日		水曜日	
	講座名	担当講師名	講座名	担当講師名
1 時限目 9:00 } 10:30	心理学A	白川 真裕	政治学	関根 二三夫
	民法I	根本 晋一	英語基礎	小澤 賢司
	西洋史入門	高草木 邦人	マーケティング	雨宮 史卓
			簿記論I	山元 俊一
2 時限目 10:40 } 12:10	心理学B	白川 真裕	哲学B	中澤 瞳
	民法Ⅲ	根本 晋一	英語C【中級】	森 晴代
	国文学基礎講義	野口 恵子	商法Ⅱ	南 健悟
	英米文学演習Ⅰ～Ⅲ	猪野 恵也	西洋史演習Ⅰ・Ⅱ	藤井 信行
	日本史入門	鍋本 由徳	経済原論A / 経済学原論A	関谷 喜三郎
	商学総論	雨宮 史卓		
3 時限目 13:00 } 14:30	法学A	根本 晋一	文学	木村 一
	英語A【初級】	マイケル ギルロイ	法学B	武田 茂樹
	スピーチコミュニケーションⅠ	アレックス ブラウン	英語D【初級】	北原 安治
	史学概論	高綱 博文	刑法Ⅰ	岡西 賢治
	中国経済論	崔 晨	英語音声学	森 晴代
	広告論	雨宮 史卓	アメリカ経済論	羽田 翔
4 時限目 14:40 } 16:10	哲学A	江川 晃	歴史学A	渡邊 浩史
	文化史A	渡邊 浩史	国語学概論	保科 恵
	英語B【初級】	アレックス ブラウン	国文学講義V(近代)	山崎 眞紀子
	国文学特殊講義Ⅰ・Ⅱ	近藤 健史	英語史	真野 一雄
	日本史演習Ⅰ・Ⅱ	鍋本 由徳	日本思想史Ⅰ	島田 健太郎
	金融論	谷川 孝美	東洋史入門	綿貫 哲郎
		考古学概説	浜田 晋介	
5 時限目 16:20 } 17:50	心理学C	芳賀 道匡	歴史学B	堀井 弘一郎
	中国語Ⅰ・Ⅱ	稲葉 明子	文化史B	渡邊 浩史
	哲学特殊講義	江川 晃	英語E【中級】	町田 純子
	東洋史演習Ⅰ・Ⅱ	高綱 博文	国文学基礎演習	木村 一
	社会科・地理歴史科教育法Ⅰ(新法)	卜部 勝彦	東洋史概説 / 東洋史概論	塚本 剛
		情報概論A	戸塚 英臣	

### 開講日程

前 期	4 / 9 ~ 7 / 26	補講予定日	7 / 13, 7 / 22
-----	----------------	-------	----------------

木曜日		金曜日		体育実技	
講座名	担当講師名	講座名	担当講師名	講座名	教員名
社会学A	服部 慶巨	英語K【中級】	大庭 香江	体育実技	高橋 正則
英語F【中級】	鈴木 ふさ子	フランス語I・II	大庭 克夫	【日程】8月31日～9月2日 【授業時間】9:00～17:30	
行政学	関根 二三夫	東洋思想史I	本間 直人		
情報概論B	中村 典裕	経営学	山田 敏之		
英語G【中級】	岡田 善明	経済学	谷川 孝美		
政治学特殊講義I・II	杉本 竜也	TOEIC B	大庭 香江		
国文学演習I～VI	近藤 健史	イギリス文学史II	猪野 恵也		
英語文学概説/英米文学概説	鈴木 ふさ子	西洋思想史I	関谷 雄磨		
経済学概論	前野 高章	日本史概説/日本史概論	鍋本 由徳		
英語基礎	中村 則子	英語L【初級】	石川 勝		
英語学演習I～III	真野 一雄	政治学原論	吉野 篤		
東洋史特講II	高綱 博文	英作文I	大庭 香江		
経済原論B/経済学原論B	前野 高章	哲学基礎講読	石井 友人		
現代教職論	古賀 徹	市場調査論	最上 健児		
英語H【初級】	中村 則子	哲学C	中澤 瞳		
TOEIC A	八木 茂那子	国文学概論	山崎 泉		
憲法	名雪 健二	宗教学概論	合田 秀行		
西洋史特講I	青山 由美子	商業史	竹内 真人		
経済史総論	飯島 正義	教育原論/教育の思想	古賀 徹		
英語科教育法I	小澤 賢司				
英語J【初級】	八木 茂那子	社会学B	服部 慶巨		
哲学演習I・II	中澤 瞳	ドイツ語I・II	中島 伸		
国際経済論	前野 高章	日本政治史	石川 徳幸		
商業政策	新島 裕基	日本史特講II	坂口 太助		
教育の方法・技術論	古賀 徹				

# IV 開講講座表及び講座内容（シラバス）

## 1 「開講講座表」の見方

### 「開講講座表」の見方

1	講座コード	スクーリング開講講座を識別するために講座ごとに付された固有のコード番号です。 「受講届」の「講座コード」欄（4桁）には、この講座コードを記入してください。	
2	開講講座名	講座の名称です。原則、科目名と同一ですが、「英語」等のように複数開講される講座については、講座名の後ろにアルファベット等の記号を付して各講座を識別します。	
3	担当講師名	当該講座を担当する教員の氏名です。	
4	開講単位数	受講講座の合格により修得できる単位数です。	
5	充当科目（科目コード、科目名）	受講講座の合格により成績評価の対象となる科目コードと科目名です。 スクーリングの開講単位は「講座」であり、その「講座」に対してどの「科目（科目コード）」で受講するか（充当させるのか）を申告します。 多くの講座の充当科目は1講座につき1科目ですが、「英語」や「演習科目」のように受講者の単位修得状況により充当科目の選択が必要な講座もあるので、充当科目の選定は慎重に行ってください。 「受講届」の「充当科目コード」欄（6桁）には、この科目コードを記入してください。	
6	併用	「スクーリング併用試験方式」による受講の対象講座か否を記載しています。「スクーリング併用試験方式」による受講ができない講座には、「×印」が記載されています。 <b>昼間スクーリングは「スクーリング併用試験方式」による受講ができないため、全て「×印」が記載されています。</b>	
7	制限・注意	配 当 学 年	ここに記載されている学年に達していない場合は受講できません。 学部・学科（専攻）により受講可能な学年が異なる場合は、「受講条件」欄に記載されています。
		受 講 条 件	その他の受講制限及び諸注意等がある場合に記載されています。
8	オープン受講	オープン受講ができない講座には「×印」が記載されています。 記載がない講座はオープン受講申込可です。	

## 2 開講講座表・シラバス・使用教材【曜日・時限順】

### 【火曜日】

時限	講座コード	開講講座名	担当講師名	単開 位 数講	充 当 科 目		制 限 ・ 注 意			受 オ ー プ ン 講	
					科 目 コ ー ド	科 目 名	併 用	配 当 学 年	受 講 条 件		
1 時 限	AB11	心 理 学 A	白川 真裕	2	B12100	心 理 学	×	1年			
	AB12	民 法 I	根本 晋一	2	K20200	民 法 I	×	条件 参照	・法律学科のみ1学年以上 申込可。 ・上記以外は2学年以上申 込可。		
	AB13	西 洋 史 入 門	高草木 邦人	2	Q20300	西 洋 史 入 門	×	条件 参照	・史学専攻のみ1学年以上 申込可。 ・上記以外は2学年以上申 込可。		
2 時 限	AB21	心 理 学 B	白川 真裕	2	B12100	心 理 学	×	1年			
	AB22	民 法 III	根本 晋一	2	K30200	民 法 III	×	2年			
	AB23	国文学基礎講義	野口 恵子	2	M20100	国文学基礎講義	×	条件 参照	・国文学専攻のみ1学年以 上申込可。 ・上記以外は2学年以上申 込可。		
	AB24	英米文学演習Ⅰ～Ⅲ	猪野 恵也	1	N404S0	英米文学演習Ⅰ	×	3年	条件 参照	・英文学専攻のみ申込可 ・Ⅰ～Ⅲのいずれに該当さ せるのか充当科目コード を必ず記入してください。	
					N405S0	英米文学演習Ⅱ					
					N406S0	英米文学演習Ⅲ					
	AB25	日 本 史 入 門	鍋本 由徳	2	Q20100	日 本 史 入 門	×	条件 参照	・史学専攻のみ1学年以上 申込可。 ・上記以外は2学年以上申 込可。		
AB26	商 学 総 論	雨宮 史卓	2	S20100	商 学 総 論	×	条件 参照	・商学部のみ1学年以上申 込可。 ・上記以外は2学年以上申 込可。			
3 時 限	AB31	法 学 A	根本 晋一	2	B11500	法学（日本国憲 法2単位を含む）	×	1年			
	AB32	英 語 A	マイケル ギルロイ	1	C10100	英 語 I	×	1年	条件 参照	・Ⅰ～Ⅳのいずれに該当さ せるのか充当科目コード を必ず記入してください。	
					C10200	英 語 II					
					C10300	英 語 III					
					C10400	英 語 IV					
	AB33	スピーチコミュニ ケーションⅠ	アレックス ブラウン	1	N30900	スピーチコミュニ ケーションⅠ	×	2年			
	AB34	史 学 概 論	高網 博文	2	Q30100	史 学 概 論	×	2年			
	AB35	中 国 経 済 論	崔 晨	2	R313S0	中 国 経 済 論	×	2年			
AB36	広 告 論	雨宮 史卓	2	S30900	広 告 論	×	2年				

### 注意

各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者がそれらを超えた場合、大学が任意に講座を分割したり他講師担当の同一科目講座へ振り分けるなどの、受講制限を行います。

その結果、必ずしも希望した担当者の講座を受講できない場合、受講をお断りする場合があります。あらかじめ、ご了承ください。

## 【火曜日】

時限	講座コード	開講講座名	担当講師名	単開 位 数講	充 当 科 目		制 限・注 意			受 オ ー プ ン 講
					科 目 コ ー ド	科 目 名	併 用	配 当 学 年	受 講 条 件	
4 時 限	AB41	哲 学 A	江 川 晃	2	B10700	哲 学	×	1年		
	AB42	文 化 史 A	渡 邊 浩 史	2	B11200	文 化 史	×	1年		
	AB43	英 語 B	アレックス ブラウ ン	1	C10100	英 語 I	×	1年	・ I～IVのいずれに該当させるのか 充当科目コードを必ず記入してください。	
					C10200	英 語 II				
					C10300	英 語 III		2年		
					C10400	英 語 IV				
	AB44	国文学特殊講義 I・II	近 藤 健 史	2	M311S0	国文学特殊講義 I	×	2年	・ I, IIのいずれに該当させるのか 充当科目コードを必ず記入してください。	
M312S0					国文学特殊講義 II					
AB45	日本史演習 I・II	鍋 本 由 徳	1	Q401S0	日本史演習 I	×	3年	・ 史学専攻のみ申込可。 ・ I, IIのどちらに該当させるのか 充当科目コードを必ず記入してください。		
				Q402S0	日本史演習 II					
AB46	金 融 論	谷 川 孝 美	2	R31800	金 融 論	×	2年			
5 時 限	AB51	心 理 学 C	芳 賀 道 匡	2	B12100	心 理 学	×	1年		
	AB52	中 国 語 I・II	稲 葉 明 子	1	F10100	中 国 語 I	×	1年	・ I, IIのどちらに該当させるのか 充当科目コードを必ず記入してください。	
					F10200	中 国 語 II				
	AB53	哲学特殊講義	江 川 晃	2	P31000	哲学特殊講義	×	2年		
	AB54	東洋史演習 I・II	高 網 博 文	1	Q403S0	東洋史演習 I	×	3年	・ 史学専攻のみ申込可。 ・ I, IIのどちらに該当させるのか 充当科目コードを必ず記入してください。	
Q404S0					東洋史演習 II					
AB55	社会科・地理歴史科教育法 I (新法)	ト 部 勝 彦	2	T23600	社会科・地理歴史科教育法 I	×	2年	・ 2019年度入学生及び科目履修生のみ申込可。 ・ 法学部・哲学専攻・史学専攻・経済学部・商学部のみ申込可。 ・ スクーリング1回の合格で単位完成する科目です。	×	

### 注 意

各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者がそれらを超えた場合、大学が任意に講座を分割したり他講師担当の同一科目講座へ振り分けるなどの、受講制限を行います。  
その結果、必ずしも希望した担当者の講座を受講できない場合、受講をお断りする場合があります。あらかじめ、ご了承ください。



# 講座内容 (シラバス)

※ 2019年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

## 〔心理学A〕

白川 真裕

◆**授業概要** 本講義では、心をどのようにとらえ、さらに日常生活の上での問題解決に役立てるかといった、心理学の基礎から応用までの主要領域について紹介する。また、それぞれの日常生活の中で、心理学やそれに関連した学問の理論や知見について、考えを巡らせる機会をもってもらう。

◆**学修到達目標** 心理学の基礎的・応用的知識を幅広く獲得することを目指す。また、人間の心の働きについて科学的に考える力を身につけることで、人々のさまざまな行動を心理学的な視点から理解し、説明できるようになることを目標とする。

◆**授業方法** 授業は主として講義形式で行う。ただ漫然と授業を聴くのではなく、考えながら聴講し、ノートを取りながら積極的に参加をするようつとめること。

### ◆授業計画〔各 90 分〕

1 回	授業内容: ガイダンス, 心理学のさまざまな分野 事前学修: シラバスの内容をよく確認しておく。 事後学修: 配布資料の内容を確認し、授業の内容をノート等に整理しておく。
2 回	授業内容: 心理学とは 事前学修: 心理学とはなにか、心とはなにかについて自分なりに考えておく。 事後学修: 配布資料の内容を確認し、授業の内容をノート等に整理しておく。
3 回	授業内容: 感覚・知覚 1: さまざまな感覚 事前学修: 人間の持つ感覚にはどのようなものがあるか、またその感覚から人間はどのような情報を得ているのか、自分なりに考えておく。 事後学修: 配布資料の内容を確認し、授業の内容をノート等に整理しておく。
4 回	授業内容: 感覚・知覚 2: 知覚の適応性と錯視 事前学修: 錯視について、自分なりに調べておく。 事後学修: 配布資料の内容を確認し、授業の内容をノート等に整理しておく。
5 回	授業内容: 感覚・知覚 3: かたちの知覚と奥行き知覚 事前学修: 第 3 回・第 4 回の授業の内容を確認しておく。 事後学修: 配布資料の内容を確認し、授業の内容をノート等に整理しておく。
6 回	授業内容: 高次知覚と初期認知 事前学修: 前回の授業の内容を確認しておく。 事後学修: 配布資料の内容を確認し、授業の内容をノート等に整理しておく。
7 回	授業内容: 注意: 注意の理論とメカニズム 事前学修: 自動車等の運転中の通話や歩きスマホがなぜ危険だと考えられるのか、自分なりに考えておく。 事後学修: 配布資料の内容を確認し、授業の内容をノート等に整理しておく。
8 回	授業内容: 記憶 1: 記憶の理論とメカニズム 事前学修: 記憶とはどのようなものか、自分なりに考えておく。 事後学修: 配布資料の内容を確認し、授業の内容をノート等に整理しておく。
9 回	授業内容: 記憶 2: 記憶の種類と特徴 事前学修: 効率よく記憶するために、どのような工夫ができるか(しているか)、自分なりに考えておく。 事後学修: 配布資料の内容を確認し、授業の内容をノート等に整理しておく。
10 回	授業内容: 学習 1: 学習の理論とメカニズム 事前学修: 学習にはどのようなタイプがあるか、自分なりに考えておく。 事後学修: 配布資料の内容を確認し、授業の内容をノート等に整理しておく。
11 回	授業内容: 学習 2: 効率的な学習方法 事前学修: 効率よく学習するために、どのような工夫ができるか(しているか)、自分なりに考えておく。 事後学修: 配布資料の内容を確認し、授業の内容をノート等に整理しておく。
12 回	授業内容: 思考・言語 1: 思考の発達と言語 事前学修: 人間は、普段どのくらい論理的に思考をしているのか、自分なりに考えておく。 事後学修: 配布資料の内容を確認し、授業の内容をノート等に整理しておく。
13 回	授業内容: 思考・言語 2: 人間の思考の特徴 事前学修: 配布資料 3 ページ目の問題を解いておく。 事後学修: 配布資料の内容を確認し、授業の内容をノート等に整理しておく。
14 回	授業内容: 振り返りとまとめ 事前学修: これまでの授業内容を再確認しておく。 事後学修: 試験に備えて授業内容を復習しておく。
15 回	授業内容: 理解度の確認 (試験) 事前学修: 試験に備えて授業内容を復習しておく。 事後学修: これまでの授業内容を復習し、自分の回答が適切か確認する。

◆**教科書** [当日資料配布] 必要に応じて資料を配布します。

◆**参考書** 丸沼『心理学』鹿取廣人・杉本敏夫・鳥居修晃(編) 東京大学出版会 2,592 円(税込)(送料 350 円)

◆**成績評価基準** 試験(80%)、授業参加度(20%)により総合的に評価する。

### 注意

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例:「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」  
※授業相談(連絡先)に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

# 講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

## 〔民法 I〕

## 根本 晋一

- ◆**授業概要** 民法総則の前半部分を学修する。具体的には、民法の意義、法源（存在形式）、沿革、指導原理、私権の社会性、私権の主体、私権の客体、意思表示と法律行為、代理、無効と取消し、条件と期限、期間、時効、のうち、私権の客体あたりまでを学修する。
- ◆**学修到達目標** 民法学における民法総則の位置づけ、民法総則の意義と体系、主要な論点を理解する。併せて、授業概要の箇所で示した専門用語を、具体例を用いて説明できるようになる。
- ◆**授業方法** 講義形式を採用する。法改正や新判例の追加などにより、シラバス（授業計画）どおりに進まないこともあり得る。板書を多用し、ノートを作らせ、勉強の仕方を教えるので、ノートをしっかりと録取し、何度も読み返すこと。
- ◆**履修条件** 他の担当教員の民法 I、および根本の民法 I（後半）との積み重ねのみ可。なお、後半を先に履修し、前半を後に履修することも可。
- ◆**授業計画〔各 90 分〕**

1 回	授業内容	GD, 民法の意義
	事前学修	必要なし
	事後学修	その日のうちの板書事項の読み込み
2 回	授業内容	民法の基本原則
	事前学修	前回授業時の板書事項の再確認
	事後学修	その日のうちの板書事項の読み込み
3 回	授業内容	私権の社会性
	事前学修	前回授業時の板書事項の再確認
	事後学修	その日のうちの板書事項の読み込み
4 回	授業内容	民法の法源
	事前学修	前回授業時の板書事項の再確認
	事後学修	その日のうちの板書事項の読み込み
5 回	授業内容	法の沿革など
	事前学修	前回授業時の板書事項の再確認
	事後学修	その日のうちの板書事項の読み込み
6 回	授業内容	権利能力の意義、自然人と法人など
	事前学修	前回授業時の板書事項の再確認
	事後学修	その日のうちの板書事項の読み込み
7 回	授業内容	権利能力の始期、出生の概念、胎児の例外など
	事前学修	前回授業時の板書事項の再確認
	事後学修	その日のうちの板書事項の読み込み
8 回	授業内容	権利能力の始期、出生の概念、胎児の例外など
	事前学修	前回授業時の板書事項の再確認
	事後学修	その日のうちの板書事項の読み込み
9 回	授業内容	認定死亡、不在者財産管理と失踪宣告、同時死亡の推定など
	事前学修	前回授業時の板書事項の再確認
	事後学修	その日のうちの板書事項の読み込み
10 回	授業内容	意思能力の意義
	事前学修	前回授業時の板書事項の再確認
	事後学修	その日のうちの板書事項の読み込み
11 回	授業内容	行為能力の意義
	事前学修	前回授業時の板書事項の再確認
	事後学修	その日のうちの板書事項の読み込み
12 回	授業内容	制限行為能力者制度
	事前学修	前回授業時の板書事項の再確認
	事後学修	その日のうちの板書事項の読み込み
13 回	授業内容	制限行為能力者の相手方の保護など
	事前学修	前回授業時の板書事項の再確認
	事後学修	その日のうちの板書事項の読み込み
14 回	授業内容	私権の客体、物の概念
	事前学修	前回授業時の板書事項の再確認
	事後学修	その日のうちの板書事項の読み込み
15 回	授業内容	不動産と動産、主物と従物、元物と果実
	事前学修	前回授業時の板書事項の再確認
	事後学修	その日のうちの板書事項の読み込み

- ◆**教科書** 指定しない。
- ◆**参考書** 教材『民法 I K20200』通信教育教材（教材コード 000407）2,600 円（送料込）
- ◆**成績評価基準** 全回出席を前提として、筆記試験または当授業終了後に提出するレポートの評価点 80%、授業態度や質疑応答 20%。

**注意** E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」  
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

# 講座内容（シラバス）

※ 2019年度より授業計画が全15回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

## 〔西洋史入門〕

高草木 邦人

◆**授業概要** 本科目では、西洋の地理的特徴を踏まえながら、①「外国史（西洋史）」学修の意義、②原始・古代から現代に至る史実や解釈への様々なアプローチ、③資料を使った「外国史（西洋史）」学修と研究方法の知識の習得を通じて、「外国史（西洋史）」研究に対する知識や態度を身につけます。

◆**学修到達目標** 本講義は、西洋史を学ぶ上で必要とされる知識と技術の基礎を学習します。本講義の学習により、受講生は自立的に西洋史を研究するためのスタート地点に立つことができます。前期においては、近代西洋において発展してきた「歴史学」の特質とこの学問への接近方法について学習します。なお、前期と後期は内容が異なりますので、半期のみ受講も可能ですが、学習効果をあげるためには、前期・後期の連続受講が望ましいです。

◆**授業方法** 本講義は、基本的に講義形式をとりますが、演習的な要素も盛り込んでいきます。具体的には、研究文献や史料の講読、授業内のレポート作成、学習した知識・技術の実践などを予定しています。なお、受講者の人数とその理解度に応じて、下記の授業計画を若干修正することがあります。

### ◆授業計画〔各90分〕

1回	授業内容：ガイダンス：歴史学とは何か？ 事前学修：高等学校の世界史の教科書を復習しておくこと 事後学修：復習用プリントを使い、講義の復習をしておくこと
2回	授業内容：歴史学の叙述①：歴史の父ヘロドトスと歴史叙述 事前学修：予習用プリントを使い、講義の予習をしておくこと 事後学修：復習用プリントを使い、講義の復習をしておくこと
3回	授業内容：歴史学の叙述②：歴史学と歴史小説との違い 事前学修：予習用プリントを使い、講義の予習をしておくこと 事後学修：復習用プリントを使い、講義の復習をしておくこと
4回	授業内容：歴史学の叙述③：ホロコーストに関する学説論争 事前学修：予習用プリントを使い、講義の予習をしておくこと 事後学修：復習用プリントを使い、講義の復習をしておくこと
5回	授業内容：歴史学の根拠①：近代歴史学の父ランケと実証史学 事前学修：予習用プリントを使い、講義の予習をしておくこと 事後学修：復習用プリントを使い、講義の復習をしておくこと
6回	授業内容：歴史学の根拠②：歴史学における史料の意義 事前学修：予習用プリントを使い、講義の予習をしておくこと 事後学修：復習用プリントを使い、講義の復習をしておくこと
7回	授業内容：歴史学の根拠③：アレクサンドロス大王の歴史に関する史料 事前学修：予習用プリントを使い、講義の予習をしておくこと 事後学修：復習用プリントを使い、講義の復習をしておくこと
8回	授業内容：歴史学の客観性①：E. H. カーク「歴史とは何か」における客観性 事前学修：予習用プリントを使い、講義の予習をしておくこと 事後学修：復習用プリントを使い、講義の復習をしておくこと
9回	授業内容：歴史学の客観性②：歴史学における事実と解釈 事前学修：予習用プリントを使い、講義の予習をしておくこと 事後学修：復習用プリントを使い、講義の復習をしておくこと
10回	授業内容：歴史学の客観性③：フランス革命の研究史 事前学修：予習用プリントを使い、講義の予習をしておくこと 事後学修：復習用プリントを使い、講義の復習をしておくこと
11回	授業内容：歴史学の有用性①：ブロック『歴史のための弁明』における「歴史家の仕事」 事前学修：予習用プリントを使い、講義の予習をしておくこと 事後学修：復習用プリントを使い、講義の復習をしておくこと
12回	授業内容：歴史学の有用性②：遅塚忠躬『史学概論』における「歴史学の効用」 事前学修：予習用プリントを使い、講義の予習をしておくこと 事後学修：復習用プリントを使い、講義の復習をしておくこと
13回	授業内容：日本における西洋史学①：大塚久雄が提示した西洋史学の有用性 事前学修：予習用プリントを使い、講義の予習をしておくこと 事後学修：復習用プリントを使い、講義の復習をしておくこと
14回	授業内容：日本における西洋史学②：大塚史学に対する批判と西洋史学の変化 事前学修：予習用プリントを使い、講義の予習をしておくこと 事後学修：復習用プリントを使い、講義の復習をしておくこと
15回	授業内容：試験及び解説 事前学修：本講義で配布したプリント・資料などを使い、講義全体を復習しておくこと 事後学修：本講義の内容を確認・理解して、歴史学の研究書や論文を講読すること

◆**教科書** 〔当日資料配布〕講義では、プリントを配布します。

◆**参考書** 〔丸〕『歴史学「外」論—いかに考え、どう書くか』下田淳 青木書店 2005年 1,944円（税込）（送料300円）

〔透〕『史学概論 Q30100』通信教育教材（教材コード000574）1,550円（送料込）

〈この教材は市販の『歴史学ってなんだ？』小田中直樹（PHP研究所）と同一です。〉

〔丸〕『歴史を冒険するために』中谷功治 関西学院大学出版会 2008年 2,160円（税込）（送料300円）

◆**成績評価基準** 成績の評価基準は、試験（50%）、平常点（50%）です。平常点は、授業中に配布するリアクション・ペーパー、授業中におこなうレポート、そして授業態度などを参考に評価します。なお、毎回出席していることを前提として評価します。

### 注意

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」  
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

講座の選定

時間割

開講講座表・シラバス使用教材（火曜日）

開講講座表・シラバス使用教材（水曜日）

開講講座表・シラバス使用教材（木曜日）

開講講座表・シラバス使用教材（金曜日）

受講及び試験

受講手続

申込講座の許可と不許可

受講料等の納入

受講準備

体育実技の受講について

オープン受講

胸部X線検査

各種用紙

付録

# 講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

## 〔心理学B〕

白川 真裕

◆**授業概要** 本講義では、心をどのようにとらえ、さらに日常生活の上での問題解決に役立てるかといった、心理学の基礎から応用までの主要領域について紹介する。また、それぞれの日常生活の中で、心理学やそれに関連した学問の理論や知見について、考えを巡らせる機会をもってもらう。

◆**学修到達目標** 心理学の基礎的・応用的知識を幅広く獲得することを目指す。また、人間の心の働きについて科学的に考える力を身につけることで、人々のさまざまな行動を心理学的な視点から理解し、説明できるようになることを目標とする。

◆**授業方法** 授業は主として講義形式で行う。ただ漫然と授業を聴くのではなく、考えながら聴講し、ノートを取りながら積極的に参加をするようつとめること。

### ◆授業計画〔各 90 分〕

1 回	授業内容: ガイダンス、心理学のさまざまな分野 事前学修: シラバスの内容をよく確認しておく。 事後学修: 配布資料の内容を確認し、授業の内容をノート等に整理しておく。
2 回	授業内容: 心理学とは 事前学修: 心理学とはなにか、心とはなにかについて自分なりに考えておく。 事後学修: 配布資料の内容を確認し、授業の内容をノート等に整理しておく。
3 回	授業内容: 感覚・知覚 1：さまざまな感覚 事前学修: 人間の持つ感覚にはどのようなものがあるか、またその感覚から人間はどのような情報を得ているのか、自分なりに考えておく。 事後学修: 配布資料の内容を確認し、授業の内容をノート等に整理しておく。
4 回	授業内容: 感覚・知覚 2：知覚の適応性と錯視 事前学修: 錯視について、自分なりに調べておく。 事後学修: 配布資料の内容を確認し、授業の内容をノート等に整理しておく。
5 回	授業内容: 感覚・知覚 3：かたちの知覚と興行き知覚 事前学修: 第 3 回・第 4 回の授業の内容を確認しておく。 事後学修: 配布資料の内容を確認し、授業の内容をノート等に整理しておく。
6 回	授業内容: 高次知覚と初期認知 事前学修: 前回の授業の内容を確認しておく。 事後学修: 配布資料の内容を確認し、授業の内容をノート等に整理しておく。
7 回	授業内容: 注意：注意の理論とメカニズム 事前学修: 自動車等の運転中の通話や歩きスマホがなぜ危険だと考えられるのか、自分なりに考えておく。 事後学修: 配布資料の内容を確認し、授業の内容をノート等に整理しておく。
8 回	授業内容: 記憶 1：記憶の理論とメカニズム 事前学修: 記憶とはどのようなものか、自分なりに考えておく。 事後学修: 配布資料の内容を確認し、授業の内容をノート等に整理しておく。
9 回	授業内容: 記憶 2：記憶の種類と特徴 事前学修: 効率よく記憶するために、どのような工夫ができるか（しているか）、自分なりに考えておく。 事後学修: 配布資料の内容を確認し、授業の内容をノート等に整理しておく。
10 回	授業内容: 学習 1：学習の理論とメカニズム 事前学修: 学習にはどのようなタイプがあるか、自分なりに考えておく。 事後学修: 配布資料の内容を確認し、授業の内容をノート等に整理しておく。
11 回	授業内容: 学習 2：効率的な学習方法 事前学修: 効率よく学習するために、どのような工夫ができるか（しているか）、自分なりに考えておく。 事後学修: 配布資料の内容を確認し、授業の内容をノート等に整理しておく。
12 回	授業内容: 思考・言語 1：思考の発達と言語 事前学修: 人間は、普段どのくらい論理的に思考をしているのか、自分なりに考えておく。 事後学修: 配布資料の内容を確認し、授業の内容をノート等に整理しておく。
13 回	授業内容: 思考・言語 2：人間の思考の特徴 事前学修: 配布資料 3 ページ目の問題を解いておく。 事後学修: 配布資料の内容を確認し、授業の内容をノート等に整理しておく。
14 回	授業内容: 振り返りとまとめ 事前学修: これまでの授業内容を再確認しておく。 事後学修: 試験に備えて授業内容を復習しておく。
15 回	授業内容: 理解度の確認（試験） 事前学修: 試験に備えて授業内容を復習しておく。 事後学修: これまでの授業内容を復習し、自分の回答が適切か確認する。

◆**教科書** 〔当日資料配布〕 必要に応じて資料を配布します。

◆**参考書** 〔丸沼〕『心理学』 鹿取廣人・杉本敏夫・鳥居修晃（編） 東京大学出版会 2,592 円（税込）（送料 350 円）

◆**成績評価基準** 試験（80%）、授業参画度（20%）により総合的に評価する。

### 注意

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」  
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

# 講座内容 (シラバス)

※ 2019年度より授業計画が全 15回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

## (民法Ⅲ)

根本 晋一

- ◆**授業概要** 債権総論の前半部分を学修する。具体的には、債権の目的、債権の発生原因、債権の効力、債権者代位権、詐害行為取消権、多数当事者の債権債務関係、債権譲渡、債務引受、債権の消滅原因、のうち、債権の効力あたりまで学修する。
- ◆**学修到達目標** 民法学における債権総論の位置づけ、債権総論の意義と体系、主要な論点を理解する。併せて、授業概要の箇所を示した専門用語を、具体例を用いて説明できるようになる。
- ◆**授業方法** 講義形式を採用する。法改正や新判例の追加などにより、シラバス(授業計画)どおりに進まないこともあり得る。板書を多用し、ノートを作らせ、勉強の仕方を教えるので、ノートをしっかりと録取すること。
- ◆**履修条件** 他の担当教員の民法Ⅲ、および根本の民法Ⅲ(後半)との積み重ねのみ可。なお、後半を先に履修し、前半を後に履修することも可。
- ◆**授業計画(各90分)**

1回	授業内容: GD 債権法の体系 総論と各論の関係 など 事前学修: 必要なし 事後学修: その日のうちの板書事項の読み込み
2回	授業内容: 私有財産制 財産権 物権と債権 物権の絶対性と債権の相対性 など 事前学修: 前回授業時の板書事項の再確認 事後学修: その日のうちの板書事項の読み込み
3回	授業内容: 物権法定主義と契約自由の原則 物権の優先的効力と債権者平等の原則 など 事前学修: 前回授業時の板書事項の再確認 事後学修: その日のうちの板書事項の読み込み
4回	授業内容: 債権の成立要件 確定 可能 適法 社会的妥当 など 事前学修: 前回授業時の板書事項の再確認 事後学修: その日のうちの板書事項の読み込み
5回	授業内容: 債権の目的 与える債務(物の引渡し) 特定物債権 特定物ドグマ 瑕疵担保責任 非代替物との違い など 事前学修: 前回授業時の板書事項の再確認 事後学修: その日のうちの板書事項の読み込み
6回	授業内容: 不特定物債権 種類債権 種類債権の特定集中 代替物との違い など 事前学修: 前回授業時の板書事項の再確認 事後学修: その日のうちの板書事項の読み込み
7回	授業内容: 特定の効果 注意義務の軽減 所有権移転 など 事前学修: 前回授業時の板書事項の再確認 事後学修: その日のうちの板書事項の読み込み
8回	授業内容: 金銭債権 種類債権との違い 金銭債務の特則(民法第419条) 利息制限法 など 事前学修: 前回授業時の板書事項の再確認 事後学修: その日のうちの板書事項の読み込み
9回	授業内容: 為す債務 人に対する作為または不作為請求 第三者の債権侵害 など 事前学修: 前回授業時の板書事項の再確認 事後学修: その日のうちの板書事項の読み込み
10回	授業内容: 債権の発生原因 約定債権(契約) 法定債権(事務管理 不当利得) 事前学修: 前回授業時の板書事項の再確認 事後学修: その日のうちの板書事項の読み込み
11回	授業内容: 債権の発生原因(不法行為) 事前学修: その日のうちの板書事項の読み込み 事後学修: 前回授業時の板書事項の再確認
12回	授業内容: 債権の効力 対内的効力 給付受領権 強制履行請求権 自然債務 など 事前学修: その日のうちの板書事項の読み込み 事後学修: 前回授業時の板書事項の再確認
13回	授業内容: 対内的効力 債務不履行による損害賠償請求権 契約責任と不法行為責任 履行遅滞 履行不能 不完全履行 など 事前学修: その日のうちの板書事項の読み込み 事後学修: 前回授業時の板書事項の再確認
14回	授業内容: 損害賠償請求権 通常損害と特別損害 相当因果関係説 事前学修: その日のうちの板書事項の読み込み 事後学修: 前回授業時の板書事項の再確認
15回	授業内容: 債権者の受領遅滞 法定責任説と債務不履行説 損害賠償の予定 など 事前学修: その日のうちの板書事項の読み込み 事後学修: 前回授業時の板書事項の再確認

- ◆**教科書** 指定しない。
- ◆**参考書** 教材『民法Ⅲ K30200』通信教育教材(教材コード000354)2,900円(送料込)
- ◆**成績評価基準** 全回出席を前提として、筆記試験または当授業終了後に提出するレポートの評価点80%、授業態度や質疑応答20%。

### 注意

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例:「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」  
※授業相談(連絡先)に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

# 講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

## 〔国文学基礎講義〕

野口 恵子

- ◆**授業概要** 研究は日々進歩している。当然のことであるが、その認識が徹底されていないことがしばしば見受けられる。情報を更新することの重要性を説くために、高等学校の教科書「国語総合」を取り上げ、最新の研究成果との相違点を確認し、どのようにして成果を反映させるかを考える。
- ◆**学修到達目標** 大学で学ぶ古典は、高等学校で学んだ古典とは全く異なる。まずはその違いを知ることを目標とする。授業では『万葉集』の作品を取り上げながら、いかに両者が違っているのかを具体的に示す。これを通して、大学では何を学ぶべきかを考えることができるようになる。また、大学の学修で必要とされる文献の調査方法や読み方、レポートの書き方についても修得することができる。
- ◆**授業方法** 講義形式で行う。板書はメモ程度しかしないので、自分にとって必要な情報はノートに書き、「自分」のノートを作成すること。なお学生自らの思考を促すために、不定期で「復習テスト」を実施する。
- ◆**履修条件** なし。ただし、学修効果を向上させるためには、前期後期連続受講が望ましい。
- ◆**授業計画〔各 90 分〕**

1 回	授業内容 授業内容と進め方の説明・大学で学ぶこととはどのようなことか？ 事前学修 自宅にある高校時代の国語教科書に目を通す 事後学修 授業内容をまとめたノートをさらに整理し、復習しておく
2 回	授業内容 『万葉集』についての説明 事前学修 図書館等で、『万葉集』についての情報を得ておく 事後学修 授業内容をまとめたノートと授業時に配布した資料を確認し、理解を深めておく
3 回	授業内容 東京書籍の「国語総合」を使って、作品の表記について考える 事前学修 東京書籍の「国語総合」を読んでおく 事後学修 授業内容をまとめたノートと授業時に配布した資料を確認し、理解を深めておく
4 回	授業内容 東京書籍の「国語総合」を使って、脚注や学習の手引きなどについて考える 事前学修 東京書籍の「国語総合」を読んでおく 事後学修 授業内容をまとめたノートと授業時に配布した資料を確認し、理解を深めておく
5 回	授業内容 東京書籍の「国語総合」を使って、四期区分説等の問題点を考える 事前学修 東京書籍の「国語総合」を読んでおく 事後学修 授業内容をまとめたノートと授業時に配布した資料を確認し、理解を深めておく
6 回	授業内容 東京書籍の「国語総合」を使って、作品を鑑賞の対象にしている点について考える 事前学修 東京書籍の「国語総合」を読んでおく 事後学修 授業内容をまとめたノートと授業時に配布した資料を確認し、理解を深めておく
7 回	授業内容 三省堂書店の「国語総合」を使って、作品の本文表記について考える 事前学修 三省堂書店の「国語総合」を読んでおく 事後学修 授業内容をまとめたノートと授業時に配布した資料を確認し、理解を深めておく
8 回	授業内容 三省堂書店の「国語総合」を使って、作品の解釈について考える 事前学修 三省堂書店の「国語総合」を読んでおく 事後学修 授業内容をまとめたノートと授業時に配布した資料を確認し、理解を深めておく
9 回	授業内容 三省堂書店の「国語総合」を使って、三大歌集について考える 事前学修 三省堂書店の「国語総合」を読んでおく 事後学修 授業内容をまとめたノートと授業時に配布した資料を確認し、理解を深めておく
10 回	授業内容 教育出版の「国語総合」を使って、作品の表記について考える 事前学修 教育出版の「国語総合」を読んでおく 事後学修 授業内容をまとめたノートと授業時に配布した資料を確認し、理解を深めておく
11 回	授業内容 教育出版の「国語総合」を使って、脚注や学習の手引きについて考える 事前学修 教育出版の「国語総合」を読んでおく 事後学修 授業内容をまとめたノートと授業時に配布した資料を確認し、理解を深めておく
12 回	授業内容 教育出版の「国語総合」を使って、そこに掲載されているコラムの内容について考える 事前学修 教育出版の「国語総合」を読んでおく 事後学修 授業内容をまとめたノートと授業時に配布した資料を確認し、理解を深めておく
13 回	授業内容 大修館書店の「国語総合」を使って、作品の表記について考える 事前学修 大修館書店の「国語総合」を読んでおく 事後学修 授業内容をまとめたノートと授業時に配布した資料を確認し、理解を深めておく
14 回	授業内容 大修館書店の「国語総合」を使って、脚注や学習の手引きについて考える 事前学修 大修館書店の「国語総合」を読んでおく 事後学修 授業内容をまとめたノートと授業時に配布した資料を確認し、理解を深めておく
15 回	授業内容 大修館書店の「国語総合」を使って、そこに掲載されている大岡信の文章を検討する 事前学修 大修館書店の「国語総合」を読んでおく 事後学修 授業内容をまとめたノートと授業時に配布した資料を確認し、理解を深めておく

- ◆**教科書** 丸沼『訳文 万葉集』森淳司編 笠間書院 1,944 円（税込）（送料 500 円）
- ◆**参考書** 丸沼『おかしいぞ！国語教科書』梶川信行編 笠間書院 2,700 円（税込）（送料 300 円）  
〔新編日本古典文学全集〕万葉集①～④ 小島憲之他校注・訳者 小学館  
〈上記の本は品切れのため、図書館等を利用してください。〉
- ◆**成績評価基準** 復習テストの評価を含む平常点（30%）・レポート試験（70%）  
※毎回出席することを前提としており、やむを得ない理由以外の遅刻は認めない。

### 注意

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」  
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

## 講座内容 (シラバス)

※ 2019年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

## 〔英米文学演習 I ~ III〕

猪野 恵也

◆**授業概要** Graham Greene の *The End of the Affair* を読む。まず Graham Greene の紹介をする。そして英文法を駆使して英文を正しく読むようにする。物語のみならず、文体にも留意し、作品観賞や解釈につなげたい。先行研究も紹介する予定だが、まずは英和辞書、英英辞書だけを頼りに原文にぶつかっていく。

◆**学修到達目標** 1. 文法を駆使しながら英文を読むことができる。  
2. 作品観賞ができるようになる。  
3. Graham Greene の文学世界に触れることができる。

◆**授業方法** 学生による和訳発表が中心。まず文法を駆使して読む。授業計画はおおよその目安である。進度によっては授業計画通りに進まない場合がある。翻訳でよいので *The End of the Affair* 全編を読み、割り当て以外の箇所も予習すること。

◆**履修条件** 前期のみの受講、後期のみの受講も可能だが、学修効果を上げるため、前期及び後期の連続受講が望ましい。

◆**授業計画〔各 90 分〕**

1 回	授業内容：Graham Greene の紹介及び発表個所の割り当て 事前学修：イギリス文学史において Graham Greene について学修する。 事後学修：翻訳「情事の終り」を読む。
2 回	授業内容： <i>The End of the Affair</i> 読解 7 頁から 11 頁 事前学修：予め時間をじゅうぶんかけて英文を読む。 事後学修： <i>The End of the Affair</i> 再読。意味の区切りに留意して音読をする。
3 回	授業内容： <i>The End of the Affair</i> 読解 12 頁から 16 頁 事前学修：予め時間をじゅうぶんかけて英文を読む。 事後学修： <i>The End of the Affair</i> 再読。意味の区切りに留意して音読をする。
4 回	授業内容： <i>The End of the Affair</i> 読解 17 頁から 21 頁 事前学修：予め時間をじゅうぶんかけて英文を読む。 事後学修： <i>The End of the Affair</i> 再読。意味の区切りに留意して音読をする。
5 回	授業内容： <i>The End of the Affair</i> 読解 22 頁から 26 頁 事前学修：予め時間をじゅうぶんかけて英文を読む。 事後学修： <i>The End of the Affair</i> 再読。意味の区切りに留意して音読をする。
6 回	授業内容： <i>The End of the Affair</i> 読解 27 頁から 31 頁 事前学修：予め時間をじゅうぶんかけて英文を読む。 事後学修： <i>The End of the Affair</i> 再読。意味の区切りに留意して音読をする。
7 回	授業内容： <i>The End of the Affair</i> 読解 32 頁から 36 頁 事前学修：予め時間をじゅうぶんかけて英文を読む。 事後学修： <i>The End of the Affair</i> 再読。意味の区切りに留意して音読をする。
8 回	授業内容： <i>The End of the Affair</i> 読解 37 頁から 41 頁 事前学修：予め時間をじゅうぶんかけて英文を読む。 事後学修： <i>The End of the Affair</i> 再読。意味の区切りに留意して音読をする。
9 回	授業内容： <i>The End of the Affair</i> 読解 42 頁から 46 頁 事前学修：予め時間をじゅうぶんかけて英文を読む。 事後学修： <i>The End of the Affair</i> 再読。意味の区切りに留意して音読をする。
10 回	授業内容： <i>The End of the Affair</i> 読解 47 頁から 51 頁 事前学修：予め時間をじゅうぶんかけて英文を読む。 事後学修： <i>The End of the Affair</i> 再読。意味の区切りに留意して音読をする。
11 回	授業内容： <i>The End of the Affair</i> 読解 52 頁から 56 頁 事前学修：予め時間をじゅうぶんかけて英文を読む。 事後学修： <i>The End of the Affair</i> 再読。意味の区切りに留意して音読をする。
12 回	授業内容： <i>The End of the Affair</i> 読解 57 頁から 61 頁 事前学修：予め時間をじゅうぶんかけて英文を読む。 事後学修： <i>The End of the Affair</i> 再読。意味の区切りに留意して音読をする。
13 回	授業内容： <i>The End of the Affair</i> 読解 62 頁から 66 頁 事前学修：予め時間をじゅうぶんかけて英文を読む。 事後学修： <i>The End of the Affair</i> 再読。意味の区切りに留意して音読をする。
14 回	授業内容： <i>The End of the Affair</i> 読解 67 頁から 71 頁 事前学修：予め時間をじゅうぶんかけて英文を読む。 事後学修： <i>The End of the Affair</i> 再読。意味の区切りに留意して音読をする。
15 回	授業内容：試験 事前学修：時間をじゅうぶんかけて前回まで読んだ分を再読しておく。 事後学修：複数の解釈の可能性を考えてみる。

◆**教科書** 〔当日資料配布〕プリント配布

◆**参考書** 丸沼『情事の終り』上岡伸雄訳 新潮文庫 723 円 (税込) (送料 215 円)  
『グレアム・グリーン入門』山形和美著 彩流社 (図書館を利用してください)

◆**成績評価基準** 試験 (50%) 発表 (30%) 最終レポート (20%) 皆出席を前提とする。

## 注意

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」  
※ 授業相談 (連絡先) に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

# 講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

## 〔日本史入門〕

鍋本 由徳

◆**授業概要** 本科目は①日本史学修の意義、②原始・古代～現代へのアプローチ、③資料による学修・研究方法を通じて、日本史を学修し、また研究するための方法へのアプローチを目指す科目です。日本史に関わるさまざまなテーマについて、身近な生活からアプローチし、教科書内容の更なる理解へと導いていきます。

◆**学修到達目標** 1. 日本史に関する広い知識を得るため、各時代の特徴を説明できるようにする。  
2. テーマ学修から幅広いジャンルへ展開できる能力を身につけていく。  
3. 将来教壇に立つ者として必要な知識と姿勢を身につけていく。

◆**授業方法** 原則として教科書の内容を使います（事前に読んでいることが前提です）。プリント・スクリーン投影資料を併用しながら教科書の内容を説明します。

◆**履修条件** 2018 年度昼間スクーリング（前期）「日本史入門」修得済の学生は履修不可

### ◆授業計画〔各 90 分〕

1 回	授業内容 日本史を学ぶための基礎道具 基本入門書（概説書）と基本辞書の読み方・使い方を学びます。 事前学修 日本史の概要を知るための概説書・辞典類を図書館などで調べておく。 事後学修 紹介本の数冊を読んで、文献一覧を確認する。辞典で歴史用語を調べる
2 回	授業内容 村と租税（古代・中世・近世）「領収書」の歴史の変遷から、日本の税制の特徴を学びます。 事前学修 教科書「Ⅲの2」を読み、内容をまとめておく。事前シートへの記入。 事後学修 ノートと教科書を見返し、自己理解が低い箇所を重点的に復習する
3 回	授業内容 期間限定の売買（古代・中世・近世）近代と前近代との「売買契約」の違いから、商慣行の特徴を学びます。 事前学修 教科書「Ⅲの1」を読み、内容をまとめておく。事前シートへの記入。 事後学修 ノートと教科書を見返し、自己理解が低い箇所を重点的に復習する
4 回	授業内容 文学にみられる感性（中世）歴史小説と歴史学文献を比較して、科学としての日本史を学びます。 事前学修 教科書「Ⅰの1」を読み、内容をまとめておく。事前シートへの記入。 事後学修 ノートと教科書を見返し、自己理解が低い箇所を重点的に復習する
5 回	授業内容 災害と「ユーモア」（中世・近世）「彗星」「地震」などの天文・災害認識の変遷を学びます。 事前学修 教科書「Ⅳの1」を読み、内容をまとめておく。事前シートへの記入。 事後学修 ノートと教科書を見返し、自己理解が低い箇所を重点的に復習する
6 回	授業内容 職業と「伝統」の根拠（中世・近世）建築に関わる歴史から、由緒や技術の伝播について学びます。 事前学修 教科書「Ⅲの3」を読み、内容をまとめておく。事前シートへの記入。 事後学修 ノートと教科書を見返し、自己理解が低い箇所を重点的に復習する
7 回	授業内容 近世にみる祭と外国人（近世）「祭礼」の持つ意味を国内外の視点から学びます。 事前学修 教科書「Ⅱの1」を読み、内容をまとめておく。事前シートへの記入。 事後学修 ノートと教科書を見返し、自己理解が低い箇所を重点的に復習する
8 回	授業内容 勧善懲悪の時代劇（幕末維新）「水戸黄門」「大岡越前」から、史実と虚構の関係を学びます。 事前学修 教科書「Ⅰの3」を読み、内容をまとめておく。事前シートへの記入。 事後学修 ノートと教科書を見返し、自己理解が低い箇所を重点的に復習する
9 回	授業内容 盛り場と都市論（幕末維新）浅草・新京極・新宿の成立を比較しながら都市の成立を学びます。 事前学修 教科書「Ⅱの2」を読み、内容をまとめておく。事前シートへの記入。 事後学修 ノートと教科書を見返し、自己理解が低い箇所を重点的に復習する
10 回	授業内容 都市開発と鉄道（近代）鉄道の発展と都市開発との関係を学びます。 事前学修 教科書「Ⅱの3」を読み、内容をまとめておく。事前シートへの記入。 事後学修 ノートと教科書を見返し、自己理解が低い箇所を重点的に復習する
11 回	授業内容 近代教育と音楽（近世・近代）唱歌教育の展開から、近代日本の国策（教育）について学びます。 事前学修 教科書「Ⅳの2」を読み、内容をまとめておく。事前シートへの記入。 事後学修 ノートと教科書を見返し、自己理解が低い箇所を重点的に復習する
12 回	授業内容 歴史映画による刷り込み（近代）映像による刷り込みから来る歴史学修の危険性について学びます。 事前学修 教科書「Ⅰの2」を読み、内容をまとめておく。事前シートへの記入。 事後学修 ノートと教科書を見返し、自己理解が低い箇所を重点的に復習する
13 回	授業内容 生活空間からみた日本史（中世～近代）中世から現代の住宅事情から、男女認識の変化について学びます。 事前学修 教科書「Ⅲの4」を読み、内容をまとめておく。事前シートへの記入。 事後学修 ノートと教科書を見返し、自己理解が低い箇所を重点的に復習する
14 回	授業内容 人生儀礼（民俗）「通過儀礼」を通して、誕生と死去の歴史の変遷を学びます。 事前学修 教科書「Ⅴの1・2・3」を読み、内容をまとめておく。事前シートへの記入。 事後学修 ノートと教科書を見返し、自己理解が低い箇所を重点的に復習する
15 回	授業内容 講義総括 日本史の学修と研究視点 第1回から第14回を総括して、自己理解度を改めて振り返ります。 事前学修 第1回から第14回の学修内容の要点をまとめておく。 事後学修 当日配付されたプリントから自身の弱点を知り、重点復習箇所を確認する

◆**教科書** 教材『日本史入門 Q20100』通信教育教材（教材コード 000484）3,800 円（送料込）  
〈この教材は市販の『方法 教養の日本史』竹内誠ほか著（東京大学出版会）と同一です。〉  
〔当日資料配布〕参照プリントを1～2枚配付

◆**参考書** 配布プリントで適宜紹介する

◆**成績評価基準** 授業内提出レポート（70%）、授業内小テスト（30%）の総合評価 ※ 15 回全出席を前提とした評価です。

**注意** E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」  
※ 授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。



# 講座内容 (シラバス)

※ 2019年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

## 〔商学総論〕

雨宮 史卓

- ◆**授業概要** 商学は、ビジネスと社会経済との融合領域の学問であるため、ビジネス活動が集約する「市場」について多面的な観点から総合的に学ぶ。全体的には、なるべく取りつきやすく、理解しやすいように具体的なケースを交えて解説し、商業の役割・機能といった幅広い知識の習得を目指す。
- ◆**学修到達目標** 1 商業の起源から現在の日本市場における商業の変遷を様々な観点から理解できるようになる。  
2 生産と消費の間を架橋する流通を理解し、流通の社会的機能や意義、流通段階の戦略を考察できる。
- ◆**授業方法** ターム前半はテキストに沿いながら、商業とは何か、商業の多様な概念、商業学説について学ぶ。ターム後半はマーケティングを中心とした広範な知識習得を目指す。必要に応じて資料を配布する。また、その日の授業の後半で、主要なテーマについてのリアクションペーパー（小論文）の提出を求める。
- ◆**履修条件** 後期商学総論との継続受講が望ましい。
- ◆**授業計画〔各 90 分〕**

1 回	授業内容：ガイダンス 授業の進め方 商学を学ぶことの意義 商業とは何か 事前学修：テキスト 1 頁～ 23 頁をよく読んでおくこと。 事後学修：授業の内容をノートに整理し、テキストの該当部分と配布資料を読んで、授業内容を確認し理解しておくこと。
2 回	授業内容：商業の起源と発展 事前学修：配布資料をよく読んでおくこと。 事後学修：授業の内容を整理し、配布資料の必要箇所をノートにまとめること。
3 回	授業内容：商業における市場 事前学修：配布資料をよく読んでおくこと。 事後学修：授業の内容を整理し、配布資料の必要箇所をノートにまとめること。
4 回	授業内容：日本型商業・流通構造の特質 事前学修：テキスト 51 頁～ 55 頁をよく読んでおくこと。 事後学修：授業の内容をノートに整理し、テキストの該当箇所を読んで、ノートにまとめておくこと。
5 回	授業内容：マーケティングの誕生と 4P 事前学修：テキスト 20 頁～ 23 頁をよく読んでおくこと。 事後学修：授業の内容を整理し、配布資料の必要箇所をノートにまとめること。
6 回	授業内容：無形財と有形財 商品調達 事前学修：配布資料の図表を確認しておくこと。 事後学修：授業の内容をノートに整理し、配布資料の図表をノートに書き写しておくこと。
7 回	授業内容：製品戦略 事前学修：テキスト 130 頁～ 131 頁、134 頁～ 135 頁をよく読んでおくこと。 事後学修：商品における製品とサービスの違いを確認しておくこと。
8 回	授業内容：流通戦略 事前学修：テキスト 95 頁～ 119 頁をよく読んでおくこと。 事後学修：流通過程における、それぞれの段階の機・役割をノートにまとめておくこと。
9 回	授業内容：価格設定とその戦略 事前学修：テキスト 131 頁～ 133 頁をよく読んでおくこと。 事後学修：授業の内容をノートに整理し、テキストの該当部分を読んで、授業内容を確認し理解しておくこと。
10 回	授業内容：販売促進 事前学修：配布資料とテキスト 139 頁～ 147 頁をよく読んでおくこと。 事後学修：授業の内容をノートに整理し、テキストの該当部分と配布資料を読んで、授業内容を確認し理解しておくこと。
11 回	授業内容：商流と物流 事前学修：配布資料をよく読んでおくこと。 事後学修：授業の内容をノートに整理し、テキストの該当部分と配布資料を読んで、授業内容を確認し理解しておくこと。
12 回	授業内容：現代の流通特性、流通の変革 事前学修：テキスト 57 頁～ 82 頁をよく読んでおくこと。 事後学修：授業の内容をノートに整理し、テキストの該当部分を読んで、授業内容を確認し理解しておくこと。
13 回	授業内容：時間の概念と商業 事前学修：配布資料、配布データに目を通しておくこと。 事後学修：授業の内容をノートに整理し、指示された配布資料の図やデータをノートに書き写しておくこと。
14 回	授業内容：授業の総復習 事前学修：配布資料の各項目をノートとテキストで確認しておくこと。 事後学修：要点項目として配布資料に挙げたものを、再確認し授業内容をノートに整理しておくこと。
15 回	授業内容：テストと解説 事前学修：配布資料の項目をテキスト、ノートで学習しておくこと。 事後学修：テキストの前期箇所を読み返し、それぞれの当該箇所をノートで確認し、前期の授業内容の全体像を理解すること。

- ◆**教科書** 教材『商学総論 S20100』通信教育教材（教材コード 000356）3,550 円（送料込）  
[当日資料配布] 必要に応じて資料を配布する
- ◆**参考書** 特になし
- ◆**成績評価基準** テスト（40%）、小論文（40%）、平常点（20%） 授業の取り組み、小論文、テストにより総合的に評価します

**注意** E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」  
※ 授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

# 講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

## 〔法学 A〕

## 根本 晋一

- ◆**授業概要** 法（灑）の概念，四大法圏と日本法の沿革，法と法則，法と道徳，法と正義，法と強制，法源（法の存在形式），法令の形式的効力（国法秩序），効力同位の場合の処理 所管事項，後法優位，特別法優位，法の分類，公法と私法など，法解釈の手法（文理，反対，類推，拡張，縮小），法的三段論法などについて学修する。
- ◆**学修到達目標** 法（灑）や法律（法学や法律学）の意義，沿革，機能，主要な法令の種類や内容がわかるようになる。併せて，社会生活において必然的に生起する諸問題の解決策を，法律を通して考えられるようになる。
- ◆**授業方法** 講義形式を採用する。法改正や新判例の追加などにより，シラバス（授業計画）どおりに進まないこともあり得る。板書を多用し，ノートを作らせ，勉強の仕方を教えるので，ノートをしっかりと録取すること。
- ◆**履修条件** 他の担当教員の法学，および根本の法学・後半との積み重ねのみ可。なお，後半を先に履修し，前半を後に履修することも可。
- ◆**授業計画〔各 90 分〕**

1 回	授業内容	GD, 法（灑）という文言，その意味や由来 など
	事前学修	必要なし
	事後学修	その日のうちの板書事項の読み込み
2 回	授業内容	ヨーロッパ大陸法圏，英米法圏，イスラム法圏，中国法圏，日本法の沿革 など
	事前学修	前回授業時の板書事項の再確認
	事後学修	その日のうちの板書事項の読み込み
3 回	授業内容	法と法則，社会規範としての法と道徳の異同 など
	事前学修	前回授業時の板書事項の再確認
	事後学修	その日のうちの板書事項の読み込み
4 回	授業内容	法と正義，自然法，法実証主義，法と強制 など
	事前学修	前回授業時の板書事項の再確認
	事後学修	その日のうちの板書事項の読み込み
5 回	授業内容	法の存在形式（法源），制定法，制定法の意義，制定法の種類 など
	事前学修	前回授業時の板書事項の再確認
	事後学修	その日のうちの板書事項の読み込み
6 回	授業内容	法令の形式的効力（国法秩序） など
	事前学修	前回授業時の板書事項の再確認
	事後学修	その日のうちの板書事項の読み込み
7 回	授業内容	憲法，法律，規則，命令，条例 など
	事前学修	前回授業時の板書事項の再確認
	事後学修	その日のうちの板書事項の読み込み
8 回	授業内容	同位の場合における相互関係，所管事項や法形式の相違による区別 など
	事前学修	前回授業時の板書事項の再確認
	事後学修	その日のうちの板書事項の読み込み
9 回	授業内容	後法優位の原則，特別法優位の原則 など
	事前学修	前回授業時の板書事項の再確認
	事後学修	その日のうちの板書事項の読み込み
10 回	授業内容	法の分類，抵触法と実質法，国際私法，抵触法，公法と私法 など
	事前学修	前回授業時の板書事項の再確認
	事後学修	その日のうちの板書事項の読み込み
11 回	授業内容	公法私法峻別論，市民法・私法領域の形成，私有財産制，実体法と手続法 など
	事前学修	前回授業時の板書事項の再確認
	事後学修	その日のうちの板書事項の読み込み
12 回	授業内容	民事法と刑事法，国内法と国際法 など
	事前学修	前回授業時の板書事項の再確認
	事後学修	その日のうちの板書事項の読み込み
13 回	授業内容	法律解釈の手法，文理，反対，類推，拡張，縮小の各解釈方法 など
	事前学修	前回授業時の板書事項の再確認
	事後学修	その日のうちの板書事項の読み込み
14 回	授業内容	法の適用，法的三段論法，哲学，論理学における三段論法との違い など
	事前学修	前回授業時の板書事項の再確認
	事後学修	その日のうちの板書事項の読み込み
15 回	授業内容	法的三段論法の具体的な適用例，交通事故，医療過誤 など
	事前学修	前回授業時の板書事項の再確認
	事後学修	その日のうちの板書事項の読み込み

- ◆**教科書** 指定しない。
- ◆**参考書** 教材『法学 B11500』通信教育教材（教材コード 000515）3,400 円（送料込）
- ◆**成績評価基準** 全回出席を前提として，筆記試験または当授業終了後に提出するレポートの評価点 80%，授業態度や質疑応答 20%。

**注意** E-mail を送るときは，必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」  
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては，授業終了後に質問を受け付けます。

# 講座内容 (シラバス)

※ 2019年度より授業計画が全 15回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

## 〔英語A〕☆☆☆

マイケル ギルロイ

- ◆**授業概要** To enhance students' reading, listening comprehension, writing skills, grammar, enlarge vocabulary and boost self confidence.
- ◆**学修到達目標** Help students' develop aural and oral fluency through engaging content and practical practices. Units are thematically structured, including topics which appear in daily conversations.
- ◆**授業方法** Students will work individually, in pairs and in groups to complete in class exercises. Activities include reading, writing, listening, role-plays and discussions.
- ◆**授業計画 (各 90 分)**

1回	授業内容: Introductions - Greeting to know each other. 事前学修: Enthusiasm, dictionary, paper and pencil. 事後学修: Will be decided. (W. B. D.)
2回	授業内容: Family and Friends. 事前学修: Homework (H/W), think about "Family" 事後学修: W. B. D.
3回	授業内容: Friends. 事前学修: H/W, think about "Customs" 事後学修: W. B. D.
4回	授業内容: Customs - Japan. 事前学修: H/W 事後学修: W. B. D.
5回	授業内容: Custom - Global. 事前学修: H/W review 事後学修: W. B. D.
6回	授業内容: Education. 事前学修: H/W review 事後学修: W. B. D.
7回	授業内容: Sports 1. 事前学修: H/W review 事後学修: W. B. D.
8回	授業内容: Sports 2. 事前学修: H/W review 事後学修: W. B. D.
9回	授業内容: Work. 事前学修: H/W review 事後学修: W. B. D.
10回	授業内容: Food 1. 事前学修: H/W review 事後学修: W. B. D.
11回	授業内容: Food 2. 事前学修: H/W review 事後学修: W. B. D.
12回	授業内容: Studying English 事前学修: H/W review 事後学修: W. B. D.
13回	授業内容: Health 事前学修: H/W review 事後学修: W. B. D., and course review.
14回	授業内容: Review / Warm up / Test. 事前学修: Study of all topics covered. 事後学修: Brainstorm summer.
15回	授業内容: Summer Topic. 事前学修: Last week's H / W. 事後学修: Have a wonderful summer vacation.

- ◆**教科書** 丸沼『English Listening and Speaking Patterns 2』 Andrew E. Bennett NAN' UN-DO  
2,160円(税込)(送料300円)  
〔当日資料配布〕 Supplementary handouts. Interactive games.
- ◆**参考書** 特になし
- ◆**成績評価基準** Grades will be allocated based on attendance, participation, completed assignments and a final exam.

### 注意

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例:「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」  
※授業相談(連絡先)に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

## 〔スピーチコミュニケーションⅠ〕

アレックス ブラウン

◆**授業概要** This course is based on a topic based syllabus where students will learn vocabulary, language structures and functions commonly used with each topic. Students will perform activities using the language covered, such as group tasks or role plays. The course is open to all students and the language and activities are set for pre-Intermediate levels.

◆**学修到達目標** This course is aimed at improving communication skills with a focus on speaking and listening. Efforts will be directed at using English in a natural context. Grades will be based on participation, a writing and speaking test.

◆**授業方法** Each class, the instructor will give instructions and examples to follow as each topic is introduced. Students will prepare for their tasks in the aim of executing the goal for that day. Individual style vocabulary learning will take place from time to time. A majority of the time will be spent communicating with other students using the material covered in class.

### ◆授業計画〔各 90 分〕

1 回	授業内容	Welcome to Speech Communication 1
	事前学修	The course outline will be introduced followed by class introductions.
	事後学修	Study class language from the handouts given.
2 回	授業内容	Prepare to greet students and ask and answer icebreaking questions.
	事前学修	Students will gather information from each other by walking around asking questions.
	事後学修	Go over the notes given for Topic 1.
3 回	授業内容	Topic 1 relates to verb structures within the day to day language of one's daily routines.
	事前学修	Students will listen to audio, fill in the blanks of conversation and practice the role play.
	事後学修	Complete exercises given for homework.
4 回	授業内容	Prepare to give your homework answers in class.
	事前学修	The aim of the lesson is to conduct a survey with the question forms already covered.
	事後学修	Prepare general findings from the survey you've conducted.
5 回	授業内容	Prepare for verbalizing a report of the previous day's survey.
	事前学修	Students will report the findings of the survey in a group and will continue a general discussion on movies.
	事後学修	Research the questions given about movies.
6 回	授業内容	Search IMDB files on The Story of Ned Kelly.
	事前学修	Students will change verbs to their past tense. Listen to a recording of a 2 paragraph story and fill in the blanks with those words.
	事後学修	Finish the homework activity as a follow-up for today's lesson.
7 回	授業内容	Review your notes on character-driven stories.
	事前学修	Topic 2 continues with phrasal verbs and creating short stories with said verbs.
	事後学修	Practice saying Story A and Story B aloud.
8 回	授業内容	Prepare for the warm up activity, "the best part of my day was..."
	事前学修	The aim of the lesson is to learn about plot points and using these ideas to create stories to be verbalized to the group.
	事後学修	Research information for your Movie Report.
9 回	授業内容	Prepare your Movie Report plot for teacher-approval.
	事前学修	Discuss Movie Report questions in groups.
	事後学修	Finish the Movie Report due next class.
10 回	授業内容	Prepare your Movie Report for submission. The value is 10% of the class mark.
	事前学修	Movie Reports will be verbally presented in a group of three. Students are expected to take notes while listening.
	事後学修	Review notes for the next class, Topic 3, Personality.
11 回	授業内容	Study the required personality vocabulary.
	事前学修	Students are expected know and use the targeted language in order to talk about people they know.
	事後学修	Prepare questions for an in-class survey.
12 回	授業内容	Study Appearance vocabulary.
	事前学修	Listen to the role play and fill in the missing dialogue. Role play it with a partner.
	事後学修	Review notes on Appearance.
13 回	授業内容	Prepare to brainstorm your vocabulary in a group.
	事前学修	Conduct a question and answer form about Appearance and Personality.
	事後学修	Prepare all of the term's notes for review.
14 回	授業内容	Have all of your notes in time order so you can easily complete the term review provided.
	事前学修	The teacher will give you a review guide to help you prepare for next class' exams.
	事後学修	Study for your respective tests.
15 回	授業内容	Prepare your answers for the speaking test.
	事前学修	Speaking and writing classes will be given.
	事後学修	Look forward to a successful grade.

◆**教科書** No textbook is required. Students will be provided handouts each week.

◆**参考書** None

◆**成績評価基準** Grades will be based on participation, a final exam and a group speaking test.

**注意** E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」  
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

# 講座内容 (シラバス)

※ 2019年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

## 〔史学概論〕

高綱 博文

- ◆**授業概要** 歴史学という学問の性格及び目的を明らかにし、また歴史学の歴史(史学史)を講述する。それらを通して激動する現代世界に対応するために現在進行しつつある歴史学の革新について学び、「新しい歴史学」のあり方について考える。
- ◆**学修到達目標** 歴史学という学問の性格及び目的を明らかにし、また歴史学を学んでいく上で必要な史学史的な知識を学修する。
- ◆**授業方法** 歴史学の目的・成立及び展開について論述し、授業中に配布した資料を解説しながら行う。
- ◆**授業計画〔各 90 分〕**

1 回	授業内容: 歴史とは何か (ガイダンス) 事前学修: 参考書『歴史学ってなんだ?』を読んでくること。 事後学修: 授業内容の要点を確認しておくこと。
2 回	授業内容: 「歴史」という言葉 事前学修: 「歴史」という言葉を調べておくこと。 事後学修: 授業内容の要点を確認しておくこと。
3 回	授業内容: 歴史学とは何か① (歴史学の約束ごと) 事前学修: 配布資料を予め学修しておくこと。 事後学修: 授業内容の要点を確認しておくこと。
4 回	授業内容: 歴史学とは何か② (歴史学は科学か) 事前学修: 配布資料を予め学修しておくこと。 事後学修: 授業内容の要点を確認しておくこと。
5 回	授業内容: 歴史学とは何か③ (歴史学と目的と効用) 事前学修: 配布資料を予め学修しておくこと。 事後学修: 授業内容の要点を確認しておくこと。
6 回	授業内容: 歴史学とは何か④ (歴史認識について) 事前学修: 配布資料を予め学修しておくこと。 事後学修: 授業内容の要点を確認しておくこと。
7 回	授業内容: 近代歴史学の成立① (マキャヴェリの歴史意識) 事前学修: 配布資料を予め学修しておくこと。 事後学修: 授業内容の要点を確認しておくこと。
8 回	授業内容: 近代歴史学の成立② (啓蒙の歴史学) 事前学修: 配布資料を予め学修しておくこと。 事後学修: 授業内容の要点を確認しておくこと。
9 回	授業内容: 近代歴史学の成立④ (ランケ史学の誕生) 事前学修: 配布資料を予め学修しておくこと。 事後学修: 授業内容の要点を確認しておくこと。
10 回	授業内容: 近代歴史学の成立⑤ (マルクス主義歴史学) 事前学修: 配布資料を予め学修しておくこと。 事後学修: 授業内容の要点を確認しておくこと。
11 回	授業内容: 近代歴史学の成立⑥ (歴史学から社会学へ) 事前学修: 配布資料を予め学修しておくこと。 事後学修: 授業内容の要点を確認しておくこと。
12 回	授業内容: 現代歴史学の展開① (アナル学派・社会史研究の登場) 事前学修: 配布資料を予め学修しておくこと。 事後学修: 授業内容の要点を確認しておくこと。
13 回	授業内容: 現代歴史学の展開② (ナショナル・ヒストリーを超えて) 事前学修: 配布資料を予め学修しておくこと。 事後学修: 授業内容の要点を確認しておくこと。
14 回	授業内容: 戦後日本の歴史学について考える。 事前学修: 配布資料を予め学修しておくこと。 事後学修: 授業内容の要点を確認しておくこと。
15 回	授業内容: まとめ、試験 事前学修: 授業内容の要点を確認し、試験準備をしておくこと。 事後学修: 歴史学とは何かを確認しておくこと。

- ◆**教科書** 授業時間中に適宜、資料を配布します。
- ◆**参考書** **【教材】**『史学概論 Q30100』通信教育教材(教材コード 000574) 1,550 円(送料込)  
〈この教材は市販の『歴史学ってなんだ?』小田中直樹著 (PHP 研究所) と同一です。〉  
**【丸沼】**『史学概論』 遅塚忠躬 東京大学出版会 7,344 円(税込)(送料 500 円)
- ◆**成績評価基準** 試験 (70%)、レポート (30%)。

### 注意

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例:「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」  
※ 授業相談 (連絡先) に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

# 講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

## 〔中国経済論〕

崔 晨

◆**授業概要** 中国は改革開放政策から 40 年間、中国の経済は高成長を続けてきた。この高成長の背景には中国の特徴のある社会や経済システム、政策の実施などによるものがある。本講義では中国の経済発展の歩み、産業の発展における政府や企業の役割、経済発展を制約する要因などを中心に取り挙げる。

◆**学修到達目標** 本講義では中国経済を中心に、中国経済の特徴や現状と課題について理解することを目的とする。また経済問題の背景にある社会的、政治的な側面にも留意することで、包括的な理解を試みる。

◆**授業方法** 講義は配布資料とパワーポイントに沿って進める。授業を解りやすく理解するため、映像や写真などを取り入れることもあります。

### ◆授業計画〔各 90 分〕

1 回	授業内容：中国経済への招待 事前学修：教科書の 1-13 ページの内容を予習すること 事後学修：授業内容を整理し、理解しておくこと。
2 回	授業内容：20 世紀の中国経済 事前学修：教科書の 17-37 ページの内容を予習すること 事後学修：授業内容を整理し、理解しておくこと。
3 回	授業内容：社会主義の模索と市場経済化 事前学修：教科書の 39-57 ページの内容を予習すること 事後学修：授業内容を整理し、理解しておくこと。
4 回	授業内容：農業・農村・農民（三農問題） 事前学修：教科書の 61-76 ページの内容を予習すること 事後学修：授業内容を整理し、理解しておくこと。
5 回	授業内容：企業体制改革とその行方 事前学修：教科書の 79-98 ページの内容を予習すること 事後学修：授業内容を整理し、理解しておくこと。
6 回	授業内容：地域発展戦略と産業・人口の集積 事前学修：教科書の 101-117 ページの内容を予習すること 事後学修：授業内容を整理し、理解しておくこと。
7 回	授業内容：財政制度改革と中央—地方関係 事前学修：教科書の 119-135 ページの内容を予習すること 事後学修：授業内容を整理し、理解しておくこと。
8 回	授業内容：世界最大の資本大国の金融システム 事前学修：教科書の 137-155 ページの内容を予習すること 事後学修：授業内容を整理し、理解しておくこと。
9 回	授業内容：貧困、失業及び所得格差 事前学修：教科書の 159-179 ページの内容を予習すること 事後学修：授業内容を整理し、理解しておくこと。
10 回	授業内容：人口と社会保障 事前学修：教科書の 183-200 ページの内容を予習すること 事後学修：授業内容を整理し、理解しておくこと。
11 回	授業内容：エネルギー問題 事前学修：教科書の 203-220 ページの内容を予習すること 事後学修：授業内容を整理し、理解しておくこと。
12 回	授業内容：経済発展と多様化する環境問題 事前学修：教科書の 223-238 ページの内容を予習すること 事後学修：授業内容を整理し、理解しておくこと。
13 回	授業内容：対外貿易と直接投資 事前学修：教科書の 241-256 ページの内容を予習すること 事後学修：授業内容を整理し、理解しておくこと。
14 回	授業内容：香港・台湾の経済と中国との関係 事前学修：教科書の 259-275 ページの内容を予習すること 事後学修：授業内容を整理し、理解しておくこと。
15 回	授業内容：試験及び前期のまとめ 事前学修：前期の内容を予習すること 事後学修：授業内容を整理し、理解して、中国経済を再確認すること。

◆**教科書** 丸沼『現代中国経済論』梶谷懐・藤井大輔編著 第 2 版第 1 刷発行 ミネルヴァ書房 2018/05/10 3,456 円（税込）（送料 350 円）

◆**参考書** 丸沼『中国・新興国ネクサス』末廣昭・田島俊雄・丸川知雄編 東京大学出版社 2018/12/20 5,400 円（税込）（送料 500 円）

丸沼『中国経済はどう変わったか：改革開放以後の経済制度と政策を評価する』中兼和津次編集 国際書院 2014/02/01 5,184 円（税込）（送料 500 円）

丸沼『現代中国を知るための 44 章』藤野彰・曾根康雄著 明石書店 2016/12/31 2,160 円（税込）（送料 300 円）

◆**成績評価基準** 出席率と授業態度及び期末テストの成績により総合的に評価します。

### 注意

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」  
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

# 講座内容 (シラバス)

※ 2019年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

## (広告論)

雨宮 史卓

- ◆**授業概要** 広告及び宣伝, PR, プロモーション等の意義を理解し, マーケティング戦略の中でいかにこれらが機能しているかを学ぶ。また, 広告戦略についても考察し, 広告が様々な企業組織や生活者の間に存在するコミュニケーション活動であることを理解する。
- ◆**学修到達目標** 1 広告の基本的機能と役割が理解できる。  
2 広告及び宣伝, PR, プロモーション等の意義を理解し, マーケティング戦略の中でこれらが, どのように機能しているかを説明できる。
- ◆**授業方法** ターン前半はテキストに沿いながら広告の基本機能を解説し, 後半は必要に応じて資料を配布して企業の広告戦略を解説する。また, 各授業の後半で, その日の主要なテーマに関するリアクション・ペーパー (小論文) の提出を求める。
- ◆**履修条件** 後期広告論の継続受講が望ましい。
- ◆**授業計画 [各 90 分]**

1 回	授業内容: 授業の進め方 オリエンテーション 広告とは何か? 事前学修: テキスト 31 ~ 34 頁の広告コミュニケーションの基本的考え方をよく読んでおくこと。 事後学修: 授業の内容をノートに整理し, 教科書の該当部分と配布資料を読んで, 授業内容を確認し理解しておくこと。
2 回	授業内容: 広告の基本的機能と役割 事前学修: テキストの「序にかえて」の部分を予め読んでおくこと。 事後学修: 配布資料をノートにまとめ, テキストの序章を要約しておくこと。
3 回	授業内容: マーケティング戦略とプロモーション戦略 事前学修: テキスト 36 頁の図表を見て, マーケティングとプロモーションの関係を把握しておくこと。 事後学修: テキストの図表と配布資料の図表を見比べて, その内容をノートに整理しておくこと。
4 回	授業内容: プロモーション戦略と広告 事前学修: 前回の授業のノートと配布資料を確認し, テキスト 36 ~ 38 頁をよく読んでおくこと。 事後学修: 授業の内容をノートに整理し, 教科書の該当部分と配布資料を読んで, プロモーション戦略の種類とその内容を確認しておくこと。
5 回	授業内容: 製品・サービスの違いと広告 事前学修: 前回の授業のノートを確認し, テキスト 81 ~ 85 頁をよく読んでおくこと。 事後学修: 授業の内容をノートに整理し, 有形財と無形財の違いを理解しておくこと。
6 回	授業内容: 製品ライフ・サイクルと広告戦略 事前学修: 前回の授業のノートを確認し, テキスト 85 ~ 95 頁をよく読んでおくこと。 事後学修: 授業の内容をノートに整理し, 教科書の該当部分を読んで, 授業内容を確認し理解しておくこと。
7 回	授業内容: データ分析と広告露出 事前学修: 前回の授業のノートを確認しつつ, 配布資料のデータに目を通しておくこと。 事後学修: 授業の内容をノートに整理し, 定量データと定性データの違いや, その内容を理解しておくこと。
8 回	授業内容: 日用品の広告戦略 事前学修: 前回の授業のノートを確認し, テキスト 49 ~ 57 頁をよく読んでおくこと。 事後学修: 授業の内容をノートに整理し, コモディティ製品の特徴を理解し, 配布資料の事例を確認しておくこと。
9 回	授業内容: 高価格製品の広告戦略 事前学修: 前回の授業のノートを確認し, テキスト 39 ~ 46 頁をよく読んでおくこと。 事後学修: 授業の内容をノートに整理し, 教科書の該当部分を読んで, 授業内容を確認し理解しておくこと。
10 回	授業内容: 商品ベネフィットと広告 事前学修: 前回の授業のノートを確認し, 配布資料に目を通しておくこと。 事後学修: 授業の内容をノートに整理し, 配布資料における「消費者シグナル」の概念を整理しておくこと。
11 回	授業内容: 広告コミュニケーションと経験価値 事前学修: 前回の授業のノートを確認し, テキスト 65 ~ 68 頁をよく読んでおくこと。 事後学修: 授業の内容をノートに整理し, テキスト 68 頁の図表をノートに書き写しておくこと。
12 回	授業内容: 広告会社と広告ビジネス 事前学修: 前回の授業のノートを確認し, 配布資料に目を通しておくこと。 事後学修: 授業の内容をノートに整理し, 広告会社の役割・機能を理解しておくこと。
13 回	授業内容: 広告の効果測定 事前学修: 前もって配布資料を確認しておくこと。また, 前期終了が近いので今までのノートを再確認すること。 事後学修: 授業の内容をノートに整理し, 教科書の該当部分を読んで, 授業内容を確認し理解しておくこと。
14 回	授業内容: 前期授業の総まとめ 事前学修: 予め配布された資料を熟読し, テキスト該当箇所を事前にノートにまとめておくこと。 事後学修: 要点項目として配布資料に挙げたものを, 再確認し授業内容をノートに整理しておくこと。
15 回	授業内容: テストと解説 事前学修: 前回の授業内で指摘した広告戦略の事例を, 前もって調べておくこと。 事後学修: 授業内容を確認・理解して, 自身が調べた広告戦略の事例が適切かどうかを再確認すること。

- ◆**教科書** 教材 『広告論 S30900』 通信教育教材 (教材コード 000538) 2,450 円 (送料込)  
(この教材は市販の『ブランド・コミュニケーションと広告』雨宮史卓著 (八千代出版) と同一です。)  
(当日資料配布) 必要に応じて当日, 資料を配布する
- ◆**参考書** 特になし
- ◆**成績評価基準** テスト (40%), 小論文 (40%), 平常点 (20%) 授業の取り組み, 小論文, テストにより総合的に評価します。

**注意** E-mail を送るときは, 必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例:「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」  
※ 授業相談 (連絡先) に記載のない講座においては, 授業終了後に質問を受け付けます。

# 講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

## 〔哲学A〕

江川 晃

◆**授業概要** 私たちの生きるこの世界は、モバイル、インターネット、TV など科学・技術により支えられている。問題は、それらが人類の幸福に役立つという本来の目的を忘れ、我が物顔で幅を利かしていることにある。いま、私たちは、経済至上主義に基づく科学・技術崇拝に偏らず、科学・技術を社会的かつ個人的にコントロールする「哲学力」を養う必要がある。

◆**学修到達目標** 哲学と宗教と科学の発展とそれらの深い関係を把握し、現代哲学である「プラグマティズム」と「科学哲学」を理解することにより、創造的に生き抜く視点（哲学力）を持つことができるようになる。

◆**授業方法** プリントとパワポとビデオによる講義。感想・意見・質問ペーパーを講義の最後に提出のこと。次回、それをもとに、対話をしながら授業を進めていきたい。

### ◆授業計画〔各 90 分〕

1 回	授業内容：ガイダンス：哲学とは何か（語源と意味） 事前学修：テキスト 10～12 頁の哲学の始まりについてよく読んでおくこと。 事後学修：配布されたパワポを復習すること。
2 回	授業内容：ギリシャの哲学（自然哲学とソクラテス） 事前学修：テキスト 13～18 頁の自然哲学について読んでおくこと。 事後学修：配布プリントで復習する。
3 回	授業内容：プラトンとアリストテレス（イデア論と存在論） 事前学修：テキスト 24～25 頁を読んでおくこと。 事後学修：配布プリントで復習する。
4 回	授業内容：中世の哲学と科学革命 事前学修：テキスト 106～107 頁を読んでおくこと。 事後学修：配布プリントで復習する。
5 回	授業内容：近世哲学（デカルトと心身問題） 事前学修：テキスト 114～115 頁を読んでおくこと。 事後学修：配布プリントで復習する。
6 回	授業内容：現代アメリカの哲学（プラグマティズム） 事前学修：配布プリントを読んで、プラグマティズムについて知っておくこと。 事後学修：配布プリントで復習する。
7 回	授業内容：パースの探究の理論（疑念から信念へ） 事前学修：配布プリントを読んで、探究について学んでおくこと。 事後学修：配布プリントで復習する。
8 回	授業内容：信念を固める 4 つの方法 事前学修：配布プリントで、4 つの信念の固め方を学んでおくこと。 事後学修：配布プリントで復習する。
9 回	授業内容：意味とは効果・結果である 事前学修：プラグマティズムの格率について、テキスト 130～131 頁を読んでおくこと。 事後学修：配布プリントで復習する。
10 回	授業内容：科学哲学（ウィットゲンシュタインの哲学） 事前学修：テキスト 151～152 頁を読んでおくこと。 事後学修：配布プリントで復習する。
11 回	授業内容：論理実証主義（科学と宗教の境はあるか） 事前学修：テキスト 153～154 頁を読んでおくこと。 事後学修：配布プリントで復習する。
12 回	授業内容：言語行為論 事前学修：テキスト 160～162 頁を読んでおくこと。 事後学修：配布プリントで復習する。
13 回	授業内容：心の哲学（脳と心は同じか） 事前学修：配布プリントで予習する。 事後学修：配布プリントで復習する。
14 回	授業内容：ロボットに心は芽生えるか（機能主義） 事前学修：配布プリントで予習する。 事後学修：配布プリントで復習する。
15 回	授業内容：試験および解説 事前学修：前回の試験コメントに基づき、学習しておくこと。 事後学修：配布資料を基に復習すること。

◆**教科書** 教材『哲学 B10700』通信教育教材（教材コード 000404）3,650 円（送料込）  
〈この教材は市販の『西洋思想の要諦周覧』嘉吉純夫・斎藤隆編著（北樹出版）と同一です。〉  
〔当日資料配布〕パワポ資料

◆**参考書** なし

◆**成績評価基準** 試験（90%）、参加度（10%）

**注意** E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」  
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。



## 講座内容 (シラバス)

※ 2019年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

## 〔文化史A〕

渡邊 浩史

- ◆**授業概要** はじめに原始から古代までの各時代の文化の外観を各々述べた上で、各論的にいくつかのトピックについて講義する。
- ◆**学修到達目標** 現在の日本においてサブカルチャーといわれているマンガ・アニメだが、実はその表現方法や内容は日本の伝統文化の影響を脈々と受け継いでいる。日本の各時代の文化を考察することによって、それが現在のマンガ・アニメにどのように反映しているのかを理解できるようにする。そして、一見過去と断絶しているかのように見える現代の我々の生活が、いかに過去と密接に関わっているのかを理解できるようにする。
- ◆**授業方法** 授業は講義形式で行う。適宜プリントやDVDなどを使用し、受講生の理解の一助とする。なおシラバスはあくまで予定であり、最新の研究成果を反映させるなどの場合は変更する可能性もある。
- ◆**授業計画〔各 90 分〕**

1 回	授業内容：はじめに 近代文化とアニメ 事前学修：高校日本史教科書などで予習しておくこと 事後学修：授業内容を自分でまとめること
2 回	授業内容：古代の文化（旧石器～古墳文化までの概要） 事前学修：高校日本史教科書などで当該事項を予習しておくこと 事後学修：授業内容を自分でまとめること
3 回	授業内容：古代の文化（飛鳥～国風文化までの概要） 事前学修：高校日本史教科書などで当該事項を予習しておくこと 事後学修：授業内容を自分でまとめること
4 回	授業内容：縄文・弥生文化 事前学修：高校日本史教科書などで当該事項を予習しておくこと 事後学修：授業内容を自分でまとめること
5 回	授業内容：古墳文化（前方後円墳の形と古墳文化） 事前学修：高校日本史教科書などで当該事項を予習しておくこと 事後学修：授業内容を自分でまとめること
6 回	授業内容：古墳文化（死者の行方） 事前学修：高校日本史教科書などで当該事項を予習しておくこと 事後学修：授業内容を自分でまとめること
7 回	授業内容：仏教文化（日本仏教） 事前学修：高校日本史教科書などで当該事項を予習しておくこと 事後学修：授業内容を自分でまとめること
8 回	授業内容：仏教文化（極楽浄土を求めて） 事前学修：高校日本史教科書などで当該事項を予習しておくこと 事後学修：授業内容を自分でまとめること
9 回	授業内容：仏教文化（お水取り） 事前学修：高校日本史教科書などで当該事項を予習しておくこと 事後学修：授業内容を自分でまとめること
10 回	授業内容：怪異（怪異から怪異へ、御霊信仰） 事前学修：高校日本史教科書などで当該事項を予習しておくこと 事後学修：授業内容を自分でまとめること
11 回	授業内容：怪異（穢れへの怖れ） 事前学修：高校日本史教科書などで当該事項を予習しておくこと 事後学修：授業内容を自分でまとめること
12 回	授業内容：かぐや姫（かぐや姫とは） 事前学修：高校日本史教科書などで当該事項を予習しておくこと 事後学修：授業内容を自分でまとめること
13 回	授業内容：かぐや姫（月と極楽浄土） 事前学修：高校日本史教科書などで当該事項を予習しておくこと 事後学修：授業内容を自分でまとめること
14 回	授業内容：かぐや姫（富士山） 事前学修：高校日本史教科書などで当該事項を予習しておくこと 事後学修：授業内容を自分でまとめること
15 回	授業内容：まとめと試験 事前学修：これまでの授業内容をまとめておくこと 事後学修：授業と試験内容を自分でまとめること

- ◆**教科書** 〔当日資料配布〕教科書は使用しない。適宜授業中に資料プリントを配布する。
- ◆**参考書** 適宜授業中に指示する。
- ◆**成績評価基準** 平常点 20%、試験 80%

## 注意

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」  
※ 授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

# 講座内容 (シラバス)

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

## 〔英語 B〕 ★☆☆

アレックス ブラウン

◆**授業概要** Students will have the chance to listen to conversations and model them in various role play situations. Through these practices they will be able to share their own information and listen to new answers and ideas given by their peers. Students will be asked to hand in class work from time to time.

◆**学修到達目標** This course is aimed at giving students the tools and the opportunity to speak with other students in a friendly setting. We hope to build confidence while using English communication through practice of discussing a wide range of topics.

◆**授業方法** The teacher will provide a model of conversation to be followed. Questions will be explained and example answers will be given for each question. Students will interview at least two partners on the daily topic's questions. Students will also work with others to perform various role-plays.

### ◆**授業計画 (各 90 分)**

1 回	授業内容: Bring a folder for handouts and some writing materials. 事前学修: Topic 1: Food, Friends and Family. Orientation and Food Q n A. 事後学修: Read aloud the role play given in class.
2 回	授業内容: Prepare your answers for the topic, Friends. 事前学修: Listen to the role play about Friends. Ask and give answers to the Qs. 事後学修: Read aloud the role play given in class.
3 回	授業内容: Prepare your answers for the topic, Family. 事前学修: Vocabulary such as appearance and personality will be learned and used in Q n A. 事後学修: Read aloud the role play given in class on best friends.
4 回	授業内容: Prepare your answers for the topic, Friends. 事前学修: A discussion about friends will be held in groups of 3 using past and present tenses. 事後学修: Read aloud the role play given in class on Travel.
5 回	授業内容: Prepare your answers for Topic 2: Travel, Transportation and Vacation 事前学修: Listen to the role play, fill in the blanks, practice with a partner. 事後学修: Read aloud the role play given in class about Travel.
6 回	授業内容: Prepare your answers for the topic, Transportation. 事前学修: Complete the vocabulary match for Mr. Baker's business trip. 事後学修: Read aloud the role play given in class on Mr. Baker.
7 回	授業内容: Prepare your answers for the topic, Vacation. 事前学修: Using the worksheet entitled, Day Trips work through the grammar and speaking activities. 事後学修: Read aloud the role play given in class about Vacations.
8 回	授業内容: Prepare your answers for the new topic #3 Work and Money.. 事前学修: Listen, verbalize and pronounce in the activity about Money. 事後学修: Read aloud the role play given in class.
9 回	授業内容: Prepare your answers for the topic, Work.. 事前学修: Discuss using 'can', 'have to' and 'must' with regard to various jobs. 事後学修: Review the vocabulary about jobs and careers.
10 回	授業内容: Prepare your answers for the Job Interview questions. 事前学修: Listen, fill in the vocab and practice the role play on interviewing. 事後学修: Read aloud the role play given in class.
11 回	授業内容: Prepare your answers for the new topic #4 Shopping/ Fashion. 事前学修: Answer the questions and interview your partner. 事後学修: Read aloud the role play given in class.
12 回	授業内容: Prepare your answers for the topic, Fashion and the Famous. 事前学修: The goal is to discuss fashion trends in the now and model vocabulary 事後学修: Look at the choices for your Group Presentation and prepare.
13 回	授業内容: Have a written report prepared on a topic of your choice. 事前学修: Verbalize your report in a group of three people. 事後学修: Review the Test Preparation sheet given.
14 回	授業内容: Prepare to ask questions regarding the final test. 事前学修: Test on all topics. Multiple choice and prepare your short essay question. 事後学修: Study for the test.
15 回	授業内容: Be in confident that you will do well in the test. 事前学修: Final Test 事後学修: Congratulations on a job well done.

◆**教科書** No textbook is needed. Students will be given handouts.

◆**参考書** None

◆**成績評価基準** Class participation and class work submission will be a large part of the grade. A final exam will be given on the last day.

**注意** E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例:「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」  
※授業相談 (連絡先) に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

# 講座内容 (シラバス)

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

## 〔国文学特殊講義 I・II〕

近藤 健史

◆**授業概要** 北海道をめざした宮沢賢治と石川啄木の旅と作品について講義する。具体的には、北海道という風土は、賢治と啄木の文学にどのような影響を与えているのか。また、妹トシの死後に訪れた賢治、故郷を追われて漂泊した啄木、二人はなぜ「北」をめざしたのか。受講生とディスカッションし、旅程に従いながら作品を読み解く。

◆**学修到達目標** 文学作品を読み解くうえで必要な基礎的知識や方法を学修し、文学への接し方を身につけ、文学作品を理解する力として役立てることを目標とする。

◆**授業方法** 基本的には、講義形式であるが、作品を読み解くときにはディスカッションをして理解を深める。

### ◆**授業計画〔各 90 分〕**

1 回	授業内容：授業の進め方、文学作品を読み解くとは何かなどについて講義する。 事前学修：北海道の歴史について調べておくこと。 事後学修：授業計画について確認しておくこと。
2 回	授業内容：北海道の文学的風土について講義する。 事前学修：北海道の気候・風土について調べておくこと。 事後学修：北海道の地図で、授業内容で出た地名などを確認しておくこと。
3 回	授業内容：北海道を訪れた文学者たちと作品の特徴について講義する。 事前学修：北海道ゆかりの文学者たちや作品について調べておくこと。 事後学修：授業内容、配布資料などを確認し、理解を深めておくこと。
4 回	授業内容：宮沢賢治の人と文学について講義する。 事前学修：年表などで、賢治の生涯と作品を調べておくこと。 事後学修：事前学修と授業内容について確認して、理解を深めること。
5 回	授業内容：賢治の北海道の旅と妹トシの関わりについて講義する。 事前学修：妹トシについて調べておくこと。 事後学修：賢治の北海道の旅程と作品について確認しておくこと。
6 回	授業内容：詩集『春と修羅』における北海道挽歌詩群について講義する。 事前学修：図書館などで『春と修羅』の北海道の詩を読んでおくこと。 事後学修：事前学修と授業内容を確認し、理解を深めておくこと。
7 回	授業内容：『春と修羅』の挽歌詩を読み解く。 事前学修：図書館で『春と修羅』の挽歌詩を読んでおくこと。 事後学修：詩の内容について確認し、理解を深めておくこと。
8 回	授業内容：『春と修羅 第二集』の詩を読み解く。 事前学修：修学旅行の日程について調べ、『春と修羅 第二集』を読んでおくこと。 事後学修：作品の内容について確認して、理解を深めておくこと。
9 回	授業内容：北海道修学旅行における作品を読み解く。 事前学修：教師時代の賢治について調べておくこと。 事後学修：旅程と作品を対応させ、理解を深めておくこと。
10 回	授業内容：石川啄木の人と作品について講義する。 事前学修：参考図書などで、啄木の生涯について調べておくこと。 事後学修：生涯と作品について確認し、理解を深めておくこと。
11 回	授業内容：啄木の北海道漂泊の行程と作品について講義する。 事前学修：地図で、北海道の地理について確認しておくこと。 事後学修：参考にあげた歌集などで、北海道における作品を調べておくこと。
12 回	授業内容：北海道内を旅する作品・函館の歌を読み解く。 事前学修：啄木の函館の歌を読んでおくこと。 事後学修：事前学修と授業内容について確認し、理解を深めること。
13 回	授業内容：北海道を旅する作品・札幌の歌と小説を読み解く。 事前学修：啄木の札幌の作品を読んでおくこと。 事後学修：事前学修と授業内容について確認して、理解を深めること。
14 回	授業内容：北海道を旅する作品・小樽・釧路の作品を読み解く。 事前学修：啄木の札幌・小樽・釧路の歌を読んでおくこと。 事後学修：事前学修と授業内容について確認して、理解を深めること。
15 回	授業内容：まとめ、試験 事前学修：これまでの授業を振り返って、内容を確認しておくこと。 事後学修：賢治と啄木にとっての北海道、風土と作品の関係を確認しておくこと。

◆**教科書** その都度、資料を配布する。

◆**参考書** 丸沼『石川啄木入門』池田功 桜出版社 1,296 円 (税込) (送料 300 円)  
『年表作家読本 宮沢賢治』山内修 河出書房新社  
(上記の本は品切れのため、図書館等を利用してください。)  
丸沼『新編 啄木歌集』久保田正文 岩波文庫 1,026 円 (税込) (送料 300 円)

◆**成績評価基準** 試験 80%、ディスカッション 20%

### 注意

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」  
※ 授業相談 (連絡先) に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

# 講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

## 〔日本史演習 I・II〕

鍋本 由徳

◆**授業概要** 史学専攻生に必要な技能に史料読解と論文作成があります。論文を作成するためには、論文の構成や書き方を知る必要があります。本演習では、事前学修を踏まえて、課題設定・作業・報告をおこない、論文読解に必要な知識・技術、卒論に向かう姿勢の修得をめざします。学修効果を高めるため、後期継続受講が望ましい。

◆**学修到達目標** 1. 論文検索・目録作成・アウトライン作成の技術を身につける。  
2. 論文を読む際に必要な、文章読解のための知識と技術を身につける。  
3. 日本史に関わる卒業論文作成技術を修得するための、基本的技術を身につける。

◆**授業方法** 個人作業とグループワーク（G）の併用です。事前学修で作成したシートを使って授業をおこないますので、事前学修なしでの参加はできません。学生同士の相互評価などを踏まえ、最終課題の完成をめざします。

### ◆授業計画〔各 90 分〕

1 回	授業内容	日本史演習の計画と到達目標 本授業の目的と学修目標について説明します。
	事前学修	シラバスを熟読し、自身の学修到達目標を考えておく。
	事後学修	授業方針を踏まえて、事前に考えた目標を修正し、学修方針を立てる。
2 回	授業内容	日本史研究に必要なスキル（1） 文献の区分 文献をレベルに応じて区分し、取捨選択する基準を考えます。
	事前学修	事前シートに記されている文献を区分する課題に取り組む。
	事後学修	誤った箇所を重点的に復習し、間違いなく区分できるまで繰り返す。
3 回	授業内容	日本史研究に必要なスキル（2） 文献の検索と選択 効率の良い文献検索法と、利用すべきツールについて学びます。
	事前学修	事前シートに記されている文献検索に関わる課題に取り組む。
	事後学修	自身の研究テーマに即した文献を検索し、文献一覧を作成してみる。
4 回	授業内容	日本史研究に必要なスキル（3） 論文の構成を知る 論文がどのように構成されているのかを配付資料をもとに学びます。
	事前学修	事前配布論文を読み、事前シートに記された課題に取り組む。
	事後学修	自身の研究テーマに関わる論文について、その構成をまとめてみる。
5 回	授業内容	日本史研究に必要なスキル（4） アウトラインを確認する。 論文を要約し、論文全体の流れを確認する技術を学びます。
	事前学修	配付論文の流れをまとめ、事前シートの課題に取り組む。
	事後学修	グループで討論した結果を踏まえ、もう一度アウトラインを作成する。
6 回	授業内容	先行研究に対する姿勢（1） なぜ先行研究が重要なのか 卒業論文を学術的に位置づけるための初歩について学びます。
	事前学修	配付論文の学説史を熟読し、著者の先行研究への評価をまとめておく。
	事後学修	自身の研究テーマに関わる先行研究について調べてリストアップする。
7 回	授業内容	先行研究に対する姿勢（2） 先行研究を系統立てて整理する。カードを使って、先行研究の論点整理の方法を考えます。
	事前学修	事前配布プリントを熟読し、当日の作業のイメージを作っておく。
	事後学修	自身の研究テーマに関するキーワードを考え、論文を分類する。
8 回	授業内容	論文要旨を作成する（1） 文章を書くための準備 論文の一部を要約し、グループ内で比較検討し、相互評価します。
	事前学修	事前に指定された章・節の要約文を作成して、当日に討論に備えておく。
	事後学修	当日の討論などを踏まえて、改めて指定章・節の要約文を作成する。
9 回	授業内容	論文要旨を作成する（2） 文章を書くための整理 論文全体の主張を抽出し、章節ごとの主張をひとつにまとめます。
	事前学修	事前配布プリントに記入し、当日の討論に備えておく。
	事後学修	章・節ごとの要旨の記述バランスに注意し、その主張の筋道をまとめる。
10 回	授業内容	論文要旨を作成する（3） 文章を書く 論文全体の要旨を推敲し、その著者の主張について討論します。
	事前学修	課題論文の全体要旨を文章化して、授業に備える。
	事後学修	グループで討論した結果を踏まえ、再修正をおこなう。
11 回	授業内容	史実に対する根拠を検証する（1） 歴史資料の抽出 課題論文で使われている歴史資料を一覧にします。
	事前学修	注釈から歴史資料を抜き出し、事前配布プリントに記入しておく。
	事後学修	グループで討論した結果を踏まえ、複数の論文のカードを作成する。
12 回	授業内容	史実に対する根拠を検証する（2） 資料所在の確認 資料所在を確認した上で、活字刊行物の有無・入手可否を整理します。
	事前学修	検索サイト、図書館から、活字・非活字史料の区別をまとめておく。
	事後学修	入手不能だった場合の代替措置について考えてみる。
13 回	授業内容	史実に対する根拠を検証する（3） 歴史資料を読む 課題論文の特定箇所について資料を読み、内容を把握します。
	事前学修	事前配布済の読み方手引を使い、歴史を読み下しておく。
	事後学修	課題論文に引用されている他の史料も読み進めて内容を把握する。
14 回	授業内容	史実に対する根拠を検証する（4） 解釈の評価 著者の見解に対する意見を出しあい、批判的見地を見出します。
	事前学修	課題論文を読み直し、史料解釈・論理の「疑問点」を出しておく。
	事後学修	自身の疑問点が正当なものであったかを再度確認し、誤解を解消する。
15 回	授業内容	研究論文に対する評価と課題の発見 第 1 回から第 14 回を総括して、課題論文を評価します。
	事前学修	文献情報カードへの記入
	事後学修	授業全体の方法を振り返り、自身の弱点克服に向けての方策を考える。

◆**教科書** 〔当日資料配布〕 随時、参考プリントを配付します。

◆**参考書** 配布プリントで適宜紹介します。

◆**成績評価基準** 最終課題（60%）、授業内課題（20%）、グループ活動評価（20%）の総合評価  
※ 15 回全出席を前提とした評価です。

**注意** E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」  
※ 授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

# 講座内容 (シラバス)

※ 2019年度より授業計画が全 15回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

## (金融論)

谷川 孝美

◆**授業概要** 金融とは、資金を必要としている経済主体がその資金を調達し、資金に余裕がある経済主体がその資金を運用することです。また、金融取引が行われる場を金融市場といいます。この講義では、貨幣の定義、金融取引、金利の決定など、金融に関する基本的な知識、理論を学び、理解することを通じて、現在の経済問題を考える基礎を養うことを目的とします。

◆**学修到達目標** この講義では、金融、金融理論の基礎を理解することを目指し、以下を具体的な目標とする。  
 1. 貨幣の定義など金融に関する基本的な事柄を学び、説明できる。  
 2. 金利がどのように決定されているのかを理解し、実際の金利を計算できる。  
 3. 経済学における情報の非対称性問題が金融に与える影響を理解し、説明できる。

◆**授業方法** 授業計画にそって、パワーポイントを利用した講義形式で行います。講義では、基本的な事柄を中心に、全体的かつ平易な解説をする予定です。講義の進行状況によって授業計画が前後することもあります。なお、この講義では中央銀行、金融政策の詳細は取り扱いません。

◆**履修条件** 前期のみの受講、後期のみの受講も可能だが、学修効果を上げるため、前期・後期の連続受講が望ましい。また、2018年度昼間・土曜スクーリング(前期)金融論との積み重ね不可。

### ◆授業計画 (各 90分)

1回	授業内容: 授業の進め方・オリエンテーション・金融、金融市場とは何か 事前学修: テキスト「はじめに」をよく読んでおくこと。 事後学修: 授業内で用いられた専門用語や説明を確認し、理解すること。
2回	授業内容: 金融取引、決済 事前学修: 前回の講義内容を確認すること。 事後学修: 配付資料を参考に、専門用語や説明を確認すること。
3回	授業内容: 貨幣の歴史 事前学修: テキスト第1章、第1節貨幣の歴史をよく読んでおくこと。 事後学修: 配付資料やテキスト、参考書をもとに、専門用語や説明を確認すること。
4回	授業内容: 貨幣の概念的な定義 事前学修: テキスト第1章、第2節貨幣の機能をよく読み、確認しておくこと。 事後学修: 配付資料やテキスト、参考書をもとに、専門用語や説明を確認すること。
5回	授業内容: マネーストックによる貨幣分類 事前学修: テキスト第1章、第3節貨幣の定義をよく読み、確認しておくこと。 事後学修: 配付資料やテキスト、参考書をもとに、専門用語や説明を確認すること。また、講義時紹介する資料を確認すること。
6回	授業内容: 金利とは何か・名目金利と実質金利 事前学修: テキスト第2章、第1、2節をよく読むこと。 事後学修: 配付資料やテキスト、参考書をもとに、専門用語や説明を確認すること。また、実際に金利計算をして理解を深めること。
7回	授業内容: 短期金利と長期金利・割引現在価値 事前学修: テキスト第2章、第2節金利の種類をよく読むこと。また、前回の講義を確認しておくこと。 事後学修: 配付資料やテキスト、参考書をもとに、専門用語や説明を確認すること。また、実際に金利計算をして理解を深めること。
8回	授業内容: リスク資産における金利の決定 事前学修: テキスト第2章、第3、4節をよく読むこと。また、前回の講義を再確認すること。 事後学修: 講義時に紹介する事例を実際に計算し、理解を深めること。
9回	授業内容: 情報の非対称性問題 (インサイダー取引、モラルハザード問題) 事前学修: テキスト第3章、第1、2節をよく読むこと。 事後学修: 配付資料やテキスト、参考書をもとに、専門用語や説明を確認すること。
10回	授業内容: 金融における情報の非対称問題 (情報生産、フリーライド、重複問題) 事前学修: 前回の講義を再確認すること。また、テキスト第3章、第3、4節をよく読み、情報生産、フリーライド、重複問題を確認すること。 事後学修: 配付資料やテキスト、参考書をもとに、専門用語や説明を確認すること。
11回	授業内容: 資金循環 事前学修: テキスト第6章、第2節をよく読むこと。 事後学修: 配付資料やテキスト、参考書をもとに、専門用語や説明を確認すること。また、講義時に紹介する資料を確認し理解を深めること。
12回	授業内容: 日本の金融市場 (インターバンク市場、短期金融市場) 事前学修: テキスト第5章、第1、2節をよく読むこと。 事後学修: 配付資料やテキスト、参考書をもとに、専門用語や説明を確認すること。また、講義時に紹介する資料を確認し理解を深めること。
13回	授業内容: 日本の金融市場 (長期金融市場) 事前学修: テキスト第5章、第1、2節をよく読むこと。また、前回の講義を再確認しておくこと。 事後学修: 配付資料やテキスト、参考書をもとに、専門用語や説明を確認すること。また、講義時に紹介する資料を確認し理解を深めること。
14回	授業内容: 理解度の確認 事前学修: 予め配布された資料を熟読し、内容を確認しておくこと。 事後学修: 配付資料やテキスト、参考書などで、講義内容をよく確認し理解すること。
15回	授業内容: 試験および解説 事前学修: 前回の講義時に説明した内容を良く確認し理解しておくこと。 事後学修: 前期の授業内容を再確認し、理解を深めること。

◆**教科書** 教材『金融論 R31800』通信教育教材(教材コード000540)1,950円(送料込)  
 (当日資料配布) 必要に応じて当日プリント配布

◆**参考書** 丸沼『ベーシックプラス 金融論』家森信善 中央経済社 2,376円(税込)(送料300円)  
 丸沼『現代の金融入門【新版】』池尾和人 筑摩書房 928円(税込)(送料215円)  
 丸沼『日本の金融制度 第3版』鹿野嘉昭 東洋経済新報社 4,536円(税込)(送料500円)

◆**成績評価基準** 毎回出席することを前提として、最終試験を中心に授業への取り組み、平常点などにより総合的に評価します。

### 注意

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例:「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」  
 ※授業相談(連絡先)に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

講座の選定

時間割

開講講座表・シラバス使用教材(火曜日)

開講講座表・シラバス使用教材(水曜日)

開講講座表・シラバス使用教材(木曜日)

開講講座表・シラバス使用教材(金曜日)

受講及び試験

受講手続

申込講座の許可と不許可

受講料等の納入

受講準備

体育実技の受講について

オープン受講

胸部X線検査

各種用紙

付録

# 講座内容 (シラバス)

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

## 〔心理学C〕

芳賀 道匡

- ◆**授業概要** 心の科学について学ぶ。心理学は、人の心とは何か、どのように働いているのかについて、科学的に検証する学問です。本講義では、人の認知、知覚、感情、行動や記憶の他、社会、文化や政治など、実にさまざまな現象に、人の心が密接なかかわりをもつことを紹介したいと思います。
- ◆**学修到達目標** 心理学を概観することを通して、自分やまわりの人の心に関する理解を深め、新たな問いを考える材料ないし方法論を提供することができる。
- ◆**授業方法** (1) 講義の一部では、模擬的な心理学実験や心理学の調査を体験してもらいます。  
(2) 各講義の最後に、コメントシートに講義内容に関する感想、体験談や質問を書いてもらいます。(コメントシートの内容について、授業冒頭で一部を取り上げて講評します。それを承諾できる人が参加して下さい。)  
(3) その他の授業中のルール等については、第一回目の講義において説明するので必ず出席してください。
- ◆**授業計画〔各 90 分〕**

1 回	授業内容	イントロダクション：心理学とは
	事前学修	1-11 ページに目を通すこと
	事後学修	スライドを復習すること
2 回	授業内容	動機づけ：目標を立てるのはなぜ？
	事前学修	128-132 ページに目を通すこと
	事後学修	スライドを復習すること
3 回	授業内容	学習と行動：学ぶって何だろう？
	事前学修	35-54 ページに目を通すこと
	事後学修	スライドを復習すること
4 回	授業内容	発達：子どもから高齢者まで
	事前学修	155-180 ページに目を通すこと
	事後学修	スライドを復習すること
5 回	授業内容	感覚・知覚：感じることの深淵
	事前学修	55-73 ページに目を通すこと
	事後学修	スライドを復習すること
6 回	授業内容	感情・情動：喜怒哀楽から共感まで
	事前学修	117-134 ページに目を通すこと
	事後学修	スライドを復習すること
7 回	授業内容	記憶：その記憶、本当に正しいですか？
	事前学修	75-94 ページに目を通すこと
	事後学修	スライドを復習すること
8 回	授業内容	思考・知能：コンピュータと人間
	事前学修	95-116 ページに目を通すこと
	事後学修	スライドを復習すること
9 回	授業内容	心と脳 (1)：心とは何か？
	事前学修	17-34 ページに目を通すこと
	事後学修	スライドを復習すること
10 回	授業内容	心と脳 (2)：心と脳の関係
	事前学修	17-34 ページに目を通すこと
	事後学修	スライドを復習すること
11 回	授業内容	性格：パーソナリティって？
	事前学修	135-154 ページに目を通すこと
	事後学修	スライドを復習すること
12 回	授業内容	環境：自分だけのスペース
	事前学修	263-282 ページに目を通すこと
	事後学修	スライドを復習すること
13 回	授業内容	進化：なぜ心はあるのか
	事前学修	特になし
	事後学修	スライドを復習すること
14 回	授業内容	授業内テスト
	事前学修	これまでのスライドを復習すること
	事後学修	これまでのスライドを復習すること
15 回	授業内容	振り返り
	事前学修	これまでのスライドを復習すること
	事後学修	スライドを復習すること

- ◆**教科書** 丸沼『心理学概説』 巖波行雄・横田正夫 啓明出版 2014 年 第 1 版 3,240 円 (税込) (送料 350 円)
- ◆**参考書** 特になし
- ◆**成績評価基準** 授業内テスト (70%)、授業参画度 (30%)  
・授業参画度は主に、コメントシートの内容や授業内における教員との関わりを通して評価します。

**注意** E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」  
※授業相談 (連絡先) に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

# 講座内容 (シラバス)

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

## 〔中国語 I ・ II〕

稲葉 明子

◆**授業概要** 漢字の意味がわかることは大きな強みでもあります。初期の関門を越えるためには足枷になります。対面式授業の利点を発揮して中国語の発音を完全に理解し、漢字に頼らない中国語吸収の素地を作ります。

◆**学修到達目標** 冒頭 4 回で発音体系を機械的に把握し、教科書本文に入ってから新出単語を用いて大量の発音練習をすることによって、漢字を見ても日本語の読み訓読みではなく中国語の音がでてくるまでもっていきます。発音体系と、中国語音声による発想は必須ですので、先入観をもち、柔軟な姿勢で臨んでください。各課本文と文法体系の把握も、毎回学習者自らの耳で探る展開で行い、自立した言語習得に繋がります。

◆**授業方法** ある程度の基礎ができるまでは、敢えて予習はせず、指示通りの復習を必ず行ってください。教科書本文に入ってから、毎回教科書本文についてディクテーション小テストを行います。この対策を毎回こなすことで、着実に実力がついていきます。教材音声に手軽に親しめる工夫をしてください。(付属 CD をプレーヤーに取り込む、HP をお気に入り登録する、など。)

### ◆ 授業計画 (各 90 分)

1 回	授業内容: <b>ガイダンス・発音 1 (声調)</b> 事前学修: 教科書の序を読む (ユニット 1 以降は開かない) 事後学修: 授業中の指示に従い、文房具を揃える
2 回	授業内容: <b>発音 2 (単母音)</b> 事前学修: 音節総表をクリアホルダーで養生する 事後学修: 授業中の指示に従い、復習用 WEB サイトをみつける
3 回	授業内容: <b>発音 3 (子音 1)</b> 事前学修: 音節総表をみて前回の内容を位置付ける 事後学修: ノートをまとめる
4 回	授業内容: <b>発音 4 (子音 2・総合)</b> 事前学修: 音節総表を見て前回の内容を位置付ける 事後学修: ノートをまとめる
5 回	授業内容: <b>プレ第 5 課: 発音総合</b> 事前学修: 音節総表を見て前回の内容を位置付ける 事後学修: WEB サイトを用いて音声で復習し、ノートをまとめる
6 回	授業内容: <b>第 5 課 1 疑問文・動詞述語文</b> 事前学修: 音節総表を見て前回の内容を位置付ける 事後学修: WEB サイトを用いて音声で復習し、ノートをまとめる
7 回	授業内容: <b>第 5 課 2</b> 事前学修: 小テスト対策 (本文の聞き取り・書き取り) をする 事後学修: 本文を何度も音読する (教科書: この本の使い方参照)
8 回	授業内容: <b>第 6 課 1 疑問詞「幾」 / 「有」構文</b> 事前学修: 小テスト対策 (前回本文の聞き取り・書き取り) をする 事後学修: WEB サイトを用いて音声で復習し、ノートをまとめる
9 回	授業内容: <b>第 6 課 2</b> 事前学修: 小テスト対策 (本文の聞き取り・書き取り) をする 事後学修: 本文を何度も音読する (教科書: この本の使い方参照)
10 回	授業内容: <b>第 7 課 1 指示代名詞 / 構造助詞「的」</b> 事前学修: 小テスト対策 (前回本文の聞き取り・書き取り) をする 事後学修: WEB サイトを用いて音声で復習し、ノートをまとめる
11 回	授業内容: <b>第 7 課 2</b> 事前学修: 小テスト対策 (本文の聞き取り・書き取り) をする 事後学修: 本文を何度も音読する (教科書: この本の使い方参照)
12 回	授業内容: <b>第 8 課 1 指示代名詞 2 / 姓名の言い方</b> 事前学修: 小テスト対策 (前回本文の聞き取り・書き取り) をする 事後学修: WEB サイトを用いて音声で復習し、ノートをまとめる
13 回	授業内容: <b>第 8 課 2</b> 事前学修: 小テスト対策 (本文の聞き取り・書き取り) をする 事後学修: 本文を何度も音読する (教科書: この本の使い方参照)
14 回	授業内容: <b>総復習・リスニング試験</b> 事前学修: リスニング試験対策をする / 全ての文法項目を見直し、質問を準備する 事後学修: 文法項目の総復習をする
15 回	授業内容: <b>リスニング試験・ディクテーション試験・筆記試験</b> 事前学修: 第 5 課 - 第 8 課本文のディクテーションテストに備える。 事後学修: 出題箇所を教科書で確認する。

◆**教科書** 丸潤『音読中国語』 相原茂・蘇紅 朝日出版社 2,484 円 (税込) (送料 300 円)

◆**参考書** WEB 上に様々なトレーニング用コンテンツを UP しています。音声を用いた復習が必要になります。(Youtube 動画) 発音記号学習時に、鉛筆と同じ太さに書ける赤・青・黄のペンがあると便利です。

◆**成績評価基準** 授業への取り組み、毎回の小テストなどにより総合的に評価します。試験は、あらかじめ WEB サイトで練習して取り組むリスニングが中心となります。

### 注意

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例:「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」  
※ 授業相談 (連絡先) に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

# 講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

## 〔哲学特殊講義〕

江川 晃

◆**授業概要** 我々は、情報を何から得るのであろうか。我々と世界の媒介者とは何であろうか。それは「記号」である。30 年間にわたるパースの哲学研究を「パースの記号論から情報記号論へ」と題し、原稿用紙約 600 枚にまとめた文献をもとに、前期と後期を通じて講義する。

◆**学修到達目標** 1 情報記号論 (cyber-semiotics) とは「記号論」と「情報学」が結合した分野であることを説明できる。  
2 パースの記号論の歴史的位置とパースの記号論の概念を明確に把握できるようになる。  
3 現代の情報社会を生きる上で、記号論が重要な視点を与えることを説明できる。

◆**授業方法** 出版予定の原稿を、各節ごとに印刷し、講義し、議論する。前期は、古代ギリシアから 21 世紀の現代に至る記号論の流れを考察し、パースを明確に把握する。後期は、生命科学、ヴァーチャル・リアリティ、脳科学へと応用・展開する。

### ◆ 授業計画〔各 90 分〕

1 回	授業内容	ガイダンス この授業の目的と方法
	事前学修	シラバスをよく読んでくること。
	事後学修	配布プリント及びパワポのプリントを復習すること。
2 回	授業内容	第 1 章 1.1 従来の記号論研究とその問題点 (1) 記号論の二つの伝統
	事前学修	配布プリント及びパワポのプリントをよく読んでくること。
	事後学修	配布プリント及びパワポのプリントを復習すること。
3 回	授業内容	(2) 古代ギリシアと中世の哲学者
	事前学修	配布プリント及びパワポのプリントをよく読んでくること。
	事後学修	配布プリント及びパワポのプリントを復習すること。
4 回	授業内容	(3) ロックの記号論
	事前学修	配布プリント及びパワポのプリントをよく読んでくること。
	事後学修	配布プリント及びパワポのプリントを復習すること。
5 回	授業内容	(4) ソシュールの記号論
	事前学修	配布プリント及びパワポのプリントをよく読んでくること。
	事後学修	配布プリント及びパワポのプリントを復習すること。
6 回	授業内容	(5) ユクスキュルとシビオクの記号論
	事前学修	配布プリント及びパワポのプリントをよく読んでくること。
	事後学修	配布プリント及びパワポのプリントを復習すること。
7 回	授業内容	(6) ホフマイヤーの生命記号論
	事前学修	配布プリント及びパワポのプリントをよく読んでくること。
	事後学修	配布プリント及びパワポのプリントを復習すること。
8 回	授業内容	(7) プリアのサイバー・セミオティクス
	事前学修	配布プリント及びパワポのプリントをよく読んでくること。
	事後学修	配布プリント及びパワポのプリントを復習すること。
9 回	授業内容	1.2 パース記号論以前と以後における問題点
	事前学修	配布プリント及びパワポのプリントをよく読んでくること。
	事後学修	配布プリント及びパワポのプリントを復習すること。
10 回	授業内容	1.3 パースの記号論 (1) パースの初期記号論
	事前学修	配布プリント及びパワポのプリントをよく読んでくること。
	事後学修	配布プリント及びパワポのプリントを復習すること。
11 回	授業内容	(2) 直観主義批判から思考—記号説へ
	事前学修	配布プリント及びパワポのプリントをよく読んでくること。
	事後学修	配布プリント及びパワポのプリントを復習すること。
12 回	授業内容	(3) 記号の発展
	事前学修	配布プリント及びパワポのプリントをよく読んでくること。
	事後学修	配布プリント及びパワポのプリントを復習すること。
13 回	授業内容	(4) パースの記号論と心の哲学—記号過程・認知・自己意識—
	事前学修	配布プリント及びパワポのプリントをよく読んでくること。
	事後学修	配布プリント及びパワポのプリントを復習すること。
14 回	授業内容	(5) パースの進化的実在論 (記号空間と仮想的実在)
	事前学修	配布プリント及びパワポのプリントをよく読んでくること。
	事後学修	配布プリント及びパワポのプリントを復習すること。
15 回	授業内容	まとめとレポート提出
	事前学修	記号論の流れと記号の概念を理解してくること。
	事後学修	記号論の流れと記号の概念を再確認すること。

◆**教科書** 〔当日資料配布〕印刷文献とパワポ原稿

◆**参考書** 授業中に指示します。

◆**成績評価基準** レポート (90%)、参加度 (10%)

**注意** E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」  
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。



# 講座内容 (シラバス)

※ 2019年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

## 〔東洋史演習 I・II〕

高綱 博文

- ◆**授業概要** 本授業では、1930年代上海において刊行された『上海日日新聞』を講読し、グループ学修で歴史研究の楽しさを学びながら史料批判など研究技法を磨く。
- ◆**学修到達目標** 『上海日日新聞』は、1930年代の上海の政治、経済、戦況、時事、さらには文化・社会事情を知るための貴重な史料である。同新聞を講読しながら史料批判などの歴史研究のための基礎力を養成します。
- ◆**授業方法** テキスト『上海日日新聞』を講読しながら、受講生による研究発表と討論を中心としたゼミナール及びグループ形式で行います。
- ◆**履修条件** 前期・後期継続受講が望ましい。
- ◆**授業計画 (各 90 分)**

1回	授業内容：ガイダンス 事前学修： 事後学修：授業内容の確認
2回	授業内容：『上海日日新聞』の時代背景—1930年代の「国際都市」上海 事前学修：HPテキスト『宮地貫道とその資料』を閲覧しておくこと 事後学修：授業内容の確認
3回	授業内容：宮地貫道と『上海日日新聞』(1) 事前学修：HPテキスト『宮地貫道とその資料』を閲覧しておくこと 事後学修：授業内容の確認
4回	授業内容：宮地貫道と『上海日日新聞』(2) 事前学修：HPテキスト『宮地貫道とその資料』 事後学修：授業内容の確認
5回	授業内容：『上海日日新聞』の読み方 事前学修：DVDテキスト『上海日日新聞』を見ておくこと 事後学修：授業内容の確認
6回	授業内容：テキスト講読・報告・討論(1) 事前学修：『上海日日新聞』の記事をまとめる 事後学修：授業内容の確認
7回	授業内容：テキスト講読・報告・討論(2) 事前学修：『上海日日新聞』の記事をまとめる 事後学修：授業内容の確認
8回	授業内容：テキスト講読・報告・討論(3) 事前学修：『上海日日新聞』の記事をまとめる 事後学修：授業内容の確認
9回	授業内容：テキスト講読・報告・討論(4) 事前学修：『上海日日新聞』の記事をまとめる 事後学修：授業内容の確認
10回	授業内容：テキスト講読・報告・討論(5) 事前学修：『上海日日新聞』の記事をまとめる 事後学修：授業内容の確認
11回	授業内容：テキスト講読・報告・討論(6) 事前学修：『上海日日新聞』の記事をまとめる 事後学修：授業内容の確認
12回	授業内容：テキスト講読・報告・討論(7) 事前学修：『上海日日新聞』の記事をまとめる 事後学修：授業内容の確認
13回	授業内容：卒業論文の準備報告(1) 事前学修：卒業論文案のレジュメ作成 事後学修：卒業論文構想案の再検討
14回	授業内容：卒業論文の準備報告(2) 事前学修：卒業論文案のレジュメ作成 事後学修：卒業論文構想案の再検討
15回	授業内容：ワークショップ「宮地貫道と『上海日日新聞』」開催 事前学修：HPテキスト『宮地貫道とその資料』を閲覧しておくこと 事後学修：ワークショップ内容の確認

- ◆**教科書** DVDテキスト『上海日日新聞』(配布資料)  
HPテキスト『宮地貫道とその資料』(ネット上に掲載)
- ◆**参考書** 特になし
- ◆**成績評価基準** 発表・討論(50%)、レポート(25%)、授業参画度(25%)により総合的に評価します。

### 注意

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」  
※授業相談(連絡先)に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

# 講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

## 〔社会科・地理歴史科教育法 I（新法）〕 オープン受講：不可

ト部 勝彦

- ◆**授業概要** 本授業は、文部科学省初等中等教育局での官職経験を踏まえ、中学校社会科及び高等学校地理歴史科における次期学習指導要領の諸内容と背後の学問分野との関係、および授業設計や学習評価などを説明する。
- ◆**学修到達目標** 本授業では次の 1)～3) を到達目標としている。1) 中学校社会科及び高等学校地理歴史科の学習指導要領の目標・内容を理解し説明できる。2) 地理教育と関係する地理学をはじめとする学問分野を踏まえた教材研究ができる。3) 地図などの地理的技能を駆使した授業の設計とその指導、学習評価などができる。
- ◆**授業方法** 本授業は、次期学習指導要領における地理教育の即戦力的な指導者養成を目的とした教科教育法の特徴を踏まえ、講義形式および情報機器活用やアクティブ・ラーニングでの模擬授業、地図実習も予定している。
- ◆**授業計画〔各 90 分〕**

1 回	授業内容	中教審答申と学習指導要領改訂からみた中学校社会科・高等学校地理歴史科
	事前学修	文部科学省 HP から次期学習指導要領のねらいを確認した上で、中学・高校の学習経験を振り返り、その相違点を発表できるようにしておくこと。
	事後学修	授業内容を振り返って整理し、今後の学修内容につなげること。
2 回	授業内容	中学校社会科地理的分野における学習指導要領の内容 A「世界と日本の地域構成」の特色と指導上の留意点～情報機器活用とアクティブ・ラーニングを取り入れた授業設計の検討【その 1】～
	事前学修	学習指導要領解説の当該箇所をよく読んだ上で、中学校社会科地理的分野の現行教科書から具体的な教材イメージをつかんでおくこと。
	事後学修	授業内容を振り返って整理し、当該単元での適切な教材研究と指導法ができるようにしておくこと。
3 回	授業内容	中学校社会科地理的分野における学習指導要領の内容 B「世界の様々な地域」の特色と指導上の留意点～情報機器活用とアクティブ・ラーニングを取り入れた授業設計の検討【その 2】～
	事前学修	学習指導要領解説の当該箇所をよく読んだ上で、中学校社会科地理的分野の現行教科書から具体的な教材イメージをつかんでおくこと。
	事後学修	授業内容を振り返って整理し、当該単元での適切な教材研究と指導法ができるようにしておくこと。
4 回	授業内容	中学校社会科地理的分野における学習指導要領の内容 C「日本の様々な地域」の特色と指導上の留意点～情報機器活用とアクティブ・ラーニングを取り入れた授業設計の検討【その 3】～
	事前学修	学習指導要領解説の当該箇所をよく読んだ上で、中学校社会科地理的分野の現行教科書から具体的な教材イメージをつかんでおくこと。
	事後学修	授業内容を振り返って整理し、当該単元での適切な教材研究と指導法ができるようにしておくこと。
5 回	授業内容	高等学校地理歴史科「地理総合」における学習指導要領の内容 A「地図や地理情報システムで捉える現代世界」の特色と指導上の留意点～情報機器活用とアクティブ・ラーニングを取り入れた授業設計の検討【その 4】～
	事前学修	学習指導要領解説の当該箇所をよく読んだ上で、高等学校地理歴史科「地理 A」の現行教科書から具体的な教材イメージをつかんでおくこと。
	事後学修	授業内容を振り返って整理し、当該単元での適切な教材研究と指導法ができるようにしておくこと。
6 回	授業内容	高等学校地理歴史科「地理総合」における学習指導要領の内容 B「国際理解と国際協力」の特色と指導上の留意点～情報機器活用とアクティブ・ラーニングを取り入れた授業設計の検討【その 5】～
	事前学修	学習指導要領解説の当該箇所をよく読んだ上で、高等学校地理歴史科「地理 A」の現行教科書から具体的な教材イメージをつかんでおくこと。
	事後学修	授業内容を振り返って整理し、当該単元での適切な教材研究と指導法ができるようにしておくこと。
7 回	授業内容	高等学校地理歴史科「地理総合」における学習指導要領の内容 C「持続可能な地域づくりと私たち」の特色と指導上の留意点～情報機器活用とアクティブ・ラーニングを取り入れた授業設計の検討【その 6】～
	事前学修	学習指導要領解説の当該箇所をよく読んだ上で、高等学校地理歴史科「地理 A」の現行教科書から具体的な教材イメージをつかんでおくこと。
	事後学修	授業内容を振り返って整理し、当該単元での適切な教材研究と指導法ができるようにしておくこと。
8 回	授業内容	高等学校地理歴史科「地理探究」における学習指導要領の内容 A「現代世界の系統地理的考察」の特色と指導上の留意点～情報機器活用とアクティブ・ラーニングを取り入れた授業設計の検討【その 7】～
	事前学修	学習指導要領解説の当該箇所をよく読んだ上で、高等学校地理歴史科「地理 B」の現行教科書から具体的な教材イメージをつかんでおくこと。
	事後学修	授業内容を振り返って整理し、当該単元での適切な教材研究と指導法ができるようにしておくこと。
9 回	授業内容	高等学校地理歴史科地理探究における学習指導要領の内容 B「現代世界の地誌的考察」の特色と指導上の留意点～情報機器活用とアクティブ・ラーニングを取り入れた授業設計の検討【その 8】～
	事前学修	学習指導要領解説の当該箇所をよく読んだ上で、高等学校地理歴史科「地理 B」の現行教科書から具体的な教材イメージをつかんでおくこと。
	事後学修	授業内容を振り返って整理し、当該単元での適切な教材研究と指導法ができるようにしておくこと。
10 回	授業内容	高等学校地理歴史科地理探究における学習指導要領の内容 C「現代世界におけるこれからの日本の国土像」と指導上の留意点～情報機器活用とアクティブ・ラーニングを取り入れた授業設計の検討【その 9】～
	事前学修	学習指導要領解説の当該箇所をよく読んだ上で、高等学校地理歴史科「地理 B」の現行教科書から具体的な教材イメージをつかんでおくこと。
	事後学修	授業内容を振り返って整理し、当該単元での適切な教材研究と指導法ができるようにしておくこと。
11 回	授業内容	中学校社会科地理的分野の学習指導案作成と模擬授業および学習評価～授業実践とその改善の模索【その 1】～
	事前学修	指定された単元 1 時間分の教材研究を徹底するとともに、各自が学習指導案を作成して模擬授業に備えておくこと。
	事後学修	授業内容を振り返って整理し、改善すべきポイントや課題の確認を行いながら今後の教育実習に備えておくこと。
12 回	授業内容	高等学校地理歴史科「地理総合」の学習指導案作成と模擬授業および学習評価～授業実践とその改善の模索【その 2】～
	事前学修	指定された単元 1 時間分の教材研究を徹底するとともに、各自が学習指導案を作成して模擬授業に備えておくこと。
	事後学修	授業内容を振り返って整理し、改善すべきポイントや課題の確認を行いながら今後の教育実習に備えておくこと。
13 回	授業内容	高等学校地理歴史科「地理探究」の学習指導案作成と模擬授業および学習評価～授業実践とその改善の模索【その 3】～
	事前学修	指定された単元 1 時間分の教材研究を徹底するとともに、各自が学習指導案を作成して模擬授業に備えておくこと。
	事後学修	授業内容を振り返って整理し、改善すべきポイントや課題の確認を行いながら今後の教育実習に備えておくこと。
14 回	授業内容	近年における地理教育の動向～中学校の事例～
	事前学修	指定された近年における地理教育のトピックについて予習しておくこと。
	事後学修	これまでの授業内容を振り返って整理し、新たな中学校社会科地理的分野の教科教育の特色を再確認しておくこと。
15 回	授業内容	近年における地理教育の動向～高等学校の事例～
	事前学修	指定された近年における地理教育のトピックについて予習しておくこと。
	事後学修	これまでの授業内容を振り返って整理し、新たな高等学校地理歴史科「地理総合」「地理探究」の教科教育の特色を再確認しておくこと。

- ◆**教科書** 題材『社会科・地理歴史科教育法 I T23600』 通信教育教材（教材コード 000587/000589）1,000 円/1,600 円（送料込）  
この教材は市販の『中学校学習指導要領解説社会編/高等学校学習指導要領解説地理歴史編』文部科学省（東洋館出版社）と同一です。文部科学省の HP よりダウンロード可能です。
- ◆**参考書** 『文部科学省検定教科書 中学校社会科地図』 帝国書院編集部編（2018） 帝国書院  
現行版の「中学校社会科地理的分野」の文部科学省検定教科書（出版社は任意）  
現行版の高等学校「地理歴史科地理 A および地理 B」の文部科学省検定教科書（出版社は任意）  
上記 3 つの参考書は丸沼書店では取り扱っていないため、amazon 等で購入してください。
- ◆**成績評価基準** 成績は授業内容の理解などを確認する小テスト、模擬授業に向けた学習指導案や地図実習の提出物、授業の参画度等をもとにして、総合的に評価する。

**注意** E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」  
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

# MEMO

講座の選定

時間割

開講講座表・  
シバス使用教科  
(火曜日)

開講講座表・  
シバス使用教科  
(水曜日)

開講講座表・  
シバス使用教科  
(木曜日)

開講講座表・  
シバス使用教科  
(金曜日)

受講及び試験

受講手続

申込講座の  
許可と不許可

受講料等の納入

受講準備

体育実技の  
受講について

オープン受講

胸部X線検査

各種用紙

付録

Lined area for writing notes.

## 【水曜日】

時限	講座コード	開講講座名	担当講師名	単開 位 数講	充 当 科 目		制 限・注 意			受オ プ ン 講	
					科 目 コ ー ド	科 目 名	併 用	配 当 学 年	受 講 条 件		
1 時 限	AC11	政 治 学	関根 二三夫	2	B11700	政 治 学	×	1年			
	AC12	英 語 基 礎	小澤 賢司	1	C10600	英 語 基 礎	×	1年	・英文学専攻は申込不可。		
	AC13	マーケティング	雨宮 史卓	2	S30500	マーケティング	×	2年			
	AC14	簿 記 論 I	山元 俊一	2	S20300	簿 記 論 I	×	条件 参照	・商学部は1学年以上申込 可。 ・その他は2学年以上申込 可。		
2 時 限	AC21	哲 学 B	中澤 瞳	2	B10700	哲 学	×	1年			
	AC22	英 語 C	森 晴代	1	C10100	英 語 I	×	1年	・ I～IVのいずれに該当さ せるのか充当科目コード を必ず記入してください。		
					C10200	英 語 II					
					C10300	英 語 III		2年			
					C10400	英 語 IV					
	AC23	商 法 II	南 健悟	2	K30600	商 法 II	×	2年			
AC24	西洋史演習 I・II	藤井 信行	1	Q405S0	西洋史演習 I	×	3年	・史学専攻のみ申込可。 ・ I～IIのいずれに該当さ せるのか充当科目コード を必ず記入してください。			
				Q406S0	西洋史演習 II						
AC25	経済原論 A / 経済学原論 A	関谷 喜三郎	2	R20100	経 済 原 論	×	条件 参照	・経済学部は1学年以上申 込可。 ・文理・商学部は2学年以 上申込可。			
				L20200	経 済 学 原 論					・政治経済学科は1学年以 上申込可。 ・法律学科は2学年以上申 込可。	
3 時 限	AC31	文 学	木村 一	2	B11300	文 学	×	1年			
	AC32	法 学 B	武田 茂樹	2	B11500	法学（日本国憲 法2単位を含む）	×	1年			
	AC33	英 語 D	北原 安治	1	C10100	英 語 I	×	1年	・ I～IVのいずれに該当さ せるのか充当科目コード を必ず記入してください。		
					C10200	英 語 II					
					C10300	英 語 III		2年			
					C10400	英 語 IV					
	AC34	刑 法 I	岡西 賢治	2	K20300	刑 法 I	×	条件 参照			・法律学科は1学年以上申 込可。 ・上記以外は2学年以上申 込可。
AC35	英 語 音 声 学	森 晴代	2	N30600	英 語 音 声 学	×	2年				
AC36	アメリカ経済論	羽田 翔	2	R312S0	アメリカ経済論	×	2年				

### 注意

各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者がそれらを超えた場合、大学が任意に講座を分割したり他講師担当の同一科目講座へ振り分けるなどの、受講制限を行います。  
その結果、必ずしも希望した担当者の講座を受講できない場合、受講をお断りする場合があります。あらかじめ、ご了承ください。

## 【水曜日】

時限	講座コード	開講講座名	担当講師名	単開 位 数講	充 当 科 目		制 限 ・ 注 意			受オー プ ン 講
					科 目 コ ー ド	科 目 名	併 用	配 当 学 年	受 講 条 件	
4 時 限	AC41	歴 史 学 A	渡 邊 浩 史	2	B11100	歴 史 学	×	1 年		
	AC42	国 語 学 概 論	保 科 恵	2	M20300	国 語 学 概 論	×	条 件 参 照	・国文学専攻のみ1学年以上 申込可。 ・上記以外は2学年以上申 込可。	
	AC43	国文学講義V (近代)	山崎 眞紀子	2	M30900	国文学講義V (近代)	×	2 年		
	AC44	英 語 史	真野 一雄	2	N30300	英 語 史	×	2 年		
	AC45	日本思想史 I	島田 健太郎	2	P30800	日本思想史 I	×	2 年		
	AC46	東洋史入門	綿貫 哲郎	2	Q202S0	東洋史入門	×	2 年		
	AC47	考古学概説	浜田 晋介	2	Q30500	考古学概説	×	2 年		
5 時 限	AC51	歴 史 学 B	堀井 弘一郎	2	B11100	歴 史 学	×	1 年		
	AC52	文 化 史 B	渡 邊 浩 史	2	B11200	文 化 史	×	1 年		
	AC53	英 語 E	町田 純子	1	C10100	英 語 I	×	1 年	・ I ~ IV のいずれに該当さ せるのが充当科目コード を必ず記入してください。	
					C10200	英 語 II				
					C10300	英 語 III				
					C10400	英 語 IV				
	AC54	国文学基礎演習	木村 一	1	M317S0	国文学基礎演習	×	2 年	・国文学専攻のみ申込可。	×
AC55	東洋史概説/ 東洋史概論	塚本 剛	2	Q30300	東洋史概説	×	2 年	・文理・経済・商学部のみ 申込可。 ・法学部のみ申込可。		
				K32300	東洋史概論	×	2 年			
AC56	情報概論 A	戸塚 英臣	2	R32300	情報概論	×	2 年		×	

### 注意

各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者がそれらを超えた場合、大学が任意に講座を分割したり他講師担当の同一科目講座へ振り分けるなどの、受講制限を行います。

その結果、必ずしも希望した担当者の講座を受講できない場合、受講をお断りする場合があります。あらかじめ、ご了承ください。

# 講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

## 〔政治学〕

関根 二三夫

- ◆ **授業概要** 基礎教育としての講義を行います。政治学の変遷、政治の概念や本質、政治権力、国家と国家機関、議会政治、立法部と行政部、大統領拒否権や議会拒否権など、主に政治学に関する思想的変遷や制度面について学びます。
- ◆ **学修到達目標** 議会や大統領もしくは内閣の動きを見ますと、政治が難しい現象のように思われます。しかし、法律や予算の制定や執行は、国家や社会及び個人の発展に寄与するために役立ちます。この講義においては、政治が我々の生活に大きな影響を及ぼすと同時に、我々にとって身近な現象であることを理解できるようにします。
- ◆ **授業方法** 講義形式で行います。講義においては、政治に関する受講生の問題意識を高め、それに対する解決能力を啓発するように進めていきます。講義で知り得た内容が、如何なる意義を有するのか、それが個人や社会や国家にとってどのように関係してくるのかを客観的に理解しなければなりません。受講に際しては予習及び復習が必要になります。
- ◆ **授業計画〔各 90 分〕**

1 回	授業内容 講義全体の概要の説明 事前学修 テキストを熟読し、概要を理解すること。 事後学修 講義で知り得た内容を整理し、ノートにまとめること。
2 回	授業内容 政治学の変遷 事前学修 参考書の第 1 章第 2 節を熟読すること。 事後学修 講義で知り得た内容を整理し、時代区分毎にノートにまとめること。
3 回	授業内容 政治の概念 事前学修 参考書の第 1 章第 1 節を熟読すること。 事後学修 講義で知り得た内容を整理し、ノートにまとめること。
4 回	授業内容 政治の本質 事前学修 テキストの第 1 章第 1 節を熟読すること。 事後学修 講義で知り得た内容を整理し、ノートにまとめること。
5 回	授業内容 政治権力—概念及び構造 事前学修 テキストの第 1 章第 2 節を熟読すること。 事後学修 講義で知り得た内容を整理し、ノートにまとめること。
6 回	授業内容 政治権力—支配の手段 事前学修 参考書の第 2 章第 4 節を熟読すること。 事後学修 講義で知り得た内容を整理し、ノートにまとめること。
7 回	授業内容 国家成立の要素 事前学修 参考書の第 3 章を熟読すること。 事後学修 講義で知り得た内容を整理し、ノートにまとめること。
8 回	授業内容 国家の分類 事前学修 参考書の第 3 章を熟読すること。 事後学修 講義で知り得た内容を整理し、ノートにまとめること。
9 回	授業内容 国家機関 事前学修 参考書の第 3 章を熟読すること。 事後学修 講義で知り得た内容を整理し、ノートにまとめること。
10 回	授業内容 議会政治の原理 事前学修 参考書の第 4 章第 1 節を熟読すること。 事後学修 講義で知り得た内容を整理し、ノートにまとめること。
11 回	授業内容 議会の構成 事前学修 テキストの第 5 章及び参考書の第 4 章第 1 節を熟読すること。 事後学修 講義で知り得た内容を整理し、ノートにまとめること。
12 回	授業内容 議院内閣制 事前学修 テキストの第 5 章及び参考書の第 4 章第 1 節を熟読すること。 事後学修 講義で知り得た内容を整理し、ノートにまとめること。
13 回	授業内容 大統領制 事前学修 テキストの第 5 章及び参考書の第 4 章第 1 節を熟読すること。 事後学修 講義で知り得た内容を整理し、ノートにまとめること。
14 回	授業内容 大統領拒否権 事前学修 テキストの第 5 章及び参考書の第 4 章第 1 節を熟読すること。 事後学修 講義で知り得た内容を整理し、ノートにまとめること。
15 回	授業内容 議会拒否権 事前学修 テキストの第 5 章及び参考書の第 4 章第 1 節を熟読すること。 事後学修 講義で知り得た内容を整理し、ノートにまとめること。

- ◆ **教科書** 教材『政治学 B11700』通信教育教材（教材コード 000279）2,100 円（送料込）
- ◆ **参考書** 図説『教養政治学』岩井奉信・黒川貢三郎・関根二三夫他 南窓社 3,132 円（税込）（送料 350 円）
- ◆ **成績評価基準** 試験 70%、平常点 30% ※試験同様、質問や理解度チェック等の平常点も重視しますので、受講に際しては欠席をしないように注意して下さい。

**注意** E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」  
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

# 講座内容 (シラバス)

※ 2019年度より授業計画が全 15回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

## 【英語基礎】

小澤 賢司

◆**授業概要** 本授業では、今後の英語学修の土台となる「基礎・基本」を学びます。前期にあたる本授業では、英語の「品詞」を中心に学修していきます。いかなる学修においても「基礎・基本」はとても重要です。これを疎かにするとその後の「伸び」はあまり期待できません。本授業で扱う内容は中学卒業程度の文法事項および英文ですが、それらは決して「楽」や「易」とイコールではありません。この点には十分に留意して学修に臨んでください。

【昼間 (後期) 開講予定の「英語基礎」(小澤担当) と併せて受講することが望ましい】

◆**学修到達目標** 無機質な暗記から脱却し、理解中心の学修をおこなうことで、英語を「使えるようにする」ことを目標にしています。よって、学修した内容を「実際に活用する」ことを心がけてください。『習ったら慣れよ』

◆**授業方法** 授業計画にある「品詞」を1つ1つ丁寧に解説し、それらが用いられた英文とともに学修することで適切な理解を図ります。本授業では、「徹底した復習」が求められます。ここでいう「徹底した復習」とは、前回の復習ではなく、前回までの復習を指します。例えば、第5回の授業の次週には、第1回から第5回まで全ての内容の復習が必要ということです。なお、受講者の様子(理解度)を見ながら進めていきますので、以下の授業計画はあくまでの「目安」とお考え下さい。毎授業始めには、復習・確認テストを行います。

◆**履修条件** メディア授業「英語基礎 MA」とは積み重ね不可

◆**授業計画 (各 90分)**

1回	授業内容: 「品詞」と「文法」 事前学修: 本授業のシラバス全体を一読しておくこと。 事後学修: 「品詞」と「文法」の違い、さらには「4大品詞」を正しく理解しておくこと。
2回	授業内容: 4大品詞の確認 「動名詞」 事前学修: 第1回で学修した内容を復習しておくこと。 事後学修: 「動名詞」の働きを正しく理解しておくこと。
3回	授業内容: 「前置詞」 事前学修: 第2回までに学修した内容を復習しておくこと。 事後学修: 「前置詞」の働きと各前置詞の語彙イメージを正しく理解しておくこと。
4回	授業内容: 「不定詞」(名詞的用法) 「不定詞」vs. 「動名詞」 事前学修: 第3回までに学修した内容を復習しておくこと。 事後学修: 「不定詞」の【名詞的用法】の働き、さらには「不定詞」と「動名詞」の違いを正しく理解しておくこと。
5回	授業内容: 「不定詞」(形容詞的用法) 「不定詞」(副詞的用法) 事前学修: 第4回までに学修した内容を復習しておくこと。 事後学修: 「不定詞」の【形容詞的用法】と【副詞的用法】の働きを正しく理解しておくこと。
6回	授業内容: 「分詞」 事前学修: 第5回までに学修した内容を復習しておくこと。 事後学修: 「分詞」の働きを正しく理解しておくこと。
7回	授業内容: 「分詞」vs. 「動名詞」 事前学修: 第6回までに学修した内容を復習しておくこと。 事後学修: 「分詞」と「動名詞」の違いを正しく理解しておくこと。
8回	授業内容: 「不定詞」の応用 事前学修: 第7回までに学修した内容を復習しておくこと。 事後学修: 「不定詞」の各種応用系を正しく理解しておくこと。
9回	授業内容: 辞書に関するあの話この話 事前学修: 第8回までに学修した内容を復習しておくこと。 事後学修: 辞書の使い方を正しく理解しておくこと。
10回	授業内容: 「関係代名詞」 その1 事前学修: 第9回までに学修した内容を復習しておくこと。 事後学修: 「関係代名詞」の基本を正しく理解しておくこと。
11回	授業内容: 「関係代名詞」 その2 事前学修: 第10回までに学修した内容を復習しておくこと。 事後学修: 「関係代名詞」全体を正しく理解しておくこと。
12回	授業内容: 「助動詞」 事前学修: 第11回までに学修した内容を復習しておくこと。 事後学修: 各種「助動詞」を正しく理解しておくこと。
13回	授業内容: 「接続詞」 事前学修: 第12回までに学修した内容を復習しておくこと。 事後学修: 「接続詞」の働きを正しく理解しておくこと。
14回	授業内容: これまでの復習(予備日) 事前学修: 第13回までに学修した内容を復習しておくこと。 事後学修: 知識に漏れのある学修項目を確認しておくこと。
15回	授業内容: テストおよびまとめ 事前学修: 第14回までに学修した内容を復習しておくこと。 事後学修: 再度、全ての学修内容を復習しておくこと。

◆**教科書** [当日資料配布] 適宜、プリントを配布します。

◆**参考書** 丸沼『英文法ビフォー&アフター(普及版)』豊永彰著 南雲堂 1,944円(税込)(送料350円)  
丸沼『一億人の英文法』大西泰斗・ポール・マクベイ著 東進ブックス 1,944円(税込)(送料500円)  
丸沼『ジーニアス総合英語』中邑光男・山岡憲史・柏野健次 大修館 1,620円(税込)(送料350円)

◆**成績評価基準** 授業への取り組みおよびテストにより総合的に評価します。  
※毎授業始めに復習・確認テストを行いますので、遅刻をしないよう注意してください。

### 注意

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例:「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」  
※授業相談(連絡先)に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

# 講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

## 〔マーケティング〕

雨宮 史卓

◆**授業概要** 製品にまつわる競争優位の源泉は、時代とともに大きく変化している。それによって、マーケティング戦略の進め方も大きく変化してきた。近年、強まっていた消費者の低価格志向による価格競争は、広告費の減少やメディア戦略の見直しを迫っているのが現状である。このような状況下で、本講義はマーケティングを深く理解するための前提となる、基礎的な知識を体系的に解説する事を目的とする。

◆**学修到達目標** 1 マーケティング戦略の機能・役割を基礎から理解できる。  
2 消費者ニーズを探り、それを満たすための企業活動が理解できる。  
3 市場動向の変化を捉え、情報を収集し分析ができるようになる。

◆**授業方法** タム前半はテキストに沿いながら、日本市場におけるマーケティングの歴史と発展、変化を中心に解説する。タム後半は具体的なケースを織り込みつつ、幅広い知識習得を目指す。必要に応じて資料を配布する。また、その日の授業の後半で、主要なテーマについてのリアクションペーパー（小論文）の提出を求める。

◆**履修条件** 後期マーケティング論の継続受講が望ましい。

### ◆授業計画〔各 90 分〕

1 回	授業内容: ガイダンス 授業の進め方 マーケティングを学ぶことの意義 事前学修: テキスト9頁～19頁をよく読んでおくこと。 事後学修: 授業の内容をノートに整理し、テキストの該当部分と配布資料を読んで、授業内容を確認し理解しておくこと。
2 回	授業内容: マーケティングの基本理念とその概念 事前学修: 配布資料をよく読んでおくこと。 事後学修: 授業の内容を整理し、配布資料の必要箇所をノートにまとめること。
3 回	授業内容: 製品戦略 事前学修: テキスト23頁～32頁をよく読んでおくこと。 事後学修: テキスト28頁の図をノートに書き写し、内容を理解しておくこと。
4 回	授業内容: 製品とサービスの関係 事前学修: 配布資料をよく読んでおくこと。 事後学修: 授業の内容をノートに整理し、テキストの該当部分と配布資料を読んで、授業内容を確認し理解しておくこと。
5 回	授業内容: 市場細分化戦略 事前学修: テキスト31頁～34頁をよく読んでおくこと。 事後学修: 授業の内容をノートに整理し、テキストの該当部分を読んで、授業内容を確認し理解しておくこと。
6 回	授業内容: ソーシャル・マーケティング 事前学修: テキスト37頁～49頁をよく読んでおくこと。 事後学修: 授業の内容をノートに整理し、テキストの該当部分を読んで、授業内容を確認し理解しておくこと。
7 回	授業内容: サービスのマーケティング 事前学修: テキスト54頁～56頁と配布資料をよく読んでおくこと。 事後学修: 授業の内容をノートに整理し、テキストの該当部分と配布資料を読んで、授業内容を確認し理解しておくこと。
8 回	授業内容: 価格戦略 事前学修: テキスト第9章と配布資料をよく読んでおくこと。 事後学修: 授業の内容をノートに整理し、テキストの該当部分と配布資料を読んで、授業内容を確認し理解しておくこと。
9 回	授業内容: 流通戦略 事前学修: テキスト第10章をよく読んでおくこと。 事後学修: 授業の内容をノートに整理し、テキストの該当部分を読んで、授業内容を確認し理解しておくこと。
10 回	授業内容: プロモーション戦略 事前学修: 配布資料をよく読んでおくこと。 事後学修: 授業の内容をノートで確認し、配布資料で支持された図をノートに書き写しておくこと。
11 回	授業内容: プロモーション・ミックスと広告計画 事前学修: テキスト第12章をよく読んでおくこと。 事後学修: 授業の内容をノートに整理し、テキストの該当部分を読んで、授業内容を確認し理解しておくこと。
12 回	授業内容: ブランド概念とそのマネジメント 事前学修: 配布資料の図をノートに書き写しておくこと。 事後学修: 授業の内容を整理し、配布資料の必要箇所をノートにまとめること。
13 回	授業内容: 消費者行動 事前学修: テキスト71頁～82頁をよく読んでおくこと。 事後学修: 授業の内容をノートに整理し、テキストの該当部分を読んで、授業内容を確認し理解しておくこと。
14 回	授業内容: 前期授業の総復習 事前学修: 配布資料の各項目をノートとテキストで確認しておくこと。 事後学修: 要点項目として配布資料に挙げたものを、再確認し授業内容をノートに整理しておくこと。
15 回	授業内容: テストと解説 事前学修: 配布資料の項目をテキスト、ノートで学習しておくこと。 事後学修: テキストの前期箇所を読み返し、それぞれの当該箇所をノートで確認し、前期の授業内容の全体像を理解すること。

◆**教科書** 通材『マーケティング S30500』通信教育教材（教材コード000182）2,550円（送料込）  
〔当日資料配布〕必要に応じて資料を配布する

◆**参考書** 特になし

◆**成績評価基準** テスト（40%）、小論文（40%）、平常点（20%） 授業の取り組み、小論文、テストにより総合的に評価します。

**注意** E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」  
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。



# 講座内容 (シラバス)

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

## 〔簿記論 I〕

山元 俊一

- ◆**授業概要** 日商簿記 3 級程度の内容を講義していきます。テキストを中心として、講義形式で授業を行います。また、演習問題を授業中に解いていただきます。講義形式で行うので、テキストや電卓は必須となります。電卓は、どのようなメーカーの電卓でも構いませんが、できれば 10-12 桁対応の電卓が望ましいです。
- ◆**学修到達目標** 初めて簿記を勉強する方を対象に、簿記一巡の流れを理解してもらい、最終的には、貸借対照表・損益計算書を作成できるようになることが目標です。そのためには、簿記の仕組みや帳簿記入・決算などの内容を理解することが重要です。前期のみの受講あるいは後期のみの受講も可能です。ただし、簿記検定 3 級程度の内容を概ね理解されたい方は通年の受講が望ましいと思われれます。
- ◆**授業方法** テキストの内容に沿って、内容を解説していきたいと思ひます。簿記は「習うより慣れる」と言われています。そこで、講義ばかりでなく、実際に問題を解いてもらい、実践力を見つけてもらいたいと思ひます。
- ◆**履修条件** 前期と後期で連続して講義を行います。原則通期で受講していただきたいと思ひます。
- ◆**授業計画 (各 90 分)**

1 回	授業内容：簿記の意義と仕組み 第 1 章 ① 事前学修：テキストを事前参照のこと 事後学修：ワークブックによる復習 第 1 章
2 回	授業内容：簿記の意義と仕組み 第 1 章 ② 事前学修：テキストを事前参照のこと 事後学修：ワークブックによる復習 第 1 章
3 回	授業内容：簿記の意義と仕組み 第 1 章 ③ 事前学修：テキストを事前参照のこと 事後学修：ワークブックによる復習 第 1 章
4 回	授業内容：仕訳と転記 第 2 章 ① 事前学修：テキストを事前参照のこと 事後学修：ワークブックによる復習 第 2 章
5 回	授業内容：仕訳と転記 第 2 章 ② 事前学修：テキストを事前参照のこと 事後学修：ワークブックによる復習 第 2 章
6 回	授業内容：仕訳帳と元帳 第 3 章 ① 事前学修：テキストを事前参照のこと 事後学修：ワークブックによる復習 第 3 章
7 回	授業内容：仕訳帳と元帳 第 3 章 ② 事前学修：テキストを事前参照のこと 事後学修：ワークブックによる復習 第 3 章
8 回	授業内容：決算 第 4 章 ① 事前学修：テキストを事前参照のこと 事後学修：ワークブックによる復習 第 4 章
9 回	授業内容：決算 第 4 章 ② 事前学修：テキストを事前参照のこと 事後学修：ワークブックによる復習 第 4 章
10 回	授業内容：現金と預金 第 5 章 ① 事前学修：テキストを事前参照のこと 事後学修：ワークブックによる復習 第 5 章
11 回	授業内容：現金と預金 第 5 章 ② 事前学修：テキストを事前参照のこと 事後学修：ワークブックによる復習 第 5 章
12 回	授業内容：繰越商品・仕入・売上 第 6 章 ① 事前学修：テキストを事前参照のこと 事後学修：ワークブックによる復習 第 6 章
13 回	授業内容：繰越商品・仕入・売上 第 6 章 ② 事前学修：テキストを事前参照のこと 事後学修：ワークブックによる復習 第 6 章
14 回	授業内容：売掛金と買掛金 第 7 章 事前学修：テキストを事前参照のこと 事後学修：ワークブックによる復習 第 7 章
15 回	授業内容：授業内テスト 事前学修：テキストを事前参照のこと 事後学修：

- ◆**教科書** 丸沼『検定簿記講義 3 級商業簿記』渡部裕巨・片山覚・北村敬子 中央経済社 810 円 (税込) (送料 300 円)  
丸沼『検定簿記ワークブック 3 級商業簿記』渡部裕巨・片山覚・北村敬子 中央経済社 810 円 (税込) (送料 300 円)
- ◆**参考書** 特になし
- ◆**成績評価基準** 原則として、授業の出席と試験の結果により総合評価を行います。試験については、すべて持込可で行います。また電卓も使用可能ですが、タブレットやスマートフォンは使用できません。

### 注意

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」  
※ 授業相談 (連絡先) に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

受講込  
納入までの流れ

講座の選定

時間割

開講講座表・シラバス  
使用教材  
(火曜日)

開講講座表・シラバス  
使用教材  
(水曜日)

開講講座表・シラバス  
使用教材  
(木曜日)

開講講座表・シラバス  
使用教材  
(金曜日)

受講及び試験

受講手続

申込講座の許可と不許可

受講料等の納入

受講準備

体育実技の受講について

オープン受講

胸部 X 線検査

各種用紙

付録

# 講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

## 〔哲学B〕

中澤 瞳

◆**授業概要** 本授業は、古代から近代まで西洋の哲学の歴史を通して、一般的な哲学の知識を修得することも目的とした授業である。

◆**学修到達目標** この授業は、代表的な哲学者の考え方を説明することができるようになること、哲学者の観点を理解し、批判的な視点をもつことができるようになることを目標とする。

◆**授業方法** 授業は講義形式で行う。資料プリントをもとに、解説を行う。資料プリントは、基本的には参加者に読んでいただく（挙手制）。また、複数回の小レポート（授業内で記述し、提出する簡単なレポート）を行う。なお、進行具合によっては、授業計画に記載した内容に若干の変更がある場合がある。その際は、随時授業中に指示する。

### ◆授業計画〔各 90 分〕

1 回	授業内容	ガイダンス・哲学とはなにか
	事前学修	哲学とはどのような学問か調べる。
	事後学修	哲学とはどのような学問か整理する。
2 回	授業内容	古代ギリシアの哲学—ソクラテス以前の哲学者たち
	事前学修	ソクラテス以前の哲学者たちとはどのような人たちが調べる。
	事後学修	ソクラテス以前の哲学者たちの特徴を整理する。
3 回	授業内容	古代ギリシアの哲学—ソクラテスの思想を中心に
	事前学修	ソクラテスとはどのような人物か調べる。
	事後学修	ソクラテスの思想の特徴をまとめる。
4 回	授業内容	古代ギリシアの哲学—プラトンの思想 1
	事前学修	プラトンについて調べる。
	事後学修	プラトンの思想の特徴を理解する。
5 回	授業内容	古代ギリシアの哲学—プラトンの思想 2
	事前学修	前回の授業の内容を確認する。
	事後学修	プラトンの思想の特徴を理解する。
6 回	授業内容	古代ギリシアの哲学—アリストテレスの哲学と倫理学 1
	事前学修	アリストテレスについて調べる。
	事後学修	アリストテレスの思想の特徴を理解する。
7 回	授業内容	古代ギリシアの哲学—アリストテレスの哲学と倫理学 2
	事前学修	前回の授業の内容を確認する。
	事後学修	アリストテレスの思想の特徴を整理する。
8 回	授業内容	中世期の哲学
	事前学修	中世期の哲学とはどのようなものか調べる。
	事後学修	授業の内容をまとめ、理解を深める。
9 回	授業内容	近代哲学—F. ベーコンの思想を中心に
	事前学修	F. ベーコンについて調べる。
	事後学修	F. ベーコンの思想の特徴を整理する。
10 回	授業内容	近代哲学—デカルトと合理主義者を中心に 1
	事前学修	デカルトについて調べる。
	事後学修	デカルトの思想と合理主義の特徴を理解する。
11 回	授業内容	近代哲学—デカルトと合理主義者を中心に 2
	事前学修	前回の授業の内容を確認する。
	事後学修	デカルトの思想の特徴を整理する。
12 回	授業内容	近代哲学—デカルトと合理主義者を中心に 3
	事前学修	前回の授業の内容を確認する。
	事後学修	デカルトの思想と合理主義の特徴を整理する。
13 回	授業内容	近代哲学—経験論者の考え 1
	事前学修	経験論者にはどのような人がいるか調べる。
	事後学修	経験論の思想を理解する。
14 回	授業内容	近代哲学—経験論者の考え 2
	事前学修	前回の授業の内容を確認する。
	事後学修	経験論の思想を整理する。
15 回	授業内容	まとめ・筆記試験
	事前学修	これまでの授業を振り返り、代表的な哲学者の考え方を整理する。
	事後学修	哲学者の観点を理解し、批判的な視点を培う。

◆**教科書** 〔当日資料配布〕

◆**参考書** 授業中に随時指示する。

◆**成績評価基準** 授業への参加、貢献（20%）、小レポート（20%）、筆記試験（60%）により総合的に評価する。なお、評価を行う際には、毎回出席していることを前提とする。

### 注意

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」  
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

# 講座内容 (シラバス)

※ 2019年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

## 【英語C】★★☆

森 晴代

◆**授業概要** CNN ニュースを使用してアンカーや特派員の生きた英語の直聴直解を目指します。英語の4技能のうち、理解言語である「読む、聞く」を繰り返し練習することにより、英語そのものに慣れ、自然とシャドーイングができるようになります。表現言語である「話せる、書ける」は、理解言語を相当していることが上達の前提となりますので、扱うニュースについて事前に調べておき、周辺の言葉のある程度知っておく必要があります。

◆**学修到達目標** 1. ネイティブスピーカーが日常使用する 5000 語を身につける。スペルのミスをなくす。  
2. 1 分間に 150 語の音読ができる。棒読みではなく、自分の言葉として英語が出るようにする。  
3. 音読文章の内容を正確に把握することができる。

◆**授業方法** 2 回の授業で 1 unit 進めます。本文のリスニング、要約、内容のディスカッション、質疑応答、音読 (オーバーラッピング、シャドーイング) をグループワークを取り入れて行います。グループはクラスの人数により変更しますが 4~6 名で 1 グループを予定しています。辞典は必ず毎回持参してください。小テストは各 unit 終了時にその unit の書き取り、もしくはパッセージの要約のいずれかを行います。

### ◆ 授業計画 [各 90 分]

1 回	授業内容	リスニングと音読の関係性の説明 Unit 1 : A Look at Gold 内容に関するディスカッション 単語の意味及び発音練習
	事前学修 事後学修	Unit 1 の内容を予習しておくこと トピックの内容の整理、重要単語の暗記、アンカー部分の発音の練習をしておくこと
2 回	授業内容	Unit 1 : A Look at Gold リスニング及び要約 質疑応答 オーバーラッピング シャドーイング
	事前学修 事後学修	本文のリスニングを解いて、内容を把握してくること スムーズな音読、内容を把握、単語の確認をしておくこと
3 回	授業内容	Unit 1 の補足 小テスト Unit 2 : Daylight Savings 内容に関するディスカッション 単語の意味及び発音練習
	事前学修 事後学修	Unit 1 の小テストに備えること、Unit 2 の内容を予習しておくこと 小テストでのミスを再度確認、トピックの内容の整理、重要単語の暗記、アンカー部分の発音の練習をしておくこと
4 回	授業内容	Unit 2 : Daylight Savings リスニング及び要約 質疑応答 オーバーラッピング シャドーイング
	事前学修 事後学修	本文のリスニングを解いて、内容を把握してくること スムーズな音読、内容を把握、単語の確認をしておくこと
5 回	授業内容	Unit 2 の補足 小テスト Unit 3 : Making Libraries 内容に関するディスカッション 単語の意味及び発音練習
	事前学修 事後学修	Unit 2 の小テストに備えること、Unit 3 の内容を予習しておくこと 小テストでのミスを再度確認、トピックの内容の整理、重要単語の暗記、アンカー部分の発音の練習をしておくこと
6 回	授業内容	Unit 3 : Making Libraries リスニング及び要約 質疑応答 オーバーラッピング シャドーイング
	事前学修 事後学修	本文のリスニングを解いて、内容を把握してくること スムーズな音読、内容を把握、単語の確認をしておくこと
7 回	授業内容	Unit 3 の補足 小テスト Unit 4 : Pyramid Tech 内容に関するディスカッション 単語の意味及び発音練習
	事前学修 事後学修	Unit 3 の小テストに備えること、Unit 4 の内容を予習しておくこと 小テストでのミスを再度確認、トピックの内容の整理、重要単語の暗記、アンカー部分の発音の練習をしておくこと
8 回	授業内容	Unit 4 : Pyramid Tech リスニング及び要約 質疑応答 オーバーラッピング シャドーイング
	事前学修 事後学修	本文のリスニングを解いて、内容を把握してくること スムーズな音読、内容を把握、単語の確認をしておくこと
9 回	授業内容	Unit 4 の補足 小テスト Unit 5 : Pigments 内容に関するディスカッション 単語の意味及び発音練習
	事前学修 事後学修	Unit 4 の小テストに備えること、Unit 5 の内容を予習しておくこと 小テストでのミスを再度確認、トピックの内容の整理、重要単語の暗記、アンカー部分の発音の練習をしておくこと
10 回	授業内容	Unit 5 : Pigments リスニング及び要約 質疑応答 オーバーラッピング シャドーイング
	事前学修 事後学修	本文のリスニングを解いて、内容を把握してくること スムーズな音読、内容を把握、単語の確認をしておくこと
11 回	授業内容	Unit 5 の補足 小テスト Unit 6 : Shopping Tech 内容に関するディスカッション 単語の意味及び発音練習
	事前学修 事後学修	Unit 5 の小テストに備えること、Unit 6 の内容を予習しておくこと 小テストでのミスを再度確認、トピックの内容の整理、重要単語の暗記、アンカー部分の発音の練習をしておくこと
12 回	授業内容	Unit 6 : Shopping Tech リスニング及び要約 質疑応答 オーバーラッピング シャドーイング
	事前学修 事後学修	本文のリスニングを解いて、内容を把握してくること スムーズな音読、内容を把握、単語の確認をしておくこと
13 回	授業内容	Unit 6 の補足 小テスト Unit 7 : Origami 内容に関するディスカッション 単語の意味及び発音練習
	事前学修 事後学修	Unit 6 の小テストに備えること、Unit 7 の内容を予習しておくこと 小テストでのミスを再度確認、トピックの内容の整理、重要単語の暗記、アンカー部分の発音の練習をしておくこと
14 回	授業内容	Unit 7 : Origami リスニング及び要約 質疑応答 オーバーラッピング シャドーイング
	事前学修 事後学修	本文のリスニングを解いて、内容を把握してくること スムーズな音読、内容を把握、単語の確認をしておくこと
15 回	授業内容	試験及び解説
	事前学修 事後学修	これまでの音読訓練の成果を確認、単語の暗記、直聴直解ができていないかを確認しておくこと これまでのトピックの内容、スムーズなシャドーイング、単語のスペルの再確認をしておくこと

◆**教科書** 瓦沼『CNN 10 - Student News - vol. 2』 関戸冬彦他4名著 朝日出版社 1,944 円 (税込) (送料 300 円)

◆**参考書** 授業中に紹介します

◆**成績評価基準** 平常点 (20%) 小テスト (20%) 音読発表 (10%) 試験 (50%) 毎回出席することを前提として評価します

**注意** E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」  
※ 授業相談 (連絡先) に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

# 講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

## 〔商法Ⅱ〕

南 健悟

◆**授業概要** この講義では会社法について扱う。現代の経済社会において、欠かすことのできない会社制度について、法的な側面から説明を行い、会社法の全体像及び法的論点について解説する。会社法は多くの利害関係者の利害を調整する法的仕組みを用いている。より具体的には、会社の法的意義、機関構造、設立手続、M&A 等に関わる法的諸問題について講義を行う。

◆**学修到達目標** この講義では、株式会社まつわる法的紛争について、条文や判例・学説に従って解決する能力を養成することを目的とする。したがって、この講義において、受講生は、株式会社に関する法的諸問題について、条文や判例・学説を駆使し、当該法的諸問題に対して、どのように考えればよいのか、どのように解決すればよいのかについて理解し、それを適切に説明できるようにすることを目標とする。

◆**授業方法** 基本的にはレジュメ等を配布した講義形式によるが、場合によっては、事前の予習を踏まえての積極的な発言を求められることがある。

### ◆授業計画〔各 90 分〕

1 回	授業内容	【オリエンテーション、会社法の意義と会社法の目的】会社とはどのような存在であるのか、会社法とはどのような特徴を有しているのか講義する。
	事前学修	教科書の「序章 会社法への誘い」の部分を読んでおく。
	事後学修	講義レジュメや教科書を確認し、他の関連科目との関係を検討する。
2 回	授業内容	【会社法総論（1）—会社の法的意義・会社の種類】会社の意義と、株式会社、合同会社、合資会社、合名会社の違いについて講義する。
	事前学修	会社とはどのような存在であるのかについて自分なりに検討する。
	事後学修	株式会社、合同会社、合資会社、合名会社の違いについて作図してみる。
3 回	授業内容	【会社法総論（2）—株主有限責任制度】株主有限責任制度の理論的根拠や問題点について講義する。
	事前学修	教科書の「第 1 章 総論」を読み、株式会社の事業活動における会社法の役割や株主有限責任制度について確認しておく。
	事後学修	株主有限責任制度における問題点への他の対応策を調べてみる。
4 回	授業内容	【株式会社の機関（1）—機関総論】株式会社の機関とそれが置かれる理論的根拠等について講義する。
	事前学修	教科書の「第 2 章 株式会社の機関」のうち「1 株式会社の機関設計」を読んでおく。
	事後学修	株式会社における機関構成を作図してみる。
5 回	授業内容	【株式会社の機関（2）—株主総会】株主総会の役割や機能について、株主総会の招集手続について講義する。
	事前学修	教科書の「第 2 章 株式会社の機関」のうち「2 株主総会」を読んでおく。
	事後学修	株主総会の招集手続がどのように進行するのかをまとめておく。
6 回	授業内容	【株式会社の機関（3）—株主総会決議の瑕疵】株主総会決議の瑕疵を争う訴えとしての決議不存在確認の訴え、決議無効確認の訴え、決議取消しの訴えについて講義する。
	事前学修	教科書の「第 2 章 株式会社の機関」のうち「株主総会決議の瑕疵」を読んでおく。
	事後学修	上記各訴えの違いについて表でまとめる。
7 回	授業内容	【株式会社の機関（4）—取締役・取締役会・代表取締役】取締役の選任・終任とその職務について講義する。
	事前学修	教科書の「第 2 章 株式会社の機関」のうち「3 取締役、取締役会、代表取締役」を読んでおく。
	事後学修	取締役の職務に係る法的問題にはどのようなものがあるのかを確認する。
8 回	授業内容	【株式会社の機関（5）—監査役、監査役会、会計監査人、会計参与】監査役、会計監査人と会計参与の役割や職務について講義する。
	事前学修	教科書の「第 2 章 株式会社の機関」のうち「4 監査役・監査役会・会計監査人」を読んでおく。
	事後学修	監査役・監査役会や会計監査人の監督と取締役会の監督とはどのように異なるのか、まとめておく。
9 回	授業内容	【株式会社の機関（6）—指名委員会等設置会社・監査等委員会設置会社】指名委員会等設置会社と監査等委員会設置会社について講義する。
	事前学修	教科書の「第 2 章 株式会社の機関」のうち「5 指名委員会等設置会社」「6 監査等委員会設置会社」を読んでおく。
	事後学修	指名委員会等設置会社や監査等委員会設置会社である会社が具体的にどのように用いられているのかを調べる。
10 回	授業内容	【株式会社の機関（7）—役員責任①（役員義務総説）】取締役の善管注意義務と忠実義務とは、どのような義務かについて講義する。
	事前学修	教科書の「第 2 章 株式会社の機関」のうち「取締役の義務」を読んでおく。
	事後学修	どのような事例で取締役の会社に対する義務が問題となるのかについてまとめておく。
11 回	授業内容	【株式会社の機関（8）—役員責任②（競業禁止義務・利益相反取引・取締役の報酬規制）】競業取引規制、利益相反取引規制、取締役の報酬規制について講義する。
	事前学修	教科書の「第 2 章 株式会社の機関」のうち、86 頁以下の「忠実義務」及び「取締役の報酬」を読んでおく。
	事後学修	具体的な裁判例を素材に、どのような取引が競業取引に当たるのか、利益相反取引に当たるのかについてまとめておく。
12 回	授業内容	【株式会社の機関（9）—役員責任③（会社に対する責任）】取締役は会社に対して善管注意義務を負っているが、当該義務が問題となる場面について講義する。
	事前学修	教科書の「第 2 章 株式会社の機関」のうち、79 頁以下の「善管注意義務」及び「7 役員等の責任」を読んでおく。
	事後学修	企業不祥事が問題となった事例において、取締役の善管注意義務違反の有無についてどのように判断されているのかを調べる。
13 回	授業内容	【株式会社の機関（10）—役員責任④（株主代表訴訟・多重代表訴訟）】株主代表訴訟等の手続について講義する。
	事前学修	教科書の「第 2 章 株式会社の機関」のうち、125 頁以下の「株主代表訴訟」を読んでおく。
	事後学修	株主代表訴訟及び多重代表訴訟の手続についてまとめる。
14 回	授業内容	【株式会社の機関（11）—役員責任⑤（第三者に対する責任）】取締役の対第三者責任について講義する。
	事前学修	教科書の「第 2 章 株式会社の機関」のうち、130 頁以下の「役員等の第三者に対する責任」を読んでおく。
	事後学修	取締役の対第三者責任が問題となった裁判例を調べる。
15 回	授業内容	【まとめと試験】知識の確認のための試験を行う。
	事前学修	教科書の「序章」「第 1 章」「第 2 章」を通読し、いわゆる会社法のうち、ガバナンスに関する部分について理解を深めておく。
	事後学修	自分自身の知識がどの程度定着しているのか、演習本等でチェックする。

◆**教科書** 丸沼『会社法（有斐閣ストゥディア）』中東正文ほか 有斐閣 2,052 円（税込）（送料 300 円）

◆**参考書** 丸沼『リーガルクエスト会社法（第 4 版）』伊藤靖史ほか 有斐閣 3,132 円（税込）（送料 350 円）

丸沼『会社法判例百選（第 3 版）』岩原紳作ほか編 有斐閣 2,592 円（税込）（送料 300 円）

◆**成績評価基準** 定期試験において、択一・論述式による問題を出し、授業で扱った会社法上の問題について適切に理解をしているかを確認する。

### 注意

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」  
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

# 講座内容 (シラバス)

※ 2019年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

## (西洋史演習 I・II)

藤井 信行

- ◆**授業概要** 歴史学の勉強を卒業論文に集約させることが目的です。そのため、授業をとおして卒業論文のテーマ決定・文献目録の作成・文献の解説・事実の解釈 (以上、前期)、および研究史の整理・資料の収集・論証とは? (以上、後期) など1つ1つステップを積み重ね、歴史学の論文を書くことへとつながっていきます。
- ◆**学修到達目標** 歴史とは、事実の積み重ねがおのずから歴史を創っていくのではなく、歴史家がいくつもの事実を解釈することをおして創られていくものであることを理解する。それをとおして、自己のテーマで学生各自が事実を解釈し、論文にまとめる (歴史を書く) ことを目的とする。
- ◆**授業方法** 歴史学の卒業論文を完成させるためのステップを、1つずつゼミナール形式で進めます。3年次生は、これをモデルにして同じステップを各自の論文テーマで行います。4年次生は、これを今一度自分の論文で確認しつつ論文を完成させてください。3年・4年次生ともに授業内でのそれまでの研究成果を報告してもらおうとにも、報告内容についてディスカッションを行います。
- ◆**履修条件** 前期のみの受講、後期のみの受講も可能だが、学修効果を上げるため、前期・後期の連続受講が望ましい。
- ◆**授業計画 (各 90 分)**

1 回	授業内容	歴史学の論文を書く: まずこの授業の全体像と具体的な進め方を説明する。つづいて歴史学の論文を書く上で重要な2つのポイント「参考文献目録の作成」と「研究史の整理」について説明する。
	事前学修	テキスト第2章 (41~78頁) をよく読んでおくこと。
	事後学修	2つのポイントについて、授業内容とテキストをノートにまとめ、それぞれを確認し理解する。
2 回	授業内容	歴史学とは? : 歴史学 (歴史) を構成している2つの重要なキーワードとして「事実」と「解釈」を挙げる事が出来る。新しい「事実」が発見されれば、つねにそれに従って新しい「解釈」が生まれる。歴史学はその積み重ねであることを説明する。
	事前学修	テキスト第3章 (79~126頁) をよく読んでおくこと。
	事後学修	授業内容をノートに整理し、2つのキーワード「事実」と「解釈」を理解する。
3 回	授業内容	「事実」について: 事実の積み重ねがおのずから歴史を創っていくのではなく、歴史とは歴史家による「事実」の「解釈」であり、歴史家がいくつもの事実を解釈することをおして創られていくものであることを解説する。
	事前学修	テキスト第1章 (1~40頁) をよく読んでおくこと。
	事後学修	授業内容をノートに整理し、2つのキーワード「事実」と「解釈」を理解する。
4 回	授業内容	一般的事実と歴史的事実 (1): 一般的事実と歴史的事実の違いについて説明するとともに、歴史学の論文 (プリントを配布) を読んで、一般的事実を拾い集めリストアップする。
	事前学修	配布資料 (前回授業終了時に配布) をよく読んでおくこと。
	事後学修	授業で作成した事実のリストアップ表を (授業中に未完の学生は完成させる)、配布資料と照らし合わせて確認する。
5 回	授業内容	一般的事実と歴史的事実 (2): リストアップした一般的事実の中から、自己の解釈を証明してくれる事実 (歴史的事実) をピックアップして、レポートにまとめる。
	事前学修	作成したリストアップ表をよく読んでおく。
	事後学修	まとめたレポートを提出用に完成させる (次回授業時に提出)。
6 回	授業内容	史料批判 (1): 歴史学における史料批判とは何か? また歴史学における史料批判の必要性は何か? を解説する。
	事前学修	テキスト第1章 (1~40頁) をよく読んでおくこと (特に 16~22頁)。
	事後学修	テキストと授業ノートを整理し、内容を確認・理解する。
7 回	授業内容	史料批判 (2): 外交文書集や個人の自伝などに掲載されている書簡などは、事実であるけれども、たとえば著者が考えた事実であったり、あるいはその他にも事実が存在することもあろう。こうしたことを、実際の例を挙げて解説する。
	事前学修	配布資料 (前回授業終了時に配布) をよく読んでおくこと。
	事後学修	授業内容を配布資料でよく確認し、歴史学における史料批判の必要性を理解する。
8 回	授業内容	参考文献目録の作成 (1): 共通テーマ「第1次世界大戦原因論」で参考文献の検索・目録の作成を行う。
	事前学修	参考書『歴史学』第8部をよく読んでおくこと。
	事後学修	ネットを利用した検索方法を各自で再確認する。
9 回	授業内容	参考文献目録の作成 (2): 各自の卒業論文のテーマ (まだテーマ未決定の学生は関心のあるテーマ) で参考文献の検索・目録の作成を行う。
	事前学修	各自、参考文献を1つ選び、よく読んでおく。
	事後学修	授業の時間内では取り上げられなかったキーワードの組み合わせで、さらに検索をかけてみる。
10 回	授業内容	編年表を作る (1): 共通テーマとして歴史学の関連図書 (通信教材『歴史学』) を読んで、出来事を編年形式でまとめる。
	事前学修	第4回・5回授業で作成したリストアップ表を1度よく読んでおくこと。
	事後学修	テーマについての出来事の時系列 (編年表) を (未完の学生は完成させ) 確認し理解する。
11 回	授業内容	編年表を作る (2): 各自のテーマに関する論文を読み、出来事を編年形式でまとめる。
	事前学修	各自、参考文献を1つ選び、よく読んでおく。
	事後学修	テーマについての出来事の時系列 (編年表) を (未完の学生は完成させ) 確認し理解する。
12 回	授業内容	3年次生のテーマ決定報告とディスカッション (1): 学生それぞれの報告と報告内容 (テーマ・章立て・論証内容など) についてのディスカッションを行う。
	事前学修	各自の報告を準備するとともに、他の学生たちの報告要旨 (事前に配布する) をよく読んでおく。積極的にディスカッションに参加できる準備を整えておく。
	事後学修	報告に関するディスカッションの内容を確認し理解する。
13 回	授業内容	3年次生のテーマ決定報告とディスカッション (2): 学生それぞれの報告と報告内容 (テーマ・章立て・論証内容など) についてのディスカッションを行う。
	事前学修	各自の報告を準備するとともに、他の学生たちの報告要旨 (事前に配布する) をよく読んでおく。積極的にディスカッションに参加できる準備を整えておく。
	事後学修	報告に関するディスカッションの内容を確認し理解する。
14 回	授業内容	4年次生の卒業論文中間報告とディスカッション (1): 学生それぞれの報告と報告内容 (テーマ・章立て・論証内容など) についてのディスカッションを行う。
	事前学修	各自の報告を準備するとともに、他の学生たちの報告要旨 (事前に配布する) をよく読んでおく。積極的にディスカッションに参加できる準備を整えておく。
	事後学修	報告に関するディスカッションの内容を確認し理解する。
15 回	授業内容	4年次生の卒業論文中間報告とディスカッション (2): 学生それぞれの報告と報告内容 (テーマ・章立て・論証内容など) についてのディスカッションを行う。
	事前学修	各自の報告を準備するとともに、他の学生たちの報告要旨 (事前に配布する) をよく読んでおく。積極的にディスカッションに参加できる準備を整えておく。
	事後学修	報告に関するディスカッションの内容を確認し理解する。

- ◆**教科書** 通材『西洋史入門 Q20300』通信教育教材 (教材コード 000047) 1,700 円 (送料込)
- ◆**参考書** 通材『西洋史特講 I Q31200』通信教育教材 (教材コード 000156) 2,000 円 (送料込)
- 通材『歴史学 B11100』通信教育教材 (教材コード 000393) 1,950 円 (送料込)
- ◆**成績評価基準** レポート2回 (授業中・前期最終授業時) 各 30%×2、報告 40% 毎回出席することを前提に評価します。

### 注意

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例:「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」  
※授業相談 (連絡先) に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

講座の選定

時間割

開講講座表・シラバス使用教材 (火曜日)

開講講座表・シラバス使用教材 (水曜日)

開講講座表・シラバス使用教材 (木曜日)

開講講座表・シラバス使用教材 (金曜日)

受講及び試験

受講手続

申込講座の許可と不許可

受講料等の納入

受講準備

体育実技の受講について

オープン受講

胸部X線検査

各種用紙

付録

# 講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

## 〔経済原論 A / 経済学原論 A〕

関谷 喜三郎

◆**授業概要** 家計行動・企業行動の分析を通して、市場における価格と取引量の決定を学ぶ。それによって市場メカニズムの仕組みを理解する。

◆**学修到達目標** 1. 家計と企業の行動分析を通じて、需要曲線と供給曲線を理解する。  
2. 市場における価格の決定を学び、需要と供給の調整を理解する。  
3. 市場が不完全な場合の価格と取引量の変化を学ぶ。

◆**授業方法** テキストを用いて、各章の説明を通じて、ミクロ経済学を体系的に学んでいく。板書による講義が中心となる。

### ◆**授業計画〔各 90 分〕**

1 回	授業内容	経済学の基本問題
	事前学修	特別な準備は必要としない。
	事後学修	授業内容を確認する。
2 回	授業内容	世界や日本の経済循環と変動
	事前学修	経済に関する新聞、雑誌に目を通す。
	事後学修	経済状況の内容を整理しておく。
3 回	授業内容	ミクロ経済学とマクロ経済学の分析視点
	事前学修	テキスト、第 1 章を読んでおく。
	事後学修	ミクロとマクロのちがいを整理しておく。
4 回	授業内容	いくつかの重要なコンセプト
	事前学修	特別な準備は必要としない。
	事後学修	分析に必要な概念を理解しておく。
5 回	授業内容	消費の理論
	事前学修	テキスト、第 2 章を読んでおく。
	事後学修	消費者行動理論の基本概念を理解しておく。
6 回	授業内容	消費理論の応用と拡張
	事前学修	テキスト、第 3 章～第 4 章を読んでおく。
	事後学修	需要曲線について整理しておく。
7 回	授業内容	企業行動と生産関数
	事前学修	テキスト、第 7 章を読んでおく。
	事後学修	企業行動分析の基本概念をみておく。
8 回	授業内容	企業行動と費用
	事前学修	第 8 章を読んでおく。
	事後学修	費用分析の内容を理解しておく。
9 回	授業内容	最適生産の決定
	事前学修	第 8 章～第 9 章を読んでおく。
	事後学修	利潤極大について理解しておく。
10 回	授業内容	完全競争市場の均衡と効率性（その 1）
	事前学修	テキスト、第 10 章から第 11 章を読んでおく。
	事後学修	価格の決定と市場の完全性について理解する。
11 回	授業内容	完全競争市場の均衡と効率性（その 2）
	事前学修	第 11 章を読んでおく。
	事後学修	資源配分の効率性について理解する。
12 回	授業内容	不完全競争市場と独占
	事前学修	第 12 章を読んでおく。
	事後学修	不完全競争の条件と独占価格について理解する。
13 回	授業内容	寡占と独占的競争
	事前学修	第 14 章を読んでおく。
	事後学修	不完全な市場における競争と価格について理解する。
14 回	授業内容	外部性、不確実性と不完全情報
	事前学修	第 19 章を読んでおく。
	事後学修	公共財、外部性、不完全情報について理解する。
15 回	授業内容	講義のまとめ
	事前学修	前期の講義ノートを確認しておく。
	事後学修	講義内容全体を再確認する。

◆**教科書** 丸沼『ミクロ経済学』関谷喜三郎著 創成社 2,700 円（税込）（送料 300 円）

◆**参考書** なし

◆**成績評価基準** 出席を前提として、試験にて評価します。

**注意** E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」  
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

# 講座内容 (シラバス)

※ 2019年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

## (文学)

木村 一

◆**授業概要** 本講座は、「国語」ではありません。「文学」です。ひとことで「文学」と言っても、簡単に説明できるものではありませんが、古来より残されてきた人の行動の一つであることは確かなことです。それでは、人びとはどうしてそれを残してきたのか、「文学」であることとはどのようなことであるのか。漠然としたことではなしに、実際の作品にその答えを探ります。講義の対象とする時代は、平安時代です。受講者は事項だけではなしに、その背景をも把握することに努めましょう。

◆**学修到達目標** 実際に作品を読んでいくことで、当時の人びとのものの考え方や、どのように生きていたのかということを読み解いていきます。作品に表されているものごとの捉え方や人間模様を知ることに、大きく「文学」とはどのようなものか、ということが把握できるようになります。また、講義内で行う小課題に取り組むことにより、何をどのように捉え、どのように答えるかということにも対応できることを目標とします。

◆**授業方法** 講義形式で授業を行います。指定テキストを適宜用い、それとあわせて実際の作品を読んでいきます。受講者は、講義の対象となる時代背景を把握すること。対象となる作品のおおよその概要を把握すること。さらに配布される資料で作品を読み込むこと。また、受講者に積極的な思考を促すために、小課題を授業中に課すこととします。そのために各自積極的にノートをとること。

◆**履修条件** 前期のみの受講、後期のみの受講も可能だが、学修効果を上げるため、前期・後期の連続受講が望ましい。

### ◆**授業計画 (各 90 分)**

1 回	授業内容：導入・注意事項・文学とは・古代と文学 事前学修：テキストの授業概要に該当する部分を読んでおくこと。 事後学修：各自ノートの記載内容、講義内容を照らし合わせ理解につなげること。
2 回	授業内容：和歌とは 事前学修：韻文と散文ということを捉えておくこと。 事後学修：講義で学修したことを踏まえ、講義内容と照らし合わせる。
3 回	授業内容：『古今和歌集』ということ 事前学修：文学史事項と背景を把握しておくこと。 事後学修：基本事項と成立の背景を講義内容と照らし合わせる。
4 回	授業内容：国風暗黒時代ということ 事前学修：『古今和歌集』成立の背景を確実にしておくこと。 事後学修：勅撰ということの意味を確実にしておくこと。
5 回	授業内容：二つの序文 事前学修：『古今和歌集』の体裁について把握しておくこと。 事後学修：ここまでの内容の、作品・時代背景・作品の体裁ということを確認。
6 回	授業内容：仮名序の意味・真名序の意味 事前学修：序文とは何か。二つあるとはどのようなことか、ということを考えておくこと。 事後学修：事前学修の考えと講義内容との誤差を埋めること。
7 回	授業内容：撰者たちとその時代 事前学修：仮名序を読み進めておくこと。 事後学修：仮名序の内容と撰者たちの立ち位置を把握すること。
8 回	授業内容：和歌から物語へ・物語とは・物語文学の流れ 事前学修：韻文から散文へという流れをつかむこと。 事後学修：共通点と相違点を把握すること。
9 回	授業内容：『伊勢物語』入門 事前学修：『伊勢物語』について調べる。 事後学修：講義内容を整理する。
10 回	授業内容：『伊勢物語』と『古今和歌集』 事前学修：共通点と相違点を見つけておくこと。 事後学修：共通点と相違点はどのようなことであったのか、整理する。
11 回	授業内容：初冠 事前学修：元服について調べる。 事後学修：当時の制度と物語との関係について整理する。
12 回	授業内容：初段から第五段まで 事前学修：配布資料の読み込み。 事後学修：各段の内容と話の流れとの把握と整理。
13 回	授業内容：虚相と実相 事前学修：物語とはどのようなものであったか。 事後学修：どうして乖離するのか。
14 回	授業内容：第六段 事前学修：配布資料の読み込み。 事後学修：講義内容を確実に整理すること。
15 回	授業内容：試験 事前学修：これまでの総復習・資料、ノートの整理と対策。 事後学修：

◆**教科書** 教材『国文学基礎講義 M20100』通信教育教材(教材コード 000519) 3,350 円(送料込)  
 〈この教材は市販の『Next 教科書シリーズ日本古典文学』近藤健史編(弘文堂)と同一です。〉  
 〔当日資料配布〕当日プリント配布

◆**参考書** 電子辞書があると便利(電子端末=スマホ・タブレット不可)

◆**成績評価基準** 毎回出席することを前提とし、講義への取り組み・小課題の成果により総合的に評価する。  
 受講状況(10%)・小課題(10%)・試験(80%)

### 注意

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」  
 ※授業相談(連絡先)に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

# 講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

## 〔法学B〕

武田 茂樹

- ◆**授業概要** 〔法の歴史を学び、法の未来を考えよう〕その中で前期は法の歴史を学びます。前期・後期を通して、法の全体像を考え、法の歴史とその未来を考えていくことが目標ですが、前期では、法の歴史を学び、法の全体像を理解していくことが中心となります。そこで、興味を感じている世界史の本を読んでもくことは、講義を理解する上で有意義だと思います。なお、法の歴史の理解において、憲法と立憲主義の理解は不可欠です。芦部著『憲法』（岩波書店）をゆっくりと焦らずに読むことを薦めます。
- ◆**学修到達目標** 現代世界は、激動のなかにあるといえます。世界的なグローバル化の進展によって、近代の世界において築き上げられて国際的な秩序は、現在、変動を余儀なくされ、新しい世界の形成過程にあると思われる。その中で生きる私達は、冷静に新しく生まれていくべき世界を考えていくことが重要です。その中でも、法秩序は、世界を形成していく根幹になるものです。今、法の歴史を学び、法の未来を真摯に考えていくことが、大切な学問課題となっているのです。現代という激しい変化の中で、自分自身の法的理解の力を養っていくことが、この講座の学修到達目標です。
- ◆**授業方法** 基本的に講義を中心に授業を進めますが、学生諸君の疑問点になるべく答えるよう質疑応答の機会を取りたいと思います。法学の講義は、前期・後期という一年間を通して、法の理解を深めていくことが目標です。前期・後期の継続的な受講を願います。この講義は、教養科目に該当し、法の専門家のみが必要とする内容ではありません。現代の世界では、法に対する理解が非常に大切です。総合的な知性と文化認識の構築を楽しみながら受講してください。
- ◆**授業計画〔各 90 分〕**

1 回	授業内容 法学をどのように学ぶべきか。現代の世界では、価値観が非常に多様化しています。その中で、自分がどのように学問と向かい合うかを考えることが非常に大切です。
	事前学修 自分がどんな目標を持って、講義を受講するかを考えてみてください。
	事後学修 自分にとって学問の意義とは何かを考えよう。
2 回	授業内容 法とは何か、考える。この講義では、法は、人類の文化であるという立場から説明します。
	事前学修 自分自身の法に対するイメージを考え、できれば、文章化してみよう。
	事後学修 法と文化の関係について考えてみよう。
3 回	授業内容 法の歴史を考える。法は、人類の長い歴史の中で、生成・発展してきたものです。法を本当に理解するためには、歴史という時間軸による考察が必要不可欠です。
	事前学修 法の歴史を自分なりに想像してみよう。
	事後学修 法と歴史の関係を考えてみよう。
4 回	授業内容 法の成立について考察する。法の出発点を理解することは、とても大切です。講義では、ハムラビ法典の説明を中心に、法の成立について考えてみます。
	事前学修 法がどのように生まれてきたかを考えてみよう。
	事後学修 ハムラビ法典に対して、自分なりの理解を深めてみよう。
5 回	授業内容 古代の法について考える。本格的な古代法は、古代ローマ法の成立による。古代ローマ法こそ、今日の法の源流であり、今日でも脈々と流れ続ける法の大河です。
	事前学修 ギリシア・ローマの歴史の本を読んでみよう。
	事後学修 古代ローマ帝国と古代ローマ法の関係を考えよう。
6 回	授業内容 中世の法を考える。中世の時代の特徴は、キリスト教の全盛と封建的な社会制度です。その中で、古代法の性格は変容し、近代法へと歩みを進めていきますが、その過程から知ることは、法を深く理解する上でとても大切です。
	事前学修 キリスト教について学んでみよう。
	事後学修 法と宗教の関係について考えよう。
7 回	授業内容 近代の法こそ、今日の法の基本的構造であるといえます。憲法を最高法規とする近代立憲主義の法であり、近代市民革命と資本主義の成立が社会基盤です。
	事前学修 市民革命について学ぼう。近代世界こそ、今日の社会構造の始まりである。
	事後学修 今日の法の基本構造は、近代法システムである。憲法・民法・刑法・商法・民事訴訟法・刑事訴訟法という六法の概略を学んでみよう。
8 回	授業内容 現代法について。近代法は、資本主義経済の世界的な行き詰まりから生じた第一次世界大戦・第二次世界大戦を越えて、現代法へと変容していく。近代法システムから現代法システムへの変容を考えることは重要です。
	事前学修 第一次世界大戦・第二次世界大戦について学んでみよう。
	事後学修 日本国憲法の平和主義の大切さを学ぼう。
9 回	授業内容 現代世界の法について考える。現代世界は、地球規模で一体性をもつ国際社会です。そのなかで、国家の閉鎖性を超えて、国際社会の法的ルールの形成は、現代の世界の緊急課題です。
	事前学修 現在の地球環境がどのような状況にあるのか学ぼう。
	事後学修 世界的な視点に立って、自分の生き方を考えよう。
10 回	授業内容 国際法を考える。現代の世界は、地球環境を一体化したグローバルな世界を形成しつつあります。その中で、国家のスケールを超えた国際社会のルールである国際法の重要性は飛躍的に高まっています。
	事前学修 現代の国際社会では、どんなルール形成が必要か考えよう。
	事後学修 国際法を本格的に学んでみよう。
11 回	授業内容 個人の人権が十分に保障され、平和で民主主義の世界を築き上げるためには、どのようなルールの構築が必要かを考えてみます。それは、人類が、今後どのような文化を形成していくべきかということと深く関わっています。
	事前学修 平和で豊かな世界を築き上げるためには何が必要か考えてみよう。
	事後学修 世界を舞台に自分の生き方を考えよう。
12 回	授業内容 日本国憲法の平和主義の世界的な意義を考えよう。日本国憲法は、第二次大戦の人類の誤りの反省に立って生まれた平和憲法であり、法の叡智が結集したものです。日本国憲法の平和主義の精神こそ、今後の世界の根本的なルールとなるものです。
	事前学修 日本国憲法の平和主義について学ぼう。
	事後学修 憲法について本格的に学んでみよう。
13 回	授業内容 法の普遍的な価値とは何かを考えて見ます。人類の文化の中で現在そして未来の法のあるべき姿を、みんなで、議論してみよう。
	事前学修 法の本当の役割は何かを考えよう。
	事後学修 自分がどのように法と関わるかを考えよう。
14 回	授業内容 前期の講義をまとめ、みんなで質疑応答をします。
	事前学修 前期の講義の疑問点を整理してみよう。
	事後学修 後期の講義で自分自身がどのように取り組むかを考えよう。
15 回	授業内容 試験
	事前学修
	事後学修

- ◆**教科書** なし。
- ◆**参考書** 講義中に提示します。
- ◆**成績評価基準** 毎回出席することを前提に、試験（80%）、平常点（20%）で評価します。

**注意** E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」  
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。



# 講座内容 (シラバス)

※ 2019年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

## 【英語D】☆☆☆

北原 安治

◆**授業概要** 五文型に基づき、英文の構造を把握して初学者でも正しい訳ができるようになることを目標とする。前期・後期の連続受講が望ましい。

◆**学修到達目標** 全体的に英文の構造が理解できるようになり、文の構造に基づいた正しい和訳ができるようになることを目的とする。五文型の基本理解、自動詞と他動詞の区別、目的語と補語の区別、完了形の理解、仮定法の理解など基本文法が理解できるようになることを目的とする。

◆**授業方法** 講義の最初に映像教材を使い口語英語や英米中心に文化について学ぶ。テキストについては本文のみやり練習問題はやらない。ノート検査は抜き打ちで行うのでならずノートは書いておく。ルーズリーフでもよいが必ず書いたものすべてを毎回持ってくる。および板書事項を正確にすべて写していないノートは不可とし単位を与えない。予習段階で英文を8行ほどの間隔でノートに写す。板書のとときは英文の下に訳を書くが、ノートの見開きの左のページに英文を写し、右のページに訳をつけても良い。単語を調べてくること。和訳小テストをするので辞書を持ってくること。教科書を毎回持ってくる。15回目の試験は辞書やノートの持ち込み不可。

◆**履修条件** 前期・後期の連続受講が望ましい。

### ◆**授業計画 (各 90 分)**

1回	授業内容: 講義の進め方の説明。映像資料。第6章(カナダ)の英文構造と和訳。 事前学修: 英文をノートに書き写す(8行ほど)。単語を調べて自分なりの和訳をする。 事後学修: 予習段階の和訳と講義の和訳を比べてどこが間違っただか確認する。
2回	授業内容: 映像資料。第6章(カナダ)の英文構造と和訳。5文型の確認。 事前学修: 英文をノートに書き写す。和訳をする。5文型の予習。 事後学修: 和訳を比べてどこが間違っただか確認する。5文型の復習。
3回	授業内容: 映像資料。第6章(カナダ)の英文構造と和訳。文の種類の確認。 事前学修: 英文をノートに書き写す。和訳をする。文の種類の予習。 事後学修: 和訳を比べてどこが間違っただか確認する。文の種類の復習。
4回	授業内容: 映像資料。第6章(カナダ)の英文構造と和訳。句と節の確認。 事前学修: 英文をノートに書き写す。和訳をする。句と節の予習。 事後学修: 和訳を比べてどこが間違っただか確認する。句と節の復習。
5回	授業内容: 映像資料。第6章(カナダ)の英文構造と和訳。動詞の種類の確認。 事前学修: 英文をノートに書き写す。和訳をする。動詞の種類の予習。 事後学修: 和訳を比べてどこが間違っただか確認する。動詞の種類の復習。
6回	授業内容: 映像資料。第6章(カナダ)の英文構造と和訳。目的語と補語の確認。 事前学修: 英文をノートに書き写す。和訳をする。目的語と補語の予習。 事後学修: 和訳を比べてどこが間違っただか確認する。目的語と補語の復習。
7回	授業内容: 映像資料。第6章(カナダ)の英文構造と和訳。群動詞の確認。 事前学修: 英文をノートに書き写す。和訳をする。群動詞の予習。 事後学修: 和訳を比べてどこが間違っただか確認する。群動詞の復習。
8回	授業内容: 映像資料。第6章(カナダ)の英文構造と和訳。前置詞の確認。 事前学修: 英文をノートに書き写す。和訳をする。前置詞の予習。 事後学修: 和訳を比べてどこが間違っただか確認する。前置詞の復習。
9回	授業内容: 映像資料。第6章(カナダ)の英文構造と和訳。二重前置詞の確認。 事前学修: 英文をノートに書き写す。和訳をする。二重前置詞の予習。 事後学修: 和訳を比べてどこが間違っただか確認する。二重前置詞の復習。
10回	授業内容: 映像資料。第6章(カナダ)の英文構造と和訳。関係代名詞の確認。 事前学修: 英文をノートに書き写す。和訳をする。関係代名詞の予習。 事後学修: 和訳を比べてどこが間違っただか確認する。関係代名詞の復習。
11回	授業内容: 映像資料。第6章(カナダ)の英文構造と和訳。前置詞+関係代名詞の確認。 事前学修: 英文をノートに書き写す。和訳をする。前置詞+関係代名詞の予習。 事後学修: 和訳を比べてどこが間違っただか確認する。前置詞+関係代名詞の復習。
12回	授業内容: 映像資料。第6章(カナダ)の英文構造と和訳。複合関係代名詞の確認。 事前学修: 英文をノートに書き写す。和訳をする。複合関係代名詞の予習。 事後学修: 和訳を比べてどこが間違っただか確認する。複合関係代名詞の復習。
13回	授業内容: 映像資料。第6章(カナダ)の英文構造と和訳。関係副詞の確認。 事前学修: 英文をノートに書き写す。和訳をする。関係副詞の予習。 事後学修: 和訳を比べてどこが間違っただか確認する。関係副詞の復習。
14回	授業内容: 映像資料。第6章(カナダ)の英文構造と和訳。関係詞の確認。 事前学修: 英文をノートに書き写す。和訳をする。関係詞の予習。 事後学修: 和訳を比べてどこが間違っただか確認する。関係詞の復習。
15回	授業内容: 持ち込み不可の試験および解説。 事前学修: 学習した範囲の単語を覚えて、和訳ができるようにする。 事後学修: 学んだ文法事項を参考書などで再確認する。

◆**教科書** 丸沼『Major Countries in the World ~世界の主要国~』小泉和弘編 鳳書房 (Tel/Fax (03) 3483-3723) 1,944円(税込)(送料300円)

◆**参考書** 丸沼『ロイヤル英文法』旺文社 1,944円(税込)(送料500円)

この本は講義では使わない。辞書は使い慣れたものでよいので毎回持ってくる。電子辞書でもよい。

◆**成績評価基準** 期末試験、小テストなどの総合評価。皆出席を望む。出席点とノート点は加点しない。出席してノートを取るのだからである。抜き打ちの実力テストを行う場合がある。板書事項を全部書いているかを調べる。ノート検査をして不備の者は不合格。テキストを買っていないものも不可とする。

### 注意

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例:「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」  
※授業相談(連絡先)に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

# 講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

## 〔刑法 I〕

岡西 賢治

- ◆**授業概要** 刑法総論に関する諸概念を理解するために、学説や判例の状況をふまえながら論点の解説と整理を行う。
- ◆**学修到達目標** 犯罪と刑罰に関する基礎的知識を習得し、人を処罰することについて自らの考えを持ち、具体的な事件や現象を理解し検討・批判する能力を身に付ける。学習にあたっては、専門用語や概念を覚えるだけでなく、それらを使って現実の問題に取り組めるような能動的姿勢がとれるようにする。
- ◆**授業方法** 講義形式を中心とするが、必要に応じて個々の意見を求めることや、特定のテーマを設定したうえで全体での議論を行うこともある。
- ◆**授業計画〔各 90 分〕**

1 回	授業内容: <b>刑法の意義と目的、刑法の適用</b> 事前学修: 刑法とは何か、何のために刑法が存在するのか等について考える 事後学修: 広義・狭義の刑法の範囲と意味を理解する
2 回	授業内容: <b>刑罰の目的と種類</b> 事前学修: 人はなぜ処罰されるのかについて考える 事後学修: 刑法に対する基本的な考え方を整理する
3 回	授業内容: <b>基本原則としての罪刑法定主義と責任主義</b> 事前学修: 近代刑法が確立してきた過程を振り返ってみる 事後学修: 罪刑法定主義をめぐる判例を整理する
4 回	授業内容: <b>犯罪の成立要件、構成要件という概念</b> 事前学修: 犯罪の成立要件が論じられる意味について考える 事後学修: 構成要件に関する諸概念について整理する
5 回	授業内容: <b>行為と因果関係</b> 事前学修: 行為とは何か、結果との関係はなぜ必要なのかについて考える 事後学修: 作為と不作為、因果関係をめぐる理論について理解する
6 回	授業内容: <b>違法性の本質、違法性阻却事由とは何か</b> 事前学修: 刑法における違法とは何かを考える 事後学修: 構成要件と違法性の関係を整理する
7 回	授業内容: <b>正当行為と緊急行為（正当防衛と緊急避難）</b> 事前学修: 刑法の規定（35・36・37 条）を整理する 事後学修: 緊急行為に関する判例の動向を整理しておく
8 回	授業内容: <b>責任の本質、責任能力とは何か</b> 事前学修: 犯罪における責任の意味を考える 事後学修: 責任をめぐるこれまでの理論や現在の議論を整理する
9 回	授業内容: <b>故意と錯誤</b> 事前学修: 犯罪を行う意思とは何かを考える 事後学修: 故意の種類、錯誤の状況を整理しておく
10 回	授業内容: <b>違法性の意識、過失とは</b> 事前学修: 故意と違法性の意識との関係や過失の処罰根拠を考える 事後学修: 行為が違法であるとの意識が犯罪の成否にいかに関わるのか整理する
11 回	授業内容: <b>未遂とは何か、障碍未遂と中止未遂</b> 事前学修: 未遂が処罰される根拠と範囲について考える 事後学修: 中止犯の成立要件や不能犯の意味などについて整理をする
12 回	授業内容: <b>共犯とは何か、共犯の処罰根拠、正犯と共犯</b> 事前学修: 共同正犯・教唆犯・幫助犯の違いを考える 事後学修: 正犯と共犯の区別や共犯の従属性について理解する
13 回	授業内容: <b>共犯の諸問題</b> 事前学修: 共犯と身分・不作為・錯誤などの関係について整理する 事後学修: 共犯に特有の問題について理解を深めておく
14 回	授業内容: <b>罪数</b> 事前学修: 犯罪の個数とは何かを理解し、その意味を考える 事後学修: 犯罪の個数と刑罰の軽重との関係を理解する
15 回	授業内容: <b>試験</b> 事前学修: 刑法総論に関する諸概念について整理する 事後学修: 試験の問題について判例や学説の状況を理解する

- ◆**教科書** 1 回目の講義において指定する。
- ◆**参考書** 六法  
凡沼『最新重要判例 250 刑法』前田雅英 弘文堂 2,700 円（税込）（送料 350 円）
- ◆**成績評価基準** 授業内試験による（100%）。

**注意** E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」  
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

# 講座内容 (シラバス)

※ 2019年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

## 【英語音声学】

森 晴代

◆**授業概要** 発声器官の説明から始めて、母音については細かい音声現象の説明、日本語と英語の違い、英米の違いの理解の徹底及び発音練習を行います。プロソディでは音節理論、語強勢と文強勢の理論、英語と日本語のリズム構造について説明し、総合的な発音練習を行います。発音試験に備え、授業時に各自発音発表をしてもらいます。また、毎週理論に関する小テストを課して習熟度の確認を行います。テキストには専門用語が多数出てくるので、前もって読んでおいてください。

◆**学修到達目標** 1. 日本語との違いを意識し、英語の発音の特徴及び発音記号を理解することができる。  
2. 英語のプロソディの学びを通して、英語らしい発音を実現することができる。

◆**授業方法** 母音、強勢、リズムの詳細な説明を行います。毎週小テストを課して習得状況を確認します。練習問題を適宜配布し問題を解きながら難しい箇所を補足説明します。8名から 10 名のグループを作り、発音練習への取り組みやプリント作成を行います。全員参加型の授業を目指します。

### ◆授業計画 (各 90 分)

1 回	授業内容: 音声学とは? 発声器官の名称説明 事前学修: 音声学の学問領域について、参考書を読んで各自調べておくこと 事後学修: 学問分野、発声器官の名称を覚えること
2 回	授業内容: 発音記号に慣れよう! (練習問題配布) 及び解答、発音記号の見方 事前学修: 発声器官のそれぞれの役割を見返しておくこと、発音記号を書けるようにしておくこと 事後学修: 解答したプリントの発音記号を理解しておくこと
3 回	授業内容: 基本母音の説明 事前学修: 基本母音について、参考書を各自調べておくこと 事後学修: 基本母音について、整理しておくこと
4 回	授業内容: 英語の母音の分類、前舌母音の説明及び発音練習 事前学修: 英語の母音について、配布されたプリントを読んでおくこと 事後学修: 英語の母音の分類基準と前舌母音の発音練習をしておくこと、日本語との違いを意識すること
5 回	授業内容: 後舌母音の説明及び発音練習 事前学修: 英語の後舌母音について、配布されたプリントを読んでおくこと 事後学修: 後舌母音の発音練習をしておくこと、日本語との違いを意識すること
6 回	授業内容: 中古母音の説明及び発音練習 事前学修: 英語の中舌母音について、配布されたプリントを読んでおくこと 事後学修: 中古母音の発音練習をしておくこと、日本語との違いを意識すること
7 回	授業内容: 二重母音の説明及び発音練習 事前学修: 英語の二重母音について、配布されたプリントを読んでおくこと 事後学修: 英語と日本語の二重母音に対する認識の違いを理解しておくこと、二重母音の発音記号が書けるようにしておくこと
8 回	授業内容: 母音、二重母音の演習問題配布及び解答 事前学修: 英語の母音、二重母音の理論及び発音を理解しておくこと 事後学修: 解答したプリントの復習をしておくこと
9 回	授業内容: 音節、語強勢、句強勢の説明、演習 事前学修: 音節、強勢とは何か、配布されたプリントを読んでおくこと 事後学修: 音節理論や語強勢、句強勢を正確に理解できたが復習すること
10 回	授業内容: 文強勢の説明、演習 事前学修: 文強勢とは何か、配布されたプリントを読んでおくこと 事後学修: 文強勢規則、通常強勢、対比強勢について正確に理解できたが復習すること
11 回	授業内容: 英語のリズムと日本語のリズムの説明、演習 事前学修: リズムについて、配布されたプリントを読んでおくこと 事後学修: 英語と日本語のリズムの基本単位の違いを理解できたが復習すること
12 回	授業内容: 文 (短文) の発音練習及び練習問題 1 事前学修: これまで勉強した母音、二重母音、プロソディを考慮した発音練習をしておくこと 事後学修: 練習において指摘された箇所を理解しておくこと
13 回	授業内容: 文 (短文) の発音練習及び練習問題 2 事前学修: これまで勉強した母音、二重母音、プロソディを考慮した発音練習をしておくこと 事後学修: 練習において指摘された箇所を理解しておくこと
14 回	授業内容: 発音試験及び解説、指導 事前学修: 発音試験に備え、これまでの総復習をしておくこと 事後学修: 試験後に、指導されたことを理解しておくこと
15 回	授業内容: 筆記試験及び解説 事前学修: 試験に備え、理論と発音の総復習をしておくこと 事後学修: 英語音声学における諸事象を理解できたが復習すること

◆**教科書** プリント使用

◆**参考書** 丸沼『英語の音声を科学する』川越いつえ著 大修館書店 新装版 CD 付 2,592 円 (税込) (送料 300 円)  
\* 授業では使用しません。

◆**成績評価基準** 平常点 (20%)、小テスト (20%)、発音テスト (10%)、試験 (50%)

### 注意

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例:「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」  
※ 授業相談 (連絡先) に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

# 講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

## 〔アメリカ経済論〕

羽田 翔

◆**授業概要** 現在、あらゆるニュースにおいて「アメリカ」の名前を見ない日はない、と言っても過言ではない。日本、欧州、中国といった主要国とアメリカの関係は政治・経済・文化・歴史など多岐にわたっており、いかにアメリカが影響力を有してきたかが理解できる。そのため、本講義においてはミクロ経済学、マクロ経済学、政治経済学等の手法を用い、主に政治と経済政策に焦点を当てる形でアメリカ経済についての理解を深めることを目的とする。その上で、他国との関係や時事問題を理解する力を養うことを心がける。

◆**学修到達目標** 本講義では、アメリカ経済の発展構造とその特徴を長期的な観点から学修し、現在のアメリカ経済が日本経済および世界経済に与えている影響を理解することを目標とする。具体的には、アメリカ経済に関する記事やニュースなどの内容や問題点を理解し、世界経済との関連性を考え、解決策等を提示できる能力を養うことを目指した科目である。

◆**授業方法** 本科目は、主にスライド資料およびレジュメを使用し、必要な場合は参考書を使用して講義を進める。その中で、受講生に対して質問や意見を求めたり、グループでディスカッションを行ってもらうため、お互いのコミュニケーションが求められる。講義の最後に確認テストを行う場合もあるため、毎回集中して講義に参加すること。

### ◆授業計画〔各 90 分〕

1 回	授業内容 事前学修 事後学修	アメリカ経済論とは？ アメリカ経済を学ぶための視点、講義概要、成績評価等について説明します。 教科書第 1 章を熟読すること 講義資料に沿ってアメリカ経済を学ぶための視点をまとめること
2 回	授業内容 事前学修 事後学修	歴史から考えるアメリカ経済の特徴 植民地時代から現在までの政治および経済の歴史を長期間で概観する 事前に配布する資料を、特にキーワードに注目しながら熟読すること 長期間でのアメリカ経済および政治に関する主要イベントを年表などにしてまとめる
3 回	授業内容 事前学修 事後学修	第一次世界大戦前の経済発展①：植民地期、独立革命、南北戦争 植民地時代から独立革命までの流れおよび南北戦争の詳細について説明する 事前に配布する資料を、特に南北戦争が勃発した理由について熟読すること 3つの出来事を時系列でまとめ、それぞれの内容についてまとめること
4 回	授業内容 事前学修 事後学修	第一次世界大戦前の経済発展②：南北戦争までの経済発展の特徴 南部と北部の経済発展の特徴を説明し、南北戦争勃発と関連づける 事前に配布する資料、特に南部と北部の産業構造および奴隷制度に対する考えの違いについて熟読すること 南部と北部の様々な違いを項目ごとにまとめること
5 回	授業内容 事前学修 事後学修	第一次世界大戦前の経済発展③：南北戦争後の経済発展と「ビッグビジネス」 南北戦争後に台頭したビッグビジネスについて説明する 事前に指定する「ビッグビジネスの例として出てくる企業」について調べること ビッグビジネスの特徴をまとめること
6 回	授業内容 事前学修 事後学修	戦間期①：戦間期前半における経済発展 第一次世界大戦とその後の経済発展について説明する 教科書第 2 章を熟読すること 第一次世界大戦後の経済発展の特徴をまとめること
7 回	授業内容 事前学修 事後学修	株式ブームの発展と崩壊 株式がいかに発展し、結果的に暴落したかを概観する 株式の意味とアメリカの株価に関するデータを確認してくること 株式ブームの崩壊が世界大恐慌へつながることを理解する
8 回	授業内容 事前学修 事後学修	戦間期③：世界大恐慌とニューディール政策 世界大恐慌の実態およびその対策としてのニューディール政策を説明する 教科書第 3 章、特に第 3 節を熟読すること ケインズの有効需要の原理についてまとめること
9 回	授業内容 事前学修 事後学修	戦間期④：ニューディール政策の限界 ニューディール政策の効果およびその限界について説明する 事前に配布する資料を、特に経済データに関して熟読すること 再度ケインズの有効需要の原理についてまとめ、その効果を理解すること
10 回	授業内容 事前学修 事後学修	パックス・アメリカーナの形成①：パックス・アメリカーナとは？ 第二次世界大戦についての説明を行い、戦後に形成されるパックス・アメリカーナの基本的な考えを理解する 事前に配布する資料を、特に第二次世界大戦に関して熟読すること 第二次世界大戦時のアメリカのポジションを再確認すること
11 回	授業内容 事前学修 事後学修	パックス・アメリカーナの形成②：第二次世界大戦時における経済システムの特徴 軍需と経済成長の関係について説明する 教科書第 4 章第 1 - 5 節までを熟読すること 戦争と経済成長の関係についてまとめること
12 回	授業内容 事前学修 事後学修	パックス・アメリカーナの形成③：戦時経済における制度およびシステムの転換 第二次世界大戦時に必要であった経済に関する制度およびシステムの変化を説明する 事前に配布する資料を、特に各制度の特徴について熟読すること 経済に関する新たな制度およびシステムの特徴をまとめること
13 回	授業内容 事前学修 事後学修	パックス・アメリカーナの形成④：戦後パックス・アメリカーナと「持続的成長」 戦後のアメリカ経済と戦勝国としての立場について説明する 教科書第 4 章第 6 - 7 節を熟読すること 戦勝国としてのアメリカの立場やその役割についてまとめること
14 回	授業内容 事前学修 事後学修	パックス・アメリカーナの形成⑤：パックス・アメリカーナと世界政治経済体制 戦後のアメリカを中心とした政治・経済体制について説明する 第 5 章、特に第 7 節を熟読すること 国際機関に関して、その役割ごとにまとめること
15 回	授業内容 事前学修 事後学修	本講義のまとめ：第二次世界大戦後に形成されたパックス・アメリカーナを理解する 前期の内容を総合的に理解できるよう準備すること 植民地時代から第二次世界大戦後までの流れをまとめること

◆**教科書** 丸沼『アメリカ経済の歩み』 榊原胖夫・加藤一誠著 文眞堂 2,376 円（税込）（送料 300 円）

◆**参考書** 丸沼『現代アメリカ経済』 河村哲二著 有斐閣アルマ 2,484 円（税込）（送料 300 円）

丸沼『現代アメリカ経済分析』 中本悟・宮崎礼二編著 日本評論社 2,808 円（税込）（送料 300 円）

◆**成績評価基準** 期末試験（70%）、小テストおよびレポート（20%）、授業への積極的参加（質問や意見）（10%）により、総合的に評価します。

**注意** E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」  
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

## 講座内容 (シラバス)

※ 2019年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

## 〔歴史学A〕

渡邊 浩史

◆**授業概要** スタジオジブリのアニメ作品『もののけ姫』を題材として日本の中世を中心とした歴史を学ぶ。宮崎駿監督の作品である『もののけ姫』は、日本の中世史家網野善彦氏の影響を色濃く受けていると言われる。そこでこれを手がかりにして、いくつかのテーマに沿って日本の中世社会について考えてみたい。

◆**学修到達目標** 『もののけ姫』には歴史学だけでなく、多くの周辺諸分野の成果が反映されていると言われている。そこでこの作品を通して歴史学や周辺諸分野の最新の成果を学び、その結果として歴史学という学問は何かを理解できるようになる。

◆**授業方法** 授業は講義形式で行う。適宜プリントやDVDなどを使用し、受講生の理解の一助とする。なおシラバスはあくまで予定であり、最新の研究成果を反映させるなどの場合は変更する可能性もある。

◆**授業計画〔各 90 分〕**

1 回	授業内容：はじめに なぜアニメ作品をあつかうのか 事前学修：『もののけ姫』を見ていることが望ましい 事後学修：授業内容を自分でまとめること
2 回	授業内容：シャーマン（ヒイ様を通して） 事前学修：授業中に指示した参考文献に目を通しておくこと 事後学修：授業内容を自分でまとめること
3 回	授業内容：シャーマン（アシタカとサン） 事前学修：授業中に指示した参考文献に目を通しておくこと 事後学修：授業内容を自分でまとめること
4 回	授業内容：女性（タタラ場の女性） 事前学修：授業中に指示した参考文献に目を通しておくこと 事後学修：授業内容を自分でまとめること
5 回	授業内容：女性（中世の女性） 事前学修：授業中に指示した参考文献に目を通しておくこと 事後学修：授業内容を自分でまとめること
6 回	授業内容：巨樹・巨木 事前学修：授業中に指示した参考文献に目を通しておくこと 事後学修：授業内容を自分でまとめること
7 回	授業内容：動物（イノシシとシシ） 事前学修：授業中に指示した参考文献に目を通しておくこと 事後学修：授業内容を自分でまとめること
8 回	授業内容：動物（ショウジョウとオオカミ） 事前学修：授業中に指示した参考文献に目を通しておくこと 事後学修：授業内容を自分でまとめること
9 回	授業内容：タタリ神（自然と神） 事前学修：授業中に指示した参考文献に目を通しておくこと 事後学修：授業内容を自分でまとめること
10 回	授業内容：タタリ神（タタリ神の姿） 事前学修：授業中に指示した参考文献に目を通しておくこと 事後学修：授業内容を自分でまとめること
11 回	授業内容：鉄（製鉄） 事前学修：授業中に指示した参考文献に目を通しておくこと 事後学修：授業内容を自分でまとめること
12 回	授業内容：鉄（自然と製鉄） 事前学修：授業中に指示した参考文献に目を通しておくこと 事後学修：授業内容を自分でまとめること
13 回	授業内容：開発と人間（人間の営み） 事前学修：授業中に指示した参考文献に目を通しておくこと 事後学修：授業内容を自分でまとめること
14 回	授業内容：開発と人間（神を祀る） 事前学修：授業中に指示した参考文献に目を通しておくこと 事後学修：授業内容を自分でまとめること
15 回	授業内容：まとめと試験 事前学修：これまでの授業内容をまとめておくこと 事後学修：授業と試験内容を自分でまとめること

◆**教科書** 〔当日資料配布〕教科書は使用しない。適宜授業中に資料プリントを配布する。

◆**参考書** 適宜授業中に指示する。

◆**成績評価基準** 平常点 20%、試験 80%

## 注意

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」  
※ 授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

# 講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

## 〔国語学概論〕

保科 恵

- ◆**授業概要** ひと口に「国語学」と言っても、様々な対象・方法があります。国語学がどのような学問なのかをひと通り見渡すことによって、国語学に対する知識を身につけることを目標とします。
- ◆**学修到達目標** 国語（日本語）とはどのような言語であるのか。歴史的にどのような変遷をたどり、どのように用いられているのか。普段国語（日本語）を使用していることも意識することの少ない様々な事象を知ること、その特質を理解できるようになる。
- ◆**授業方法** 講義を中心として授業を進めますが、適宜指名してテキストを読んでもらったり、各項目について的小テストを行ったりします。受講者数や各自の興味の持ち方によって適宜変更する場合があります。
- ◆**授業計画〔各 90 分〕**

1 回	授業内容：ガイダンス（国語学概論の概要） 事前学修：特になし。 事後学修：授業内容の復習。
2 回	授業内容：ガイダンス（国語の諸現象） 事前学修：特になし。 事後学修：授業内容の復習。
3 回	授業内容：序説（国語学とは） 事前学修：特になし。 事後学修：当日の授業範囲における序説についての復習。
4 回	授業内容：序説（国語学とその関係諸学／国語学の研究領域と研究法） 事前学修：前回授業内容の復習。 事後学修：当日の授業範囲における序説についての復習。
5 回	授業内容：音韻（音声・音韻） 事前学修：前回授業内容の復習。 事後学修：当日の授業範囲における音韻についての復習。
6 回	授業内容：音韻（国語の音韻） 事前学修：前回授業内容の復習。 事後学修：当日の授業範囲における音韻についての復習。
7 回	授業内容：音韻（音韻史） 事前学修：前回授業内容の復習。 事後学修：当日の授業範囲における音韻についての復習。
8 回	授業内容：音韻（五十音図・いろは歌） 事前学修：前回授業内容の復習。 事後学修：当日の授業範囲における音韻についての復習。
9 回	授業内容：音韻（アクセント） 事前学修：前回授業内容の復習。 事後学修：当日の授業範囲における音韻についての復習。
10 回	授業内容：文字（文字・日本の文字） 事前学修：前回授業内容の復習。 事後学修：当日の授業範囲における文字についての復習。
11 回	授業内容：文字（漢字） 事前学修：前回授業内容の復習。 事後学修：当日の授業範囲における文字についての復習。
12 回	授業内容：文字（万葉仮名・片仮名） 事前学修：前回授業内容の復習。 事後学修：当日の授業範囲における文字についての復習。
13 回	授業内容：文字（平仮名） 事前学修：前回授業内容の復習。 事後学修：当日の授業範囲における文字についての復習。
14 回	授業内容：文字（かなづかい・ローマ字） 事前学修：前回授業内容の復習。 事後学修：当日の授業範囲における文字についての復習。
15 回	授業内容：まとめ、試験 事前学修：前期授業範囲の復習。 事後学修：授業内容の復習。

- ◆**教科書** 丸沼『国語学要論』福島邦道 笠間書院 1,512 円（税込）（送料 300 円）
- ◆**参考書** 特になし
- ◆**成績評価基準** 試験 80%。平常点 20%。

**注意** E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」  
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

# 講座内容 (シラバス)

※ 2019年度より授業計画が全 15回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

## 〔国文学講義Ⅴ (近代)〕

山崎 眞紀子

◆**授業概要** 明治の文豪である樋口一葉の名作『わかれ道』『たけくらべ』を丁寧に読んでいく。百年以上前の日本の時代背景、社会制度、文化、風俗などを説明し、また日本語のリズムや今や使用されていない言葉に留意し、文語体表現の理解を深める。じっくり文語体を学んだあとに、「ポスト樋口一葉」と言われた田村俊子の小説を読む。文語体から現在使用されている小説の文体である言文一致体への移行を学び、「文語体」VS「言文一致体」を比較し、文体移行が小説表現において何をもたらせたのか、文学における文体を考察していく。樋口一葉と田村俊子以外にも適宜、他作家の作品にも触れ、日本の近代小説、現代小説の文体変化と表現力を見ていく。

◆**学修到達目標** 1. 明治期の文語体をスムーズに読み内容を理解することができる。  
2. 小説における語り手の位置を明確に把握することができる。  
3. 日本近代関連の文献を読む基礎的な語彙力と明治期の文化、風俗、社会制度を理解できる。  
4. 日本近代文学とは何かを現代文学と比較して説明することができる。

◆**授業方法** 予習の段階で朗読の練習をすすめ、授業中に指名して受講生が朗読し、文章のリズムを学習する。作品内容を把握するために必要な知識を講義で解説する。理解が深まったら、受講生が課題を考察しコメントペーパーに書いて発表する。また、ときにグループディスカッションを行って、自分とは異なる視点や読みを学びあう。授業内にテストを二回行い、模範解答例、答案の書き方などフィードバックをし、学んだことの定着をはかる。

### ◆授業計画 (各 90 分)

1回	授業内容: 樋口一葉作家案内、および『わかれ道』(上) 作品朗読、読解。 事前学修: 指定テキストの『わかれ道』(上) を朗読。 事後学修: ノートを見直し、ポイントを復習する。
2回	授業内容: 樋口一葉『わかれ道』(中) 作品朗読、読解。時代背景と用語学修。 事前学修: 指定テキストの『わかれ道』(中) を朗読。 事後学修: 講義で出された『わかれ道』の課題をおこなう。
3回	授業内容: 樋口一葉『わかれ道』(下) 作品朗読、読解。時代背景と用語学修。 事前学修: 指定テキストの『わかれ道』全編の朗読をおこなう。 事後学修: 指定の課題について、図書館で下調べをする。
4回	授業内容: 樋口一葉『わかれ道』まとめ。作品の方法を学修。 事前学修: 指定テキスト所収の同時代評を読んでくる。 事後学修: 課題レポートを仕上げる。
5回	授業内容: 樋口一葉『たけくらべ』(一)～(三) 朗読、読解。時代背景と用語学修。 事前学修: 指定テキスト『たけくらべ』(一)～(三) を朗読。難解な語彙の意味を調べる。 事後学修: 講義で出された課題を行う。
6回	授業内容: 樋口一葉『たけくらべ』(四)～(七) を朗読、読解。時代背景と用語学修。 事前学修: 指定テキスト『たけくらべ』(四)～(七) を朗読。難解な語彙の意味を調べる。 事後学修: 講義で出された課題を行う。テキストの同時代表を読む。
7回	授業内容: 樋口一葉『たけくらべ』(八)～(十二) を朗読、読解。時代背景と用語学修。 事前学修: 指定テキスト『たけくらべ』(八)～(十二) を朗読。難解な語彙の意味を調べる。 事後学修: 指定の課題について、図書館で下調べをする。
8回	授業内容: 樋口一葉『たけくらべ』(十三)～(十六) を朗読、読解。時代背景と用語学修。 事前学修: 指定テキスト『たけくらべ』(十三)～(十六) 朗読。難解な語彙の意味を調べる。 事後学修: これまで学修した内容を、もう一度振り返り、理解していないところを復習。
9回	授業内容: これまでの授業理解をはかる小テスト1回目実施。 事前学修: これまで学んだテキストをよく読み、ノートを見て、ポイントを押さえる。 事後学修: テストでできなかったところを、もう一度解く。
10回	授業内容: 前回の小テストのフィードバック。 事前学修: 2作品をもう一度よく読む。 事後学修: 理解していなかったところをやり直す課題ペーパーを行う。
11回	授業内容: 田村俊子短編作品を読む。 事前学修: 指定作品の全編を読み、内容をノートにまとめておく。 事後学修: 指定課題を行う。
12回	授業内容: 田村俊子短編作品を読む。 事前学修: 指定作品の全編を読み、内容をノートにまとめておく。 事後学修: 指定課題を仕上げる。
13回	授業内容: 文語体と言文一致体の比較。文体の移行から見る文学表現。 事前学修: 指定のテキストを読み、ポイントをノートにまとめる。 事後学修: レポート作成。
14回	授業内容: 小テスト2回目。授業全般内容理解を問うテスト。 事前学修: これまで学んだ内容の総復習。 事後学修: テストでできなかったところを重点的に復習する。
15回	授業内容: これまでのまとめ、テストの講評。やり直しテスト。 事前学修: これまでのノートを見直ししておく。 事後学修: テストでできなかったところを、総復習する。

◆**教科書** 丸沼『樋口一葉小説集』ちくま文庫 2005年 1,080円(税込)(送料215円)  
[当日資料配布] プリント

◆**参考書** 授業時にお知らせします。

◆**成績評価基準** 毎回出席することを前提に、受講時の朗読及び課題(40%)、小テスト2回(60%)

### 注意

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例:「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」  
※授業相談(連絡先)に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

講座の選定

時間割

開講講座表・シラバス使用教科(火曜日)

開講講座表・シラバス使用教科(水曜日)

開講講座表・シラバス使用教科(木曜日)

開講講座表・シラバス使用教科(金曜日)

受講及び試験

受講手続

申込講座の許可と不許可

受講料等の納入

受講準備

体育実技の受講について

オープン受講

胸部X線検査

各種用紙

付録

# 講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

## 〔英語史〕

真野 一雄

- ◆**授業概要** 英語の外面史、すなわち英語と英国社会との関わり、英国の歴史が英語にどのような影響を与えたか、そして英語がどう変化していったかをテキスト（英文）を読みながら概観します。
- ◆**学修到達目標** 英文の読解力を高めるとともに、英語がどのような発達・変化を遂げて今日の姿になったか、歴史的な流れの基礎的な知識を修得する。過去の歴史を振り返り、英語の未来の姿を想像してみましょう。
- ◆**授業方法** テキスト第 I 章「英語の発達」を、『学習指導書』を併用しながら、読みます。テキストは私達にとって必要な箇所を重点的に読みます。
- ◆**授業計画〔各 90 分〕**

1 回	授業内容	インド・ヨーロッパ語族（1）序
	事前学修	語彙の類似性、借用語とは何か、調べておく。
	事後学修	テキストの重要部分を確認し、理解しておく。
2 回	授業内容	インド・ヨーロッパ語族（2）起源、時期
	事前学修	インド・ヨーロッパ祖語はいつ頃、どの辺りで生じた言語か、考えてくる。
	事後学修	テキストの重要部分を確認し、理解しておく。
3 回	授業内容	インド・ヨーロッパ語族（3）分類
	事前学修	どんな言語がインド・ヨーロッパ語族に属するか、考えてくる。
	事後学修	テキストの重要部分を確認し、理解しておく。
4 回	授業内容	ゲルマン語派（1）特徴
	事前学修	インド・ヨーロッパ祖語からのゲルマン祖語の分岐を考えてみる。
	事後学修	テキストの重要部分を確認し、理解しておく。
5 回	授業内容	ゲルマン語派（2）分類
	事前学修	どんな言語がゲルマン語派に属するか、考えてくる。
	事後学修	テキストの重要部分を確認し、理解しておく。
6 回	授業内容	古英語（1）英語の始まり、時代区分
	事前学修	英語はいつ生じたのか、考えてくる。
	事後学修	テキストの重要部分を確認し、理解しておく。
7 回	授業内容	古英語（2）実例
	事前学修	古英語が今日の英語といかに異なるか、感じてみる。
	事後学修	テキストの重要部分を確認し、理解しておく。
8 回	授業内容	古英語（3）特徴
	事前学修	古英語と今日の英語との違いを考えてみる。
	事後学修	テキストの重要部分を確認し、理解しておく。
9 回	授業内容	中英語（1）フランス語の影響
	事前学修	ノルマン人の征服とは何か、調べてみる。
	事後学修	テキストの重要部分を確認し、理解しておく。
10 回	授業内容	中英語（2）英語の復活
	事前学修	英語の復活とはどういうことが、考えてみる。
	事後学修	テキストの重要部分を確認し、理解しておく。
11 回	授業内容	中英語（3）特徴
	事前学修	古英語と中英語、中英語と今日の英語との違いを考えてみる。
	事後学修	テキストの重要部分を確認し、理解しておく。
12 回	授業内容	近代英語（1）印刷術、ルネサンス
	事前学修	印刷術、ルネサンスは英語にどのような影響を与えたか、考えてみる。
	事後学修	テキストの重要部分を確認し、理解しておく。
13 回	授業内容	近代英語（2）大母音推移、標準英語の成立
	事前学修	大母音推移とは何か、考えてみる。
	事後学修	テキストの重要部分を確認し、理解しておく。
14 回	授業内容	近代英語（3）近代の借用語
	事前学修	近代の借用語の特徴とは、何か考えてみる。
	事後学修	テキストの重要部分を確認し、理解しておく。
15 回	授業内容	試験とその解説
	事前学修	今までの授業の総復習をする。
	事後学修	特に試験問題で間違えたところを確認する。

- ◆**教科書** 教材『英語史 N30300』通信教育教材（教材コード 000117）2,900 円（送料込）  
〈この教材は市販の『ブルック英語史』G.L.Brook など著（南雲堂）と同一です。〉
- ◆**参考書** 丸沼『英語の歴史—過去から未来への物語』寺澤盾著 中公新書 1971 842 円（税込）（送料 215 円）  
丸沼『英語の歴史』中尾俊夫著 講談社現代新書 958 799 円（税込）（送料 215 円）  
他の参考書については、初回授業時に紹介  
（※自学用で、授業中に参照することはありません。）
- ◆**成績評価基準** 試験を中心に受講状況その他を加味して評価の予定。6 回以上の欠席者は受験資格を失います。（試験は途中退出なしです）

### 注意

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」  
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。



# 講座内容（シラバス）

※ 2019年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

## 〔日本思想史Ⅰ〕

島田 健太郎

◆**授業概要** 「平安時代の他界観」をテーマに、特に「死後の世界」を当時の人々がどのように考えていたのか、ということを中心にみていきます。当時の人々の「死後の世界」に対する観念は、現代のわれわれにも一部で通じる所がありますし、また現世で生きる人々の行動を規制する、一種の倫理的規範としても機能していました。本講義では、仏教の浄土信仰の話が中心になりますが、これらの検討を通して、当時の人々のものの考え方や、時代状況に応じて思想が変化していく様を明らかにできればと思います。

◆**学修到達目標** 1. 平安時代の人々のものの考え方を学ぶことで、当時の思想的営為についての理解を深めるとともに、人間の思想や日本文化に対するより広い視野を獲得することができる。  
2. 浄土信仰について学ぶことで、現代日本の宗教に対する一つの視点を獲得することができる。  
3. 日本文化に対する自己の問題意識をより明らかにし、それについて主体的に考察することを目標とする。

◆**授業方法** プリントとして配布する原典や史料を中心に、講義形式で行います。授業中の質問は大歓迎です。プリントには読みと現代語訳を付けるので、古文・漢文の読解に自信がなくても構いません。また適宜授業内容についてのリアクション・ペーパーの提出を予定しています。

### ◆授業計画〔各 90 分〕

1 回	授業内容：概説と時代背景（1） 事前学修：平安時代の歴史の流れについて、一通りの流れを把握しておくこと。 事後学修：授業中に出てきた用語等を調べておくこと。
2 回	授業内容：概説と時代背景（2） 事前学修：前回の復習に加え、平安時代の歴史の把握に努める。 事後学修：授業内容の確認と、授業中に出てきた用語等を調べておくこと。
3 回	授業内容：「あの世」のイメージ（1） 記紀神話、日本霊異記などに見られる「あの世」観について概説する。 事前学修：記紀神話、特にイザナギとイザナミの話について調べておくこと。 事後学修：授業内容の整理と確認。
4 回	授業内容：「あの世」のイメージ（2） 中国における考え方、閻魔について解説する。 事前学修：自分の「あの世」イメージがどんなものが、出来れば文章化しておく。 事後学修：授業内容を復習し、疑問点とともにノートにまとめておくこと。
5 回	授業内容：浄土信仰について 阿弥陀仏と浄土信仰、日本における受容、空也などを扱う。 事前学修：空也について調べておく。 事後学修：ここまでの授業内容を復習し、疑問点とともにノートにまとめること。
6 回	授業内容：往生要集の思想（1） 源信について、往生要集の地獄描写と極楽浄土の描写について。 事前学修：源信について調べておく。 事後学修：源信以前の地獄イメージとの違いをまとめておく。
7 回	授業内容：往生要集の思想（2） 源信の念仏の特徴について説明する。 事前学修：前回の復習と疑問点の整理。 事後学修：授業中に出てきた用語等を調べ、意味の確認をしておくこと。
8 回	授業内容：往生要集の思想（3） 往生要集の観想念仏について。 事前学修：前回の復習と事前にプリントがある場合は読んでおくこと。 事後学修：源信の主張する修行の特徴についてもう一度確認しておくこと。
9 回	授業内容：往生要集の思想（4） 往生要集における臨終念仏と来迎思想について扱う。 事前学修：往生要集で源信が主張したことを確認しておくこと。 事後学修：ここまでの授業内容を復習し、疑問点とともにノートにまとめておく。
10 回	授業内容：往生伝（1） 慶滋保胤『日本往生極楽記』を中心に、『往生伝』に書かれた往生の諸相について説明する。 事前学修：慶滋保胤について調べておく。 事後学修：源信との違いについて考え、まとめておく。
11 回	授業内容：往生伝（2） 末法思想の浸透と共に、往生に対する考えがどう変わったか見ていく。 事前学修：末法思想について調べておく。 事後学修：授業内容を復習し、疑問点とともにノートにまとめておく。
12 回	授業内容：平安後期の念仏者 永観や良忍など、平安後期の念仏者の思想について概観する。 事前学修：授業で取り上げる人物について調べておく。 事後学修：源信との違いがどこにあるか確認すること。
13 回	授業内容：地蔵菩薩への信仰（1） 平安後期の地蔵菩薩信仰を、地蔵説話を通じて検討する。 事前学修：地蔵菩薩について調べておく。 事後学修：わからない用語の確認と疑問点の整理。
14 回	授業内容：地蔵菩薩への信仰（2） 地蔵と閻魔が習合する形の「あの世」観について扱う。 事前学修：閻魔に関する復習。 事後学修：ここまでの授業内容を復習し、疑問点とともにノートにまとめておく。
15 回	授業内容：まとめと試験 事前学修：各自の問題意識に基づいて、自分の見解を考えておくこと。 事後学修：その他の時代の他界観に関する文献も読み、問題関心と視野をさらに広げること。

◆**教科書** 〔当日資料配布〕教科書は使用しません。当日プリントを配布します。

◆**参考書** 授業中適宜紹介します。

◆**成績評価基準** 試験の成績を基準に、授業への取り組みなどを勘案して、総合的に評価します。

**注意** E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」  
※ 授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

受講込  
納入までの流れ

講座の選定

時間割

開講講座表・シラバス  
（火曜日）

開講講座表・シラバス  
（水曜日）

開講講座表・シラバス  
（木曜日）

開講講座表・シラバス  
（金曜日）

受講及び試験

受講手続

申込講座の許可と不許可

受講料等の納入

受講準備

体育実技の受講について

オープン受講

胸部X線検査

各種用紙

付録

# 講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

## 〔東洋史入門〕

綿貫 哲郎

- ◆**授業概要** 「外国史（東洋史）」の地理的特徴を明らかにし、研究史を整理することを通じて、学修の意義や現代までの史実や解釈へのさまざまなアプローチが身につくようになります。また東洋史の卒業論文・レポートなどのアウトプット、教材研究の資料集めの基礎的な技術が身につくようになります。なお、前期のみの受講も可能ですが、学修効果を上げるため、前期・後期の連続受講が望ましいです。
- ◆**学修到達目標** 以下の授業計画（学生の理解度により変更あり）に沿って、講義及び実習形式でおこないます。講義の理解を深めるため、視覚教材を適宜併用します。授業時間内外でレポートを課する予定です。
- ◆**授業方法** 復習のほうに重点をおいてください。翌週の授業は前週の内容理解なしには達成が難しいからです。また授業で工具書、ネット検索の方法、文献目録の作成例などを紹介しますが、これはごく一部にすぎず全てではありません。授業を通じ受講生自身で自らのパターンを確立してください。
- ◆**履修条件** 2018 年度昼間スクーリング（前期）「東洋史入門」との積み重ね不可
- ◆**授業計画〔各 90 分〕**

1 回	授業内容: ガイダンス, 導入 事前学修: シラバスをよく読んでおくこと 事後学修: 授業の内容をノートなどに整理しておくこと
2 回	授業内容: 「東洋史」とは何か 事前学修: 授業内容の用語について手元のスマホやパソコンなどで調べておく 事後学修: 授業の内容をノートなどに整理しておくこと
3 回	授業内容: 近代日本のナショナリズムと「東洋」 事前学修: 授業内容の用語について手元のスマホやパソコンなどで調べておく 事後学修: 授業の内容をノートなどに整理しておくこと
4 回	授業内容: 近代歴史学と「東洋史」 事前学修: 授業内容の用語について手元のスマホやパソコンなどで調べておく 事後学修: 授業の内容をノートなどに整理しておくこと
5 回	授業内容: 内藤湖南と白鳥庫吉—研究と史料 事前学修: 授業内容の用語について手元のスマホやパソコンなどで調べておく 事後学修: 授業の内容をノートなどに整理しておくこと
6 回	授業内容: 那珂通世と「モンゴル史」研究 事前学修: 授業内容の用語について手元のスマホやパソコンなどで調べておく 事後学修: 授業の内容をノートなどに整理しておくこと
7 回	授業内容: 「レポート」と「卒業論文」の違い 事前学修: 授業内容の用語について手元のスマホやパソコンなどで調べておく 事後学修: 授業の内容をノートなどに整理しておくこと
8 回	授業内容: 卒業論文執筆の流れ・図書館の有効利用 事前学修: 授業内容の用語について手元のスマホやパソコンなどで調べておく 事後学修: 授業の内容をノートなどに整理しておくこと
9 回	授業内容: 「東洋史」関連の工具書・概説書 事前学修: 授業内容の用語について手元のスマホやパソコンなどで調べておく 事後学修: 授業の内容をノートなどに整理しておくこと
10 回	授業内容: 「東洋史」研究とインターネット利用 事前学修: 授業内容の用語について手元のスマホやパソコンなどで調べておく 事後学修: 授業の内容をノートなどに整理しておくこと
11 回	授業内容: 「私語り」からの脱却 事前学修: 授業内容の用語について手元のスマホやパソコンなどで調べておく 事後学修: 授業の内容をノートなどに整理しておくこと
12 回	授業内容: 文献目録の表記（1）—書籍 事前学修: 授業内容の用語について手元のスマホやパソコンなどで調べておく 事後学修: 授業の内容をノートなどに整理しておくこと
13 回	授業内容: 文献目録の表記（2）—論文 事前学修: 授業内容の用語について手元のスマホやパソコンなどで調べておく 事後学修: 授業の内容をノートなどに整理しておくこと
14 回	授業内容: 文献目録の表記（3）—書籍と論文 事前学修: 授業内容の用語について手元のスマホやパソコンなどで調べておく 事後学修: 授業の内容をノートなどに整理しておくこと
15 回	授業内容: まとめ, 試験 事前学修: 授業内容の用語について手元のスマホやパソコンなどで調べておく 事後学修: 自分がまとめた内容を再確認しておくこと

- ◆**教科書** 〔当日資料配布〕当日資料を配付します。
- ◆**参考書** 丸沼『わかる・身につく歴史学の学び方：歴史学がわかると世界が見える』大学の歴史教育を考える会〔編〕大月書店 2016 年 2,160 円（税込）（送料 300 円）〔購入義務はありません〕
- ◆**成績評価基準** 試験（60%）・平常点（40%）。毎回出席することを前提として総合的に評価します。

**注意** E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」  
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

# 講座内容 (シラバス)

※ 2019年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

## 〔考古学概説〕

浜田 晋介

- ◆**授業概要** 考古学は過去の人びとが製作し、使用したものを材料に、その当時の人びとの社会・文化・交流・集団組織など解明していく学問である。そのため文献の有無にかかわらず、モノ資料が存在すれば成立する学問であり、発掘調査によって研究材料を得ることに特徴がある。こうした特徴を持つ日本考古学研究のこれまでの成果の概要を、旧石器時代から弥生時代までを対象に紹介する。
- ◆**学修到達目標** 日本における考古学の方法とその研究理論を学ぶことによって、旧石器時代、縄文時代、弥生時代が、これまでどのように研究されてきたか。これらの遺跡から何が導き出されてきたのか。遺跡の発掘調査から、各時代の社会をどのように推測してきたのか。について、調査の具体的な事例を通して、概要を理解することができる。
- ◆**授業方法** 毎回配布（あるいはまとめて配布）するプリントと、プロジェクターに写す発掘調査や出土遺物などの画像・動画をもとに、プロジェクターに出す説明文をノートに書き取りながら、説明を加えていく授業形態をとる。受講者数が少ない場合は毎回配る出席票の裏面に、質問を記入してもらう方式をとります。
- ◆**授業計画〔各 90 分〕**

1 回	授業内容: 考古学とは何か? 考古学の学問特性と他の近接分野 (文献史学・古生物学など) との相違。これからの授業の進め方を理解する。 事前学修: 「考古学」という学問がどのようなことを行うのか、事前に調べておくこと。 事後学修: 授業で利用したプリントとノートを整理し、今回の授業を要約しておくこと。
2 回	授業内容: 考古学の研究方法 1 層位・遺構の切り合いと型式学的研究方法を理解する。 事前学修: 第 1 回目で配布した、第 2 回目のプリントを事前に読んで、内容を把握するとともに、関連する事項について調べておくこと。 事後学修: 授業で利用したプリントとノートを整理し、今回の授業を要約しておくこと。
3 回	授業内容: 考古学の研究方法 2 絶対年代の求め方を理解する。 事前学修: 事前に配布した、第 3 回目のプリントを事前に読んで、内容を把握するとともに、関連する事項について調べておくこと。 事後学修: 授業で利用したプリントとノートを整理し、今回の授業を要約しておくこと。
4 回	授業内容: 旧石器時代の研究史と旧石器時代像 日本における旧石器時代の研究の歴史と、そこから得られた旧石器時代像について理解する。 事前学修: 事前に配布した、第 4 回目のプリントを事前に読んで、内容を把握するとともに、関連する事項について調べておくこと。 事後学修: 授業で利用したプリントとノートを整理し、今回の授業を要約しておくこと。
5 回	授業内容: 旧石器時代の生活をさぐる 日本における旧石器時代の遺跡の発掘事例から、当時のことをどのように復元しているのかを理解する。 事前学修: 事前に配布した、第 5 回目のプリントを事前に読んで、内容を把握するとともに、関連する事項について調べておくこと。 事後学修: 授業で利用したプリントとノートを整理し、今回の授業を要約しておくこと。
6 回	授業内容: 縄文時代像 縄文時代の研究成果から、縄文時代はどのような時代であったのかを理解する。 事前学修: 事前に配布した、第 6 回目のプリントを事前に読んで、内容を把握するとともに、関連する事項について調べておくこと。 事後学修: 授業で利用したプリントとノートを整理し、今回の授業を要約しておくこと。
7 回	授業内容: 縄文時代研究史 縄文時代の研究の歴史を知り、縄文時代の研究がどのように解釈されてきたのかを把握する。 事前学修: 事前に配布した、第 7 回目のプリントを事前に読んで、内容を把握するとともに、関連する事項について調べておくこと。 事後学修: 授業で利用したプリントとノートを整理し、今回の授業を要約しておくこと。
8 回	授業内容: 縄文時代の生業を探る 縄文時代の食に関わる活動は、どのようなものであったか、を遺跡の調査資料から推測し、理解する。 事前学修: 事前に配布した、第 8 回目のプリントを事前に読んで、内容を把握するとともに、関連する事項について調べておくこと。 事後学修: 授業で利用したプリントとノートを整理し、今回の授業を要約しておくこと。
9 回	授業内容: 縄文時代の集落と墓 縄文時代の人びとの住まいである集落と、死後に葬られる墓を素材に、縄文時代の社会を理解する。 事前学修: 事前に配布した、第 9 回目のプリントを事前に読んで、内容を把握するとともに、関連する事項について調べておくこと。 事後学修: 授業で利用したプリントとノートを整理し、今回の授業を要約しておくこと。
10 回	授業内容: 弥生時代研究史 弥生時代の研究がどのように進んだのか。また、弥生時代の認識がどのように変化したのかを、研究史を題材に理解する。 事前学修: 事前に配布した、第 10 回目のプリントを事前に読んで、内容を把握するとともに、関連する事項について調べておくこと。 事後学修: 授業で利用したプリントとノートを整理し、今回の授業を要約しておくこと。
11 回	授業内容: 弥生時代像 弥生時代の研究成果から、弥生時代がどのような時代であったかを理解する。 事前学修: 事前に配布した、第 11 回目のプリントを事前に読んで、内容を把握するとともに、関連する事項について調べておくこと。 事後学修: 授業で利用したプリントとノートを整理し、今回の授業を要約しておくこと。
12 回	授業内容: 弥生時代の生業をさぐる 弥生時代の食に関わる活動は、どのようなものであったか、を遺跡の調査資料から推測し、理解する。 事前学修: 事前に配布した、第 12 回目のプリントを事前に読んで、内容を把握するとともに、関連する事項について調べておくこと。 事後学修: 授業で利用したプリントとノートを整理し、今回の授業を要約しておくこと。
13 回	授業内容: 弥生時代の集落と墓 弥生時代の人びとの住まいである集落と、死後に葬られる墓を素材に、弥生時代の社会を理解する。 事前学修: 事前に配布した、第 13 回目のプリントを事前に読んで、内容を把握するとともに、関連する事項について調べておくこと。 事後学修: 授業で利用したプリントとノートを整理し、今回の授業を要約しておくこと。
14 回	授業内容: 旧石器時代～弥生時代のまとめ これまで行ってきた旧石器時代から弥生時代の内容を振り返り、それぞれの時代の内容や特性を理解する。 事前学修: 事前に配布した、第 1 回目から 14 回目のプリントを事前に読んで、内容を把握するとともに、関連する事項について調べておくこと。 事後学修: 授業で行った内容を整理しておくこと。
15 回	授業内容: もう二つの文化 弥生時代以降、農業を主とする生業としない北海道と南西諸島について理解し、江戸時代末まで続く日本をとりまく 3 つの文化について把握する。 事前学修: 事前に配布した、第 15 回目のプリントを事前に読んで、内容を把握するとともに、関連する事項について調べておくこと。 事後学修: 授業で利用したプリントとノートを整理し、今回の授業を要約しておくこと。

- ◆**教科書** 〔当日資料配布〕 当日プリント配布
- ◆**参考書** 〔図〕『弥生文化読本』 六一書房 3,240 円 (税込) (送料 350 円)
- ◆**成績評価基準** 授業内を行う小テスト (40%) と試験 (60%)。毎回出席することを前提として評価します。

### 注意

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例:「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」  
※ 授業相談 (連絡先) に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

講座の選定

時間割

開講講座表・  
シラバス使用教材  
(火曜日)

開講講座表・  
シラバス使用教材  
(水曜日)

開講講座表・  
シラバス使用教材  
(木曜日)

開講講座表・  
シラバス使用教材  
(金曜日)

受講及び試験

受講手続

申込講座の  
許可と不許可

受講料等の納入

受講準備

体育実技の  
受講について

オープン受講

胸部 X 線検査

各種用紙

付録

# 講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

## 〔歴史学B〕

堀井 弘一郎

◆**授業概要** 幕末から今日に到るまで近代日本は隣国中国と時に厳しく対峙し、時に友好を深めつつ、複雑な二国間関係を形成してきた。本講座ではそうした歴史的過程と、同時代を共に生きた日中両国民の足跡をたどりながら、世界史、東アジア史の中に日中関係史を位置づけて考察する（前期はアヘン戦争～満洲事変前の時期）。

◆**学修到達目標** 「歴史とは現代と過去との対話である」(E・H・カー)。戦後 70 年余を経た今日だが、日中関係は必ずしも良好な関係とはいえない状態にある。そんな今日において、日本・中国の近現代史や日中関係に関する書物・新聞記事・ニュースを読み解き、確かな歴史的教養をもって日中関係を考えられるようになることを目標とする。

◆**授業方法** 毎回レジュメや資料プリントを用意し、それに沿って講義形式で授業をすすめる。その際、受講者からの質疑や希望者による研究発表等を取り入れていく。また、視聴覚教材を活用したり、史資料にも多く触れたりすることで、歴史への興味・関心を深める。資料収集の方法、卒業論文等の作成方法についても解説する。

### ◆授業計画〔各 90 分〕

1 回	授業内容：ガイダンス（日中関係は今…） 事前学修：最近の日中関係に関する新聞記事などに目を通しておこう。 事後学修：中国や日中関係の現状について、授業内容をノートに整理しておこう。
2 回	授業内容：中国の近現代史を眺める 事前学修：高校の教科書や参考書指定の本で、中国近現代史の復習をしておこう。 事後学修：中国近現代史の流れをおおよそ理解できるようにまとめておこう。
3 回	授業内容：「西洋の衝撃」と日本 事前学修：「西洋の衝撃」とは何か、その意味や影響について調べておこう。 事後学修：「西洋の衝撃」が東アジア諸国にもたらした影響について確認しておこう。
4 回	授業内容：琉球処分と現代 事前学修：沖縄の近現代史について、その概要を調べておこう。 事後学修：沖縄と日本との関係について、現代的問題も含めてまとめておこう。
5 回	授業内容：「からゆきさん」と近代の移民 事前学修：「からゆきさん」の意味や日本の移民の歴史をおおよそ把握しておこう。 事後学修：日本の移民や中国との関わりについて理解を深めておこう。
6 回	授業内容：大日本帝国憲法とアジア 事前学修：大日本帝国憲法制定の経緯や内容について、概略をまとめておこう。 事後学修：大日本帝国憲法制定がアジア、特に中国に与えた影響を理解しておこう。
7 回	授業内容：日清戦争と朝鮮 事前学修：日清戦争とはどのような戦争であったのか、その経緯を調べておこう。 事後学修：日清戦争が東アジア、特に朝鮮にもたらした影響についてまとめておこう。
8 回	授業内容：日露戦争と中国 事前学修：日露戦争とはどのような戦争であったのか、その経緯を調べておこう。 事後学修：日露戦争が東アジア、特に中国にもたらした影響についてまとめておこう。
9 回	授業内容：中国人留学生と日本 事前学修：戦前、中国人留学生としてどのような人物がいたかを調べておこう。 事後学修：中国人留学生と近代中国史の関連についてまとめておこう。
10 回	授業内容：台湾統治 50 年と現代 事前学修：台湾とは国なのか何なのか、国際社会における位置づけを調べておこう。 事後学修：近現代史における台湾と日本、中国との関係をまとめておこう。
11 回	授業内容：第 1 次世界大戦と日中両国 事前学修：第 1 次大戦とはどのような戦争であったのか、その経緯を調べておこう。 事後学修：第 1 次大戦に日本と中国はどのように関わったのか、整理してみよう。
12 回	授業内容：辛亥革命から「南京の 10 年」へ 事前学修：辛亥革命とは何か、その後中国はどうなったのか、把握しておこう。 事後学修：「南京の 10 年」を通じた中国の国民国家形成の歩みを理解しよう。
13 回	授業内容：受講生（希望者）による研究発表 事前学修：興味をもった歴史的事象について掘り下げて調べて発表してみよう。 事後学修：発表者の各内容をノートに整理しておこう。
14 回	授業内容：「魔都上海」に暮らす日本人 事前学修：上海はなぜ「魔都」と呼ばれるのか、その理由を調べておこう。 事後学修：上海の歴史やそこに暮らした日本人の生き様について整理しておこう。
15 回	授業内容：試験 事前学修：ノートや配布したレジュメ・資料などを使って授業内容を総まとめしておこう。 事後学修：前期期間中に学んだことを整理、理解し、後期の学習につなげよう。

◆**教科書** 指定しない。

◆**参考書** 丸沼『シリーズ中国近現代史② 近代国家への模索』川島真 岩波新書 929 円（税込）（送料 215 円）  
丸沼『シリーズ中国近現代史③ 革命とナショナリズム』石川貞浩 岩波新書 886 円（税込）（送料 215 円）  
丸沼『新しい東アジアの近現代史（上・下）』日中韓 3 国共同歴史編纂委員会編 日本評論社  
（上）2,700 円（税込）、（下）2,700 円（税込）、（上）+（下）（送料 300 円）

◆**成績評価基準** 前期・後期ごとに、平常点 20%、試験 80% で評価する。毎回出席することを前提として評価する。

**注意** E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」  
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

# 講座内容 (シラバス)

※ 2019年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

## (文化史B)

渡邊 浩史

- ◆**授業概要** はじめに原始から古代までの各時代の文化の外観を各々述べた上で、各論的にいくつかのトピックについて講義する。
- ◆**学修到達目標** 現在の日本においてサブカルチャーといわれているマンガ・アニメだが、実はその表現方法や内容は日本の伝統文化の影響を脈々と受け継いでいる。日本の各時代の文化を考察することによって、それが現在のマンガ・アニメにどのように反映しているのかを理解できるようにする。そして、一見過去と断絶しているかのように見える現代の我々の生活が、いかに過去と密接に関わっているのかを理解できるようにする。
- ◆**授業方法** 授業は講義形式で行う。適宜プリントやDVDなどを使用し、受講生の理解の一助とする。なおシラバスはあくまで予定であり、最新の研究成果を反映させるなどの場合は変更する可能性もある。
- ◆**授業計画〔各 90 分〕**

1 回	授業内容：はじめに 近代文化とアニメ 事前学修：高校日本史教科書などで予習しておくこと 事後学修：授業内容を自分でまとめること
2 回	授業内容：古代の文化（旧石器～古墳文化までの概要） 事前学修：高校日本史教科書などで当該事項を予習しておくこと 事後学修：授業内容を自分でまとめること
3 回	授業内容：古代の文化（飛鳥～国風文化までの概要） 事前学修：高校日本史教科書などで当該事項を予習しておくこと 事後学修：授業内容を自分でまとめること
4 回	授業内容：縄文・弥生文化 事前学修：高校日本史教科書などで当該事項を予習しておくこと 事後学修：授業内容を自分でまとめること
5 回	授業内容：古墳文化（前方後円墳の形と古墳文化） 事前学修：高校日本史教科書などで当該事項を予習しておくこと 事後学修：授業内容を自分でまとめること
6 回	授業内容：古墳文化（死者の行方） 事前学修：高校日本史教科書などで当該事項を予習しておくこと 事後学修：授業内容を自分でまとめること
7 回	授業内容：仏教文化（日本仏教） 事前学修：高校日本史教科書などで当該事項を予習しておくこと 事後学修：授業内容を自分でまとめること
8 回	授業内容：仏教文化（極楽浄土を求めて） 事前学修：高校日本史教科書などで当該事項を予習しておくこと 事後学修：授業内容を自分でまとめること
9 回	授業内容：仏教文化（お水取り） 事前学修：高校日本史教科書などで当該事項を予習しておくこと 事後学修：授業内容を自分でまとめること
10 回	授業内容：怪異（恠異から怪異へ、御霊信仰） 事前学修：高校日本史教科書などで当該事項を予習しておくこと 事後学修：授業内容を自分でまとめること
11 回	授業内容：怪異（穢れへの怖れ） 事前学修：高校日本史教科書などで当該事項を予習しておくこと 事後学修：授業内容を自分でまとめること
12 回	授業内容：かぐや姫（かぐや姫とは） 事前学修：高校日本史教科書などで当該事項を予習しておくこと 事後学修：授業内容を自分でまとめること
13 回	授業内容：かぐや姫（月と極楽浄土） 事前学修：高校日本史教科書などで当該事項を予習しておくこと 事後学修：授業内容を自分でまとめること
14 回	授業内容：かぐや姫（富士山） 事前学修：高校日本史教科書などで当該事項を予習しておくこと 事後学修：授業内容を自分でまとめること
15 回	授業内容：まとめと試験 事前学修：これまでの授業内容をまとめておくこと 事後学修：授業と試験内容を自分でまとめること

- ◆**教科書** **〔当日資料配布〕** 教科書は使用しない。適宜授業中に資料プリントを配布する。
- ◆**参考書** 適宜授業中に指示する。
- ◆**成績評価基準** 平常点 20%、試験 80%

**注意** E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」  
※ 授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

# 講座内容 (シラバス)

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

## 〔英語 E〕★★☆

町田 純子

- ◆**授業概要** 英文に慣れ、英文読解力を養成することを目的とする。文章構造や段落構成、段落展開を踏まえた直読直解、大意把握、サマリーの仕方等に慣れることもねらいである。
- ◆**学修到達目標**
  - ・英語の文の構造を正しくとらえながら、その内容を理解し、説明することができる。
  - ・英語の物語、ニュース、論説などを最初から最後まで読み通し、概要をつかむことができる。
  - ・英語のパラグラフの構成をよく理解し、英語の文章を読むとき、書くときに応用することができる。
  - ・基礎的な語彙を身に付け、使いこなすことができる。
- ◆**授業方法** 基本的に、教科書のタスクベースで、毎回語彙のチェックから始め、翻訳訳読式で読み返し、直読直解するやり方で読み進める。各段落の Topic Sentence (中心となる話題文) を探すことで要旨を把握し、段落の展開方法を分析しながら練習問題にあたる。会話文等を含め、ペアワークをさせた後に全体で確認する。(履修人数により多少の変更有り)
- ◆**履修条件** 2017 年度東京スクーリング (11 月期) との積み重ね不可
- ◆**授業計画 [各 90 分]**

1 回	授業内容	受講の際の留意点、内容、進め方等の説明。英文の読み方 (プリント)
	事前学修	シラバスをよく読み、講義の全体像を把握する。
	事後学修	ガイダンスの内容をおさらいする。
2 回	授業内容	Unit 1 Reading 1: A Pirate (Flowchart, Topic Sentences and Main Ideas; Sense Group Reading and Shadowing)
	事前学修	Unit 1 Reading 1 を時間を計り速読をする。英単熟語の意味を調べる。
	事後学修	Unit 1 Reading 1 の頻出単語の意味を暗記する。
3 回	授業内容	Unit 1 Reading 1: A Pirate
	事前学修	Unit 1 Reading 1 の問題を解く。
	事後学修	Unit 1 Reading 1 の間違えた箇所を解き直す。シャドウイング練習をする。
4 回	授業内容	Unit 1 Reading 2: The Power of Laughter (Flowchart, Topic Sentences and Main Ideas; Sense Group Reading and Shadowing)
	事前学修	Unit 1 Reading 2 を時間を計り速読をする。英単熟語の意味を調べる。
	事後学修	Unit 1 Reading 2 の頻出単語の意味を暗記する。
5 回	授業内容	Unit 1 Reading 2: The Power of Laughter
	事前学修	Unit 1 Reading 2 の問題を解く。
	事後学修	Unit 1 Reading 2 の間違えた箇所を解き直す。シャドウイング練習をする。
6 回	授業内容	Unit 2 Reading 1: Hobbits? (Skimming; Making a Summary)
	事前学修	Unit 2 Reading 1 を時間を計り速読をする。英単熟語の意味を調べる。
	事後学修	Unit 2 Reading 1 の頻出単語の意味を暗記する。
7 回	授業内容	Unit 2 Reading 1: Hobbits?
	事前学修	Unit 2 Reading 1 の問題を解く。
	事後学修	Unit 2 Reading 1 の間違えた箇所を解き直す。シャドウイング練習をする。
8 回	授業内容	Unit 3 Reading 1: A Return Flight from Space (Paragraph Development: Paragraphs of Classification)
	事前学修	Unit 3 Reading 1 を時間を計り速読をする。英単熟語の意味を調べる。
	事後学修	Unit 3 Reading 1 の頻出単語の意味を暗記する。
9 回	授業内容	Unit 3 Reading 1: A Return Flight from Space
	事前学修	Unit 3 Reading 1 の問題を解く。
	事後学修	Unit 3 Reading 1 の間違えた箇所を解き直す。シャドウイング練習をする。
10 回	授業内容	Unit 3 Reading 2: Hayabusa
	事前学修	Unit 3 Reading 2 を時間を計り速読をする。英単熟語の意味を調べる。
	事後学修	Unit 3 Reading 2 の頻出単語の意味を暗記する。
11 回	授業内容	Unit 3 Reading 2: Hayabusa
	事前学修	Unit 3 Reading 2 の問題を解く。
	事後学修	Unit 3 Reading 2 の間違えた箇所を解き直す。シャドウイング練習をする。
12 回	授業内容	Unit 4 Reading 1: A Traveler (Paragraph Development: Paragraphs of Chronological Order and Paragraphs of Spatial Order)
	事前学修	Unit 4 Reading 1 を時間を計り速読をする。英単熟語の意味を調べる。
	事後学修	Unit 4 Reading 1 の頻出単語の意味を暗記する。
13 回	授業内容	Unit 4 Reading 1: A Traveler
	事前学修	Unit 4 Reading 1 の問題を解く。
	事後学修	Unit 4 Reading 1 の間違えた箇所を解き直す。シャドウイング練習をする。
14 回	授業内容	前期の内容の総まとめ
	事前学修	前期の内容を確認する。
	事後学修	前期の内容の間違えた箇所を解き直す。
15 回	授業内容	授業内試験及び解説
	事前学修	前期の内容の確認をし、語彙チェック及び問題の解き直し等で振り返る。
	事後学修	これまでの学習内容を再確認する。

- ◆**教科書** 丸沼『Fresh Starts ー楽しく学ぶ速読スキル』町田純子他 南雲堂 1,836 円 (税込) (送料 215 円)  
(当日資料配布) ネットや新聞、雑誌等の英文
- ◆**参考書** 特になし
- ◆**成績評価基準** テスト (80%) 授業参画度 (20%) により総合的に評価する。  
授業に出席し期末テストを受験していることが前提である。

**注意** E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例:「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」  
※授業相談 (連絡先) に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

## 講座内容 (シラバス)

※ 2019年度より授業計画が全 15回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

## 〔国文学基礎演習〕 オープン受講：不可

木村 一

◆**授業概要** 国文学というものは、作品の読みだけにとどまるものではなく、ときには、資料を作成し人前で話すことまで求められる。そのような状況下において、自身の確実な作品の読みを経て、それをどのように捉え、どのように分析し、どのように可視化し、資料としてまとめ、どのように口頭発表するのか、という基本的なことを実践的に体現する。そのためには、「文学」「国文学基礎講義」「国文学史」などの講義を受講し終えていることが望ましい。

◆**学修到達目標** 受講者自身が教壇に立ち、口頭発表してもらう。ゆえに、それまでの作品の読み、解釈・分析、資料作成、そして口頭発表のやり方を自身で体現することで、作品の捉え方・参考文献の探し方・使い方、資料作成の方法、そして、人前での話し方が身につく。

◆**授業方法** 受講生自身が教壇に立ち、実際に自身の作成した発表資料を基に口頭発表をしてもらう。

◆**履修条件** 2018年度昼間スクーリング(前期)「国文学基礎演習」との積み重ね不可。前期のみの受講・後期のみの受講も可能ではあるが、前期を踏まえての後期であるので、前期・後期の連続受講が望ましい。特に「演習」科目であるので、前後期の一貫受講が理想的である。

◆**授業計画 (各 90 分)**

1回	授業内容：導入、どのように進めていくか・諸注意・担当者割り当て 事前学修：どのようなテキストなのか、内容を確認しておくこと。 事後学修：自分の担当箇所についてテキストの読み込みと調査を始めること。
2回	授業内容：デモンストレーション 事前学修：自分が担当したら、というイメージを持つこと。 事後学修：デモンストレーションの内容とやり方を把握すること。
3回	授業内容：受講生による口頭発表 第1章 古代(一) 一～三 事前学修：テキストの読み込みと質問の準備 事後学修：発表内容の確認と次回への知識の架け橋とすること
4回	授業内容：受講生による口頭発表 第1章 古代(一) 四～七 事前学修：テキストの読み込みと質問の準備 事後学修：発表者/聴衆として何をなしたのか
5回	授業内容：受講生による口頭発表 第2章 古代(二) 一～二 事前学修：テキストの読み込みと質問の準備 事後学修：発表内容の確認と次回への知識の架け橋とすること
6回	授業内容：受講生による口頭発表 第2章 古代(二) 三～四 事前学修：テキストの読み込みと質問の準備 事後学修：発表者/聴衆として何をなしたのか
7回	授業内容：受講生による口頭発表 第3章 中古(一) 一～二 事前学修：テキストの読み込みと質問の準備 事後学修：発表内容の確認と次回への知識の架け橋とすること
8回	授業内容：受講生による口頭発表 第3章 中古(一) 三～四 事前学修：テキストの読み込みと質問の準備 事後学修：発表者/聴衆として何をなしたのか
9回	授業内容：受講生による口頭発表 第4章 中古(二) 一～三 事前学修：テキストの読み込みと質問の準備 事後学修：発表内容の確認と次回への知識の架け橋とすること
10回	授業内容：受講生による口頭発表 第4章 中古(二) 四～六 事前学修：テキストの読み込みと質問の準備 事後学修：発表者/聴衆として何をなしたのか
11回	授業内容：受講生による口頭発表 第5章 中世(一) 一～二 事前学修：テキストの読み込みと質問の準備 事後学修：発表内容の確認と次回への知識の架け橋とすること
12回	授業内容：受講生による口頭発表 第5章 中世(一) 三～四 事前学修：テキストの読み込みと質問の準備 事後学修：発表者/聴衆として何をなしたのか
13回	授業内容：受講生による口頭発表 第6章中世(二) 一～四 事前学修：テキストの読み込みと質問の準備 事後学修：発表内容の確認と次回への知識の架け橋とすること
14回	授業内容：受講生による口頭発表 第6章中世(二) 五～八 事前学修：テキストの読み込みと質問の準備 事後学修：発表者/聴衆として何をなしたのか
15回	授業内容：前期まとめ 総評 事前学修：レポート作成への確認 事後学修：レポート作成へ

◆**教科書** 教材『国文学基礎講義 M20100』通信教育教材(教材コード 00519) 3,350円(送料込)  
(この教材は市販の『Next 教科書シリーズ日本古典文学』近藤健史編(弘文堂)と同一です。)  
〔当日資料配布〕発表レジュメは当日配布

◆**参考書** 電子辞書があると便利

◆**成績評価基準** 毎回出席することを前提として、発表内容 70%・質疑応答 10%・レポート 20%で総合的に評価する。

## 注意

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」  
※授業相談(連絡先)に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

# 講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

## 〔東洋史概説 / 東洋史概論〕

塚本 剛

- ◆**授業概要** 「東洋史」を、歴史的空間概念として古代は東アジア世界、中世は東部ユーラシア世界、近世は世界の一体化という観点より中国を文明中核地帯として概説する。多種多様な民族と地域、特に黄河流域と長江流域で明確に異なる文化をもちながらなぜ統一されたのか、黄河治水の必要性から専制支配が形成されたとする「水の理論」は妥当なのか、異境や世界観の変化はどのように東洋の歴史に影響したのか理解できるように心掛ける。
- ◆**学修到達目標** ①日本を含む「東洋史」、歴史的空間概念としての東アジア世界史・東部ユーラシア世界史とは何か、世界史構想上で東洋史はどのように位置づけられるのかを説明できる。②資料解釈による「歴史的事実」の解釈の多様性、そこから生じる様々な歴史認識、歴史観、ひいてはグローバル世界において東洋を比較相対して位置づけ、俯瞰的に捉える学問的アプローチと態度を学修することにより、固有の世界観を形成することが出来る。
- ◆**授業方法** ただ、一方的に講義するのではなく、中高含め現在までどのように学習してきた、今現在どのように認識しているか（レポート課題にもする）をこちらから問いかけ、東洋史で常識（特に中高の歴史教育）とされている歴史事象についての誤解とそれが形成された理由を浮き彫りにして、現在の学問水準でのコンセンサスを講義する。但し受講人数や、受講者の興味対象によっては必ずしも予定に固執せず柔軟に対応したい。
- ◆**履修条件** 学修効果を上げるため、前期後期連続受講が望ましい。後期高綱博文先生の東洋史概説東洋史概説履修を強く勧める。
- ◆**授業計画〔各 90 分〕**

1 回	授業内容 講義の進め方・オリエンテーション・東洋史とは何か？ 本講義の進め方を説明し、東洋史を学修する意義を概説する。	事前学修 高校世界史で学習した知見を整理しておくこと。	事後学修 講義内容を整理し、確認して理解しておくこと。
2 回	授業内容 原始文化 中国文明の文化的多様性、特に黄河流域文化と長江流域文化との質的差を解説する。	事前学修 文化とは一言で言えばライフスタイル。それは衣食住に如実に表れる。中華料理といっても地域によってその実態は、多彩である。それぞれの地域に根ざした料理の特徴を調べておくこと。	事後学修 米作文化と雑穀文化の相違など文化の違いを良く整理しておくこと。
3 回	授業内容 邑の統合と初期王権 都市国家である邑の出現と、それを統合する王権の仕組みについて解説する。	事前学修 高校世界史の知識を確認しておくこと。	事後学修 神の直系子孫である王の王権構造と黄河・長江流域のそれぞれの王権の特徴について整理しておくこと。
4 回	授業内容 殷周革命と天 殷周革命により王権の正統観が一変し、青銅器に文字を鋳込む技術を独占的に握り、天と交信できる唯一の祭祀者としての王の性格を解説する。	事前学修 お祭りにおける祭祀・儀礼の意義を考えておくこと。	事後学修 王権の正統性は背景にある思想の属性によって規定されるが、中国の場合について確認した上で、本来目に見えない思想を可視化する装置として機能する文化についてまとめておくこと。
5 回	授業内容 春秋戦国時代における天体観の変化 都市国家から領域国家への発展を解説する。	事前学修 高校歴史教育における中国と日本の改元の違いを調べてみる。	事後学修 改元法の違いが、王権の正統観の相違を表し、領域国家の有り様は環境によって多様であることを良く整理すること。
6 回	授業内容 秦の統一 領域国家から帝国への発展を解説する。	事前学修 高校教育の該当部分について良く復習しておくこと。	事後学修 秦の統一は史料上では「併六国」であり、所謂統一国家を構築したというイメージからはかなり相違があることを整理すること。
7 回	授業内容 儒教の国教化 後漢時代に国教となった儒教の正統観で以後、清朝に至るまで歴史書が編纂されるので、それを補正しなければ実体は見えてこないことを解説する。	事前学修 自分を取り巻く周囲の世界は儒教にいかなる影響を与えられているか考えておくこと。	事後学修 儒教国教化が中華世界、延いては東アジア世界、またそれを編纂する歴史観に与えた影響を良く整理すること。
8 回	授業内容 東アジア世界 古代地中海世界文明が西欧世界の古典古代であると同様に、東アジア世界では、3 世紀頃までの漢語文化こそが古典古代であることを解説する。	事前学修 中国由来のものだが、あまりにも利便性が高く汎用性が認められたため、受容され、東アジア全体に普及した普遍性のある文化を列挙しておくこと。	事後学修 古代東アジア世界は、漢語文献を古典として、都城、律令、儒教を普遍的な文化として受容して成立したことを理解すること。
9 回	授業内容 環境と東アジア世界史 マルクス史観が示す普遍的な世界史は環境を度外視したもので成立し得ず、環境に根ざした文化とそれを基盤に独自の歴史があることを理解する。	事前学修 高校教育の世界史のみならず地理もよく復習しておくこと。	事後学修 環境史の基本的な考え方を整理しておくこと。
10 回	授業内容 漢と東アジア世界 統一帝国の基盤を整理して軌道に乗せたのは漢であり、特に後漢こそが、皇帝支配における古典的国制を完成させたことを解説する。	事前学修 古代のまとめとなるので今までの講義内容を良く整理しておくこと。	事後学修 秦漢帝国の皇帝支配について良く整理しておくこと。
11 回	授業内容 東部ユーラシアと仏教 6 世紀末～10 世紀初頭の国際秩序は、中華文明圏を中核とし、それと歴史的に密接な関係を持ち、直接的な交渉を継続し続けた地域世界を想定する必要があり、その文化交流を媒介したのは仏教であることを解説する。	事前学修 仏教について知っている知識をまとめておくこと。	事後学修 中世は古代東アジア世界にかわり東部ユーラシア世界が成立、機能することを整理しておくこと。
12 回	授業内容 隋唐と東部ユーラシア世界 魏晉南北朝の分裂期を再統一した隋唐帝国を理解するためには、東部ユーラシア世界というマクロな視点が不可欠であることを解説する。	事前学修 シルクロードについて知っている知見を良く整理しておくこと。	事後学修 中世のまとめとなるので、11～12 回の
13 回	授業内容 分岐点としての宋・元 下部構造である物質的条件では西欧より遙かに早く近代化・資本制への段階が整った中華がおくれを取ったのかを解説する。	事前学修 宋の都市を中心とした経済的発展の様相について高校世界史の知識を良く復習しておくこと。	事後学修 所謂大分岐について良く整理しておくこと。
14 回	授業内容 世界の一体化と元明 世界の一体化にはムスリム商人の活躍と大元ウルスによる大陸の政治的、経済的統合が大きな役割を果たしており、ロシア帝国、オスマン帝国、ムガル帝国、明朝などの 16 世紀のユーラシア内陸の大規模国家はモンゴル帝国そのものやモンゴル帝国内地方政権の後継国家の性格を有することを解説する。	事前学修 高校世界史における宋の為替、元の紙幣制度をよく復習し、明の租税銀納制度が、清、中華民国の銀本位制度へと発展する様子を整理しておくこと。	事後学修 試験に備え 14 回までの講義内容を全てを再確認しておくこと。
15 回	授業内容 試験及び解説	事前学修 前回の講義内で指摘した課題について前もってまとめておくこと。	事後学修 講義内容を再確認して、レポート課題と照らし合わせ、受講後の変化を認識した上で、現在における自分の課題を適切に把握すること。

- ◆**教科書** 〔当日資料配布〕 授業時間中に適宜、資料を配布する。
- ◆**参考書** 〔教材〕『東洋史概説 Q30300』 通信教育教材（教材コード 000523）2,100 円（送料込）※学修指導書付。  
〈この教材は市販の『中国の歴史』 岸本美緒（ちくま学芸文庫）と同一です。〉
- ◆**成績評価基準** 試験（50%）、レポート（50%）。毎回出席することを前提として評価します。

**注意** E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」  
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。



# 講座内容 (シラバス)

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

## 【情報概論 A】 オープン受講：不可

戸塚 英臣

### ◆授業概要 下記の項目について実習を進めていきます。

- 1) 文書作成
- 2) 表計算ソフトと統計処理
- 3) プレゼンテーション技術の基礎
- 4) HTML と JavaScript

### ◆学修到達目標 表計算ソフト、文書作成ソフト、プレゼンテーションソフト、HTML と JavaScript の利用を通じて、コンピュータによる問題解決の方法の基礎を学び、情報技術の基本的知識の習得を目指します。

### ◆授業方法 基本的にはコンピュータを用いて実習しますが、表計算ソフトの必要な知識については必要に応じて講義形式で学習します。

### ◆履修条件 文書作成ソフト (Word)、表計算ソフト (Excel)、プレゼンテーションソフト (PowerPoint)、テキストエディタ (メモ帳) の基本的な使い方を理解していること、さらに、メールで課題提出を行うので Nu-Mail が使えることが望ましい。2018 年度昼間スクーリング「情報概論」の前期、もしくは後期のみ受講も可能ですが、学修効果をあげるため、前期・後期の連続受講が望ましい。2018 年度夏期スクーリング「情報概論」との積み重ね不可。

### ◆授業計画 (各 90 分)

1 回	授業内容：文書作成ソフトの基本操作の習得を目指します。 事前学修：文書作成ソフトの基本 (文字入力、ファイル操作等) について確認しておくこと。 事後学修：配布資料に基づき文書作成ソフトの基本操作について理解すること。
2 回	授業内容：表計算ソフトの基本操作の習得を目指します。 事前学修：表計算ソフトの基本 (相対参照・絶対参照) について確認しておくこと。 事後学修：配布資料に基づき相対参照・絶対参照について理解すること。
3 回	授業内容：表計算ソフトによるグラフの作成方法の習得を目指します。 事前学修：縦棒グラフ、折れ線グラフ、円グラフの作成について理解しておくこと。 事後学修：配布資料に基づき各グラフの作成方法、ならびに用法について理解すること。
4 回	授業内容：表計算ソフトと文章作成ソフトによるレポート作成方法の習得を目指します。 事前学修：文書作成ソフトの基本 (文字入力やファイル操作) について再確認しておくこと。 事後学修：配布資料に基づきレポート作成方法について理解すること。
5 回	授業内容：表計算ソフトの基本関数の習得を目指します。 事前学修：表計算ソフトの基本関数 (平均、合計、順位等) について確認しておくこと。 事後学修：配布資料に基づき度数分布表・ヒストグラムの作成方法を理解すること。
6 回	授業内容：表計算ソフトによる度数分布表・ヒストグラムの作成の習得を目指します。 事前学修：度数分布表とヒストグラムについて理解しておくこと。 事後学修：配布資料に基づき度数分布表・ヒストグラムの作成方法を理解すること。
7 回	授業内容：表計算ソフトを用いて定義式に基づいた基本統計量 (平均、合計、分散、標準偏差) の計算方法の習得を目指します。 事前学修：平均、合計、分散、標準偏差などの基本統計量の定義式を理解しておくこと。 事後学修：配布資料に基づき基本統計量の計算方法を理解すること。
8 回	授業内容：表計算ソフトを用いて散布図の作成方法、ならびに定義式に基づいた相関係数の計算方法を習得します。 事前学修：散布図や相関係数について確認しておくこと。 事後学修：配布資料に基づき散布図の作成方法と定義式に基づいた相関係数の計算方法について理解すること。
9 回	授業内容：プレゼンテーションソフトの基本的操作の習得を目指します。 事前学修：プレゼンテーションソフトの基本について確認しておくこと。 事後学修：配布資料に基づきプレゼンテーションソフトの基本操作について理解すること。
10 回	授業内容：プレゼンテーションソフトを用いた発表資料の作成を行います。 事前学修：発表する時事問題を特定し、参考文献や論文、または Web を調べてくること。 事後学修：プレゼンテーションソフトを用いた発表資料の作成について理解すること。
11 回	授業内容：Web ページの基本概念である HTML の基本文法の習得を目指します。 事前学修：HTML の基本文法について確認しておくこと。 事後学修：配布資料に基づき HTML の基本文法について理解すること。
12 回	授業内容：HTML に動的な処理を加えることができるスクリプト言語である JavaScript の基本文法の習得を目指します。 事前学修：JavaScript の基本文法について理解しておくこと。 事後学修：配布資料に基づき JavaScript の基本文法を理解すること。
13 回	授業内容：12 回で習得した JavaScript を用いた Web ページの作成法の理解を目指します。 事前学修：HTML と JavaScript の基本文法について再確認しておくこと。 事後学修：配布資料に基づき HTML と JavaScript による動的 Web ページの作成法について理解すること。
14 回	授業内容：理解度の確認 事前学修：1 回～13 回までに配布した資料を再確認しておくこと。 事後学修：配布した資料に基づき 1 回～13 回までの授業内容について理解しておくこと。
15 回	授業内容：確認試験、および解説 事前学修：前回の授業内で指摘した基本的な事柄について確認しておくこと。 事後学修：授業内容を確認・理解し、表計算ソフトの活用法について再確認すること。

### ◆教科書 [当日資料配布] 授業当日に資料を配布します。

### ◆参考書 コンピュータに関してはインターネット上の情報が最新の場合が多いです。従って、そちらを参考にしてください。ただし、インターネット上の情報は必ずしも正しいとは限りません。ご自身で情報の真偽を判断し活用するようにして下さい。

### ◆成績評価基準 授業参加度 (30%)、平常課題 (50%)、授業内試験 (20%) により総合的に評価します。 ※ 演習形式の授業なので、毎回出席することを前提に評価します。

### 注意

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」  
※ 授業相談 (連絡先) に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

講座の選定

時間割

開講講座表・シラバス  
(火曜日)

開講講座表・シラバス  
(水曜日)

開講講座表・シラバス  
(木曜日)

開講講座表・シラバス  
(金曜日)

受講及び試験

受講手続

申込講座の許可と不許可

受講料等の納入

受講準備

体育実技の受講について

オープン受講

胸部 X 線検査

各種用紙

付録

**【木曜日】**

時限	講座コード	開講講座名	担当講師名	単開 位 数 講	充 当 科 目		制 限・注 意			受 オ ー プ ン 講
					科 目 コ ー ド	科 目 名	併 用	配 当 学 年	受 講 条 件	
1 時 限	AD11	社 会 学 A	服部 慶亘	2	B11600	社 会 学	×	1年		
	AD12	英 語 F	鈴木 ふさ子	1	C10100	英 語 I	×	1年	・ I～IVのいずれに該当させるのか 充当科目コードを必ず記入してください。	
					C10200	英 語 II				
					C10300	英 語 III		2年		
					C10400	英 語 IV				
AD13	行 政 学	関根 二三夫	2	L30100	行 政 学	×	2年			
AD14	情 報 概 論 B	中村 典裕	2	R32300	情 報 概 論	×	2年			
2 時 限	AD21	英 語 G	岡田 善明	1	C10100	英 語 I	×	1年	・ I～IVのいずれに該当させるのか 充当科目コードを必ず記入してください。	
					C10200	英 語 II				
					C10300	英 語 III		2年		
					C10400	英 語 IV				
	AD22	政治学特殊講義Ⅰ・Ⅱ	杉本 竜也	2	L311S0	政治学特殊講義Ⅰ	×	2年	・ I, IIのいずれに該当させるのか 充当科目コードを必ず記入してください。	
					L312S0	政治学特殊講義Ⅱ				
	AD23	国文学演習Ⅰ～Ⅵ	近藤 健史	1	M404S0	国文学演習Ⅰ	×	3年	・ 国文学専攻のみ申込可。 ・ I～Ⅵのいずれに該当させるのか 充当科目コードを必ず記入してください。	
					M405S0	国文学演習Ⅱ				
					M406S0	国文学演習Ⅲ				
					M407S0	国文学演習Ⅳ				
M408S0					国文学演習Ⅴ					
M409S0					国文学演習Ⅵ					
AD24	英語文学概説/ 英米文学概説	鈴木 ふさ子	2	N20400	英語文学概説	×	条件参照	・ 2019年度入学生及び科目履修生の 英文学専攻のみ1学年以上申込可。 ・ 上記以外は2学年以上申込可。		
				N20300	英米文学概説					条件参照
AD25	経 済 学 概 論	前野 高章	2	R20300	経 済 学 概 論	×	条件参照	・ 経済学部のみ1学年以上 申込可。 ・ 上記以外は2学年以上 申込可。		

**注意**

各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者がそれらを超えた場合、大学が任意に講座を分割したり他講師担当の同一科目講座へ振り分けるなどの、受講制限を行います。  
その結果、必ずしも希望した担当者の講座を受講できない場合、受講をお断りする場合があります。あらかじめ、ご了承ください。

【木曜日】

時限	講座コード	開講講座名	担当講師名	単開 位 数講	充 当 科 目		制 限 ・ 注 意			受オ ー プ ン 講
					科 目 コ ー ド	科 目 名	併 用	配 当 学 年	受 講 条 件	
3 時 限	AD31	英 語 基 礎	中 村 則 子	1	C10600	英 語 基 礎	×	1 年	・英文学専攻は申込不可。	×
	AD32	英 語 学 演 習 I ~ III	真 野 一 雄	1	N401S0	英 語 学 演 習 I	×	3 年	・英文学専攻のみ申込可。 ・I ~ IIIのいずれに該当させるのか 充当科目コードを必ず記入してください。	
					N402S0	英 語 学 演 習 II				
					N403S0	英 語 学 演 習 III				
	AD33	東 洋 史 特 講 II	高 網 博 文	2	Q31100	東 洋 史 特 講 II	×	2 年		
AD34	経 済 原 論 B / 経 済 学 原 論 B	前 野 高 章	2	R20100	経 済 原 論	×	条件参照	・経済学部は1学年以上申込可。 ・文理・商学部は2学年以上申込可。		
L20200	経 済 学 原 論	・政治経済学科は1学年以上申込可。 ・法律学科は2学年以上申込可。								
AD35	現 代 教 職 論	古 賀 徹	2	T10100	現 代 教 職 論	×	1 年	・スクーリング1回の合格で単位完成する科目です。		
4 時 限	AD41	英 語 H	中 村 則 子	1	C10100	英 語 I	×	1 年	・I ~ IVのいずれに該当させるのか 充当科目コードを必ず記入してください。	×
					C10200	英 語 II				
					C10300	英 語 III		2 年		
					C10400	英 語 IV				
	AD42	T O E I C A	八 木 茂 那 子	1	C108S0	T O E I C	×	1 年		
	AD43	憲 法	名 雪 健 二	2	K20100	憲 法	×	条件参照	・法学部のみ1学年以上申込可。 ・上記以外は2学年以上申込可。	
	AD44	西 洋 史 特 講 I	青 山 由 美 子	2	Q31200	西 洋 史 特 講 I	×	2 年		
AD45	経 済 史 総 論	飯 島 正 義	2	R20200	経 済 史 総 論	×	条件参照	・経済学部のみ1学年以上申込可。 ・上記以外は2学年以上申込可。		
AD46	英 語 科 教 育 法 I	小 澤 賢 司	2	T23800	英 語 科 教 育 法 I	×	2 年	・2019年度入学生及び科目履修生のみ申込可。 ・英文学専攻のみ申込可。 ・スクーリング1回の合格で単位完成する科目です。		

注意

各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者がそれらを超えた場合、大学が任意に講座を分割したり他講師担当の同一科目講座へ振り分けるなどの、受講制限を行います。  
その結果、必ずしも希望した担当者の講座を受講できない場合、受講をお断りする場合があります。あらかじめ、ご了承ください。

## 【木曜日】

時限	講座コード	開講講座名	担当講師名	単開 位数講	充 当 科 目		制 限・注 意			受オ ー プ ン 講		
					科 目 コード	科 目 名	併 用	配 当 学 年	受 講 条 件			
5 時 限	AD51	英 語 J	八木 茂那子	1	C10100	英 語 I	×	1年	・ I～IVのいずれに該当させるのか 充当科目コードを必ず記入してください。			
					C10200	英 語 II						
					C10300	英 語 III		2年				
					C10400	英 語 IV						
	AD52	哲学演習 I・II	中澤 瞳	1	P401S0	哲学演習 I	×	3年			・ 哲学専攻のみ申込可。 ・ I, IIのいずれに該当させるのか 充当科目コードを必ず記入してください。	
					P402S0	哲学演習 II						
AD53	国際経済論	前野 高章	2	R31100	国際経済論	×	2年					
AD54	商業政策	新島 裕基	2	S31000	商業政策	×	2年					
AD55	教育の方法・技術論	古賀 徹	2	T21700	教育の方法・技術論	×	2年	・ スクーリング1回の合格で 単位完成する科目です。				

### 注意

各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者がそれらを超えた場合、大学が任意に講座を分割したり他講師担当の同一科目講座へ振り分けるなどの、受講制限を行います。  
その結果、必ずしも希望した担当者の講座を受講できない場合、受講をお断りする場合があります。あらかじめ、ご了承ください。

# 講座内容 (シラバス)

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

## 〔社会学A〕

服部 慶巨

◆**授業概要** 「つまづいたっていいじゃないか／にんげんだもの」という相田みつをの言葉に、「人間らしさ」の本質を見ることができるとは、なぜ人間は「つまづいて」もよいのだろうか。この講義において、まず我々「人間」はどのような存在であるのかを確認し、「人間らしさ」について社会的に理解できるように努めていく。

◆**学修到達目標** 「大学で学んだことは、日常で役に立たない」という声を聞くが、本当にそうだろうか？ そんな疑問と対峙しつつ、学問が自分の日常生活や人生の現在・過去・未来と密接に関わっていることを理解し、社会（科）学的な視点で自分自身をとらえる技術を身につける。

◆**授業方法** 教科書・プリント・板書（パワーポイント）などを用い、受講生自身も陥りがちな問題点を指摘・解説する。必要に応じて視聴覚資料（CD、DVD、マンガ、その他）を多用する。また、学生に質問を投げかけ、対話とシミュレーションを展開しながら講義を進めていく。よって、講義を単に「聴く」のではなく、講義に「参加」する意欲が好成绩につながるものと思われる。また、後期の講義内容への橋渡しも随時行う。

◆**履修条件** 同時期（前期）開講の「社会学B」との積み重ね履修不可

### ◆授業計画〔各 90 分〕

1 回	授業内容：前期ガイダンス 講義の方針、展開方法、目標などを確認する。 事前学修：シラバスを読んで、講義の目的・目標を理解する。 事後学修：テキストを入手し、「もくじ」に目を通しておく。
2 回	授業内容：状況（情況）判断①「レディネス」(readiness) について。 事前学修：前回の講義内容を確認しておく。 事後学修：講義で紹介された事例・概念などを自身の日常生活の中でキチンと確認（実践）する。
3 回	授業内容：状況（情況）判断② 人間の為す「判断」の特徴。 事前学修：前回までの講義内容を確認しておく。 事後学修：講義で紹介された事例・概念などを自身の日常生活の中でキチンと確認（実践）する。
4 回	授業内容：状況（情況）判断③「知識」と「技術」の関係性。 事前学修：前回までの講義内容を確認しておく。 事後学修：講義で紹介された事例・概念などを自身の日常生活の中でキチンと確認（実践）する。
5 回	授業内容：状況（情況）判断④「行為」と「行動」の違いについて。 事前学修：前回までの講義内容を確認しておく。 事後学修：講義で紹介された事例・概念などを自身の日常生活の中でキチンと確認（実践）する。
6 回	授業内容：社会的動物としての人間① 社会学の研究対象である「社会」の定義づけ。 事前学修：これまでの講義内容をふまえて、「日常生活」について説明できるようにしておく。 事後学修：講義で紹介された事例・概念などを自身の日常生活の中でキチンと確認（実践）する。
7 回	授業内容：社会的動物としての人間② 日常生活における「自我」と「客我」の関係性について。 事前学修：前回までの講義内容を確認しておく。 事後学修：講義で紹介された事例・概念などを自身の日常生活の中でキチンと確認（実践）する。
8 回	授業内容：社会的動物としての人間③「生理的早産」について。 事前学修：前回までの講義内容を確認しておく。 事後学修：講義で紹介された事例・概念などを自身の日常生活の中でキチンと確認（実践）する。
9 回	授業内容：人間関係の諸相と構造①「Human Being」という言葉の本質について。 事前学修：これまでの講義内容をふまえて、「人間とは何か？」という問いに対する答えを考えておく。 事後学修：講義で紹介された事例・概念などを自身の日常生活の中でキチンと確認（実践）する。
10 回	授業内容：人間関係の諸相と構造②「人間らしさ」について、様々な名言を紹介する。 事前学修：前回までの講義内容を確認しておく。 事後学修：講義で紹介された事例・概念などを自身の日常生活の中でキチンと確認（実践）する。
11 回	授業内容：人間関係の諸相と構造③「地位」(status) と「役割」(role) の関係性について。 事前学修：前回までの講義内容を確認しておく。 事後学修：講義で紹介された事例・概念などを自身の日常生活の中でキチンと確認（実践）する。
12 回	授業内容：人間関係の諸相と構造④「役割演技」と「地位剥奪」について。 事前学修：前回までの講義内容を確認しておく。 事後学修：講義で紹介された事例・概念などを自身の日常生活の中でキチンと確認（実践）する。
13 回	授業内容：人間関係の諸相と構造⑤「地位」の性質別分類と、人間関係について。 事前学修：前回までの講義内容を確認しておく。 事後学修：講義で紹介された事例・概念などを自身の日常生活の中でキチンと確認（実践）する。
14 回	授業内容：理解度確認（まとめ） 事前学修：これまでの講義内容を、テキストやノート、資料を読んで再確認しておく。 事後学修：試験に向けて、これまでの講義内容を復習しておく。
15 回	授業内容：試験および解説 事前学修：これまでの講義内容について、テキストやノート、資料を読んで、自身でまとめておく。 事後学修：今後の受講、または日常生活改善に向けて、講義内容を再確認する。

◆**教科書** 丸沼『人間生活の理論と構造』夏川康男（ほか）学文社 2,700 円（税込）（送料 350 円）  
丸沼『補強版ストレス・スパイラル』服部慶巨 人間の科学社 1,296 円（税込）（送料 300 円）

◆**参考書** プリント配布

◆**成績評価基準** 終講試験（70%）、授業参加度（20%）、レポート類（10%）で評価する。なお、全講義回数数の 3 分の 2 以上の出席が原則（公欠などは申し出ること）。

### 注意

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」  
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

講座の選定

時間割

開講講座表・シラバス使用教材（火曜日）

開講講座表・シラバス使用教材（水曜日）

開講講座表・シラバス使用教材（木曜日）

開講講座表・シラバス使用教材（金曜日）

受講及び試験

受講手続

申込講座の許可と不許可

受講料等の納入

受講準備

体育実技の受講について

オープン受講

胸部 X 線検査

各種用紙

付録

# 講座内容 (シラバス)

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

## 〔英語 F〕★★☆

鈴木 ふさ子

- ◆**授業概要** テキストに載っているリスニングの演習問題やスピーキングのペアワークを通してリスニングとスピーキングの能力を身につける。リスニングでは日本人に聞き取りにくい音をピックアップして練習します。さらに、Unit ごとに文法事項の確認を行いながら、英語の構文を覚え、実際に使えるようにする。Unit ごとのテーマに応じたボキャブラリーを確認し、いろいろな英語の表現を身につけ、授業時に覚えてクラスメイトの前で披露する。
- ◆**学修到達目標** リスニングとスピーキングの力をつけ、相手の話をきちんと聞き取り、英語で自分の考えを明確に自然に表現することができるようになる事を目的とする。Unit ごとのテーマに即したボキャブラリーを修得し、幅広い場面でできるだけ細かい内容を話せるようになる事を目的とする。Unit ごとの文法事項を復習することでミスの少ない英語が話せるようになる事を目的とする。大勢の前で自然に話ができるようになる事を目的とする。
- ◆**授業方法** ペアを組んでリスニングの演習問題に取り組み、スピーキングの練習をする。リスニングは日本人が苦手な音やつながって聞こえる音などに特化しているので、その部分は解説を行う。また、文法事項や構文を使っての表現を紹介し、それらを使ってスピーキングの練習をして毎回クラスメイトの前で披露する。これは 30 名くらいのクラスサイズを想定しており、人数が多い場合には授業方法を変更する場合もある。
- ◆**授業計画〔各 90 分〕**

1 回	授業内容	オリエンテーション、授業の進め方、講義内容に記載されている成績評価方法などの確認、自己紹介。
	事前学修	クラスの全員にアピールできるような自己紹介を考えてくる。
	事後学修	印象に残る話の進め方がどのようなものなのかを分析する。
2 回	授業内容	実力テスト。評価と解説。
	事前学修	高校までの英語を復習する。
	事後学修	自分の英語力(得意な部分、不得意な部分はどこなのか)を分析する。
3 回	授業内容	テキスト Unit 1 のリスニング(短くなる音)、文法(疑問文)、会話をペアで行う。
	事前学修	テキスト Unit 1 のボキャブラリーの問題を解き、覚えてくる。
	事後学修	付属の CD でリスニングを復習し、文法事項や会話表現を覚える。
4 回	授業内容	テキスト Unit 2 のリスニング(弱くなる音)、文法(疑問詞)、会話をペアで行う。
	事前学修	テキスト Unit 2 のボキャブラリーの問題を解き、覚えてくる。
	事後学修	付属の CD でリスニングを復習し、文法事項や会話表現を覚える。
5 回	授業内容	テキスト Unit 3 のリスニング(消える音)、文法(比較)、会話をペアで行う。
	事前学修	テキスト Unit 3 のボキャブラリーの問題を解き、覚えてくる。
	事後学修	付属の CD でリスニングを復習し、文法事項や会話表現を覚える。
6 回	授業内容	テキスト Unit 4 のリスニング(カタカナ語)、文法(提案)、会話をペアで行う。
	事前学修	テキスト Unit 4 のボキャブラリーの問題を解き、覚えてくる。
	事後学修	付属の CD でリスニングを復習し、文法事項や会話表現を覚える。
7 回	授業内容	テキスト Unit 5 のリスニング(つながる音)、文法(選択)、会話をペアで行う。
	事前学修	テキスト Unit 5 のボキャブラリーの問題を解き、覚えてくる。
	事後学修	付属の CD でリスニングを復習し、文法事項や会話表現を覚える。
8 回	授業内容	テキスト Unit 6 のリスニング(抜け落ちる音)、文法(意見を求める)、会話をペアで行う。
	事前学修	テキスト Unit 6 のボキャブラリーの問題を解き、覚えてくる。
	事後学修	付属の CD でリスニングを復習し、文法事項や会話表現を覚える。
9 回	授業内容	テキスト Unit 7 のリスニング(別の音に変わる音)、文法(指示、依頼)、会話をペアで行う。
	事前学修	テキスト Unit 7 のボキャブラリーの問題を解き、覚えてくる。
	事後学修	付属の CD でリスニングを復習し、文法事項や会話表現を覚える。
10 回	授業内容	テキスト Unit 8 のリスニング(綴りと発音)、文法(理由)、会話をペアで行う。
	事前学修	テキスト Unit 8 のボキャブラリーの問題を解き、覚えてくる。
	事後学修	付属の CD でリスニングを復習し、文法事項や会話表現を覚える。
11 回	授業内容	テキスト Unit 9 のリスニング(母音の長さ)、文法(意見の一致)、会話をペアで行う。
	事前学修	テキスト Unit 9 のボキャブラリーの問題を解き、覚えてくる。
	事後学修	付属の CD でリスニングを復習し、文法事項や会話表現を覚える。
12 回	授業内容	テキスト Unit 10 のリスニング(語尾)、文法(許可)、会話をペアで行う。
	事前学修	テキスト Unit 10 のボキャブラリーの問題を解き、覚えてくる。
	事後学修	付属の CD でリスニングを復習し、文法事項や会話表現を覚える。
13 回	授業内容	スピーキングの発表(1) クラスメイトのスピーキングを評価する。
	事前学修	Unit 1 ~ 10 までの英語の表現や会話を続けるコツなどを復習する。
	事後学修	自分が忘れていた表現やうまく話せなかった部分を見直し、復習する。
14 回	授業内容	スピーキングの発表(2) クラスメイトのスピーキングを評価する。
	事前学修	Unit 1 ~ 10 までの英語の表現や会話を続けるコツなどを復習する。
	事後学修	自分が忘れていた表現やうまく話せなかった部分を見直し、復習する。
15 回	授業内容	リスニングテストとその解説。
	事前学修	Unit 1 ~ 10 までの CD を聞き、ボキャブラリーや聞き取りのコツを復習する。
	事後学修	聞き取りにくかった部分を復習する。

- ◆**教科書** 丸沼『On Air Listen and Communicate』金星堂 2,268 円(税込)(送料 300 円)
- ◆**参考書** 特になし
- ◆**成績評価基準** 毎回のアクティビティへの積極的な取り組み(30%)、発表(40%)、リスニングテスト(30%)  
授業には毎回出席することを前提として評価を行います。

**注意** E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例:「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」  
※授業相談(連絡先)に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

# 講座内容 (シラバス)

※ 2019年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

## 〔行政学〕

関根 二三夫

- ◆**授業概要** 行政の概念、行政学の変遷、ロレンツ・フォン・シュタインの行政学、科学的管理法と行政学、政治と行政との関係、国家概念と国家機関、国家成立の要素、現代国家と行政、行政組織の原則及び部門化、ラインとスタッフ、官僚制、公務員制など、行政に関する制度的側面を学びます。
- ◆**学修到達目標** 20 世紀に入り顕著になってきた行政の多様化や複雑化に伴う行政国家化は、議会政治との軋轢を生じさせることになりました。本来的に政策の執行を扱うとされた行政が、政策の立案や決定に大きな影響力を持つことになって、議会政治との関係が問題になっています。行政の制度面を学ぶことにより、行政が国家と如何なる関係にあるかを理解できるようにします。
- ◆**授業方法** 講義形式で行います。講義においては、行政に関する受講生の問題意識を高め、それに対する解決能力を啓発するように進めていきます。講義で知り得た内容が、如何なる意義を有するのか、それが個人や社会や国家にとってどのように関係してくるのかを客観的に理解しなければなりません。受講に際しては予習及び復習が必要になります。
- ◆**授業計画〔各 90 分〕**

1 回	授業内容：講義全体の概要の説明 事前学修：テキストを熟読し、概要を理解すること。 事後学修：講義で知り得た内容を整理し、ノートにまとめること。
2 回	授業内容：行政の概念 事前学修：テキストの第 1 章第 1 節を熟読すること。 事後学修：講義で知り得た内容を整理し、ノートにまとめること。
3 回	授業内容：行政学の変遷 事前学修：テキストの第 1 章第 2 節を熟読すること。 事後学修：講義で知り得た内容を整理し、ノートにまとめること。
4 回	授業内容：ロレンツ・フォン・シュタインの行政学 事前学修：テキストの第 1 章第 2 節を熟読すること。 事後学修：講義で知り得た内容を整理し、ノートにまとめること。
5 回	授業内容：科学的管理法と行政学 事前学修：テキストの第 1 章第 3 節を熟読すること。 事後学修：講義で知り得た内容を整理し、ノートにまとめること。
6 回	授業内容：政治と行政との関係 事前学修：テキストの第 1 章第 1 節を熟読すること。 事後学修：講義で知り得た内容を整理し、ノートにまとめること。
7 回	授業内容：国家概念と国家機関 事前学修：テキストの第 2 章を熟読すること。 事後学修：講義で知り得た内容を整理し、ノートにまとめること。
8 回	授業内容：国家成立の要素 事前学修：テキストの第 2 章を熟読すること。 事後学修：講義で知り得た内容を整理し、ノートにまとめること。
9 回	授業内容：現代国家と行政 事前学修：テキストの第 2 章を熟読すること。 事後学修：講義で知り得た内容を整理し、ノートにまとめること。
10 回	授業内容：行政機関—組織原則及び部門化 事前学修：テキストの第 4 章第 1 節から第 3 節までを熟読すること。 事後学修：講義で知り得た内容を整理し、ノートにまとめること。
11 回	授業内容：行政機関—ラインとスタッフ 事前学修：テキストの第 4 章第 4 節を熟読すること。 事後学修：講義で知り得た内容を整理し、ノートにまとめること。
12 回	授業内容：官僚制—概念及び特徴 事前学修：テキストの第 5 章第 1 節及び第 2 節を熟読すること。 事後学修：講義で知り得た内容を整理し、ノートにまとめること。
13 回	授業内容：官僚制—発達の根拠 事前学修：テキストの第 5 章第 1 節及び第 2 節を熟読すること。 事後学修：講義で知り得た内容を整理し、ノートにまとめること。
14 回	授業内容：公務員制 事前学修：テキストの第 5 章第 4 節を熟読すること。 事後学修：講義で知り得た内容を整理し、ノートにまとめること。
15 回	授業内容：講義全体の総括 事前学修：学修した内容を再度確認すること。 事後学修：テキストの記述とノートの記述とを比較し、内容を理解すること。

- ◆**教科書** 教材『行政学 L30100』通信教育教材（教材コード 00084）3,000 円（送料込）
- ◆**参考書** 特になし
- ◆**成績評価基準** 試験 70%、平常点 30% ※試験同様、質問や理解度チェック等の平常点も重視しますので、受講に際しては欠席をしないように注意して下さい。

**注意** E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」  
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

## 〔情報概論 B〕

中村 典裕

◆**授業概要** 情報機器の基本的な活用能力は Computer Literacy と呼ばれるが、本講義では文字・文章処理、即ち「ワードプロセッシング」技術を学習する。具体的には Microsoft Word の使いこなしを習得する。またプレゼンテーションの基本技術である PowerPoint について学び、成果のミニ発表会も実施する。

◆**学修到達目標** 文書処理能力は知的活動の基礎である。最終的に次の内容を習得することを目標とする。

1. 情報機器による文書作成、編集能力を習得する。
2. 発信する情報の種類に応じた適切な表現手法を習得する。
3. 更に文書作成を通じた自己表現技術を習得する。

◆**授業方法** 本講義の中では、講義形式と演習の両方を行う。講義形式ではコンピュータの歴史、構造、コンピュータセキュリティ、情報倫理などについて学ぶ。演習ではコンピュータを実際に操作しながら、必要な技術の習得を目指す。ほぼ毎回課題を課し、提出する。

### ◆授業計画〔各 90 分〕

1 回	授業内容: ガイダンス・情報通信技術 (ICT) の基礎 事前学修: 日頃から情報通信技術 (ICT) に関わるテレビ報道や新聞記事などに興味や関心を持って接する態度を期待する。 事後学修: 授業の内容をノートに整理する。また、自宅でも授業 Web にアクセスし、授業内容を確認する。
2 回	授業内容: コンピュータ発達の歴史 事前学修: 授業 Web の内容を事前に閲覧し、授業内容への理解を深めておく。 事後学修: 授業の内容をノートに整理する。また、自宅でも授業 Web にアクセスし、授業内容を確認する。
3 回	授業内容: キーボード入力とタイピング演習 事前学修: 授業 Web の内容を事前に閲覧し、授業内容への理解を深めておく。 事後学修: 授業の内容をノートに整理する。また、自宅でも授業 Web にアクセスし、授業内容を確認する。
4 回	授業内容: Microsoft Word の概要・ワードプロセッサとは何か 事前学修: 授業 Web の内容を事前に閲覧し、授業内容への理解を深めておく。 事後学修: 授業の内容をノートに整理する。また、自宅でも授業 Web にアクセスし、授業内容を確認する。
5 回	授業内容: Word 基礎 1, 基本的な編集機能 事前学修: 授業 Web の内容を事前に閲覧し、授業内容への理解を深めておく。 事後学修: 授業の内容をノートに整理する。また、自宅でも授業 Web にアクセスし、授業内容を確認する。
6 回	授業内容: Word 基礎 2, 文書の書式 事前学修: 授業 Web の内容を事前に閲覧し、授業内容への理解を深めておく。 事後学修: 授業の内容をノートに整理する。また、自宅でも授業 Web にアクセスし、授業内容を確認する。
7 回	授業内容: Word 基礎 3, 表と図形の作成 事前学修: 授業 Web の内容を事前に閲覧し、授業内容への理解を深めておく。 事後学修: 授業の内容をノートに整理する。また、自宅でも授業 Web にアクセスし、授業内容を確認する。
8 回	授業内容: Word 活用 1, 社内文書・社外文書 事前学修: 授業 Web の内容を事前に閲覧し、授業内容への理解を深めておく。 事後学修: 授業の内容をノートに整理する。また、自宅でも授業 Web にアクセスし、授業内容を確認する。
9 回	授業内容: Word 活用 2, 表現力のある文書作成 事前学修: 授業 Web の内容を事前に閲覧し、授業内容への理解を深めておく。 事後学修: 授業の内容をノートに整理する。また、自宅でも授業 Web にアクセスし、授業内容を確認する。
10 回	授業内容: Word 活用 3, 文章レイアウト 事前学修: 授業 Web の内容を事前に閲覧し、授業内容への理解を深めておく。 事後学修: 授業の内容をノートに整理する。また、自宅でも授業 Web にアクセスし、授業内容を確認する。
11 回	授業内容: Word 活用 4, 索引, 脚注, 目次 事前学修: 授業 Web の内容を事前に閲覧し、授業内容への理解を深めておく。 事後学修: 授業の内容をノートに整理する。また、自宅でも授業 Web にアクセスし、授業内容を確認する。
12 回	授業内容: PowerPoint 入門 事前学修: 授業 Web の内容を事前に閲覧し、授業内容への理解を深めておく。 事後学修: 授業の内容をノートに整理する。また、自宅でも授業 Web にアクセスし、授業内容を確認する。
13 回	授業内容: PowerPoint 応用 事前学修: 授業 Web の内容を事前に閲覧し、授業内容への理解を深めておく。 事後学修: 授業の内容をノートに整理する。また、自宅でも授業 Web にアクセスし、授業内容を確認する。
14 回	授業内容: PowerPoint 実戦演習 (ミニ発表会) 事前学修: 発表会に備えて、事前に準備をする。必要に応じて、グループ内の他の参加者との意見調整を行う。 事後学修: 結果を再確認する。また、必要に応じて、グループ内の他の参加者との意見交換を行う。
15 回	授業内容: 最終課題 事前学修: 前回までの授業内容を確認し、最終課題に備える。 事後学修: 最終課題の結果を整理し、結果について再確認する。

◆**教科書** **〔当日資料配布〕** 原則として、当日に配付。また、授業用ウェブページからダウンロード可能

◆**参考書** 授業時に指示する。

◆**成績評価基準** 平常点 (20%), 平常課題 (30%), 最終課題レポート (50%)。毎回出席する事を前提として評価する。

**注意** E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例:「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」  
※授業相談 (連絡先) に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。



# 講座内容 (シラバス)

※ 2019年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

## 【英語G】★★☆

岡田 善明

◆**授業概要** 対照言語学の理論から主観的な日本語と客観的な英語の表現構造の違いを学び、客観的な英語の表現能力を修得する。本年度は特に口頭の表現能力を育成する。『和と輪』という国際関係の英語ニュースの入ったクラス通信により、時事的な英語の読解力とリスニング能力も育成する。

◆**学修到達目標** 『英語教育の精神と実践』第 11 章「日本語と英語の表現構造の比較」をテキストに、主観的な日本語に対して客観的な英語で表現する練習を行い、英語の生きた口頭表現能力を身に着ける。時事的なリスニング能力を養う。

◆**授業方法** 『英語教育の精神と実践』第 11 章「日本語と英語の表現構造の比較」を基に、初回の授業で渡す「英語的発想練習問題」を予習として行う。

### ◆授業計画 [各 90 分]

1 回	授業内容: <b>オリエンテーション</b> 事前学修: 『英語教育の精神と実践』第 11 章を読んでおく。 事後学修: 授業内容を整理し、「英語的発想練習問題」の内容を確認する。
2 回	授業内容: <b>1. 全体表現日本語から個体中心表現の英語表現練習</b> 事前学修: テキスト 1. 全体と個体の内容を予習する。 事後学修: テキスト 1. 全体と個体の内容を復習し例文を覚える。
3 回	授業内容: <b>1. 個体中心の表現問題演習</b> 事前学修: 『英語的発想練習問題』の 1. 個体中心表現の和文英訳をしておく。 事後学修: 『英語的発想練習問題』の 1. 個体中心表現の和文英訳の正解を覚える。
4 回	授業内容: <b>2. 主観的日本語から客観的英語表現練習</b> 事前学修: テキスト 2. 主観言語と客観言語を予習する。 事後学修: テキスト 2. 主観言語と客観言語を復習する。
5 回	授業内容: <b>2. 客観英語表現問題演習</b> 事前学修: 『英語的発想練習問題』の 2. 客観言語の和文英訳をしておく。 事後学修: 『英語的発想練習問題』の 2. 客観言語の和文英訳正解を覚える。
6 回	授業内容: <b>3. アナログ言語の日本語からデジタル言語の英語表現練習</b> 事前学修: テキスト 3. アナログ言語とデジタル言語を予習する。 事後学修: テキスト 3. アナログ言語とデジタル言語を復習する。
7 回	授業内容: <b>3. アナログ言語とデジタル言語の表現問題演習</b> 事前学修: 『英語的発想練習問題』の 2. デジタル言語和文英訳をしておく。 事後学修: 『英語的発想練習問題』の 2. デジタル言語和文英訳正解を覚える。
8 回	授業内容: <b>4. 自動詞表現と他動詞表現の英語表現練習</b> 事前学修: テキスト 4. 自動詞表現と他動詞表現を予習する。 事後学修: テキスト 4. 自動詞表現と他動詞表現を復習する。
9 回	授業内容: <b>4. 自動詞表現と他動詞表現問題演習</b> 事前学修: 『英語的発想練習問題』の 4. 他動詞表現和文英訳をしておく。 事後学修: 『英語的発想練習問題』の 4. 他動詞表現和文英訳正解を覚える。
10 回	授業内容: <b>5. 受身表現と能動表現の英語表現練習</b> 事前学修: テキスト 5. 受身表現と能動表現を予習する。 事後学修: テキスト 5. 受身表現と能動表現を復習する。
11 回	授業内容: <b>5. 受身表現と能動表現問題演習</b> 事前学修: 『英語的発想練習問題』の 5. 受身表現と能動表現和文英訳をしておく。 事後学修: 『英語的発想練習問題』の 5. 受身表現と能動表現和文英訳正解を覚える。
12 回	授業内容: <b>6. 人間中心言語と個体中心言語表現練習</b> 事前学修: テキスト 6. 人間中心言語と個体中心言語を予習する。 事後学修: テキスト 6. 人間中心言語と個体中心言語を復習する。
13 回	授業内容: <b>6. 人間中心言語と個体中心言語問題演習</b> 事前学修: 『英語的発想練習問題』の 6. 人間中心言語と個体中心言語の英訳をしておく。 事後学修: 『英語的発想練習問題』の 6. 人間中心言語と個体中心言語の復習をしておく。
14 回	授業内容: <b>【日本語と英語の表現構造比較】まとめ</b> 事前学修: 『日本語と英語の表現構造比較』これまでの内容を確認する。 事後学修: 『日本語と英語の表現構造比較』まとめの復習をして試験に備える。
15 回	授業内容: <b>試験及び解説</b> 事前学修: 『英語的発想練習問題』及び『和と輪』の試験範囲の内容を覚え試験に備える。 事後学修: 『日本語と英語の表現構造比較』を通して学んだ内容を再確認する。

◆**教科書** 丸沼『英語教育の精神と実践』岡田善明 春風社 1,944 円 (税込) (送料 300 円)  
[当日資料配布] 『英語的発想練習問題』

◆**参考書** 特になし

◆**成績評価基準** 試験を基本に、スクーリングの問題演習等も加味して評価する。

### 注意

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例:「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」  
※授業相談 (連絡先) に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

# 講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

## 〔政治学特殊講義 I・II〕

杉本 竜也

- ◆**授業概要** 政治学の理論的側面の全体像を把握できるように、総合的な講義を行う。具体的には、市民革命を中心とした西洋政治史や自由主義に代表される主要な政治思想・哲学、そして行動論・脱行動論といった現代政治学の方法論に関して講義していく。単純な感情論に基づいて議論される傾向のある政治学のイメージを改め、政治学が理論的な知的営為であることを明らかにしていく。
- ◆**学修到達目標** 現代政治・現代社会を理解する上で必要不可欠な政治理論の基本を習得し、理論的・分析的に政治事象や社会事象を把握する能力を習得することができる。同時に、人間の尊厳の尊重や公共性への配慮、弱者に対する共感共苦、そして適切な批判精神といった現代社会に生きる市民にとって必要不可欠な資質も身につけることも可能である。
- ◆**授業方法** 基本的に、PowerPoint のプレゼンテーションを利用した講義形式で行う。講義の内容に関係した建設的な発言や議論は歓迎する。ただし、受講者数によって、授業方法を変更する可能性がある。
- ◆**授業計画〔各 90 分〕**

1 回	授業内容 事前学修 事後学修	ガイダンス 初めに、講義の流れや評価方法等について説明する。後半は、政治理論を学ぶ意味について講義する。 このシラバスの内容を確認して、期中の講義内容の概要を把握しておく。 政治学を学ぶ意味について考える。
2 回	授業内容 事前学修 事後学修	政治とは何か 「自由」をキーワードとして、政治というものの本質について考える。 特に必要はない。 参考書等も利用して、多様な意味を持つ「自由」について考える。
3 回	授業内容 事前学修 事後学修	西洋における政治の歴史① 近代市民革命について 絶対王政について説明した上で、英仏の市民革命について詳説し、その政治史的意義を考える。 歴史書を利用して、絶対王政から市民革命にかけての西洋史を確認する。 市民革命の発生原因や後世への影響について考える。
4 回	授業内容 事前学修 事後学修	西洋における政治の歴史② 市民社会の成立とその特質 市民革命後に成立した市民社会の特質と意義、そしてその限界について講義する。 参考書等も利用して、前回講義の内容を再確認する。 市民革命やその後の市民社会で前提とされた「市民」の意味を考える。
5 回	授業内容 事前学修 事後学修	西洋における政治の歴史③ 市民社会の変容と大衆社会の形成 産業化・都市化の急速な進展が市民社会に与えた影響やそれに伴う国家の変容について講義する。また、ウェーバーの官僚制論も説明する。 参考書等も利用して、前回講義の内容を再確認する。 市民社会と大衆社会の差異について考える。
6 回	授業内容 事前学修 事後学修	政治学の基本原理① デモクラシー 古代から現代に至るデモクラシー概念とその変遷について講義する。 ここまでの政治史に関する講義内容を振り返る。 デモクラシーという語が多様な意味で理解されてきた理由を考える。
7 回	授業内容 事前学修 事後学修	政治学の基本原理② 自由主義 ロックやスミス、ロールズらによる自由主義理論を講義し、「自由」という概念の意味と重要性について講義する。 第 2 回講義の内容も振り返りながら、政治における「自由」について考える。 講義で取り上げた様々な自由主義理論について比較考察する。
8 回	授業内容 事前学修 事後学修	政治学の基本原理③ 保守主義 パークらの政治思想について講義した上で一般に流通している保守主義と比較し、政治理論的に保守主義思想の意義を考える。 参考書等も利用して、前回講義の内容を再確認する。 保守主義が「何を『保守』しようとしたのか」を考える。
9 回	授業内容 事前学修 事後学修	政治学の基本原理④ ナショナリズム ルナンやアンダーソンらによるナショナリズムに関する理論を講義し、近代国家が本質的に抱えている問題点について考える。 参考書等も利用して、前回講義の内容を再確認する。 「民族」や「国家」といった概念について批判的に考えてみる。
10 回	授業内容 事前学修 事後学修	政治学の基本原理⑤ 社会主義 社会問題の解決を目指して主張された社会主義について、マルクスに代表される主要な社会主義理論について講義する。 参考書等も利用して、前回講義の内容を再確認する。 それぞれの社会主義理論について、比較考察する。
11 回	授業内容 事前学修 事後学修	政治学の基本原理⑥ 全体主義 全体主義の理論的特徴と共に、それが生まれた社会・時代背景について講義する。 第 5 回講義を振り返り、大衆社会の特徴と問題点について確認しておく。 大衆社会の成立と全体主義の登場の関係性・関連性を考える。
12 回	授業内容 事前学修 事後学修	現代政治学の理論① 政治の科学 ベントレーやメリアム、イーストンらによって推進された現代政治学、特に政治学の科学化について講義する。 第 6 回から第 11 回までの講義内容を復習しておく。 イーストンの政治システム論を中心に、講義内容を再確認する。
13 回	授業内容 事前学修 事後学修	現代政治学の理論② 権力と支配 権力とエリートに関する諸理論に関して講義を行う。 参考書等も利用して、前回講義の内容を再確認する。 権力とエリートの関係について、現代政治の問題点と絡めて考える。
14 回	授業内容 事前学修 事後学修	現代政治学の理論③ 権力とリーダーシップ 大衆社会の問題点と影響について説明した上で、ライト・ミルズやダールの政治理論について講義する。 参考書等も利用して、前回講義の内容を再確認する。 第 12 回から第 14 回までの講義内容を復習しておく。
15 回	授業内容 事前学修 事後学修	講義総括および試験 期全体の講義内容を総復習しておく。 これまでの講義内容を振り返り、政治学を学ぶ意義について考える。

- ◆**教科書** なし
- ◆**参考書**
  - 丸沼 『現代政治へのアプローチ 増補版』 藤原孝他 北樹出版 1998 年 2,808 円 (税込) (送料 300 円)
  - 丸沼 『政治学 補訂版』 久米郁男他 有斐閣 2011 年 3,672 円 (税込) (送料 350 円)
  - 丸沼 『政治学講義 第 2 版』 佐々木毅 東京大学出版会 2012 年 3,024 円 (税込) (送料 350 円)
- ◆**成績評価基準** テスト (100%) 試験答案から講義内容の理解度、学習・研究に対する積極性、文章表現力、考察・分析力、論理的思考力の 5 項目を総合的に評価して、成績評価を行う。

**注意** E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」  
※ 授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

# 講座内容 (シラバス)

※ 2019年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

## 〔国文学演習 I ～VI〕

近藤 健史

◆**授業概要** 前半は、演習の基礎、『万葉集』の概要、宴席歌が作者と享受者が同じ場や時間を共有している声の世界にあることなどを講義する。後半は、学生各自による研究成果の口頭発表・全体討論という演習形式である。

◆**学修到達目標** 『万葉集』における宴席歌が、奈良時代の歌文化を育んだ基盤の一つであることを学修し、演習という学修形式によって調査・研究・発表する力を身につける。そして卒業論文の作成ができるようにすることを目標とする。

◆**授業方法** 前半の講義と後半の演習形式で行う。受講生は各自でテーマを設定し、調査・研究した結果を口頭発表する。発表については、全体討論をして理解を深める。

### ◆授業計画〔各 90 分〕

1 回	授業内容：授業の進め方、演習の基礎について講義する。 事前学修：大学生のための学修指図書などで演習について調べておくこと。 事後学修：事前学修と授業内容について確認して、理解を深めること。
2 回	授業内容：『万葉集』の概要（編纂・成立、各巻の特徴など）について講義する。 事前学修：『万葉集』の入門書などで、成立や内容を調べておくこと。 事後学修：事前学修と授業内容について確認して、理解を深めること。
3 回	授業内容：『万葉集』における「宴」と「宴席歌」の在り方について講義する。 事前学修：『万葉集』を読み、「宴席歌」について調べておくこと。 事後学修：「宴席歌」を巻別、歌人別、時代別に分類をして把握しておくこと。
4 回	授業内容：日本における宴文化と古代文学における宴と歌について講義する。 事前学修：身近にある日本における宴文化について調べておくこと。 事後学修：『古事記』、『日本書紀』の「宴」と「歌」の関係について確認しておくこと。
5 回	授業内容：研究テーマの選定、調査や資料収集の方法について講義する。 事前学修：テーマの案と構想を練っておくこと。 事後学修：テーマに関する資料収集など、準備に取り掛かること。
6 回	授業内容：テーマについての資料や調査結果を整理する。 事前学修：テーマに関する資料や先行研究論文を収集し、読んでおくこと。 事後学修：発表準備の再確認をして、中間報告会に備えること。
7 回	授業内容：テーマについての中間報告会（進捗状況の報告）と意見交換をする。 事前学修：中間発表会の資料を作成し、準備しておくこと。 事後学修：中間発表会の指摘を踏まえて、発表の構成など再検討すること。
8 回	授業内容：発表における方法や資料作成の準備・検討をする。 事前学修：発表の構成、レジメの案などを作っておくこと。 事後学修：各自、発表の準備に取り掛かること。
9 回	授業内容：口頭発表と全体討論をする。 事前学修：発表者のテーマについて調べ、全体討論に備えておくこと。 事後学修：発表内容や全体討論を検討して、理解を深めておくこと。
10 回	授業内容：口頭発表と全体討論をする。 事前学修：発表者のテーマについて調べ、全体討論に備えておくこと。 事後学修：発表内容や全体討論を検討して、理解を深めておくこと。
11 回	授業内容：口頭発表と全体討論をする。 事前学修：発表者のテーマについて調べ、全体討論に備えておくこと。 事後学修：発表内容や全体討論を検討して、理解を深めておくこと。
12 回	授業内容：口頭発表と全体討論をする。 事前学修：発表者のテーマについて調べ、全体討論に備えておくこと。 事後学修：発表内容や全体討論を検討して、理解を深めておくこと。
13 回	授業内容：口頭発表と全体討論をする。 事前学修：発表者のテーマについて調べ、全体討論に備えておくこと。 事後学修：発表内容や全体討論を検討して、理解を深めておくこと。
14 回	授業内容：口頭発表と全体討論をする。 事前学修：発表者のテーマについて調べ、全体討論に備えておくこと。 事後学修：発表内容や全体討論を検討して、理解を深めておくこと。
15 回	授業内容：まとめ、レポート提出をする。 事前学修：レポートの作成、確認をすること。 事後学修：まとめとしての講義により、授業内容を再確認しておくこと。

◆**教科書** 丸沼『訳文 万葉集』森淳司 笠間書院 1,944 円 (税込) (送料 500 円)

◆**参考書** 丸沼『万葉集の読み方 天平の宴席歌』梶川信行 翰林書房 1,944 円 (税込) (送料 300 円)

丸沼『万葉びとの宴』上野誠 講談社現代新書 864 円 (税込) (送料 215 円)

丸沼『万葉歌の環境と発想』近藤健史 翰林書房 12,960 円 (税込)

◆**成績評価基準** 発表・全体討論 60%、レポート 40%

### 注意

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」  
※ 授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

# 講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

## 〔英語文学概説 / 英米文学概説〕

鈴木 ふさ子

- ◆**授業概要** イギリスにおいて近代小説の祖とされる Samuel Richardson から Horace Walpole, Ann Radcliffe らゴシック小説の作家を経て Jane Austen などイギリス小説を代表する作家、現代的な問題をらんだ作品を書いた Mary Shelley にいたるまでを概観する。18 世紀、19 世紀前半の代表的な作家の生涯や作品の概要や作品のハイライトを抜粋して読み、小説の黄金期であるヴィクトリア時代を迎えるまでの小説の発展の過程を辿る。
- ◆**学修到達目標** イギリス小説の黎明期から近代小説の成立、ゴシック小説を経て写実主義や歴史小説などに発展していった過程について知り、説明できるようになる事を目的とする。代表的作家の生涯と作品について知識を身につけ、説明できるようになる事を目的とする。作品の内容について考察し、コメントを書くことで簡単な文学の批評ができるようになる事を目的とする。
- ◆**授業方法** テキストとプリント、映像を用いて 18 世紀、19 世紀前半の代表的な作家の生涯と作品の概要を紹介する。代表作の原文のハイライトを抜粋して読む。重要な作品は映像で作品を鑑賞する。作品についてコメントを書いてもらって提出してもらうこともある。原文を読むのに必要なので英語の辞書は必ず持参するようにすること。
- ◆**履修条件** ● 2018 年度昼間スクーリング（前期）の「英語文学概説 / 英米文学概説」の単位取得者は受講不可  
● 前期のみの受講、後期のみの受講も可能だが、学修効果を上げるため、前期・後期の連続受講が望ましい。
- ◆**授業計画〔各 90 分〕**

1 回	授業内容	ガイダンス、オリエンテーション、授業の進め方、講義内容に記載されている成績評価方法などの確認、イギリス文学のどの作品に興味があるのか。
	事前学修	自分が興味のあるイギリス文学を考えてくる。
	事後学修	前期に学ぶ予定のイギリス文学はどのような作品なのか調べる。
2 回	授業内容	近代小説が誕生するまでのイギリス文学を概観する。
	事前学修	18 世紀以前のイギリス文学にはどのような作家がいるのか調べる。
	事後学修	近代小説が生まれる以前のイギリス文学について調べる。
3 回	授業内容	近代小説（1）イギリスの近代小説について解説。Samuel Richardson の <i>Pamela</i> について解説。テキストと英文を読む。
	事前学修	テキストの 56, 57 頁を読み、Richardson, <i>Pamela</i> について調べておく。
	事後学修	授業時にとったノートを復習し、 <i>Pamela</i> の原文を読んでみる。
4 回	授業内容	近代小説（2）Henry Fielding の <i>Shamela, The History of Tom Jones, a Foundling</i> について解説。テキストと英文を読む。
	事前学修	テキストの 58, 59 頁を読み、Henry Fielding の <i>The History of Tom Jones, a Foundling</i> について調べる。
	事後学修	授業時にとったノートを復習し、 <i>Shamela</i> と <i>The History of Tom Jones, a Foundling</i> の原文を読んでみる。
5 回	授業内容	近代小説（3）Laurence Sterne の <i>The Life and Opinions of Tristram Shandy, Gentleman</i> について解説。テキストと英文を読む。
	事前学修	テキストの 60, 61 頁を読み、Laurence Sterne の <i>The Life and Opinions of Tristram Shandy, Gentleman</i> について調べる。
	事後学修	授業時にとったノートを復習し、Laurence Sterne の <i>The Life and Opinions of Tristram Shandy, Gentleman</i> の原文を読んでみる。
6 回	授業内容	ゴシック小説（1）ゴシック小説とは何かをピクチャレスクの問題と絡めて解説。Horace Walpole の <i>The Castle of Otranto</i> について解説。テキストと英文を読む。
	事前学修	テキストの 62, 63 頁を読み、Horace Walpole の <i>The Castle of Otranto</i> について調べる。
	事後学修	授業時にとったノートを復習し、Horace Walpole の <i>The Castle of Otranto</i> の原文を読んでみる。
7 回	授業内容	ゴシック小説（2）大流行したゴシック小説 Ann Radcliffe の <i>The Mysteries of Udolpho, The Italian</i> について解説。英文を読む。
	事前学修	ゴシック小説と Anne Radcliffe について調べる。
	事後学修	授業時にとったノートを復習し、Ann Radcliffe の <i>The Mysteries of Udolpho, The Italian</i> の原文を読んでみる。
8 回	授業内容	ゴシック小説（3）その他の様々なゴシック小説を概観する。William Beckford の <i>Vathek</i> と Matthew Gregory Lewis の <i>The Monk</i> と Charles Robert Maturin の <i>Melmoth, The Wanderer</i> について解説。
	事前学修	テキストの 64, 65, 70, 71, 88, 89 頁を読み、William Beckford の <i>Vathek</i> と Matthew Gregory Lewis の <i>The Monk</i> と Charles Robert Maturin の <i>Melmoth, The Wanderer</i> について調べる。
	事後学修	授業時にとったノートを復習し、ゴシック小説にはどのようなものがあるのかまとめる。
9 回	授業内容	ゴシック小説からの発展（1）歴史小説（Sir Walter Scott）と写実主義の小説（Jane Austen）の解説。Austen の <i>Northanger Abbey</i> を映像で鑑賞する。
	事前学修	テキストの 84, 85 頁を読み、Walter Scott と Jane Austen について調べる。
	事後学修	授業時にとったノートを復習し、ゴシック小説がどのように発展していったかをまとめる。
10 回	授業内容	ゴシック小説からの発展（2）Jane Austen の生涯と作品を概観する。
	事前学修	Jane Austen の作品の内容や特徴を調べる。
	事後学修	授業時にとったノートを復習し、Jane Austen の生涯や作品の内容などをまとめる。
11 回	授業内容	ゴシック小説からの発展（3）Jane Austen の <i>Pride and Prejudice</i> の英文を読む。
	事前学修	テキストの 78, 79 頁を読み、Austen の <i>Pride and Prejudice</i> について調べる。
	事後学修	授業時にとったノートを復習し、Austen の <i>Pride and Prejudice</i> の原文を読んでみる。
12 回	授業内容	ゴシック小説からの発展（4）Jane Austen の <i>Pride and Prejudice</i> の映像を鑑賞する。
	事前学修	Austen の <i>Pride and Prejudice</i> の原文を読む。
	事後学修	Austen の <i>Pride and Prejudice</i> の原文と映像の相違について考える。
13 回	授業内容	ゴシック小説からの発展（5）現代的なテーマを孕むゴシック小説 Mary Shelley の <i>Frankenstein</i> の解説と英文を読む。
	事前学修	テキストの 82, 83 頁を読み、Mary Shelley の <i>Frankenstein</i> について調べる。
	事後学修	授業時にとったノートを復習し、Mary Shelley の <i>Frankenstein</i> の原文を読む。
14 回	授業内容	ゴシック小説からの発展（6）前期の総まとめ Mary Shelley の <i>Frankenstein</i> から生まれた映像を紹介する。前期に学んだことの総復習。試験について。
	事前学修	これまで学んだことを復習しておく。
	事後学修	Mary Shelley の <i>Frankenstein</i> と現代のつながりを考える。前期の総復習をする。
15 回	授業内容	試験とその解説を行う。
	事前学修	前期に学んだこと、読んだ英文を復習する。
	事後学修	試験でできなかったところを確認し、できなかった部分を復習する。

- ◆**教科書** 丸沼『たのしく読めるイギリス文学』ミネルヴァ書房 3,024 円（税込）（送料 350 円）
- ◆**参考書** 丸沼『英語文学事典』ミネルヴァ書房 4,860 円（税込）（送料 500 円）  
『*The Oxford Literary Terms* (Oxford Quick Reference)』  
〈上記の本は、丸沼書店では取り扱っていませんので、Amazon 等で購入してください。〉  
※参考文庫は自習用であり、授業では使用しません。
- ◆**成績評価基準** コメントシート（30%）、試験（70%）  
授業には毎回出席することを前提として評価を行います。

**注意** E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」  
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

# 講座内容 (シラバス)

※ 2019年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

## 【経済学概論】

前野 高章

- ◆**授業概要** 本講義は市場を構成する家計や企業といった各経済主体の選択行動の基礎理論と、そこから導かれる市場メカニズムについて説明し、完全競争市場における経済主体の行動、市場メカニズム、資源配分の効率性に関する問題の学修を主とする。
- ◆**学修到達目標** この講義は体系的な学問としての経済学を初めて学ぶことを前提に、入門編として位置付けして、ミクロ経済学の理論と方法、消費者行動、生産者行動ならびに市場の効率性の4つの部分から構築されている。この講義では、ミクロ経済学における必要な「基礎知識」、「経済学的な考え方」、「分析手法」を習得することが目標となる。
- ◆**授業方法** 本講義は教材の内容を中心に原則としてパワーポイントと板書で授業を進める。必要に応じて講義関連資料および時事経済関連の新聞・雑誌記事等を資料として配布し解説する。初歩的な説明を重視し、経済学とはどのような学問であるのかという点を中心に授業を進める。
- ◆**授業計画 (各 90 分)**

1回	授業内容: 講義の進め方, オリエンテーション, 経済学とは何か 事前学修: 経済学とはどのような学問であるのかを考えておく。 事後学修: 講義の内容を整理し, 配布資料を読んで, 重要なポイントを整理する。
2回	授業内容: 経済の循環構造 事前学修: 配布資料, 教科書・参考書などから経済主体とは何かを確認する。 事後学修: 講義内容をもとに, 経済主体の関係性や市場の特徴を整理する。
3回	授業内容: 経済体制と市場機構の仕組み 事前学修: 配布資料, 教科書・参考書などから市場機構の仕組みを確認する。 事後学修: 講義内容をもとに, 市場経済の特徴を整理する。
4回	授業内容: 経済学の基本問題, 経済学の課題, 経済学の歴史 事前学修: 配布資料, 教科書・参考書などから前回までの重要なポイントを整理しておく。 事後学修: 講義内容をもとに, 経済学の歴史的変遷を整理する。
5回	授業内容: ミクロ経済学の理論と方法 事前学修: 配布資料, 教科書・参考書などから経済学でのミクロ経済学の位置づけを確認する。 事後学修: 講義内容をもとに, これまでの講義内容を整理する。
6回	授業内容: 需要と供給の理論-需要曲線と供給曲線- 事前学修: 配布資料, 教科書・参考書などから需要と供給の基本的な関係を確認する。 事後学修: 講義内容をもとに, 需要曲線と供給曲線の特徴を整理する。
7回	授業内容: 需要と供給の理論-需要・供給曲線のシフト- 事前学修: 配布資料, 教科書・参考書などから需要と供給の決定要因を確認する。 事後学修: 講義内容をもとに, 需要・供給曲線のシフトについて整理する。
8回	授業内容: 消費者行動-需要曲線の構造- 事前学修: 配布資料, 教科書・参考書などから価格と需要量の関係を確認する。 事後学修: 講義内容をもとに, 需要の価格弾力性, 消費者余剰について整理する。
9回	授業内容: 消費者行動-消費者行動と需要曲線- 事前学修: 配布資料, 教科書・参考書などから効用最大化について確認する。 事後学修: 講義内容をもとに, 消費者行動について整理する。
10回	授業内容: 生産者行動-費用の構造と供給行動- 事前学修: 配布資料, 教科書・参考書などから価格と供給量の関係を確認する。 事後学修: 講義内容をもとに, 供給の価格弾力性, 費用の諸概念について整理する。
11回	授業内容: 生産者行動-利潤最大化行動- 事前学修: 配布資料, 教科書・参考書などから利潤最大化, 生産者余剰について確認する。 事後学修: 講義内容をもとに, 生産者行動について整理する。
12回	授業内容: 市場取引と資源配分-競争市場と価格メカニズム- 事前学修: 配布資料, 教科書・参考書などから市場均衡と価格メカニズムについて確認する。 事後学修: 講義内容をもとに, 余剰分析, 分業の利益について整理する。
13回	授業内容: 市場取引と資源配分-企業の参入・退出行動と資源配分- 事前学修: 配布資料, 教科書・参考書などから参入・退出による市場の調整について確認する。 事後学修: 講義内容をもとに, 競争市場均衡について整理する。
14回	授業内容: 理解度の確認 事前学修: これまで配布した資料を熟読し, 要点をノートにまとめる。 事後学修: 講義内容の要点項目を再確認し, 講義内容をノートに整理する。
15回	授業内容: 試験および総まとめ 事前学修: 全配布資料から講義の要点をまとめる。 事後学修: 講義および試験をふまえ, ミクロ経済学の基礎理論について再確認する。

- ◆**教科書** [当日資料配布] 各回で必要な講義資料を配布する。  
[瓦沼]『ミクロ経済学 (第3版)』伊藤元重 日本評論社 2018年 3,240円 (税込) (送料350円)
- ◆**参考書** [瓦沼]『Next 教科書シリーズ 経済学入門 第2版』山口正春・楠谷清編 弘文堂 2019年 2,160円 (税込) (送料300円)  
[瓦沼]『ベーシック経済学』古沢泰治・塩路悦郎 有斐閣 2012年 2,808円 (税込) (送料300円)
- ◆**成績評価基準** 試験 80%, 平常点 20%。毎回出席することを前提として評価し、基礎理論を身に付けているかを判定する。

**注意** E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例:「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」  
※授業相談(連絡先)に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

# 講座内容 (シラバス)

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔英語基礎〕 オープン受講：不可

中村 則子

- ◆**授業概要** この科目では忘れてきている英語の基礎文法を詳しく丁寧に学び直すことで英文の読解力を身につけていく。英語の基礎力を養うためには、演習問題を繰り返し解くことで、英文の構造を理解することが肝要である。当該科目では、英語文法の基礎的な問題を根気強く解答していく。
- ◆**学修到達目標** 英語の基礎的な文法を理解できるようにする。テキストの演習問題の中にある長文問題程度の英文であれば、読めるようにする。簡単な短文の英語であれば、ジャーナル等が書けるくらいの英語力を身につける。
- ◆**授業方法** テキストに沿って、解説を読み、演習問題を行うことで、英語の文法の基礎を習得する。まず CD で音声を確認し、英文を音読してから、その内容や演習問題の解答を発表してもらう。進み具合により、シラバス通りにならない場合もあることをおことわりしておく。
- ◆**履修条件** 2018 年度昼間スクーリング (前期)「英語基礎」との積み重ね不可。
- ◆**授業計画 [各 90 分]**

1 回	授業内容: ガイダンス (授業の進め方や参考書等を説明する) 事前学修: シラバスを読み、できる限り初回からテキストを入手して内容を見ておく。 事後学修: シラバスで指示されたとおり、次回の授業に向けて準備する。
2 回	授業内容: Unit 1 be 動詞 事前学修: 上記の Unit をよく読み内容を理解し、発表できるようにしておく。 事後学修: 授業内容をノートに整理し、英文をみて内容が言えるようにする。
3 回	授業内容: Unit 1 be 動詞 事前学修: 上記の Unit をよく読み内容を理解し、発表できるようにしておく。 事後学修: 授業内容をノートに整理し、英文をみて内容が言えるようにする。
4 回	授業内容: Unit 2 一般動詞 (現在) 事前学修: 上記の Unit をよく読み内容を理解し、発表できるようにしておく。 事後学修: 授業内容をノートに整理し、英文をみて内容が言えるようにする。
5 回	授業内容: Unit 2 一般動詞 (現在) 事前学修: 上記の Unit をよく読み内容を理解し、発表できるようにしておく。 事後学修: 授業内容をノートに整理し、英文をみて内容が言えるようにする。
6 回	授業内容: Unit 3 一般動詞 (過去) 事前学修: 上記の Unit をよく読み内容を理解し、発表できるようにしておく。 事後学修: 授業内容をノートに整理し、英文をみて内容が言えるようにする。
7 回	授業内容: Unit 3 一般動詞 (過去) 事前学修: 上記の Unit をよく読み内容を理解し、発表できるようにしておく。 事後学修: 授業内容をノートに整理し、英文をみて内容が言えるようにする。
8 回	授業内容: Unit 4 進行形 事前学修: 上記の Unit をよく読み内容を理解し、発表できるようにしておく。 事後学修: 授業内容をノートに整理し、英文をみて内容が言えるようにする。
9 回	授業内容: Unit 4 進行形 事前学修: 上記の Unit をよく読み内容を理解し、発表できるようにしておく。 事後学修: 授業内容をノートに整理し、英文をみて内容が言えるようにする。
10 回	授業内容: Unit 5 未来形 事前学修: 上記の Unit をよく読み内容を理解し、発表できるようにしておく。 事後学修: 授業内容をノートに整理し、英文をみて内容が言えるようにする。
11 回	授業内容: Unit 5 未来形 事前学修: 上記の Unit をよく読み内容を理解し、発表できるようにしておく。 事後学修: 授業内容をノートに整理し、英文をみて内容が言えるようにする。
12 回	授業内容: Unit 6 助動詞 事前学修: 上記の Unit をよく読み内容を理解し、発表できるようにしておく。 事後学修: 授業内容をノートに整理し、英文をみて内容が言えるようにする。
13 回	授業内容: Unit 6 助動詞 事前学修: 上記の Unit をよく読み内容を理解し、発表できるようにしておく。 事後学修: 授業内容をノートに整理し、英文をみて内容が言えるようにする。
14 回	授業内容: 復習、試験前準備 事前学修: 今まで学習した部分のノートを整理し、質問事項等があればまとめておく。 事後学修: 学習した部分のノートを確認暗記する。
15 回	授業内容: 試験と解説 事前学修: 試験範囲の演習問題等を確認し、解答できるようにする。 事後学修: 試験において記述した内容がどの程度適切であったかどうか、確認する。

- ◆**教科書** 丸沼『English Primer (Revised Edition)』南雲堂 2,052 円 (税込) (送料 300 円)
- ◆**参考書** 参考書、辞書はガイダンスにて指示
- ◆**成績評価基準** 発表を含めた授業への取り組み (特に厳しく対処する) 試験による総合評価。

## 注意

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例:「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」  
※授業相談 (連絡先) に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

# 講座内容 (シラバス)

※ 2019年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

## 【英語学演習 I ～ III】

真野 一雄

- ◆**授業概要** 時制と相について概観し、現在時制、過去時制の意味機能について、時と時制が言語表現とどのように関わっているか、広い視点で理解できることを心掛ける。
- ◆**学修到達目標** 現在時制、過去時制の意味機能について考察することにより、基本的知識から専門的知識まで幅広く修得し、説明できるようになる。
- ◆**授業方法** 現在時制、過去時制の意味機能について、テキストを理解し、要点を整理し、問題点を解決していく。
- ◆**授業計画 (各 90 分)**

1 回	授業内容：第 1 章「時と時制と相」 1.1 時と相 事前学修：テキスト p. 2-p. 4 を読み、問題点を整理しておく 事後学修：学修内容をまとめ、理解を深めておく。
2 回	授業内容：1.2 時の 3 区分と時制 事前学修：テキスト p. 4-p. 8 を読み、問題点を整理しておく 事後学修：学修内容をまとめ、理解を深めておく。
3 回	授業内容：1.3 時制と相のパラダイム 事前学修：テキスト p. 8-p. 11 を読み、問題点を整理しておく 事後学修：学修内容をまとめ、理解を深めておく。
4 回	授業内容：第 2 章「単純現在時制の意味機能」 2.1 断定性の緩和と矛盾文 事前学修：テキスト p. 12-p. 14 を読み、問題点を整理しておく 事後学修：学修内容をまとめ、理解を深めておく。
5 回	授業内容：2.2 モーダル文と現在時制文 (非モーダル文) 事前学修：テキスト p. 14-p. 18 を読み、問題点を整理しておく 事後学修：学修内容をまとめ、理解を深めておく。
6 回	授業内容：2.3 定言的断定文とモーダル文の確信度 事前学修：テキスト p. 19-p. 23 を読み、問題点を整理しておく 事後学修：学修内容をまとめ、理解を深めておく。
7 回	授業内容：2.4 確信度の立場から見た単純現在時制のメカニズム 事前学修：テキスト p. 24-p. 56 を読み、問題点を整理しておく 事後学修：学修内容をまとめ、理解を深めておく。
8 回	授業内容：2.5 名詞節における現在時制文とモーダル文 事前学修：テキスト p. 56-p. 60 を読み、問題点を整理しておく 事後学修：学修内容をまとめ、理解を深めておく。
9 回	授業内容：2.6 条件節における現在時制 (非モーダル文) と認知的 will 事前学修：テキスト p. 60-p. 84 を読み、問題点を整理しておく 事後学修：学修内容をまとめ、理解を深めておく。
10 回	授業内容：2.7 条件文帰結節における will と be going to の意味機能 事前学修：テキスト p. 84-p. 100 を読み、問題点を整理しておく 事後学修：学修内容をまとめ、理解を深めておく。
11 回	授業内容：第 3 章「過去時制の意味機能」 3.1 過去時制の中核的意味 事前学修：テキスト p. 101-p. 107 を読み、問題点を整理しておく 事後学修：学修内容をまとめ、理解を深めておく。
12 回	授業内容：3.2 過去時制の基本用法 事前学修：テキスト p. 107-p. 108 を読み、問題点を整理しておく 事後学修：学修内容をまとめ、理解を深めておく。
13 回	授業内容：3.3 推意と推意のキャンセル 事前学修：テキスト p. 108-p. 122 を読み、問題点を整理しておく 事後学修：学修内容をまとめ、理解を深めておく。
14 回	授業内容：3.4 話し手の態度を表す過去時制 (丁寧用法) 3.5 過去時制による事態の生起順序 事前学修：テキスト p. 122-p. 126 を読み、問題点を整理しておく 事後学修：学修内容をまとめ、理解を深めておく。
15 回	授業内容：試験とその解説 事前学修：1 章～3 章の総復習をしておく 事後学修：1 章～3 章のまとめをし、理解を完璧にする

- ◆**教科書** 丸沼『ことばを彩る 1 テンス・アスペクト』吉良文孝 研究社 3,024 円 (税込) (送料 300 円)
- ◆**参考書** 丸沼『テンスとアスペクトの語法』(開拓社叢書) 柏野健次 開拓社 3,132 円 (税込) (送料 300 円)  
丸沼『時制と相』(ネイティブ英文法) 田中江扶・本田謙介・畠山雄二 朝倉書店 3,024 円 (税込) (送料 300 円)
- ◆**成績評価基準** 試験を中心に受講状況その他を加味して評価の予定。6 回以上の欠席者は受験資格を失います。(試験は途中退出なしです)

**注意** E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」  
※ 授業相談 (連絡先) に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

## 〔東洋史特講Ⅱ〕

高綱 博文

◆**授業概要** 本講義は、孫文の「最後の獅子吼」として有名な「大アジア主義」講演（1924 年 11 月 28 日）についてさまざまな側面から歴史的に検証を試みる。従来、同講演の意図は「反日本帝国主義」とするものと「日中提携・日中親善」とするものが主要な解釈であったが、本講義では孫文の対外戦略論や帝国主義認識を再検討することにより、第三の解釈がありうることを論証する。

◆**学修到達目標** 本講義は既存の学説を疑い、新たな仮説を提示してそれを史料に基づき明らかにするプロセスを学んでいただくことを学修目標としている。

◆**授業方法** テキスト（『東洋史特講Ⅱ』通信教育教材）を使用して講義を行う。

### ◆授業計画〔各 90 分〕

1 回	授業内容：孫文の「大アジア主義」研究についての課題 事前学修：テキストの序章を学修しておくこと。 事後学修：授業内容のポイントを再確認しておくこと。
2 回	授業内容：孫文とその時代（映像視聴） 事前学修：孫文に関して自分で調べておくこと。 事後学修：視聴した映像の感想をまとめる。
3 回	授業内容：孫文の対外戦略論を考える（Ⅰ） 事前学修：テキストの第 1 章を学修しておくこと。 事後学修：授業内容のポイントを再確認しておくこと。
4 回	授業内容：孫文の対外戦略論を考える（Ⅱ） 事前学修：テキストの第 1 章を学修しておくこと。 事後学修：授業内容のポイントを再確認しておくこと。
5 回	授業内容：孫文の帝国主義観を考える（Ⅰ） 事前学修：テキストの第 2 章を学修しておくこと。 事後学修：授業内容のポイントを再確認しておくこと。
6 回	授業内容：孫文の帝国主義観を考える（Ⅱ） 事前学修：テキストの第 2 章を学修しておくこと。 事後学修：授業内容のポイントを再確認しておくこと。
7 回	授業内容：孫文の「大アジア主義」講演を読む 事前学修：テキストの史料を学修しておくこと。 事後学修：授業内容のポイントを再確認しておくこと。
8 回	授業内容：ワシントン体制と孫文の「大アジア主義」（Ⅰ） 事前学修：テキストの第 4 章を学修しておくこと。 事後学修：授業内容のポイントを再確認しておくこと。
9 回	授業内容：ワシントン体制と孫文の「大アジア主義」（Ⅱ） 事前学修：テキストの第 4 章を学修しておくこと。 事後学修：授業内容のポイントを再確認しておくこと。
10 回	授業内容：孫文の「大アジア主義」講演に対する日本の反応 事前学修：テキストの第 5 章を学修しておくこと。 事後学修：授業内容のポイントを再確認しておくこと。
11 回	授業内容：孫文の「大アジア主義」に対する中国側の解釈 事前学修：テキストの第 5 章を学修しておくこと。 事後学修：授業内容のポイントを再確認しておくこと。
12 回	授業内容：孫文の「大アジア主義」に対する日本側の解釈 事前学修：テキストの第 5 章を学修しておくこと。 事後学修：授業内容のポイントを再確認しておくこと。
13 回	授業内容：中国共産党による孫文「大アジア主義」の解釈 事前学修：テキストの第 6 章を学修しておくこと。 事後学修：授業内容のポイントを再確認しておくこと。
14 回	授業内容：戦後日本における孫文「大アジア主義」研究について 事前学修：テキストの第 6 章を学修しておくこと。 事後学修：授業内容のポイントを再確認しておくこと。
15 回	授業内容：まとめ、試験 事前学修：孫文の「大アジア主義」へのさまざまな解釈を整理しておくこと。 事後学修：孫文の「大アジア主義」が日中関係の原点と成りうるかを再確認すること。

◆**教科書** 教材『東洋史特講Ⅱ Q31100』通信教育教材（教材コード 000508）2,200 円（送料込）

◆**参考書** 特になし

◆**成績評価基準** 試験（60%）、レポート（20%）、授業参画度（20%）により総合的に評価します。

**注意** E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」  
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。



# 講座内容（シラバス）

※ 2019年度より授業計画が全15回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

## 〔経済原論B / 経済学原論B〕

前野 高章

◆**授業概要** 本講義では、市場を構成する家計・企業・政府といった各経済主体の選択行動の基礎理論を把握し、そこから導かれる市場メカニズムについて一般均衡分析の考え方を学修し、さらに価格メカニズムが機能しない市場の失敗を導く諸要因について学修する。

◆**学修到達目標** ミクロ経済学において、完全競争市場の下では最も効率的な資源配分が達成されることを学び、「市場の失敗」を生む諸要因を中心に学び、市場機構の限界を認識すると同時に、それをどのように克服していくかについての理解を深める。ミクロ経済学を通じ、経済学の「基礎知識」を身につけ、その中で「経済学的な考え方」と「分析手法」を養い、応用・展開科目を学ぶ土台を築くことを目標とする。

◆**授業方法** 本講義は教材の内容を中心に原則としてパワーポイントと板書で授業を進める。必要に応じて講義関連資料および時事経済関連の新聞・雑誌記事等を資料として配布・解説する。経済学の理論を理解することを目的とし、経済学とはどのような学問であるのかという点を中心に授業を進める。事前事後学修の要点は講義内で説明をする。

### ◆授業計画（各90分）

1回	授業内容：講義の進め方、オリエンテーション、経済学の基本問題 事前学修：経済学とはどのような学問であるのかを考えておく。 事後学修：講義の内容を整理し、配布資料を読んで、重要なポイントを整理する。
2回	授業内容：世界や日本の経済循環と市場 事前学修：配布資料、教科書・参考書などから経済循環と市場の特徴について確認する。 事後学修：講義内容をもとに、重要なポイントを整理する。
3回	授業内容：ミクロ経済学とマクロ経済学の分析視点 事前学修：配布資料、教科書・参考書などから経済学の分析視点を確認する。 事後学修：講義内容をもとに、重要なポイントを整理する。
4回	授業内容：いくつかの重要なコンセプト 事前学修：配布資料、教科書・参考書などから経済学の基本的な概念を確認する。 事後学修：講義内容をもとに、これまでの内容を整理する。
5回	授業内容：消費の理論 事前学修：配布資料、教科書・参考書などから消費者行動の基本事項を確認する。 事後学修：講義内容をもとに、効用最大化について整理する。
6回	授業内容：消費理論の応用と拡張 事前学修：前回の講義内容を復習し、消費者行動の基本理論を確認する。 事後学修：講義内容をもとに、価格や所得の変化と需要の変化の関係を整理する。
7回	授業内容：企業行動と生産関数 事前学修：配布資料、教科書・参考書などから生産者行動の基本事項を確認する。 事後学修：講義内容をもとに、生産関数について整理する。
8回	授業内容：企業行動と費用 事前学修：前回の講義内容を復習し、生産者行動の基本理論を確認する。 事後学修：講義内容をもとに、利潤最大化について整理する。
9回	授業内容：最適生産の決定 事前学修：前回までの講義内容を復習し、消費者行動・生産者行動の基本理論を整理する。 事後学修：講義内容をもとに、重要なポイントを整理する。
10回	授業内容：完全競争市場の均衡と効率性 事前学修：配布資料、教科書・参考書などから市場取引と資源配分のメカニズムを確認する。 事後学修：講義内容をもとに、重要なポイントを整理する。
11回	授業内容：不完全競争市場と独占 事前学修：配布資料、教科書・参考書などから不完全競争市場とは何かを確認する。 事後学修：講義内容をもとに、重要なポイントを整理する。
12回	授業内容：寡占と独占的競争 事前学修：配布資料、教科書・参考書などから独占的競争市場について確認する。 事後学修：講義内容をもとに、重要なポイントを整理する。
13回	授業内容：外部性、不確実性と不完全情報 事前学修：配布資料、教科書・参考書などから市場の失敗について確認する。 事後学修：講義内容をもとに、重要なポイントを整理する。
14回	授業内容：理解度の確認 事前学修：これまで配布した資料を熟読し、要点をノートにまとめる。 事後学修：講義内容の要点項目を再確認し、講義内容をノートに整理する。
15回	授業内容：試験および総まとめ 事前学修：全配布資料から講義の要点をまとめる。 事後学修：講義および試験をふまえ、ミクロ経済学の基礎理論について再確認する。

◆**教科書** **〔当日資料配布〕** 各回で必要な講義資料を配布する。

〔丸沼〕『ミクロ経済学（第3版）』伊藤元重 日本評論社 2018年 3,240円（税込）（送料350円）

◆**参考書** **〔丸沼〕**『入門ミクロ経済学』第2版 井堀利宏 新世社 2004年 3,186円（税込）（送料350円）

〔丸沼〕『ミクロ経済学の力』神取道宏 日本評論社 2014年 3,456円（税込）（送料350円）

◆**成績評価基準** 試験80%、平常点20%。毎回出席することを前提として評価し、基礎理論を身に付けているかを判定する。

### 注意

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」  
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

講座の選定

時間割

開講講座表・シラバス使用教材（火曜日）

開講講座表・シラバス使用教材（水曜日）

開講講座表・シラバス使用教材（木曜日）

開講講座表・シラバス使用教材（金曜日）

受講及び試験

受講手続

申込講座の許可と不許可

受講料等の納入

受講準備

体育実技の受講について

オープン受講

胸部X線検査

各種用紙

付録

# 講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

## 〔現代教職論〕

古賀 徹

- ◆**授業概要** 「理想とする教師像」とはどのようなものか。本授業では、教職の意義、教員の資質、および教員の役割、教員の職務内容等に関する理解を深めることをねらいとしている。特に現代の教育の現実的問題に焦点をあてて考えていくことにより、受講者が教職への意識を高めていくようにしていきたい。
- ◆**学修到達目標** 次の事項について理解を深め、教員としての意識を高めることができる。①教職の意義とは何か。②教員に必要とされる資質・能力とは何か。③学校教育という独特の社会における意義や教員の同僚性について。④教員の職務や身分上の問題について。⑤生徒の成長・発達差の理解。【以上を、歴史的、国際的、および現代の課題という点から作成した教材により考え、理解を深める】
- ◆**授業方法** 講義形式のみならず、ICT 等の機器や教材を活用するとともに、学習者主体のアクティブ・ラーニング形式の学習方法もとり入れる。事前学修として「課題」を課すこともある。事後学修では説明文を中心に人前で話すための文章作成に取り組んでもらう。その説明文をもとに最終回で仮想集団面接のような発信の機会をつくる。
- ◆**授業計画〔各 90 分〕**

1 回	授業内容：教職を履修する意味（学習指導・生活指導）。 事前学修：自身が目指す「教職」についてのイメージを手元に「複数」書き出ししておくこと。 事後学修：「学校の意味」（教科指導・生活指導）について説明文を（短い論述で）まとめる。
2 回	授業内容：教育における「他者理解能力」とは何か。 事前学修：「わかる」（理解する）とはどのようなことか。その説明概念を（複数）考えておく。 事後学修：学校でのコミュニケーションの意味や意義について（短い論述で）まとめる。
3 回	授業内容：教員の一日の流れ。教員の成長を研修の記録から学ぶ。 事前学修：教員と生徒との関係性に関するイメージを手元に「複数」書き出ししておく。 事後学修：生徒の成長に介在する教員の役割の重要性について、説明文を書く。
4 回	授業内容：理想の教師に関するディスカッション。 事前学修：教員に必要な資質と能力について「複数」書き出ししておく。 事後学修：他者の意見交換から学べたこととアクティブ・ラーニングの学習効果についてまとめる。
5 回	授業内容：チーム学校（アクティブ・ラーニング形式の学習方法）。 事前学修：チーム学校に関する文部大臣の文書等（資料）を読み、必要とされる理由を理解する。 事後学修：学校という多様な教員と多様な生徒の集団（社会）での活動可能性について考える。
6 回	授業内容：最近の子ども事情（青少年の問題行動）。 事前学修：近年における児童生徒の問題行動に関する記事を読み、イメージをまとめておく。 事後学修：青少年と「ストレス」の問題について、短い論述をまとめるトレーニングをする。
7 回	授業内容：最近の子ども事情（いじめ問題に注目する）。 事前学修：「いじめ」事件や対応のアクションプラン、法制度について記事を集めて読む。 事後学修：「いじめ」への教員の立ち位置（自身の考え）をスピーチ原稿としてまとめる。
8 回	授業内容：最近の子ども事情（不登校児童への対応と理解の方法）。 事前学修：「不登校」に関する記事等を読み、イメージをまとめておく。 事後学修：「不登校」と「いじめ」問題を比較して、学校内外の社会事情も活かした対応を考案する。
9 回	授業内容：最近の子ども事情に関する総括的ロールプレイ。 事前学修：グループで検討する前提として、事前に告知する内容について調査を行う。 事後学修：青少年の問題行動に対応する教員の立ち位置について、短い文での表現を工夫する。
10 回	授業内容：教師観・教員養成の歴史の変遷（近代以降の教育）。 事前学修：教員養成の歴史に関する文献や概説書を読んでおく。 事後学修：教育発展の歴史について「教員」の視点からまとめる文章を記す。
11 回	授業内容：諸外国の教員養成の仕組み。 事前学修：日本以外の国の「教育（学校）」についてイメージをまとめるメモを用意する。 事後学修：欧米の教育との違いや共通点について短い文で論述できるようにする。
12 回	授業内容：法令・法制度上における教員。 事前学修：各種文献に載っている複数の「法令」類を一読しておく。 事後学修：教育基本法の改正前後の教育改革の流れについてまとめる文章を書く。
13 回	授業内容：現職教員の研修（向上する教員が求められる現代社会）。 事前学修：各種審議会の答申や審議事項を（指定するので）読んでメモを作成する。 事後学修：「教員に求められる資質・能力」の法令分上における変化についてまとめる。
14 回	授業内容：教育実習において求められる教員像（教員社会に求められる教員）。 事前学修：各々の教科ごとの授業イメージをメモとしてまとめておく。 事後学修：教育実習での実践事例をもとに「不安と期待」に関する論述をまとめる。
15 回	授業内容：教育現場で求められる資質・技能とは何か。 事前学修：これまでの課題を見直し、それぞれ 1 分間で話せるレベルでの要約を準備する。 事後学修：学修した内容を自身で整理する。

- ◆**教科書** 毎回、資料を作成して配布する。
- ◆**参考書** **教材** 『現代教職論 T10100』 通信教育教材（教材コード 000541）3,100 円（送料込）  
〈この教材は市販の『現代教職論』羽田積男・関川悦雄編（弘文堂）と同一です。〉
- ◆**成績評価基準** この授業の評価は、授業への参加（グループ学習含む）、提出物・課題、試験成績の総合的評価とする。課題未提出の場合は評価を行わない。

**注意** E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」  
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

## 講座内容 (シラバス)

※ 2019年度より授業計画が全15回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

## 【英語H】☆☆☆ オープン受講：不可

中村 則子

- ◆**授業概要** 英語の初級レベルの学生を対象に英語読解を中心とした授業を行う。  
2020年に開催される東京オリンピックに向けてスポーツへの関心が高まっている。この科目では易しい英文で書かれたスポーツのトピックを読解し、演習問題を解くことで楽しく英語を身につけていく。
- ◆**学修到達目標** 英語の総合学習向けのテキストを使用し、英語の4技能(Reading, Listening, Writing, Speaking)を無理なく学習できるようにする。基本的な文法が抜け落ちていたりと感じている受講者には苦手な部分を自分で補うために、簡単な文法のドリル等を授業と並行して、自宅学習することをお奨めする。授業では、短めの英文を読んでいき、日常生活に不自由しない程度の英語力(例えば、英語の広告文が理解できる、英語で書かれた取説が理解できる、SNSの英文を理解できる、発信できる等)を身につけたい。
- ◆**授業方法** テキストに沿って、英文を読み、演習問題を行うことで、英語の4技能のうち、主にreadingのスキルを習得していく。まずCDで音声を確認し、英文を音読してから、その内容を発表してもらう。進み具合により、シラバス通りにならない場合もあることをおことわりしておく。
- ◆**履修条件** 2018年度昼間スクーリング(前期)「英語」との積み重ね不可。
- ◆**授業計画(各90分)**

1回	授業内容: ガイダンス(授業の進め方や参考書等を説明する) 事前学修: シラバスを読み、できる限り初回からテキストを入手して内容を見ておく。 事後学修: シラバスで指示されたとおり、次回の授業に向けて準備する。
2回	授業内容: Unit 1 The Long Wait 事前学修: 上記のUnitをよく読み内容を理解し、発表できるようにしておく。 事後学修: 授業内容をノートに整理し、英文をみて内容が言えるようにする。
3回	授業内容: Unit 1 The Long Wait 事前学修: 上記のUnitをよく読み内容を理解し、発表できるようにしておく。 事後学修: 授業内容をノートに整理し、英文をみて内容が言えるようにする。
4回	授業内容: Unit 2 Olympic Volunteers 事前学修: 上記のUnitをよく読み内容を理解し、発表できるようにしておく。 事後学修: 授業内容をノートに整理し、英文をみて内容が言えるようにする。
5回	授業内容: Unit 2 Olympic Volunteers 事前学修: 上記のUnitをよく読み内容を理解し、発表できるようにしておく。 事後学修: 授業内容をノートに整理し、英文をみて内容が言えるようにする。
6回	授業内容: Unit 3 Male Sports? Female Sports? 事前学修: 上記のUnitをよく読み内容を理解し、発表できるようにしておく。 事後学修: 授業内容をノートに整理し、英文をみて内容が言えるようにする。
7回	授業内容: Unit 3 Male Sports? Female Sports? 事前学修: 上記のUnitをよく読み内容を理解し、発表できるようにしておく。 事後学修: 授業内容をノートに整理し、英文をみて内容が言えるようにする。
8回	授業内容: Unit 4 Competition 事前学修: 上記のUnitをよく読み内容を理解し、発表できるようにしておく。 事後学修: 授業内容をノートに整理し、英文をみて内容が言えるようにする。
9回	授業内容: Unit 4 Competition 事前学修: 上記のUnitをよく読み内容を理解し、発表できるようにしておく。 事後学修: 授業内容をノートに整理し、英文をみて内容が言えるようにする。
10回	授業内容: Unit 5 A Glamorous? 事前学修: 上記のUnitをよく読み内容を理解し、発表できるようにしておく。 事後学修: 授業内容をノートに整理し、英文をみて内容が言えるようにする。
11回	授業内容: Unit 5 A Glamorous? 事前学修: 上記のUnitをよく読み内容を理解し、発表できるようにしておく。 事後学修: 授業内容をノートに整理し、英文をみて内容が言えるようにする。
12回	授業内容: Unit 6 Energy Drinks 事前学修: 上記のUnitをよく読み内容を理解し、発表できるようにしておく。 事後学修: 授業内容をノートに整理し、英文をみて内容が言えるようにする。
13回	授業内容: Unit 6 Energy Drinks 事前学修: 上記のUnitをよく読み内容を理解し、発表できるようにしておく。 事後学修: 授業内容をノートに整理し、英文をみて内容が言えるようにする。
14回	授業内容: 復習、試験前準備 事前学修: 今まで学習した部分のノートを整理し、質問事項等があればまとめておく。 事後学修: 学習した部分のノートを確認暗記する。
15回	授業内容: 試験と解説 事前学修: 試験範囲の演習問題等を確認し、解答できるようにする。 事後学修: 試験において記述した内容がどの程度適切であったかどうか、確認する。

- ◆**教科書** 丸田『Spotlight on Sports』金星堂 2,052円(税込)(送料300円)
- ◆**参考書** 参考書、辞書はガイダンスにて指示
- ◆**成績評価基準** 発表を含めた授業への取り組み(特に厳しく対処する)試験による総合評価。

## 注意

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例:「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」  
※授業相談(連絡先)に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

# 講座内容 (シラバス)

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

## (TOEIC A)

八木 茂那子

- ◆**授業概要** TOEIC test (L&R) 受験に必要な 4 技能を向上させるための問題演習を中心とした授業を行います。速写、速読 Listening section では写真、応答、会話、Short Talk を Reading section では文法語彙、短文穴埋め、長文穴埋め、読解問題を、新聞、雑誌、広告、お知らせ、email、手紙、チャットなどをテーマに各パート万遍なく問題演習を行います。
- ◆**学修到達目標** 本講受講後 TOEIC Listening & Reading (R&L) Test で 500 点突破できるようになることを目標とします。また近々受験しなくても TOEIC test 形式の問題を解くことにより高等学校レベルの英語が理解運用できるようになる、そのために必要な基本的トレーニング方法を体得し、継続、習慣化することを旨とします。
- ◆**授業方法** 授業は CD、OHC、黒板を使った対面式による一斉授業と Listening section と Reading section の問題演習を中心とします。弱点強化のために self-training, pair work, group activity など色々取り込みながら、楽しくトレーニングをしていく予定です。(受講者の理解度、進度などにより、授業内容を変更することがあります。)
- ◆**履修条件** 前期後期を通して履修することが望ましい。
- ◆**授業計画 [各 90 分]**

1 回	授業内容	ガイダンス (自己紹介、授業の進め方、教科書について、成績評価について)
	事前学修	テキスト対応の CheckLink に P.C. やスマートホン、携帯電話端末からアクセスし、学習者登録と教科書登録を行う。
	事後学修	CheckLink を使って教科書を見ながら問題解答をする
2 回	授業内容	Unit 1 Travel (p.p.12-16) Part 1: 人物の動作: 一人のパターン /Part 2: WH 疑問文① /Part 3: 会話の冒頭に集中する /Part 4: 言い換えに注意する 問題演習、解答と解説 レベルアップのためのトレーニングを行う。
	事前学修	CheckLink を使って教科書を見ながら Unit 1 の練習問題を解く。
	事後学修	Unit 1 の練習問題で間違えた問題をもう一度解く。音読筆写で弱点を強化する
3 回	授業内容	Unit 1 Travel (p.p.17-20) Part 5: 時制 /Part 6: 時制① /Part 7: 「目的」は冒頭からつかむ
	事前学修	CheckLink を使って教科書を見ながら Unit 1 の練習問題を解く。Part 5・6 は 1 問あたり 20 秒、Part 7 は各問 1 分の時間を計って解く。
	事後学修	Unit 1 の練習問題で間違えた問題をもう一度解く。音読筆写で弱点を強化する
4 回	授業内容	Unit 2 Dining Out (p.p.21-25) Part 1: 人物の位置・場所: 1 人のパターン /Part 2: WH 疑問文② /Part 3: レストランで使われる表現をおぼえる /Part 4: 話し手と聴き手を常に意識する。
	事前学修	CheckLink を使って教科書を見ながら Unit 2 の練習問題を解く。
	事後学修	Unit 2 の練習問題で間違えた問題をもう一度解く。音読筆写で弱点を強化する
5 回	授業内容	Unit 2 Dining Out (p.p.26-29) Part 5: 主述の一致 /Part 6: 時制② /Part 7: 文書の目的を問う問題①
	事前学修	CheckLink を使って教科書を見ながら Unit 2 の練習問題を解く。Part 5・6 は 1 問あたり 20 秒、Part 7 は各問 1 分の時間を計って解く。
	事後学修	Unit 2 の練習問題で間違えた問題をもう一度解く。音読筆写で弱点を強化する
6 回	授業内容	Unit 3 Media (p.p.30-34) Part 1: 光景: 受動態が使われるパターン /Part 2: WH 疑問文③ /Part 3: 話題を意識する /Part 4: ニュースは冒頭をしっかり聞く
	事前学修	CheckLink を使って教科書を見ながら Unit 2 の練習問題を解く。
	事後学修	Unit 2 の練習問題で間違えた問題をもう一度解く。音読筆写で弱点を強化する
7 回	授業内容	Unit 3 Media (p.p.35-38) Part 5: 能動態・受動態 /Part 6: 接続表現① /Part 7: NOT 問題①
	事前学修	CheckLink を使って教科書を見ながら Unit 3 の練習問題を解く。Part 5・6 は 1 問あたり 20 秒、Part 7 は各問 1 分の時間を計って解く。
	事後学修	Unit 2 の練習問題で間違えた問題をもう一度解く。音読筆写で弱点を強化する
8 回	授業内容	Mini TOEIC test
	事前学修	Mini TOEIC test の準備、これまでに学修したことの見直しをする
	事後学修	これまでに学修したことの見直しをする
9 回	授業内容	Unit 4 Entertainment (p.p.39-43) Part 1: 人物の動作: 2 人のパターン /Part 2: WH 疑問文④ /Part 3: 場所をイメージする /Part 4: 図表問題は情報を関連づける
	事前学修	CheckLink を使って教科書を見ながら Unit 4 の練習問題を解く。
	事後学修	Unit 4 の練習問題で間違えた問題をもう一度解く。音読筆写で弱点を強化する
10 回	授業内容	Unit 4 Entertainment (p.p.44-47) Part 5: 動名詞、不定詞 /Part 6: 接続表現② /Part 7: 文を挿入する問題
	事前学修	CheckLink を使って教科書を見ながら Unit 3 の練習問題を解く。Part 5・6 は 1 問あたり 20 秒、Part 7 は各問 1 分の時間を計って解く。
	事後学修	Unit 4 の練習問題で間違えた問題をもう一度解く。音読筆写で弱点を強化する
11 回	授業内容	Unit 5 Purchasing (p.p.48-52) Part 1: 人物の位置・場所: 2 人のパターン /Part 2: WH 疑問文⑤ /Part 3: 店内での会話のパターン /Part 4: ポイントを絞って待つ
	事前学修	CheckLink を使って教科書を見ながら Unit 5 の練習問題を解く。
	事後学修	Unit 5 の練習問題で間違えた問題をもう一度解く。音読筆写で弱点を強化する
12 回	授業内容	Unit 5 Purchasing (p.p.53-57) Part 5: 代名詞 /Part 6: 代名詞① /Part 7: 答えを推測する問題
	事前学修	CheckLink を使って教科書を見ながら Unit 5 の練習問題を解く。Part 5・6 は 1 問あたり 20 秒、Part 7 は各問 1 分の時間を計って解く。
	事後学修	Unit 5 の練習問題で間違えた問題をもう一度解く。音読筆写で弱点を強化する
13 回	授業内容	Unit 6 Clients (p.p.58-62) Part 1: 現在進行形が使われるパターン /Part 2: WH 疑問文⑥ /Part 3: 顧客との取引の流れをおさえる /Part 4: 未来に起こることに注意する
	事前学修	CheckLink を使って教科書を見ながら Unit 6 の練習問題を解く。
	事後学修	Unit 5 の練習問題で間違えた問題をもう一度解く。音読筆写で弱点を強化する
14 回	授業内容	Unit 6 Clients (p.p.63-66) Part 5: 品詞① /Part 6: 代名詞② /Part 7: 意図問題①
	事前学修	CheckLink を使って教科書を見ながら Unit 6 の練習問題を解く。Part 5・6 は 1 問あたり 20 秒、Part 7 は各問 1 分の時間を計って解く。
	事後学修	Unit 5 の練習問題で間違えた問題をもう一度解く。音読筆写で弱点を強化する
15 回	授業内容	まとめと期末試験 解答解説
	事前学修	これまでに学修したことの見直しをする
	事後学修	これまでに学修したことの見直しをする

- ◆**教科書** 丸沼『THE HIGH ROAD TO THE TOEIC LISTENING AND READING TEST』(全パート横断型 TOEIC LISTENING AND READING テスト総合対策) 早川幸治他著 金星堂 2,052 円 (税込) (送料 300 円)
- ◆**参考書** 丸沼『公式 TOEIC® Listening& Reading Test 問題集 3』 Educational Testing Service (編) 3,024 円 (税込) (送料 350 円)  
丸沼『公式 TOEIC® Listening& Reading Test 問題集 2』 Educational Testing Service (編) 3,024 円 (税込) (送料 350 円)  
丸沼『公式 TOEIC® Listening& Reading Test 問題集 1』 Educational Testing Service (編) 3,024 円 (税込) (送料 350 円)
- ◆**成績評価基準** (小テスト・Pre-test) 30%+平常点 (発表や課題提出などを含む授業参加度) 20%+ (期末試験) 50%による総合評価 (クラスのレベルを考慮し一定の基準になるよう調整を加えることがあります。)

**注意** E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例:「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」  
※授業相談 (連絡先) に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

# 講座内容 (シラバス)

※ 2019年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

## (憲法)

名雪 健二

◆**授業概要** 前期では、憲法の内容、憲法の種類、日本国憲法の構造といった基礎概念や基本原理、また、天皇をみていくが、人権総論(人権享有の主体、法の下での平等など)と精神的自由、経済的自由、人身の自由、社会権が中心となる。

◆**学習到達目標** 憲法は、国家の在り方を規定した基本法である。したがって、われわれが国家生活をしていく上で憲法を知ることが、極めて重要である。  
憲法を学ぶことで、憲法とは何かを知ることができ、また、憲法判例をみることで、生きた憲法を理解することができ、さらに、憲法の規範論理的構造を理解することで、現代の複雑な憲法現象を統一的に、かつ、原理的にとらえることができる。

◆**授業方法** 憲法の解釈論が中心となる。また、生きた憲法を理解するために、判例を取り上げる。そのための資料として、授業に関連する判例を配布する。

### ◆授業計画 (各 90 分)

1 回	授業内容: <b>ガイダンス、憲法の学び方</b> 事前学修: ガイダンスと憲法の学び方であるので、事前学習の必要はない。 事後学修: 憲法の学び方を理解すること。
2 回	授業内容: <b>憲法の内容、憲法の種類、日本国憲法制定の法理</b> 事前学修: 講義の該当箇所をよく読んでおくこと 事後学修: 講義でノートしたことを確認し、整理しておくこと。とくに、日本国憲法の制定法理についてまとめておくこと。
3 回	授業内容: <b>日本国憲法の構造、憲法の基本原理</b> 事前学修: 講義の該当箇所をよく読んでおくこと。 事後学修: 講義でノートしたことを確認し、整理しておくこと。とくに、憲法前文の性質と前文が裁判規範となるかどうかについて理解しておくこと。また、国民主権の原理が、憲法上、いかに具現化されているかについても理解しておくこと。
4 回	授業内容: <b>天皇 (地位、皇位継承)</b> 事前学修: 講義の該当箇所をよく読んでおくこと。 事後学修: 講義でノートしたことを確認し、整理しておくこと。とくに、天皇の行為について理解しておくこと。
5 回	授業内容: <b>天皇 (権能、天皇の権能の代行)、人権総論 (人権の歴史、人権の制約)</b> 事前学修: 講義の該当箇所をよく読んでおくこと。 事後学修: 講義でノートしたことを確認し、整理しておくこと。とくに、天皇の権能の行使の要件と違憲審査基準について理解しておくこと。
6 回	授業内容: <b>人権享有の主体</b> 事前学修: 講義の該当箇所をよく読んでおくこと。 事後学修: 講義でノートしたことを確認し、整理しておくこと。とくに、外国人が、人権享有の主体となるかどうかについて理解しておくこと。また、法人の人権享有の主体性についても理解しておくこと。
7 回	授業内容: <b>私人間効力、幸福追求権</b> 事前学修: 講義の該当箇所をよく読んでおくこと。 事後学修: 講義でノートしたことを確認し、整理しておくこと。とくに、私人間効力とは何かを理解し、どのような判例があるのかをまとめておくこと。
8 回	授業内容: <b>法の下での平等、思想および良心の自由</b> 事前学修: 講義の該当箇所をよく読んでおくこと。 事後学修: 講義でノートしたことを確認し、整理しておくこと。とくに、法の下での平等の意味と不合理な差別の禁止について、判例を含めて理解しておくこと。また、内心の自由の保障の内容について理解しておくこと。
9 回	授業内容: <b>信教の自由</b> 事前学修: 講義の該当箇所をよく読んでおくこと。 事後学修: 講義でノートしたことを確認し、整理しておくこと。とくに、信教の自由の内容と政教分離の原則について、判例を含めて理解しておくこと。
10 回	授業内容: <b>表現の自由 (集会・結社の自由)</b> 事前学修: 講義の該当箇所をよく読んでおくこと。 事後学修: 講義でノートしたことを確認し、整理しておくこと。とくに、集会の自由の内容と公安条例の合憲性に関する判例と結社の自由の内容について理解しておくこと。
11 回	授業内容: <b>表現の自由 (言論・出版の自由)</b> 事前学修: 講義の該当箇所をよく読んでおくこと。 事後学修: 講義でノートしたことを確認し、整理しておくこと。とくに、報道の自由と取材の自由、検閲の禁止について、それぞれの判例を含めてまとめておくこと。
12 回	授業内容: <b>学問の自由、経済的自由</b> 事前学修: 講義の該当箇所をよく読んでおくこと。 事後学修: 講義でノートしたことを確認し、整理しておくこと。とくに、憲法が、学問の自由を保障した意義、その内容、大学の自治についてよく理解し、あわせて、判例をまとめておくこと。経済的自由については、財産権の保障・内容・財産権の制限と保障について理解しておくこと。
13 回	授業内容: <b>人身の自由</b> 事前学修: 講義の該当箇所をよく読んでおくこと。 事後学修: 講義でノートしたことを確認し、整理しておくこと。とくに、適法手続の保障、不法に逮捕されない権利、刑罰法不遡及と一事不再理について理解しておくこと。
14 回	授業内容: <b>社会権</b> 事前学修: 講義の該当箇所をよく読んでおくこと。 事後学修: 講義でノートしたことを確認し、整理しておくこと。とくに、生存権の法的性格をいかに解するかについて学説と判例をまとめておくこと。また、労働基本権については、公務員の労働基本権に関する判例の動向をよく理解しておくこと。
15 回	授業内容: <b>国務請求権、参政権、前期の総括、前期試験の説明</b> 事前学修: 講義の該当箇所をよく読んでおくこと。 事後学修: 講義でノートしたことを確認し、整理しておくこと。とくに、選挙権の性格をいかに解するか、理解しておくこと。なお、前期の講義における重要な問題点を、よく整理しておくこと。

◆**教科書** 因沼『日本国憲法』名雪健二 有信堂 3,780円(税込)(送料350円)

◆**参考書** 参考書を希望する者は、『憲法第7版』芦部信喜・高橋和之補訂 岩波書店を購入されたい。

◆**成績評価基準** 授業態度・小テスト(1回)・スクーリングの最終試験により総合的に判断する。

### 注意

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例:「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」  
※授業相談(連絡先)に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

講座の選定

時間割

開講講座表・シラバス使用教材 (火曜日)

開講講座表・シラバス使用教材 (水曜日)

開講講座表・シラバス使用教材 (木曜日)

開講講座表・シラバス使用教材 (金曜日)

受講及び試験

受講手続

申込講座の許可と不許可

受講料等の納入

受講準備

体育実技の受講について

オープン受講

胸部X線検査

各種用紙

付録

# 講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

## 〔西洋史特講 I〕

青山 由美子

- ◆**授業概要** 私たち日本人に大きな影響を与えてきているヨーロッパ文明のルーツは中世にある。その歴史上の大きなトピックについて理解を深める。
- ◆**学修到達目標** ヨーロッパ中世前半（西暦 500 年から 1000 年まで）の歴史について、重要なテーマに関する史料の日本語訳と関連する映像を通して学び、各テーマのポイントを理解し、自分の感想や意見をまとめられるようになる。
- ◆**授業方法** 授業の最初に各テーマに関する日本語訳を読み、意味を理解し、最後に各自コメントをまとめます。
- ◆**授業計画〔各 90 分〕**

1 回	授業内容: ヨーロッパ中世前半の歴史について、ポイントと特質を学びます。 事前学修: 世界史の教科書や資料集をよみかえしてきて下さい。 事後学修: プリントやノートをよみ返して、内容を再確認して下さい。
2 回	授業内容: ヨーロッパ中世のルーツとしてアイルランドのケルト文明を学びます。 事前学修: ケルト文明について検索して概要をつかんできて下さい。 事後学修: 史料と映像を思い出して、ケルト文明像をつくって下さい。
3 回	授業内容: 西欧を統合したカール大帝（シャルルマーニュ）について学びます。 事前学修: カール大帝について検索して、ポイントをつかんできて下さい。 事後学修: 史料と映像を思い出して、カール大帝の人物像をつくって下さい。
4 回	授業内容: 東欧を統合したビザンツ帝国について学びます。 事前学修: ビザンツ帝国について検索して、ポイントをつかんできて下さい。 事後学修: 史料と映像を思い出して、ビザンツイメージをつくって下さい。
5 回	授業内容: 北欧について、いわゆるヴァイキングについて学びます。 事前学修: ヴァイキングについて検索して、ポイントをつかんできて下さい。 事後学修: 史料と映像を思い出して、ヴァイキングイメージをつくって下さい。
6 回	授業内容: 南欧について、イスラーム教徒に対する再征服を学びます。 事前学修: 「レコンキスタ」を検索して、ポイントをつかんできて下さい。 事後学修: 史料と映像を思い出して、レコンキスタイメージをつくって下さい。
7 回	授業内容: 教会がリードした神の平和運動について学びます。 事前学修: 「神の平和」を検索して、ポイントをつかんできて下さい。 事後学修: 史料と映像を思い出して、運動の意味について考えて下さい。
8 回	授業内容: 社会は 3 つの身分から成り立っているとする世界観を学びます。 事前学修: 「三身分論」を検索してポイントをつかんできて下さい。 事後学修: 史料と映像を思い出して、独特の世界観について考えて下さい。
9 回	授業内容: 中世前期の農村・農業の様子について学びます。 事前学修: 「中世ヨーロッパ&農村」などで検索してみてください。 事後学修: 史料と映像を思い出して、農業社会の中世ヨーロッパのイメージをつくって下さい。
10 回	授業内容: 中世前期の都市・商業の様子について学びます。 事前学修: 「中世ヨーロッパ&都市」などで検索してみてください。 事後学修: 史料と映像を思い出して、中世ヨーロッパ都市のイメージをつくって下さい。
11 回	授業内容: 中世前期の教会と修道院について学びます。 事前学修: 「中世ヨーロッパ&教会」などで検索してみてください。 事後学修: 史料と映像を思い出して、中世ヨーロッパ教会のイメージをつくって下さい。
12 回	授業内容: 中世前期の「いのり」の形式と意味について学びます。 事前学修: 「キリスト教&祈り」などで検索してみてください。 事後学修: 史料と映像を思い出して、「いのり」の意味について考えてみてください。
13 回	授業内容: 中世前期の「罪の告白」について学びます。 事前学修: 「キリスト教&罪」などで検索してみてください。 事後学修: 史料と映像を思い出して、「罪」の意味について考えてみてください。
14 回	授業内容: 社会や宗教の統合に対する反乱について学びます。 事前学修: 「中世ヨーロッパ&都市反乱」などで検索してみてください。 事後学修: 史料と映像を思い出して、「都市反乱」について考えてみてください。
15 回	授業内容: 毎回の史料と映像をふりかえり、まとめコメントをかきます。 事前学修: 今までのプリントとコメントをよみかえしておいて下さい。 事後学修: 中世前期ヨーロッパについて、時代像をつくって下さい。

- ◆**教科書** 〔当日資料配布〕当日にプリント配布します。
- ◆**参考書** 〔丸沼〕『ヨーロッパの中世』神崎忠昭 慶応大学出版会 2,916 円（税込）（送料 350 円）  
〔丸沼〕『西洋中世史料集』東京大学出版会 3,456 円（税込）（送料 350 円）  
『世界史史料 5』岩波書店  
〈上記の本は品切れのため、図書館等を利用して下さい〉
- ◆**成績評価基準** 毎回授業の最後にまとめて書くコメントによって評価します。

**注意** E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例: 「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」  
※ 授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

# 講座内容 (シラバス)

※ 2019年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

## 〔経済史総論〕

飯島 正義

◆**授業概要** これまでの経済史研究の代表的な分析視角と前近代社会としての貢納制社会と奴隷制社会を取り上げ、原始社会からどのように貢納制社会、奴隷制社会へと発展してきたのか、その歩みについて学びます。

◆**学修到達目標** 1. これまでの経済史研究の代表的な分析視角を知ること、経済史研究がどのように行われてきたのかを説明することができるようになる。  
2. 原始社会から貢納制社会、奴隷制社会にどのように発展してきたのか、その歩みについて説明することができるようになる。

◆**授業方法** 講義形式。当日配布するプリント資料を中心に進めていくが、内容の切れ目の時点でポイントを提示するとともに、確認プリントを実施しその提出を求める。

### ◆**授業計画〔各 90 分〕**

1 回	授業内容：経済史で何を学ぶのか。 事前学修：シラバスで全体の授業内容を確認しておく。 事後学修：配布プリントの見直しと教材・参考図書等でさらに授業内容の理解を深める。
2 回	授業内容：経済史の分析視角（1） 発展段階論的な見方—アダム・スミス、リスト 事前学修：配布プリントを中心に、参考図書等で授業内容の理解を深めておく。 事後学修：アダム・スミス、リストが経済の発展段階をどのように捉えていたのかをまとめる。
3 回	授業内容：経済史の分析視角（2） 発展段階論的な見方—マルクス 事前学修：配布プリントを読んでおくとともに、参考図書等で授業内容の理解を深めておく。 事後学修：マルクスが経済の発展段階をどのように捉えていたのかをまとめる。
4 回	授業内容：経済史の分析視角（2） 発展段階論的な見方—マルクス、ロストウ 事前学修：配布プリントを読んでおくとともに、参考図書等で授業内容の理解を深めておく。 事後学修：ロストウが経済の発展段階をどのように捉えていたのかをまとめる。
5 回	授業内容：経済史の分析視角（3） 個別（システム論）的な見方—マックス・ウェーバー、従属理論 事前学修：配布プリントを読んでおくとともに、参考図書等で授業内容の理解を深めておく。 事後学修：マックス・ウェーバー、従属理論の論者がどのような見方をしたのかをまとめておく。
6 回	授業内容：経済史の分析視角（4） 個別（システム論）的な見方—ウォーラステイン 事前学修：配布プリントを読んでおくとともに、参考図書等で授業内容の理解を深めておく。 事後学修：ウォーラステインの近代世界システム論についてまとめておく。
7 回	授業内容：原始社会の特徴と崩壊 事前学修：配布プリントを読んでおくとともに、教材・参考図書等で授業内容の理解を深めておく。 事後学修：原始社会の特徴と崩壊要因についてポイントを確認しまとめておく。
8 回	授業内容：奴隷制社会（1） 古代オリエント 事前学修：配布プリントを読んでおくとともに、教材・参考図書等で授業内容の理解を深めておく。 事後学修：古代オリエント地域の社会についてまとめておく。
9 回	授業内容：奴隷制社会（2-1） ギリシャ 事前学修：配布プリントを読んでおくとともに、教材・参考図書等で授業内容の理解を深めておく。 事後学修：配布プリントの見直しと教材・参考図書などでさらに授業内容の理解を深める。
10 回	授業内容：奴隷制社会（2-2） ギリシャ 事前学修：配布プリントを読んでおくとともに、教材・参考図書等で授業内容の理解を深めておく。 事後学修：ギリシャの奴隷制社会についてまとめておく。
11 回	授業内容：奴隷制社会（3-1） ローマ 事前学修：配布プリントを読んでおくとともに、教材・参考図書等で授業内容の理解を深めておく。 事後学修：配布プリントの見直しと教材・参考図書などでさらに授業内容の理解を深める。
12 回	授業内容：奴隷制社会（3-2） ローマ 事前学修：配布プリントを読んでおくとともに、教材・参考図書等で授業内容の理解を深めておく。 事後学修：配布プリントの見直しと教材・参考図書などでさらに授業内容の理解を深める。
13 回	授業内容：奴隷制社会（3-3） ローマ 事前学修：配布プリントを読んでおくとともに、教材・参考図書等で授業内容の理解を深めておく。 事後学修：ローマの奴隷制社会についてまとめておく。
14 回	授業内容：古ゲルマン社会 事前学修：配布プリントを読んでおくとともに、教材・参考図書等で授業内容の理解を深めておく。 事後学修：ゲルマン民族の大移動前のゲルマン社会の状況についてまとめておく。
15 回	授業内容：試験及び解説 事前学修：これまでの各内容のポイントをまとめたものを再確認しておく。 事後学修：設題に対して、重要事項を落とさず論理的な記述ができたかどうかを確認する。

◆**教科書** 〔当日資料配布〕 授業時にプリント資料を配布します。

◆**参考書** 〔教材〕『経済史総論 R20200』 通信教育教材（教材コード 000161） 3,300 円（送料込）  
『経済史をやさしく学ぶ』 石川治夫著 中央経済社 2013 年  
〈上記の本は品切れのため、図書館等を利用してください。〉

◆**成績評価基準** 確認プリントの提出（40%）、試験（60%）

### 注意

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」  
※ 授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

# 講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

## 〔英語科教育法Ⅰ〕

小澤 賢司

◆**授業概要** 中学校および高等学校における英語科教育を扱う本授業では、以下の4点について学修します。

- ①学習指導要領および教科用図書（教科書）について
- ②年間・学期・単元・各回の指導計画（学修到達目標）について
- ③小・中・高における英語科教育の連携のあり方について
- ④その他、英語科教育において必須となる諸項目について

◆**学修到達目標** 「授業概要」で挙げた4つの点について、それらを正しく理解し、自らの言葉で説明できるようになることを本授業の目標とします。その目標を達成するためには、授業計画の各回に示されている教科書の章を必ず読んでおくことが求められます。また、読んできた内容や授業での講義を元に小レポートの提出やグループ討議を求められることがありますので、未読状態だと授業に参画できないだけでなく、授業評価にも大きく影響します。英語科教育に携わる者として、過去・現在・未来に渡る英語科教育に関する知識や情報、動向等には常に注意を向けるようにしましょう。

◆**授業方法** 授業は大きく「概論（講義）」パートと「グループ討議」パートに分かれます。概論パートでは、各回に示されている内容の講義および教科書では触れられていない内容についての補足説明を行います。グループ討議パートでは、各回のテーマについて、受講者同士で話し合いをおこなってもらい、小レポートないしは発表という形で自己研鑽に励んでいただきます。必要に応じて、プリントも配布する予定です。

◆**授業計画〔各 90 分〕**

1 回	授業内容：英語教育の目的 事前学修：第 1 章をよく読んでおくこと。 事後学修：授業内で提示された課題を行う。
2 回	授業内容：学習指導要領：概論、グループ討議 事前学修：第 2 章をよく読んでおくこと。 事後学修：グループで話し合った内容を整理しておくこと。
3 回	授業内容：第二言語習得理論と外国語教授法：概論、グループ討議 事前学修：第 6 章をよく読んでおくこと。 事後学修：授業内で提示された課題を行う。
4 回	授業内容：指導計画：概論 事前学修：第 3 章をよく読んでおくこと。 事後学修：指導計画（年間・学期・単元）について正しく理解しておくこと。
5 回	授業内容：英語指導と教科用図書：概論、グループ討議（発表準備 初日） 事前学修：第 3 章をよく読んでおくこと。 事後学修：グループで話し合った内容を整理しておくこと。
6 回	授業内容：英語指導と教科用図書：グループ討議（発表準備 二日目） 事前学修：発表準備のために有益な案を考えておくこと。 事後学修：発表ハンドアウトを作り、期日までに提出すること。
7 回	授業内容：英語指導と教科用図書：発表 事前学修：発表練習をしておくこと。 事後学修：他グループの発表内容を整理しておくこと。
8 回	授業内容：英語指導と教科用図書：発表（予備日） 学習指導案：概論 事前学修：発表練習をしておくこと。第 4 章をよく読んでおくこと。 事後学修：学習指導案について正しく理解しておくこと。
9 回	授業内容：学習指導案：グループ討議（発表準備 初日） 事前学修：発表準備のために有益な案を考えておくこと。 事後学修：グループで話し合った内容を整理しておくこと。
10 回	授業内容：学習指導案：グループ討議（発表準備 二日目） 事前学修：発表準備のために有益な案を考えておくこと。 事後学修：発表ハンドアウトを作り、期日までに提出すること。
11 回	授業内容：学習指導案：発表 事前学修：発表練習をしておくこと。 事後学修：他グループの発表内容を整理しておくこと。
12 回	授業内容：学習指導案：発表（予備日） 事前学修：発表練習をしておくこと。 事後学修：他グループの発表内容を整理しておくこと。
13 回	授業内容：英語教師論：グループ討議 事前学修：第 9 章をよく読んでおくこと。 事後学修：グループで話し合った内容を整理しておくこと。
14 回	授業内容：小学校英語教育と中学校・高等学校英語教育の連携：概論、グループ討議 事前学修：第 10 章をよく読んでおくこと。 事後学修：グループで話し合った内容を整理しておくこと。
15 回	授業内容：最終レポートおよびまとめ 事前学修：最終レポートのための準備をしておくこと。 事後学修：全ての学修内容を復習しておくこと。

◆**教科書** 〔丸沼〕『統合的英語科教育法』村野井仁・渡部良典・尾関直子・富田祐一 成美堂 2,808 円（税込）（送料 350 円）  
〔中学校学習指導要領〕文部科学省  
〔高等学校学習指導要領〕文部科学省 ※現行、新とも用意してください。

◆**参考書** 〔丸沼〕『基礎から学ぶ英語科教育法』岡田圭子・フレダ・ハヤシ・嶋林昭治・江原美明 松柏社  
2,700 円（税込）（送料 300 円）

◆**成績評価基準** 授業参画度（40%）、小レポートおよび発表（30%）、最終レポート（30%）  
※特別な理由（教育実習・介護等体験・感染症など）なく欠席した場合は、大幅な減点となります。

### 注意

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」  
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。



# 講座内容 (シラバス)

※ 2019年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

## 【英語J】☆☆☆

八木 茂那子

- ◆**授業概要** 文法を学びながら同時に会話表現を学んでいきます。授業はテキストに沿って3つの段階を踏んで理解度を、深めます：第一段階で基本文法の理解、重要ポイントの確認、第二段階で基本文法を含む構文のターゲットセンテンスを聞き取り、意味の確認、口頭練習を通じて単文を覚えます。さらに第三段階ではターゲットセンテンスを活用した発信・発話を行い、最後に Digests のコーナーで文の重要ポイントを簡潔にまとめる、という流れになります。尚、原則2ユニットごとに quiz を学期中に5回行う予定です。
- ◆**学修到達目標** 本講受講後、基礎レベルの英語が理解運用できるようになることを目標とし、120個のターゲットセンテンスを身に付け、英語の4技能の習得に効果的な基本的トレーニング方法を体得、継続、習慣化することを目指します。
- ◆**授業方法** 授業 CD、OHC、黒板を使った対面式による一斉授業と演習形式を中心に self-training, pair work, group activity など色々取り込みながら、楽しくトレーニングをしていく予定です。(受講者の理解度、進度などにより、授業内容を変更することがあります。)
- ◆**履修条件** 前期後期を通して履修することが望ましい。
- ◆**授業計画 (各 90 分)**

1回	授業内容: ガイダンス (自己紹介, 授業の進め方, 教科書について, 成績評価について他) 事前学修: テキストを購入し、6-7ページを読み、手元のPC やスマホに音声ファイルをダウンロードし、学習内容を視聴してみる。 事後学修: 音読筆写用のノートを用意する。
2回	授業内容: Unit 1 英文における主語の設定: 「主語」と「述語」、「語順」の重要性を理解しよう 事前学修: 音声ファイルを利用しながら Unit 1 (p.p. 8-13) の練習問題を解く。 事後学修: 授業内容の見直しとターゲットセンテンスの音読筆写
3回	授業内容: Unit 2 「品詞」ってどんなもの? 代名詞・形容詞・副詞の働きを理解しよう 事前学修: 音声ファイルを利用しながら Unit 2 (p.p. 14-19) の練習問題を解く。 事後学修: 授業内容の見直しとターゲットセンテンスの音読筆写
4回	授業内容: Unit 3 英文のスタイルは使われる動詞で決まる Part 1 基本動詞を含む英文を理解しよう quiz 1 (Unit 1 & 2) 事前学修: 音声ファイルを利用しながら Unit 3 (p.p. 20-25) の練習問題を解く。 事後学修: 授業内容の見直しとターゲットセンテンスの音読筆写
5回	授業内容: Unit 4 英文のスタイルは使われる動詞で決まる Part 2 基本動詞を含む英文を理解しよう 事前学修: 音声ファイルを利用しながら Unit 4 (p.p. 26-31) の練習問題を解く。 事後学修: 授業内容の見直しとターゲットセンテンスの音読筆写
6回	授業内容: Unit 5 述語動詞の形で時制を決める Part 1 現在時制の場合の動詞の形と主語の関係を理解しよう quiz 2 (Unit 3 & 4) 事前学修: 音声ファイルを利用しながら Unit 5 (p.p. 32-37) の練習問題を解く。 事後学修: 授業内容の見直しとターゲットセンテンスの音読筆写
7回	授業内容: Unit 6 「それは」と訳さない「it」と「そこ」と訳さない「there」形式的な主語 it と There is/are ... 構文 事前学修: 音声ファイルを利用しながら Unit 6 (p.p. 38-43) の練習問題を解く。 事後学修: 授業内容の見直しとターゲットセンテンスの音読筆写
8回	授業内容: 中間試験・解答と解説 事前学修: これまでに学修したことの見直しとターゲットセンテンスの音読筆写 事後学修: これまでに学修したことの見直しとターゲットセンテンスの音読筆写
9回	授業内容: Unit 7 「動詞-ing」は「(今) ~している」という意味だけじゃない 進行形と現在分詞の用法を理解しよう quiz 3 (Unit 5 & 6) 事前学修: 音声ファイルを利用しながら Unit 7 (p.p. 44-49) の練習問題を解く。 事後学修: 授業内容の見直しとターゲットセンテンスの音読筆写
10回	授業内容: Unit 8 述語動詞の形で時制を決める Part 2 基本動詞の変身スタイルを探ろう: 過去時制 事前学修: 音声ファイルを利用しながら Unit 8 (p.p. 50-55) の練習問題を解く。 事後学修: 授業内容の見直しとターゲットセンテンスの音読筆写
11回	授業内容: Unit 9 <前置詞+名詞> で表現の幅を広げる Part 1 <前置詞+名詞> の形容詞的な働きを理解しよう quiz 4 (Unit 7 & 8) 事前学修: 音声ファイルを利用しながら Unit 9 (p.p. 56-61) の練習問題を解く。 事後学修: 授業内容の見直しとターゲットセンテンスの音読筆写
12回	授業内容: Unit 10 <前置詞+名詞> で表現の幅を広げる Part 2 <前置詞+名詞> の副詞的な働きを理解しよう 事前学修: 音声ファイルを利用しながら Unit 10 (p.p. 62-67) の練習問題を解く。 事後学修: 授業内容の見直しとターゲットセンテンスの音読筆写
13回	授業内容: Review Group Activity quiz 5 (Unit 9 & 10) 事前学修: Oral test の準備。 事後学修: 授業内容の見直しとターゲットセンテンスの音読筆写
14回	授業内容: Oral test 事前学修: Oral test の練習 事後学修: 期末試験の準備 授業内容の見直しとターゲットセンテンスの音読筆写
15回	授業内容: まとめと期末試験 解答解説 事前学修: これまでに学修したことの見直しをする 事後学修: これまでに学修したことの見直しをする

- ◆**教科書** 丸沼『Grammar on Target 120 Keys for Communication』堀口千春・福富かおる著 センゲージラーニング (株) 2,160円 (税込) (送料 300円)
- ◆**参考書** 丸沼『ロイヤル英文法』綿貫陽他著 旺文社 1,944円 (税込) (送料 500円)
- ◆**成績評価基準** Quiz (5回) 20% + 平常点 (発表や課題提出などを含む授業参加度) 10% + (中間・期末試験) 60% + Oral test 10%による総合評価 (クラスのレベルを考慮し一定の基準になるよう調整を加えることがあります。)

### 注意

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例: 「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」  
※ 授業相談 (連絡先) に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

# 講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

## 〔哲学演習 I・II〕

中澤 瞳

- ◆**授業概要** 本演習は、卒業論文を執筆するために必要と考えられる基本的知識を、実践を通して、修得することである。
- ◆**学修到達目標** この演習を通して、受講生は論文制作のための技術を学び、卒業論文の制作を進めていく。すでに卒業論文に着手している受講生の場合は、演習を通して、現在製作中の卒業論文を練り上げる。
- ◆**授業方法** 講義と演習を組み合わせで行う。場合によっては、小グループを組んで作業を行う。口頭発表、および参加者同士による相互評価を行う。なお、参加者の状況、授業の進行具合によっては、授業計画に記載した内容に若干の変更がある場合がある。その際は、随時授業中に指示する。
- ◆**授業計画〔各 90 分〕**

1 回	授業内容: ガイダンス・論文とはなにか 事前学修: 卒業論文でどのような題材を扱うか考える。 事後学修: 授業を復習し、卒業論文について理解を深める。
2 回	授業内容: 各自の論文の題材についての発表 事前学修: 初回の指示にしたがい、発表の準備をする。 事後学修: 他人の発表を聞いて、参照し、自分の題材を固める。
3 回	授業内容: 論文の特徴を理解する 事前学修: 論文にはどのような特徴があるか、他の文章表現とは何が違うか考える。 事後学修: 手近にある、論文以外の色々な文章を読んで、論文という形式について理解を深める。自分の卒業論文の問題、主張、論拠を練り上げる。
4 回	授業内容: 論文の構成を理解する 事前学修: 論文はどのように構成された文章か考える。 事後学修: 授業を復習し、自分の卒業論文で扱う予定の題材および問題、主張、論拠を元に、論文の構成をイメージする。
5 回	授業内容: 論文の体裁を理解する 1 事前学修: 注や参考文献表とはどのようなものか調べる。 事後学修: 注や参考文献表を作成できるようにする。
6 回	授業内容: 論文の体裁を理解する 2 事前学修: 前回の授業内容を確認する。 事後学修: 注や参考文献表を作成できるようにする。
7 回	授業内容: 先行研究調査の方法 事前学修: 文献を探すにはどのような方法があるか考える。 事後学修: 授業で取り上げた調査方法の他にも有効な方法があるか考える。
8 回	授業内容: 先行研究調査の実践 事前学修: 前回の授業の内容を確認する。 事後学修: 授業で取り上げた調査方法などを使用し、自分の卒業論文に必要な先行研究を調べる。
9 回	授業内容: 各自の論文の問題、主張、論拠についての発表 事前学修: 授業を復習し、自分の卒業論文で扱う問題、主張、論拠を発表できるようにする。 事後学修: 他人の発表を聞いて、参照し、自分の問題、主張、論拠を掘り下げる。
10 回	授業内容: アウトラインについて 1 事前学修: 自分の卒業論文の問題、主張、論拠を確認する。 事後学修: 自分の卒業論文の問題、主張、論拠をもとに、アウトラインの内容を掘り下げる。
11 回	授業内容: アウトラインについて 2 事前学修: 自分の卒業論文の問題、主張、論拠を確認する。 事後学修: 自分の卒業論文の問題、主張、論拠をもとに、アウトラインの内容を掘り下げる。
12 回	授業内容: 発表（アウトラインについて） 事前学修: 授業中の指示にしたがい、発表の準備をする。 事後学修: 他人の発表を聞いて、参照し、自分のアウトラインを掘り下げる。
13 回	授業内容: 発表（アウトラインについて） 事前学修: 授業中の指示にしたがい、発表の準備をする。 事後学修: 他人の発表を聞いて、参照し、自分のアウトラインを掘り下げる。
14 回	授業内容: 発表（アウトラインについて） 事前学修: 授業中の指示にしたがい、発表の準備をする。 事後学修: 他人の発表を聞いて、参照し、自分のアウトラインを掘り下げる。
15 回	授業内容: まとめ 事前学修: これまでの授業を振り返る。 事後学修: 今回の授業を土台として、卒業論文の制作を進める。

- ◆**教科書** 〔当日資料配布〕
- ◆**参考書** 授業中に指示します。
- ◆**成績評価基準** 授業、グループワークへの参加度、発表（70%）、発表の講評（30%）により総合的に評価する。なお、毎回出席することを前提として評価する。

**注意** E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」  
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

# 講座内容（シラバス）

※ 2019年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

## 〔国際経済論〕

前野 高章

◆**授業概要** グローバル化の進展に伴い、国際貿易の拡大や海外直接投資が経済に与える影響は非常に大きいものとなっている。本講義では国際経済の発展過程をたどり、戦後の世界経済発展の歴史、国際分業の基礎理論としての比較優位論、貿易政策および海外直接投資の基礎理論を学び、グローバル経済の進展および国際経済問題を理解する土台を作り上げることを目標とする。

◆**学修到達目標** 本講義では、現実の国際経済の動きを念頭に置きながら、国際分業体制の変化・進展に沿って国際貿易理論がどのように展開されてきているのかを理論的に把握することを通じて、国際経済現象をモデル化し分析する能力を養い、変化の激しいグローバル経済の特徴や課題を理解することを目的とする。

◆**授業方法** 授業は講義形式を基本とする。教科書および配布資料にもとづき、板書とパワーポイントで講義を行う。

### ◆授業計画〔各 90 分〕

1 回	授業内容：講義の進め方、オリエンテーション、国際経済論とは？ 事前学修：経済学における国際経済論の位置づけについて把握する。 事後学修：講義の内容を整理し、配布資料を読んで、講義内容を理解する。
2 回	授業内容：現在の国際貿易の特徴 事前学修：配布資料、参考書などから国際貿易の拡大の要因を確認する。 事後学修：講義内容をもとに貿易の拡大要因について整理する。
3 回	授業内容：世界経済の生成と発展 事前学修：配布資料、参考書から世界経済の生成と両大戦間期の世界経済について確認する。 事後学修：講義内容をもとに戦前の世界経済の生成と変遷について整理する。
4 回	授業内容：伝統的貿易理論 事前学修：参考書をもとに、伝統的貿易理論について確認する。 事後学修：講義内容をもとに、貿易の利益について整理する。
5 回	授業内容：新古典派の貿易理論 事前学修：配布資料、参考書などから新古典派の貿易理論について確認する。 事後学修：講義内容をもとに、比較優位論について整理する。
6 回	授業内容：近代的貿易理論 事前学修：配布資料、参考書などから新貿易理論の特徴を確認する。 事後学修：講義内容をもとに、産業内貿易理論について整理する。
7 回	授業内容：現代国際貿易理論の展開 事前学修：配布資料、参考書などからフラグメンテーションやアグロメレーションについて確認する。 事後学修：講義内容をもとに、伝統的貿易理論から現代の貿易理論について整理する。
8 回	授業内容：貿易政策 事前学修：配布資料、参考書などから貿易政策とは何かについて確認する。 事後学修：講義内容をもとに、貿易政策が貿易に与える影響を整理する。
9 回	授業内容：自由貿易と保護貿易 事前学修：配布資料、参考書などから保護貿易について確認する。 事後学修：講義内容をもとに、関税が経済厚生に与える影響を整理する。
10 回	授業内容：経済統合 事前学修：配布資料、参考書などから世界の地域経済統合を確認する。 事後学修：講義内容をもとに、経済統合がもたらす影響を整理する。
11 回	授業内容：海外直接投資と多国籍企業 事前学修：配布資料、参考書などから世界の FDI の変遷について確認する。 事後学修：講義内容をもとに、多国籍企業化について整理する。
12 回	授業内容：国際貿易と企業 事前学修：配布資料、参考書などから企業の異質性について確認する。 事後学修：講義内容をもとに、新々貿易理論について整理する。
13 回	授業内容：国際貿易ルール 事前学修：配布資料、参考書などから近年の通商政策と貿易ルールを確認する。 事後学修：講義内容をもとに、近年の国際貿易ルールの特徴を整理する。
14 回	授業内容：理解度の確認 事前学修：これまで配布した資料を熟読し、要点をノートにまとめる。 事後学修：講義内容の要点項目を再確認し、講義内容をノートに整理する。
15 回	授業内容：試験および総まとめ 事前学修：全配布資料から講義の要点をまとめる。 事後学修：講義および試験をふまえ、国際分業の変遷について再確認する。

◆**教科書** 〔当日資料配布〕 各回で必要な講義資料を配布する。

◆**参考書** 丸沼『国際経済学（第3版）』若杉隆平 岩波書店 2009年 3,132円（税込）（送料350円）

通材『国際経済論 R31100』通信教育教材（教材コード000281）2,300円（送料込）

◆**成績評価基準** 試験 80%、平常点 20%。毎回出席することを前提として評価する。

### 注意

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」  
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

# 講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

## 〔商業政策〕

新島 裕基

◆**授業概要** この講義では、現代における商業・流通・マーケティングの実際と、それらに対して行政が実施する商業政策について、最新動向を交えながら学んでいきます。

◆**学修到達目標** ・商業政策の根拠と目的を理解し、理論的かつ体系的に説明できるようになること。  
・メーカーから消費者に至る垂直的取引（タテの関係）に注目しながら、独占禁止法などの競争政策について理解できるようになること。

◆**授業方法** ・スクリーンにスライド資料を投影しながら講義を進める（配布資料あり）。  
・中間と最終の2回、授業内テストを実施する。

### ◆授業計画〔各 90 分〕

1 回	授業内容：ガイダンス：商業と流通の存在意義 事前学修：新聞・雑誌などで関連した記事を読み、日頃から現実の最新動向について触れること。 事後学修：講義で学んだ内容について、教科書・配布資料・ノートなどを見直すこと。
2 回	授業内容：事業者の垂直的分化と統合 事前学修：新聞・雑誌などで関連した記事を読み、日頃から現実の最新動向について触れること。 事後学修：講義で学んだ内容について、教科書・配布資料・ノートなどを見直すこと。
3 回	授業内容：商業政策の概要（1）：根拠と目的 事前学修：新聞・雑誌などで関連した記事を読み、日頃から現実の最新動向について触れること。 事後学修：講義で学んだ内容について、教科書・配布資料・ノートなどを見直すこと。
4 回	授業内容：商業政策の概要（2）：政策体系 事前学修：新聞・雑誌などで関連した記事を読み、日頃から現実の最新動向について触れること。 事後学修：講義で学んだ内容について、教科書・配布資料・ノートなどを見直すこと。
5 回	授業内容：規制緩和（1）：1990 年前後の国内外の情勢 事前学修：新聞・雑誌などで関連した記事を読み、日頃から現実の最新動向について触れること。 事後学修：講義で学んだ内容について、教科書・配布資料・ノートなどを見直すこと。
6 回	授業内容：規制緩和（2）：代表事例（酒税法、薬事法） 事前学修：新聞・雑誌などで関連した記事を読み、日頃から現実の最新動向について触れること。 事後学修：講義で学んだ内容について、教科書・配布資料・ノートなどを見直すこと。
7 回	授業内容：前半のまとめ：中間テスト（マーク+記述） 事前学修：新聞・雑誌などで関連した記事を読み、日頃から現実の最新動向について触れること。 事後学修：講義で学んだ内容について、教科書・配布資料・ノートなどを見直すこと。
8 回	授業内容：競争政策（1）：独占 事前学修：新聞・雑誌などで関連した記事を読み、日頃から現実の最新動向について触れること。 事後学修：講義で学んだ内容について、教科書・配布資料・ノートなどを見直すこと。
9 回	授業内容：競争政策（2）：独占禁止法の概要 事前学修：新聞・雑誌などで関連した記事を読み、日頃から現実の最新動向について触れること。 事後学修：講義で学んだ内容について、教科書・配布資料・ノートなどを見直すこと。
10 回	授業内容：競争政策（3）：独占禁止法の運用 事前学修：新聞・雑誌などで関連した記事を読み、日頃から現実の最新動向について触れること。 事後学修：講義で学んだ内容について、教科書・配布資料・ノートなどを見直すこと。
11 回	授業内容：競争政策（4）：独占禁止法と流通系列化 事前学修：新聞・雑誌などで関連した記事を読み、日頃から現実の最新動向について触れること。 事後学修：講義で学んだ内容について、教科書・配布資料・ノートなどを見直すこと。
12 回	授業内容：競争政策（5）：独占禁止法と再販制度 事前学修：新聞・雑誌などで関連した記事を読み、日頃から現実の最新動向について触れること。 事後学修：講義で学んだ内容について、教科書・配布資料・ノートなどを見直すこと。
13 回	授業内容：競争政策（6）：独占禁止法と大規模小売企業のバイイングパワー行使問題 事前学修：新聞・雑誌などで関連した記事を読み、日頃から現実の最新動向について触れること。 事後学修：講義で学んだ内容について、教科書・配布資料・ノートなどを見直すこと。
14 回	授業内容：競争政策（7）：大規模小売企業による優越的地位の濫用 事前学修：新聞・雑誌などで関連した記事を読み、日頃から現実の最新動向について触れること。 事後学修：講義で学んだ内容について、教科書・配布資料・ノートなどを見直すこと。
15 回	授業内容：後半のまとめ：最終テスト（マーク+記述） 事前学修：新聞・雑誌などで関連した記事を読み、日頃から現実の最新動向について触れること。 事後学修：講義で学んだ内容について、教科書・配布資料・ノートなどを見直すこと。

◆**教科書** 丸沼『流通政策入門〔第4版〕』渡辺達朗 中央経済社 2016年 3,024円（税込）（送料300円）  
〔当日資料配布〕教科書とほぼ同じ内容のスライドを投影して講義を進めますので、教科書の購入は必須ではありません（配布資料あり）。

◆**参考書** 特になし

◆**成績評価基準** 平常点評価：100%  
<内訳>授業内テスト：100%（中間：50%／最終：50%）

### 注意

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」  
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

# 講座内容（シラバス）

※ 2019年度より授業計画が全15回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

## 【教育の方法・技術論】

古賀 徹

◆**授業概要** この授業は、教員としての授業実践力を修得することを目的としています。授業が成り立つ条件を理解するために、先ず歴史や諸外国の実践例を学ぶことから始めます。次には「読む・書く・きく・話す」等の技能を伸ばすための技術・指導法を学び、実際に活用できるレベルへ高めていく。カリキュラム構成の基礎を身につけ、指導計画をデザインできるようになるまでがゴールです。ICT活用の学習形態についても考え深めていきます。

◆**学習到達目標** 次の事項について理解を深め、技能・指導技術を身につける。①教授法の歴史の変遷を理解する。②ヴィゴツキーの「発達の最近接領域」等の最新の学習概念を理解する。③アクティブ・ラーニング形式の学習について理解し、実践するアイデアを出す。④カリキュラム構成の基礎を身につけ、学習目標に沿って学習内容・活動を展開するイメージをまとめることができる。⑤ICT活用やeラーニング等の学習形態について、その課題や可能性も含めて把握することができる。⑥教育評価の方法を身につける。

◆**授業方法** 講義形式に加えて、ワークショップ形式、グループワーク、ロールプレイなどアクティブ・ラーニング型の方式をとり入れる。

### ◆授業計画〔各90分〕

1回	授業内容：「教育方法」とは何か？「教える」と「学ぶ」こと。 事前学修：教職課程における学習内容（各科目）について意味を調べておく。 事後学修：新学習指導要領の「ねらい」について調べ、説明文としてまとめる。
2回	授業内容：教育方法論の歴史（西洋教育方法史）。 事前学修：コメニウス、ペスタロッチ、ヘルバルト、デューイについて文献を読む。 事後学修：本日の学修内容についてレポート作成（次回提出）。
3回	授業内容：教育方法論の歴史（日本の教育方法・内容論の変遷）。 事前学修：日本特有の教育方法について、イメージすることを複数メモしておく。 事後学修：日本と西洋の「近代化」の関係性について、短い文章でまとめる。
4回	授業内容：新しい「学習」概念（ヴィゴツキーの活動理論と現在の学習）。 事前学修：「PISA型学力」等の新しい学力観について資料を通読しておく。 事後学修：講義で体験的学習により学んだ内容を言語化して説明文としてまとめる。
5回	授業内容：授業形態を個別化に対応させる（バズ学習、T・T、完全習得学習）。 事前学修：個別の差（個人）への対応という難しさについて意見をまとめておく。 事後学修：世界各国の地域差からくる教育観の違いについて説明文を書く。
6回	授業内容：問題解決学習と系統学習。 事前学修：自身の体験的な学びについて具体例をあげ、その効果について記す。 事後学修：自身の担当科目における能動的な学習を設計する。
7回	授業内容：指導技術：「はなす」ことと「きく」こと。 事前学修：自身のキャリア教育体験について他者に説明できるようまとめておく。 事後学修：ウェビング、KJ法等の可視化技能を高めるよう自身で練習する。
8回	授業内容：「はなす・きく・かく・まとめる」。 事前学修：各科目において必須とされる技能について調べ、まとめる。 事後学修：本を数冊読み、その内容をウェビングで記す。
9回	授業内容：カリキュラム構成の方法（「ねらい」のある学習をつくる）。 事前学修：学習指導要領でカリキュラムマネージメントの箇所を読んでメモしておく。 事後学修：カリキュラム構成方法を応用して「ある学校」のプランをつくる。
10回	授業内容：シミュレーション学習、プロジェクト学習。 事前学修：学校数校のホームページ等を見てカリキュラム構成を確認しておく。 事後学修：自身の科目においてどのようにプロジェクト学習が組めるか構想する。
11回	授業内容：一時間の学習指導案を構成する。 事前学修：自身の科目ごとに自由に範囲を選び、授業を構想しておく。 事後学修：指導案（学習指導計画）を複数構想する（次回提出）。
12回	授業内容：学習実践のロールプレイ。 事前学修：一冊以上の本を読み「朝読書」指導案を考案する。 事後学修：既習のウェビング、カリキュラム、指導案を組み合わせ授業設計を行う。
13回	授業内容：ICT機器を活用した新しい学習法。 事前学修：メディア授業を試聴しレポートを用意する。 事後学修：新しい時代のメディア教材や、その功罪についてレポートをまとめる。
14回	授業内容：教材研究・教育評価の方法。 事前学修：これまでの授業内容について、自身でまとめる（授業で使用する）。 事後学修：逆向きの設計から「自身の科目で習得する力」を設定。
15回	授業内容：「主体的・対話的で深い学び」の構成方法。 事前学修：最終講義の課題について、自身で資料を集め、まとめておく。 事後学修：様々な授業形態により授業をデザインできるようトレーニングを継続する。

◆**教科書** 資料、レジュメを作成し、配布する。

◆**参考書** 「学習指導要領」（中学校・高等学校）

◆**成績評価基準** この授業の評価は、授業への参加（グループ学習含む）、提出物・課題、試験成績の総合的評価とする。課題未提出の場合は評価を行わない。

### 注意

E-mailを送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」  
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

講座の選定

時間割

開講講座表・シラバス使用教科（火曜日）

開講講座表・シラバス使用教科（水曜日）

開講講座表・シラバス使用教科（木曜日）

開講講座表・シラバス使用教科（金曜日）

受講及び試験

受講手続

申込講座の許可と不許可

受講料等の納入

受講準備

体育実技の受講について

オープン受講

胸部X線検査

各種用紙

付録

## 【金曜日】

時限	講座コード	開講講座名	担当講師名	単開 位 数講	充 当 科 目		制 限・注 意			受オ ー プ ン 講
					科 目 コ ー ド	科 目 名	併 用	配 当 学 年	受 講 条 件	
1 時 限	AE11	英 語 K	大庭 香江	1	C10100	英 語 I	×	1 年	・ I～IVのいずれに該当させるのか 充当科目コードを必ず記入してください。	
					C10200	英 語 II				
					C10300	英 語 III	×	2 年		
					C10400	英 語 IV				
AE12	フランス語 I・II	大庭 克夫	1	E10100	フランス語 I	×	1 年	・ I・IIのどちらに該当させるのか 充当科目コードを必ず記入してください。		
				E10200	フランス語 II					
AE13	東洋思想史 I	本間 直人	2	P20300	東洋思想史 I	×	条件参照	・ 哲学専攻のみ1学年以上 申込可。 ・ 上記以外は2学年以上 申込可。	×	
AE14	経 営 学	山田 敏之	2	S20200	経 営 学	×	条件参照	・ 商学部のみ1学年以上 申込可。 ・ 上記以外は2学年以上 申込可。		
2 時 限	AE21	経 済 学	谷川 孝美	2	B11800	経 済 学	×	1 年		
	AE22	T O E I C B	大庭 香江	1	C108S0	T O E I C	×	1 年		
	AE23	イギリス文学史II	猪野 恵也	2	N30100	イギリス文学史II	×	2 年		
	AE24	西洋思想史 I	関谷 雄磨	2	P20200	西洋思想史 I	×	条件参照	・ 哲学専攻のみ1学年以上 申込可。 ・ 上記以外は2学年以上 申込可。	
	AE25	日本史概説/ 日本史概論	鍋本 由徳	2	Q30200	日本史概説	×	2 年	・ 文理・経済・商学部のみ 申込可。 ・ 法学部のみ申込可。	
K32200					日本史概論					
3 時 限	AE31	英 語 L	石川 勝	1	C10100	英 語 I	×	1 年	・ I～IVのいずれに該当させるのか 充当科目コードを必ず記入してください。	
					C10200	英 語 II				
					C10300	英 語 III	×	2 年		
					C10400	英 語 IV				
AE32	政治学原論	吉野 篤	2	L20100	政治学原論	×	条件参照	・ 政治経済学科のみ1学年 以上申込可。 ・ 上記以外は2学年以上 申込可。		
AE33	英 作 文 I	大庭 香江	2	N30500	英 作 文 II	×	2 年	・ スクーリング1回の合格 で単位完成する科目です。		
AE34	哲学基礎講読	石井 友人	2	P20100	哲学基礎講読	×	条件参照	・ 哲学専攻のみ1学年以上 申込可。 ・ 上記以外は2学年以上 申込可。		
AE35	市場調査論	最上 健児	2	S317S0	市場調査論	×	2 年			

### 注意

各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者がそれらを超えた場合、大学が任意に講座を分割したり他講師担当の同一科目講座へ振り分けるなどの、受講制限を行います。  
その結果、必ずしも希望した担当者の講座を受講できない場合、受講をお断りする場合があります。あらかじめ、ご了承ください。

【金曜日】

時限	講座 コード	開講講座名	担当講師名	単開 位 数講	充 当 科 目		制 限 ・ 注 意			受 オ ー プ ン 講
					科 目 コード	科 目 名	併 用	配 当 学 年	受 講 条 件	
4 時 限	AE41	哲 学 C	中澤 瞳	2	B10700	哲 学	×	1年		
	AE42	国文学概論	山崎 泉	2	M20200	国文学概論	×	条件 参照	・国文学専攻のみ1学年以上 申込可。 ・上記以外は2学年以上申 込可。	
	AE43	宗教学概論	合田 秀行	2	P30400	宗教学概論	×	2年		
	AE44	商業史	竹内 真人	2	S32100	商業史	×	2年		×
	AE45	教育原論/ 教育の思想	古賀 徹	2	T10200 T10300	教育原論 教育の思想	×	1年	・スクーリング1回の合格 で単位完成する科目です。	
5 時 限	AE51	社会学B	服部 慶亘	2	B11600	社会学	×	1年		
	AE52	ドイツ語I・II	中島 伸	1	D10100	ドイツ語I	×	1年	・I, IIのどちらに該当さ せるのか充当科目コード を必ず記入してください。	
					D10200	ドイツ語II				
	AE53	日本政治史	石川 徳幸	2	L30400	日本政治史	×	2年		×
AE54	日本史特講II	坂口 太助	2	Q30900	日本史特講II	×	2年			

注意

各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者がそれらを超えた場合、大学が任意に講座を分割したり他講師担当の同一科目講座へ振り分けるなどの、受講制限を行います。  
その結果、必ずしも希望した担当者の講座を受講できない場合、受講をお断りする場合があります。あらかじめ、ご了承ください。

# 講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

## 〔英語K〕★★☆

大庭 香江

- ◆**授業概要** ナショナル・ジオグラフィックの映像を DVD で視聴しながら、自然・動物と人との関わりをテーマにしたストーリーを読み、練習問題を解いて理解を深める。
- ◆**学修到達目標** 中級レベルの英語で書かれた文章を理解する上で必要な、語彙力・文法力を身につける。DVD を繰り返し視聴し、練習問題を行なうことで、文の論理的な関係を把握し、中級レベルの英語を用いて書かれた長文を読んで内容を理解することができるようになることを目標とする。
- ◆**授業方法** 事前に、各自、テキスト付属の DVD を視聴し、予習しておくこと。自然・動物と人との関わりをテーマにしたストーリー（長文）を読み、意味調べをして、分からない部分を明らかにしておくこと。授業時にストーリーの内容や、語彙、文法についての解説を行なう。練習問題は、予習しておくものと復習しておくもの、授業時に行うものに分かれるので、毎回、次の章のどの問題を予習、復習として行なっておくかについて指示する。授業時にも、最初と最後に映像を視聴し、理解度を確認する。
- ◆**授業計画〔各 90 分〕**

1 回	授業内容 : A Disappearing World 1 事前学修 : 長文を読む 事後学修 : 練習問題を行う
2 回	授業内容 : A Disappearing World 2 事前学修 : 長文を読む 事後学修 : 練習問題を行う
3 回	授業内容 : The Missing Snows of Kilimanjaro 1 事前学修 : 長文を読む 事後学修 : 練習問題を行う
4 回	授業内容 : The Missing Snows of Kilimanjaro 2 事前学修 : 長文を読む 事後学修 : 練習問題を行う
5 回	授業内容 : Cambodia Animal Rescue 1 事前学修 : 長文を読む 事後学修 : 練習問題を行う
6 回	授業内容 : Cambodia Animal Rescue 2 事前学修 : 長文を読む 事後学修 : 練習問題を行う
7 回	授業内容 : Orangutan Language 1 事前学修 : 長文を読む 事後学修 : 練習問題を行う
8 回	授業内容 : Orangutan Language 2 事前学修 : 長文を読む 事後学修 : 練習問題を行う
9 回	授業内容 : Cupid the Dolphin 1 事前学修 : 長文を読む 事後学修 : 練習問題を行う
10 回	授業内容 : Cupid the Dolphin 2 事前学修 : 長文を読む 事後学修 : 練習問題を行う
11 回	授業内容 : Cupid the Dolphin 3 事前学修 : 長文を読む 事後学修 : 練習問題を行う
12 回	授業内容 : Saving the Pandas 1 事前学修 : 長文を読む 事後学修 : 練習問題を行う
13 回	授業内容 : Saving the Pandas 2 事前学修 : 長文を読む 事後学修 : 練習問題を行う
14 回	授業内容 : Saving the Pandas 3 事前学修 : 長文を読む 事後学修 : 練習問題を行う
15 回	授業内容 : まとめと試験, 解説 事前学修 : 長文を読む 事後学修 : 練習問題を行う

- ◆**教科書** 丸沼『Messages from the Globe』 山科他著 センゲージラーニング 2,484 円（税込）（送料 300 円）
- ◆**参考書** 特になし
- ◆**成績評価基準** 試験

**注意** E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」  
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。



# 講座内容 (シラバス)

※ 2019年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

## 〔フランス語 I・II〕

大庭 克夫

◆**授業概要** 前期はまず、仏語のアルファベと発音の規則 (= 綴り字と発音との関係) をしっかり習得することから始まり、その後基本的な名詞、冠詞の使い分け、提示の仕方、形容詞の変化、3種類の動詞の活用 (= 人称変化) 等を身に付けて、簡単な文章が作れるようにします。

◆**学修到達目標** 単にフランス語の初歩的な知識の習得に留まらず、将来的なフランス語学習のベースとなる、「発音の規則」「綴り字と発音との関係」を徹底して身に付けます。ただし前期 15 回の授業が終わった時点でも、きちんと取り組まれた方であれば、英語にすれば中 1 レベルの内容が、フランス語でも言えて・書いて・聴き取れるようになるはずで。

◆**授業方法** 中学の英語をベースに、基本的な単語、提示の仕方、動詞の人称変化などを学習します。なお授業は<講義形式>ではなく<ゼミ形式>で進めていきます。1 回の授業で最低 4~5 回は当てて答えてもらいます。また当たり前の話ですが、授業は<説明>することしかできません。フランス語修得には授業以外の場での<覚える努力>が必要不可欠です (<覚える努力>を伴わない出席は全く無意味です)。

### ◆ 授業計画 (各 90 分)

1 回	授業内容: フランス語のアルファベ、綴り字と発音との関係 1 (青色プリント配布) 事前学修: 事後学修: まずはフランス語のアルファベを徹底して覚えること。
2 回	授業内容: 綴り字と発音との関係 2: 青色プリント左側を使って具体例と共に説明します。 事前学修: 青色プリントの左側のページに目を通してくること 事後学修: 青色プリント左側の具体例の単語を、その「発音」「綴り」「意味」と共に覚える
3 回	授業内容: 綴り字と発音との関係 3: 母音と母音の特別な組み合わせ (= 「複合母音」) は 5 種類: これを青色プリント右上半分を使って具体例と共に説明します。 事前学修: 青色プリントの右側のページ上段 (「複合母音」の部分) に目を通してくること 事後学修: 5 種類の「複合母音」をその具体例と共に徹底して覚えること。
4 回	授業内容: 綴り字と発音との関係 4: 母音と <n> の特別な組み合わせ (= 「鼻母音」) は 2 種類: これを青色プリント右下半分を使って具体例と共に説明します。 事前学修: 青色プリントの右側のページ下段 (「鼻母音」の部分) に目を通してくること 事後学修: 2 種類の「鼻母音」をその具体例と共に徹底して覚えること。
5 回	授業内容: B4判 10P のプリントと CD を配布: そのプリントの 1P~2P 目を説明します 事前学修: 事後学修: 授業で具体例として挙げた名詞の「発音」「綴り」「意味」「性別」を覚えること。
6 回	授業内容: プリント 3P 目: 3 種類の「冠詞」の使い分けをその具体例と共に説明します。 事前学修: プリント 3P 目 (「不定冠詞」「部分冠詞」「定冠詞」) に目を通してくること。 事後学修: プリント 3P 目に具体例として挙げた名詞を、「冠詞」と共に覚えること。
7 回	授業内容: プリント 4P 目: 「数詞」(1~10) と、「前置形容詞」「後置形容詞」の区別をその具体例と共に説明。また次週の「中間試験」のための演習を行います。 事前学修: プリント 4P 目 (「数詞」「前置形容詞」と「後置形容詞」) に目を通してくること。 事後学修: プリント 4P 目に具体例として挙げた単語・表現をしっかり身に付けること。
8 回	授業内容: 前期中間試験 事前学修: 前期中間試験に向け、基本的な「名詞」「形容詞」などをしっかり身に付ける 事後学修: 試験後「解答」を配布するので、間違えた箇所を各自チェックしておくこと。
9 回	授業内容: 中間試験返却/解説。プリント 5P 目: 「指示形容詞」と「所有形容詞」、3 種類の「提示の仕方」を、配布した CD を使いながら説明します。 事前学修: プリント 5P 目 (「指示形容詞」、3 種類の「提示の仕方」) に目を通してくること。 事後学修: プリント 5P 目の内容を、その具体的な用例・例文と共に覚えること。
10 回	授業内容: プリント 6P 目: 「動詞」< être > (= be 動詞) の活用と用例を説明します。 事前学修: 付属の CD を聞きながら、プリント 6P 目の < être > の活用に目を通すこと 事後学修: 動詞 < être > の活用 (「肯定形」と「否定形」) と用例を徹底して覚えること。
11 回	授業内容: プリント 7P 目: 「動詞」< avoir > (= have) の活用と用例を説明します。 事前学修: 付属の CD を聞きながら、プリント 7P 目の < avoir > の活用に目を通すこと 事後学修: 動詞 < avoir > の活用 (「肯定形」と「否定形」) と用例を徹底して覚えること。
12 回	授業内容: プリント 7P~8P 目: 「第 1 群規則動詞」の活用と用例を説明します。 事前学修: 付属の CD を聞きながら、「第 1 群規則動詞」の活用と用例に目を通すこと 事後学修: 「第 1 群規則動詞」の活用と用例をしっかり覚えること。
13 回	授業内容: プリント 9P~10P 目: 「基本的な前置詞の整理」とヒヤリング演習 14 題。 事前学修: 10P 目の<ヒヤリング演習>用の 14 題を、自宅で取り組んでくること。 事後学修: プリント 9P~10P 目の内容をしっかり身に付けること。
14 回	授業内容: 前期期末試験 事前学修: 前期期末試験に向け、3 種類の動詞の活用・用例などをしっかり覚えること 事後学修: 試験後「解答」を配布するので、間違えた箇所を各自チェックしておくこと。
15 回	授業内容: 期末試験返却/解説。成績の開示。後期の学習内容を簡単に概括します。 事前学修: 事後学修: 期末試験で間違えた箇所・できなかった箇所を徹底してフォローすること。

◆**教科書** **〔当日資料配布〕** 初回に、フランス語の綴り字と発音との関係を分かりやすくまとめた B4 版青色プリントを配布: 初学者にとっては大切なフランス語学習の原点です。

**〔当日資料配布〕** 5 回目授業時に、前期の学習内容をまとめた B4 判 10P のプリント (CD 付き) を配布: 市販の教科書よりずっとよくできているという自負はあります。

◆**参考書** **〔通材〕** 『フランス語 I E10100』 通信教育教材 (教材コード 000372) 2,950 円 (送料込)  
<この教材は市販の「新・ゼフィール」E.E.F.L.E.U.K. (早美出版社) と同一です。>  
スクーリングの授業レベルを超えて <仏検 3 級> 以上を目指そうとする人には文法面でお薦めです。

**〔通材〕** 『フランス語 II E10200』 通信教育教材 (教材コード 000373) 2,850 円 (送料込)  
<この教材は市販の「フランス語基本 500 語」(財) フランス語教育振興協会と同一です。>  
同じく <仏検 3 級> 以上を目指そうとする人には、単語面で非常に有用な参考書です。

◆**成績評価基準** 試験は中間と期末の 2 回行い、成績はこの試験の結果で判定します。なお試験は全問<和文仏訳>と<ヒヤリング形式> (= 原文を書き取ったのち和訳) で出題します。安直な和訳・穴埋め・択一等は一切出題しません。

### 注意

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例: 「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」  
※ 授業相談 (連絡先) に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

# 講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

## 〔東洋思想史Ⅰ〕 オープン受講：不可

本間 直人

- ◆**授業概要** 中国古代の哲学思想について概観します。授業で取り上げる書物は、中国古代の哲学思想において、極めて重要な思想を展開しています。また、それぞれの哲学思想相互の内容的なつながりに留意しつつ、それぞれの哲学思想の特質を理解できることを心掛けます。
- ◆**学修到達目標** 中国古代の哲学思想を概観しながら、孔子、孟子、墨子の思想を中心に理解を深めます。中国古代の哲学者・思想家たちの言葉は国を超え、時代を超え、現代を生きる我々に、生きる上でのヒントを与えてくれることでしょうか。さらに、研究の意義、必要性などについても学びます。（前期のみの受講、後期のみの受講も可能だが、学修効果を上げるため、前期・後期の連続受講が望ましい）
- ◆**授業方法** 中国古代の哲学者・思想家たち、それぞれの哲学思想の特質をつかむことに留意しながら、発表形式で授業を行います。また、レポートのまとめ方についても指導します。授業は漢文の講読を含みますが、漢文に慣れ親しんでいない場合をも考慮し、無理のないように進めていきます。したがって、東洋思想に興味を持ちながら、漢文に対する抵抗感から、今まで本格的な学習を思いとどまっていた方の受講も歓迎します。
- ◆**履修条件** 2018 年度昼間・土曜スクーリング（前期）「東洋思想史Ⅰ」との積み重ね不可。
- ◆**授業計画〔各 90 分〕**

1 回	授業内容：ガイダンス（研究の意義、必要性）、東洋史思想史とは何か 事前学修：テキストの「はじめに」の部分をよく読んでおくこと。 事後学修：テキストを再読し、配布された資料とノートをよく見直しておくこと。
2 回	授業内容：孔子の思想について（人物・生涯） 事前学修：テキストの該当箇所をよく読んでおくこと。 事後学修：テキストを再読し、配布された資料とノートをよく見直しておくこと。
3 回	授業内容：孔子の思想について（『論語』） 事前学修：テキストの該当箇所をよく読んでおくこと。 事後学修：テキストを再読し、配布された資料とノートをよく見直しておくこと。
4 回	授業内容：孔子の思想について（宗教観、殷周革命） 事前学修：テキストの該当箇所をよく読んでおくこと。 事後学修：テキストを再読し、配布された資料とノートをよく見直しておくこと。
5 回	授業内容：孔子の思想について（宗教観、『論語』） 事前学修：テキストの該当箇所をよく読んでおくこと。 事後学修：テキストを再読し、配布された資料とノートをよく見直しておくこと。
6 回	授業内容：孔子の思想について（儒教） 事前学修：テキストの該当箇所をよく読んでおくこと。 事後学修：テキストを再読し、配布された資料とノートをよく見直しておくこと。
7 回	授業内容：孔子の思想について（『詩経』） 事前学修：テキストの該当箇所をよく読んでおくこと。 事後学修：テキストを再読し、配布された資料とノートをよく見直しておくこと。
8 回	授業内容：孔子の思想について（運命観） 事前学修：テキストの該当箇所をよく読んでおくこと。 事後学修：テキスト、プリント、ノートなどで、孔子の思想についてまとめておくこと。
9 回	授業内容：孟子の思想について（人物・生涯） 事前学修：テキストの該当箇所をよく読んでおくこと。 事後学修：テキストを再読し、配布された資料とノートをよく見直しておくこと。
10 回	授業内容：孟子の思想について（人性論） 事前学修：テキストの該当箇所をよく読んでおくこと。 事後学修：テキストを再読し、配布された資料とノートをよく見直しておくこと。
11 回	授業内容：孟子の思想について（運命論） 事前学修：テキストの該当箇所をよく読んでおくこと。 事後学修：テキスト、ノート、プリントなどで、孟子の思想についてまとめておくこと。
12 回	授業内容：墨子の思想について（人物・年代） 事前学修：テキストの該当箇所をよく読んでおくこと。 事後学修：テキストを再読し、配布された資料とノートをよく見直しておくこと。
13 回	授業内容：墨子の思想について（非命説） 事前学修：テキストの該当箇所をよく読んでおくこと。 事後学修：テキストを再読し、配布された資料とノートをよく見直しておくこと。
14 回	授業内容：墨子の思想について（〈天〉と〈命〉） 事前学修：テキストの該当箇所をよく読んでおくこと。 事後学修：テキスト、ノート、プリントなどで、墨子の思想についてまとめておくこと。
15 回	授業内容：試験及び解説 事前学修：これまでにまとめた、孔子の思想、孟子の思想、墨子の思想について再確認すること。 事後学修：改めて、東洋思想史を学ぶ意義について考えてみる。

- ◆**教科書** 教材『東洋思想史Ⅰ P20300』 通信教育教材（教材コード 000392）2,250 円（送料込）  
〔当日資料配布〕 当日プリント配布 漢和辞典を用意してください。
- ◆**参考書** 指定しない。
- ◆**成績評価基準** 授業への取り組み（発表など）・レポート・テストにより総合的に評価します。

**注意** E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」  
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

# 講座内容 (シラバス)

※ 2019年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

## (経営学)

山田 敏之

◆**授業概要** 我々は企業が提供する製品やサービスを利用することで日々の暮らしを豊かなものとしています。企業は我々の生活と密接に結びつき必要不可欠な存在なのです。そこで、本講義では、経営学の全体像と基礎的な考え方・方法論の解明に焦点を当てます。前期は経営学の学問的特徴、企業の基本的目的や仕組み、本質的活動、経営学の発展を踏まえた上で、モチベーション、リーダーシップ、チーム・マネジメント等のテーマを取り上げます。

◆**学修到達目標** 1. 新聞、雑誌、ニュース等で扱われる現実の企業行動を経営学の多角的な視点から分析し、自分の言葉で説明しながら、討議できる。  
2. 企業活動の本質を理解した上で、現代企業が直面する諸課題について分析し、自分の言葉で説明しながら、討議できる。  
3. モチベーション、リーダーシップ、チーム・マネジメント等の理論や手法を用いて、個人の創造性発揮、チーム業績への貢献等の問題を分析し、自分の言葉で説明しながら、討議できる。

◆**授業方法** 概ね指定したテキストに従い、黒板での板書を基本とした講義形式の授業を行います。具体的な企業経営のケース(事例)やグラフ等の関連資料については配布資料、パワーポイントを使用します。理論の説明とケース(事例)を組み合わせることで、より実践性の高い内容にしていきたいと思っております。なお、講義の終了前に、その日の講義の内容あるいは企業経営に関する時事的な問題に関する小テストを毎回実施します。

### ◆授業計画 (各 90 分)

1回	授業内容 事前学修 事後学修	イントロダクション：授業の進め方、評価、経営学とは何か？まずは、本授業の進め方や評価方法等について説明する。次に、経営学とはどのような学問なのか、何を知ることができるとは、等について解説する。 テキスト 13～17 頁の「企業を対象とする学」をよく読んでおくこと。 授業内容をノートにまとめ、テキストの該当部分を復習し、授業内容を理解しておくこと。
2回	授業内容 事前学修 事後学修	企業の誕生と形態(タイプ) 企業の誕生を歴史的に振り返ると同時に、様々な企業形態の特徴について説明する。 テキスト 20～28 頁を読み「組織としての企業」の性質を把握しておくこと。 配布資料によって、企業の様々な形態と特質を理解しておくこと。
3回	授業内容 事前学修 事後学修	企業の本質的活動と社会的責任 企業の本質的・本質的活動としてイノベーションの活動を説明し、その基盤となる企業の本質的・社会的責任の本質について解説する。 前回配布資料により、多様なステークホルダーについて理解しておくこと。 配布資料の内容をノートにまとめると共に、企業の本質的活動に関する具体的な事例を調べておくこと。
4回	授業内容 事前学修 事後学修	現代企業を取り巻く環境 現代企業を取り巻くマクロ環境について、経済的要因、社会的要因、政治・法的要因、技術的要因の4つの観点から説明する。 企業を取り巻くマクロ環境について、具体的な事例を探しておくこと。 授業の内容をノートに整理し、企業を取り巻く4つのマクロ環境の現代的な特徴について確認しておくこと。
5回	授業内容 事前学修 事後学修	企業の仕組みと運営機関：コーポレート・ガバナンス 株式会社の仕組みと運営のための機関(株主総会、取締役会、監査役会等)について解説し、コーポレート・ガバナンスのあり方を議論する。 前回の授業のノートを確認し、配布資料に目を通しておくこと。 授業の内容をノートに整理し、株式会社の仕組みや運営機関について理解すると同時に、最近のコーポレート・ガバナンスにおける実際の企業の事例を探し問題点を説明できるようにしておくこと。
6回	授業内容 事前学修 事後学修	経営者の仕事と役割 経営トップに固有な仕事とは何か、という点を踏まえた上で、伝統的な経営トップの役割と現代的な経営トップの役割の違いについて解説する。 前回の授業のノートを確認し、配布資料に目を通しておくこと。 授業の内容をノートに整理し、経営トップにしかできない仕事とは何か、伝統的な経営トップと現代的な経営トップの役割の違いを説明できるようにしておくこと。
7回	授業内容 事前学修 事後学修	経営学理論の歴史の変遷 経営学理論の発展について、テイラーの科学的管理法、ホーソン実験、人間関係論、バーナード・サイモンの近代的組織理論を中心に概説する。 前回の授業のノートを確認し、配布資料に目を通しておくこと。 授業の内容をノートに整理し、経営学の古典的な理論の流れと視点の移行について理解しておくこと。さらに、現代企業の経営において実際に使える部分とそうでない部分を議論できるようにしておくこと。
8回	授業内容 事前学修 事後学修	モチベーションの基礎的概念とコンテンツ理論 モチベーションの定義、構成要素、研究の発展を踏まえ、コンテンツ理論として、欲求階層説、X-Y 論、二要因理論等について解説する。 前回の授業のノートを確認し、テキスト 49～58 頁をよく読んでおくこと。 授業の内容をノートに整理し、モチベーションの基礎的な概念を理解すると同時にモチベーションのコンテンツ理論の代表的理論について説明できるようにしておくこと。
9回	授業内容 事前学修 事後学修	モチベーションのプロセス理論 モチベーションのプロセス理論の代表的な理論として、目標管理制度、期待理論を取り上げ、内容、問題点について解説する。 前回の授業のノートを確認し、テキスト 59～60 頁をよく読むと共に、配布資料に目を通しておくこと。 授業の内容をノートに整理し、目標管理制度と期待理論の概要、問題点等について理解しておくこと。
10回	授業内容 事前学修 事後学修	集団活動の基礎概念 集団(チーム)の定義、タイプ、集団への参加の理由、集団におけるコミュニケーション等、集団活動のマネジメントの基礎的な概念について解説する。 テキスト 60～63 頁及び 68～73 頁をよく読んでおくこと。 授業の内容をノートに整理し、集団における活動でパフォーマンスを上げるために必要な基礎的項目について理解しておくこと。
11回	授業内容 事前学修 事後学修	集団の意思決定とダイナミクス 集団の意思決定の特性を個人の意思決定との対比で説明すると共に、集団のダイナミクスとして、集団凝集性、同調圧力、集団浅慮を取り上げ解説する。 前回の授業のノートを確認し、テキスト 64～68 頁をよく読んでおくことと共に、配布資料にも目を通しておくこと。 授業の内容をノートに整理し、集団の意思決定の特徴、集団のダイナミクスの代表的な例として集団凝集性、同調圧力、集団浅慮とはどのような現象か、具体的な事例を基に説明できるようにしておくこと。
12回	授業内容 事前学修 事後学修	リーダーシップの基礎的概念と資質理論 リーダーシップの定義、リーダーシップの機能、リーダーシップの役割の変化、リーダーシップ研究の変遷等の基礎的な概念の説明を踏まえ、リーダーシップの資質理論の概要と問題点について解説する。 テキスト 74～75 頁をよく読んでおくことと共に、配布資料にも目を通しておくこと。 授業の内容をノートに整理し、リーダーシップの基礎的な概念及びリーダーシップの資質理論に関する概要と問題点を説明できるようにしておくこと。
13回	授業内容 事前学修 事後学修	リーダーシップの行動理論 リーダーシップの行動理論の代表的な理論として、アイオワ研究、ミシガン研究、オハイオ研究を取り上げ、研究目的、結果、特徴、問題点等について解説する。 前回の授業のノートを確認し、テキスト 75～76 頁をよく読んでおくことと共に、配布資料にも目を通しておくこと。 授業の内容をノートに整理し、リーダーシップの行動理論としてアイオワ研究、ミシガン研究、オハイオ研究の概要、問題点等を説明できるようにしておくこと。
14回	授業内容 事前学修 事後学修	リーダーシップのコンティンジェンシー理論 リーダーシップのコンティンジェンシー理論の代表的な理論として、フィードラー理論、SL 理論、パス・ゴール理論を取り上げ、研究目的、結果、特徴、問題点等について解説する。 前回の授業のノートを確認し、テキスト 76～79 頁をよく読んでおくことと共に、配布資料にも目を通しておくこと。 授業の内容をノートに整理し、コンティンジェンシー理論としてフィードラー理論、SL 理論、パス・ゴール理論の概要、問題点等を説明できるようにしておくこと。
15回	授業内容 事前学修 事後学修	試験及び解説 授業のノート、配布資料を復習し、これまでの学習内容を理解しておくこと。 授業の内容を再度確認・理解し、自己の学習成果を点検すること。

◆**教科書** 丸沼『経営学入門 [上] (第2版)』 榊原清則 日本経済新聞出版社 928 円(税込) (送料 215 円)

◆**参考書** 『経営学イノベーション1 経営学入門 第2版』 十川廣國 中央経済社  
『経営学イノベーション3 経営組織論 第2版』 十川廣國編著 中央経済社  
『経営学イノベーション2 経営戦略論 第2版』 十川廣國編著 中央経済社  
(上記の本は品切れのため、図書館等を利用してください。)

◆**成績評価基準** 平常点(毎回の小テスト)(20%)、試験(80%)。毎回出席することを前提として評価します。

### 注意

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例:「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」  
※授業相談(連絡先)に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

# 講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

## 〔経済学〕

谷川 孝美

◆**授業概要** 私たちの日常生活は、景気、雇用、失業、租税、株価など、さまざまな経済に関するニュースであふれています。この講義では、経済学概論などの経済学関連の科目の入門および基礎として、市場の動きを中心に、消費者（家計）、企業の行動に関する経済分析について、基本的な事柄や内容および基礎理論を理解し、現代の社会問題について、経済を通して考える基礎を養うことを目的とします。

◆**学修到達目標** 経済学関連の基礎および入門として、ミクロ経済学に関する基本的な事柄や基礎理論に関連する以下のことを目標とする。

1. 経済学の基本的な見方、考え方を理解し、説明できるようになる。
2. 需要、供給および市場の動きを理解し、説明できるようになる。
3. 企業や消費者の行動について経済的な見方の基礎を理解し、説明できるようになる。
4. 情報の非対称性などの不完全市場に対する基本的な考えを理解し、説明できるようになる。

◆**授業方法** 授業計画にそって、パワーポイントを利用した講義形式で行います。講義では基礎的な事柄を中心に、平易な解説をする予定です。講義の進行状況によって授業計画が前後することもあります。なお、ミクロ経済学を中心としますので、マクロ経済学の詳細については取り扱いません。

◆**履修条件** 前期のみの受講、後期のみの受講も可能だが、学修効果を上げるため、前期・後期の連続受講が望ましい。

### ◆**授業計画〔各 90 分〕**

	<b>授業内容</b> 授業の進め方・オリエンテーション・経済学の対象と課題
1 回	事前学修 教科書と指定しているテキスト第 1 章第 1 節をよく読んでおくこと。 事後学修 授業内で用いられた専門用語や説明を確認し、理解すること。
	<b>授業内容</b> 経済学の主要な概念 トレードオフ、インセンティブ、交換
2 回	事前学修 テキスト第 1 章第 1 節をよく読んでおくこと。 事後学修 配付資料やテキスト、参考書をもとに、専門用語や説明を確認すること。
	<b>授業内容</b> ミクロ経済学とマクロ経済学
3 回	事前学修 テキスト第 1 章第 2、3 節をよく読んでおくこと。 事後学修 配付資料やテキスト、参考書をもとに、専門用語や説明を確認すること。
	<b>授業内容</b> 経済学的な考え方、情報、機会集合、費用
4 回	事前学修 テキスト第 2 章をよく読んでおくこと。 事後学修 配付資料やテキスト、参考書をもとに、専門用語や説明を確認すること。
	<b>授業内容</b> 需要と需要曲線
5 回	事前学修 テキスト第 3 章をよく読んでおくこと。 事後学修 配付資料やテキスト、参考書をもとに、専門用語や説明を確認すること。
	<b>授業内容</b> 供給と供給曲線
6 回	事前学修 テキスト第 3 章をよく読んでおくこと。また、前回の講義を再確認すること。 事後学修 配付資料やテキスト、参考書をもとに、専門用語や説明を確認すること。
	<b>授業内容</b> 需要と供給の法則、価格、費用、価格弾力性
7 回	事前学修 テキスト第 4 章をよく読んでおくこと。また、第 4、5 回の講義を再確認すること。 事後学修 配付資料やテキスト、参考書をもとに、専門用語や説明を確認すること。また、講義時で紹介する問題を解くこと。
	<b>授業内容</b> 市場と効率性、消費者余剰と生産者余剰
8 回	事前学修 テキスト第 5 章をよく読んでおくこと。 事後学修 配付資料やテキスト、参考書をもとに、専門用語や説明を確認すること。
	<b>授業内容</b> パレート効率性、一般均衡分析
9 回	事前学修 テキスト第 5 章をよく読んでおくこと。また、前回の講義を再確認すること。 事後学修 配付資料やテキスト、参考書をもとに、専門用語や説明を確認すること。
	<b>授業内容</b> 不完全市場と不完全情報
10 回	事前学修 テキスト第 6 章をよく読んでおくこと。 事後学修 配付資料やテキスト、参考書をもとに、専門用語や説明を確認すること。
	<b>授業内容</b> 不完全市場と外部性、公共財
11 回	事前学修 テキスト第 6 章をよく読んでおくこと。また、前回の講義を再確認すること。 事後学修 配付資料やテキスト、参考書をもとに、専門用語や説明を確認すること。
	<b>授業内容</b> 公共部門 政府が経済に入る理由
12 回	事前学修 テキスト第 7 章をよく読んでおくこと。 事後学修 配付資料やテキスト、参考書をもとに、専門用語や説明を確認すること。
	<b>授業内容</b> 政府の失敗
13 回	事前学修 テキスト第 7 章をよく読んでおくこと。また、前回の講義を再確認すること。 事後学修 配付資料やテキスト、参考書をもとに、専門用語や説明を確認すること。
	<b>授業内容</b> 理解度の確認
14 回	事前学修 予め配布された資料を熟読し、内容を確認しておくこと。 事後学修 配付資料やテキスト、参考書などで、講義内容をよく確認し理解すること。
	<b>授業内容</b> 試験および解説
15 回	事前学修 前回の講義時に説明した内容を良く確認し理解しておくこと。 事後学修 前期の授業内容を再確認し、理解を深めること。

◆**教科書** 〔**既刊**〕『スティグリッツ入門経済学第 4 版』 ジョセフ・E・スティグリッツ、カール・E・ウォルシュ著 数下史郎訳 東洋経済新報社 3,024 円（税込）（送料 500 円）

〔**当日資料配布**〕

◆**参考書** 〔**新材**〕『経済学 B11800』 通信教育教材（教材コード 000450）2,250 円（送料込）

◆**成績評価基準** 毎回出席することを前提として、最終試験を中心に授業への取り組み、平常点などにより総合的に評価します。

### 注意

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」  
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

# 講座内容 (シラバス)

※ 2019年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

## 〔TOEIC B〕

大庭 香江

◆**授業概要** TOEIC テストの 350 点レベルを対象とした授業。リスニングセクションとリーディングセクション、それぞれの練習問題を解き、答え合わせの後、解説を行なう。

◆**学修到達目標** TOEIC テストの、リスニングセクション Part 1, Part 2, Part 3, Part 4, リーディングセクション Part 5, Part 6, Part 7, それぞれの問題の出題傾向と対策を分析して、理解し、350 点レベルの問題を解けるようになることを目標とする。

◆**授業方法** 各自、事前に、リスニングセクションは CD を聞き、リーディングセクションは辞書で意味調べをして問題を解き、予習しておくこと。授業時には、まず答え合わせを行ない、CD でリスニングセクションの音声を確認した後、解説を行う。

### ◆授業計画〔各 90 分〕

1 回	授業内容：Unit 1 事前学修：練習問題を解く 事後学修：問題の復習
2 回	授業内容：Unit 2 事前学修：練習問題を解く 事後学修：問題の復習
3 回	授業内容：Unit 3 事前学修：練習問題を解く 事後学修：問題の復習
4 回	授業内容：Unit 4 事前学修：練習問題を解く 事後学修：問題の復習
5 回	授業内容：Unit 5 事前学修：練習問題を解く 事後学修：問題の復習
6 回	授業内容：Unit 6 事前学修：練習問題を解く 事後学修：問題の復習
7 回	授業内容：Unit 7 事前学修：練習問題を解く 事後学修：問題の復習
8 回	授業内容：Unit 8 事前学修：練習問題を解く 事後学修：問題の復習
9 回	授業内容：Unit 9 事前学修：練習問題を解く 事後学修：問題の復習
10 回	授業内容：Unit 10 事前学修：練習問題を解く 事後学修：問題の復習
11 回	授業内容：Unit 11 事前学修：練習問題を解く 事後学修：問題の復習
12 回	授業内容：Unit 12 事前学修：練習問題を解く 事後学修：問題の復習
13 回	授業内容：Extra Test 1 事前学修：練習問題を解く 事後学修：問題の復習
14 回	授業内容：Extra Test 2 事前学修：練習問題を解く 事後学修：問題の復習
15 回	授業内容：まとめと Test 事前学修：練習問題を解く 事後学修：問題の復習

◆**教科書** 関西『Start-up Course for the TOEIC Test』北山他著 成美堂 2,160 円 (税込) (送料 300 円)

◆**参考書** 特になし

◆**成績評価基準** 試験

**注意** E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」  
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

# 講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

## 〔イギリス文学史Ⅱ〕

猪野 恵也

- ◆**授業概要** 18 世紀からヴィクトリア朝末期までの代表的な作家及び作品を紹介し考察する。時と場所があまりにも違うので作品鑑賞に必要な想像力を育むために映画化されたものを一部観ていく。
- ◆**学修到達目標** 1. 時代における代表的な作家と作品に触れることができる。  
2. 英文の抜粋を少し読むので様々な文体の英語に触れることができる。  
3. 作品の解釈の仕方を知ることができる。
- ◆**授業方法** プリントを用いて（枚数多し）時代背景、各作家の生涯及び代表的な作品に触れ、作品を一つ選び読んでいく。時間が余れば、作家や作品を追加したい。
- ◆**履修条件** 前期のみの受講、後期のみの受講も可能だが、学修効果を上げるため、前期及び後期の連続受講が望ましい。
- ◆**授業計画〔各 90 分〕**

1 回	授業内容: 18 世紀のイギリス文学概観 事前学修: イギリス文学史において 18 世紀イギリス文学史を学修しておく。 事後学修: 授業で紹介した作品を原文で読む。
2 回	授業内容: Wordsworth と Coleridge 事前学修: イギリス文学史においてロマン派詩人について学修しておく。 事後学修: Wordsworth と Coleridge による詩を原文で味読する。
3 回	授業内容: John Keats について 事前学修: Keats は代表的ロマン派詩人なのでよく学修しておく。 事後学修: John Keats の詩を原文で味読する。
4 回	授業内容: Jane Austen 及び <i>Pride and Prejudice</i> 事前学修: イギリス文学史において Jane Austen について学修しておく。 事後学修: <i>Pride and Prejudice</i> を原文で読む。
5 回	授業内容: Charlotte Bronte 及び <i>Jane Eyre</i> 事前学修: イギリス文学史において Charlotte Bronte について学修しておく。 事後学修: <i>Jane Eyre</i> を原文で読む。
6 回	授業内容: Emily Bronte 及び <i>Wuthering Heights</i> 事前学修: イギリス文学史において Emily Bronte について学修しておく。 事後学修: <i>Wuthering Heights</i> を原文で読む。
7 回	授業内容: Charles Dickens 及び <i>Oliver Twist</i> 事前学修: イギリス文学史において Charles Dickens について学修しておく。 事後学修: <i>Oliver Twist</i> を原文で読む。
8 回	授業内容: Thackeray 及び <i>Vanity Fair</i> 事前学修: イギリス文学史において Thackeray について学修しておく。 事後学修: <i>Vanity Fair</i> を原文で読む。
9 回	授業内容: George Eliot 及び <i>Middlemarch</i> 事前学修: イギリス文学史において George Eliot について学修しておく。 事後学修: <i>Middlemarch</i> を原文で読む。
10 回	授業内容: George Meredith 及び <i>The Egoist</i> 事前学修: イギリス文学史において George Meredith について学修しておく。 事後学修: <i>The Egoist</i> の英語は難解だが取り組むだけの価値があるので原文で読む。
11 回	授業内容: Thomas Hardy 及び <i>Tess</i> 事前学修: イギリス文学史において Thomas Hardy について学修しておく。 事後学修: <i>Tess</i> を原文で読む。
12 回	授業内容: Henry James 及び <i>The Portrait of a Lady</i> 事前学修: イギリス文学史において Henry James について学修しておく。 事後学修: <i>The Portrait of a Lady</i> を原文で読む。
13 回	授業内容: Joseph Conrad 及び <i>Heart of Darkness</i> 事前学修: イギリス文学史において Joseph Conrad について学修しておく。 事後学修: <i>Heart of Darkness</i> を原文で読み、Coppola の「地獄の黙示録」を観る。
14 回	授業内容: Oscar Wilde 及び <i>The Picture of Dorian Gray</i> 事前学修: イギリス文学史において Oscar Wilde について学修しておく。 事後学修: <i>The Picture of Dorian Gray</i> を原文で読む。
15 回	授業内容: 試験 事前学修: 前回までの授業内容をじゅうぶん時間をかけて復習する。 事後学修: イギリス文学史を改めて読み、読んでいない作品を原文で読む。

- ◆**教科書** 〔当日資料配布〕プリント
- ◆**参考書** 〔教材〕『イギリス文学史Ⅱ N30100』通信教育教材（教材コード 000112）3,200 円（送料込）  
〔丸沼〕『イギリス文学史』川崎寿彦著 成美堂 2,592 円（税込）（送料 300 円）
- ◆**成績評価基準** 試験（70%）平常点（30%）皆出席を前提として評価する。

**注意** E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」  
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

# 講座内容 (シラバス)

※ 2019年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

## 〔西洋思想史 I〕

関谷 雄磨

- ◆**授業概要** 「西洋思想史 I」では、西洋の学問の原点ともいえる古代ギリシア・ローマの思想、およびそれと密接な関連にある中世の思想を歴史的展開に沿って学びます。彼らが一体どのような問題意識を持ち、どのような答えを見出してきたのかを学んでいきます。なお、それらの思想は西洋文化全般の要となる基礎的な教養となっており、それらを学ぶことによって、価値観が多様化する現代を見つめる視座を獲得する一助となるよう心掛けます。
- ◆**学修到達目標** 「ギリシア神話」や「英雄物語」を通じてギリシア人の思考の文化的背景を学んだ後に、古代ギリシアの思想(古典期まで)を、主に「存在」の問題を軸に歴史的展開に沿って学びます。「自己をとりまく世界は一体どのようなものか」、「世界には一体何が存在するのか」、「存在するとは一体どのようなことなのか」といった問題に対して、彼らがどのような答えを見出してきたのかを体系的に理解することを目標とします。
- ◆**授業方法** 授業は、配布プリントを用いて講義形式で行います。本講座では、いわゆるギリシア古典期までのさまざまな思想家(さらには神々や英雄たち)が登場しますが、理論としての思想だけでなく、彼らのエピソードや人物像をできるだけ紹介し、なるべくリアリティのある授業を行いたいと思います。
- ◆**履修条件** 前期のみ、後期のみを受講も認めますが、学習効果を上げるため、なるべく前期・後期と通して受講してください。また、平成 30 年度前期昼間スクーリング「西洋思想史 I」との積み重ねを不可とします。
- ◆**授業計画〔各 90 分〕**

1 回	授業内容: ガイダンスおよび古代ギリシアについての一般的説明 事前学修: 通信教育教材「西洋思想史 I」 pp.1～6 までを読むこと 事後学修: 配布プリントに基づいて、紀元前 8～6 世紀ごろまでのギリシアの歴史を振り返ること
2 回	授業内容: 古代ギリシア文字の読み方 事前学修: 配布プリントに基づいて、古代ギリシア語のアルファベットとローマンアルファベットの対応を見ておくこと 事後学修: 配布プリントに基づいて、古代ギリシア語の音読を復習しておくこと
3 回	授業内容: 古代ギリシア神話<宇宙生成の物語(ヘシオドス『神統記』)、神々のプロフィール> 事前学修: オリンポス 12 神が、それぞれ何を象徴しどのような性格付けがなされた神々なのかを調べておくこと 事後学修: 配布プリントに基づいて、神々の物語とそこに現れる人間観・世界観を振り返ること
4 回	授業内容: 英雄物語<トロイア戦争の物語(ホメロス『イリアス』など)> 事前学修: トロイア戦争の大まかなストーリーを把握しておくこと 事後学修: 配布プリントに基づいて、英雄たちの物語とそこに現れる人間観・世界観を振り返ること
5 回	授業内容: ミレトス学派<万物の「アルケー」は何か> 事前学修: 哲学史の参考書の「ミレトス学派」の箇所を読むこと 事後学修: 配布プリントに基づいて、ミレトス学派の思想を振り返ること
6 回	授業内容: ピュタゴラスおよびピュタゴラス学団<数と数の比例による世界> 事前学修: 哲学史の参考書の「ピュタゴラスおよびピュタゴラス学団」の箇所を読むこと 事後学修: 配布プリントに基づいて、ピュタゴラスおよびピュタゴラス学団の思想を振り返ること
7 回	授業内容: ヘラクレイトス<「万物は流れる」> 事前学修: 哲学史の参考書の「ヘラクレイトス」の箇所を読むこと 事後学修: 配布プリントに基づいて、ヘラクレイトスの思想を振り返ること
8 回	授業内容: エリア学派<生成消滅・運動はあり得ない> 事前学修: 哲学史の参考書の「エリア学派」の箇所を読むこと 事後学修: 配布プリントに基づいて、エリア学派の思想を振り返ること
9 回	授業内容: 多元論者とデモクリトス<古代原子論へ> 事前学修: 哲学史の参考書の「多元論者とデモクリトス」の箇所を読むこと 事後学修: 配布プリントに基づいて、多元論者とデモクリトスの思想を振り返ること
10 回	授業内容: ソフィストたち<「〇〇であると思われる」と「〇〇である」> 事前学修: 哲学史の参考書の「ソフィスト」の箇所を読むこと 事後学修: 配布プリントに基づいて、ソフィストの思想を振り返ること
11 回	授業内容: ソクラテス<無知の自覚と主知主義> 事前学修: 哲学史の参考書の「ソクラテス」の箇所を読むこと 事後学修: 配布プリントに基づいて、ソクラテスの思想を振り返ること
12 回	授業内容: プラトン<永遠に変わらず、なくならない世界> 事前学修: 哲学史の参考書の「プラトン」の箇所を読むこと 事後学修: 配布プリントに基づいて、プラトンの思想を振り返ること
13 回	授業内容: アリストテレス<四原因説と目的論的世界観> 事前学修: 哲学史の参考書の「アリストテレス」の箇所を読むこと 事後学修: 配布プリントに基づいて、アリストテレスの思想を振り返ること
14 回	授業内容: 総まとめ(質問コーナー) 事前学修: 全回を振り返り、疑問点を整理しておくこと 事後学修: 話題になったことがらを振り返り、理解を深めておくこと
15 回	授業内容: 試験と振り返り 事前学修: 試験範囲についての理解を深めておくこと 事後学修: 試験範囲以外の部分についての理解を深めておくこと

- ◆**教科書** [当日資料配布] 授業の概要プリント
- ◆**参考書** **【教材】**『哲学 B10700』通信教育教材(教材コード 000404) 3,650 円(送料込)  
<この教材は市販の『西洋思想の要諦周覧』嘉吉・齋藤共編(北樹出版)と同一です。>  
**【教材】**『西洋思想史 I P20200』通信教育教材(教材コード 000569) 4,050 円(送料込)  
<この教材は市販の『西洋哲学史 [古代・中世編] フィロソフィアの源流と伝統』と同一です。>  
(例えば上記のような哲学史の参考書が一冊手元にあるとよいでしょう。)
- ◆**成績評価基準** 最終回に実施する試験によって評価します。

### 注意

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例:「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」  
※ 授業相談(連絡先)に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

# 講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

## 〔日本史概説 / 日本史概論〕

鍋本 由徳

◆**授業概要** 本科目では、①「日本史」とは何か、②原始・古代～現代までの歴史の変遷、③「歴史事実」の多様性への理解などを、世界のなかでの日本を意識しながら学び、「日本史」全体を考える技術と態度の修得をめざします。政治や経済の内容を中心に据えながら、社会や文化の背景への理解を深めます。

◆**学修到達目標** 1. 日本史を知るため、全時代を通じた時代の流れを説明できるようにする。  
2. 各時代の主なできごとの背景や意義、着眼点について説明できるようにする。  
3. 将来教壇に立つ者として必要な知識と学修姿勢を身につける。

◆**授業方法** 事前に教科書で時代概要を把握していることを前提に講義します。当日の授業はプリント・スクリーン投影資料を併用しながら教科書の内容を補足し、適宜思考を促す発議をします。

◆**履修条件** 2018 年度昼間前期「日本史概説」修得済の学生は受講不可  
2019 年度春夜「日本史概説」受講生の受講不可

### ◆授業計画〔各 90 分〕

1 回	授業内容 日本史概説の特性と学びの意味 「日本史概説」の目的と意義、戦後の「日本史学修」を概観します。 事前学修 シラバスを熟読し、講義全体の流れをおさえておく。 事後学修 各回の意図を振り返り、今後の自身の学修目標を立てる。
2 回	授業内容 先史時代の特徴 旧石器時代からおおよそ弥生時代までの時代的特徴を学びます。 事前学修 教科書の先史時代の範囲を読み、事前シートに取り組み。 事後学修 ノートと教科書を見返し、自己理解が低い箇所を重点的に復習する
3 回	授業内容 ヤマト王権 ～倭王武から推古朝～ 古墳時代から推古朝までの特質について学びます。 事前学修 教科書の古墳～飛鳥時代の範囲を読み、事前シートに取り組み。 事後学修 ノートと教科書を見返し、自己理解が低い箇所を重点的に復習する
4 回	授業内容 奈良時代の政治 ～政争～ 主に政争と遷都の問題について学びます。 事前学修 教科書の奈良時代政治史の範囲を読み、事前シートに取り組み。 事後学修 ノートと教科書を見返し、自己理解が低い箇所を重点的に復習する
5 回	授業内容 平安時代の政治 ～遷都と聖俗～ 主に平安京遷都、摂関政治と天皇との関わりについて学びます。 事前学修 教科書の平安時代政治史を読み、事前シートに取り組み。 事後学修 ノートと教科書を見返し、自己理解が低い箇所を重点的に復習する
6 回	授業内容 鎌倉幕府の成立 ～東国王権と西国王権～ 鎌倉幕府の誕生と、朝廷勢力との関係について学びます。 事前学修 教科書の鎌倉時代政治史の範囲を読み、事前シートに取り組み。 事後学修 ノートと教科書を見返し、自己理解が低い箇所を重点的に復習する
7 回	授業内容 室町幕府の特徴 ～建武新政から観応の擾乱～ 建武新政から観応の擾乱、幕府政治体制の特徴について学びます。 事前学修 教科書の室町時代政治史の範囲を読み、事前シートに取り組み。 事後学修 ノートと教科書を見返し、自己理解が低い箇所を重点的に復習する
8 回	授業内容 戦国時代の様相 ～統一政権への布石～ 戦国時代から織田政権までの政治的特徴について学びます。 事前学修 教科書の戦国・織田政権の範囲を読み、事前シートに取り組み。 事後学修 ノートと教科書を見返し、自己理解が低い箇所を重点的に復習する
9 回	授業内容 天下統一と徳川政権 ～朝廷との関係～ 豊臣政権から徳川政権における朝廷の位置付けについて学びます。 事前学修 教科書の近世朝廷に関わる範囲を読み、事前シートに取り組み。 事後学修 ノートと教科書を見返し、自己理解が低い箇所を重点的に復習する
10 回	授業内容 明治新政府の施政方針 ～江戸幕府の遺制～ 幕末・維新时期における政治動向の特徴について学びます。 事前学修 教科書の幕末維新期の範囲を読み、事前シートに取り組み。 事後学修 ノートと教科書を見返し、自己理解が低い箇所を重点的に復習する
11 回	授業内容 条約改正問題と帝国議会 ～成果と課題～ 条約改正の流れから、日本の外交方針について学びます。 事前学修 教科書の幕末開国と条約改正の範囲を読み、事前シートに取り組み。 事後学修 ノートと教科書を見返し、自己理解が低い箇所を重点的に復習する
12 回	授業内容 大正デモクラシー ～政変と普選～ 普通選挙運動をめぐる政界の動向と運動の意義を学びます。 事前学修 教科書の大正政変に関わる範囲を読み、事前シートに取り組み。 事後学修 ノートと教科書を見返し、自己理解が低い箇所を重点的に復習する
13 回	授業内容 太平洋戦争と国際関係 ～日本の対米英意識～ 日露戦争頃から太平洋戦争までの日米関係の特徴を学びます。 事前学修 教科書の昭和外交と太平洋戦争の範囲を読み、事前シートに取り組み。 事後学修 ノートと教科書を見返し、自己理解が低い箇所を重点的に復習する
14 回	授業内容 戦後日本の歩み ～戦後改革と歴史学～ 戦後の歩み、戦後歴史学と冷戦との関わりについて学びます。 事前学修 教科書の戦後改革の範囲を読み、事前シートの課題に取り組み。 事後学修 ノートと教科書を見返し、自己理解が低い箇所を重点的に復習する
15 回	授業内容 講義総括 日本史概説の振り返りと今後の課題 第 1 回から第 14 回を総括して、自己理解度を改めて振り返ります。 事前学修 第 1 回から第 14 回の学修内容の要点をまとめておく。 事後学修 当日配付されたプリントから自身の弱点を知り、重点復習箇所を確認する。

◆**教科書** 通称『日本史概説 / 日本史概論 Q30200/K32200』通信教育教材（教材コード 000382）2,850 円（送料込）  
〈この教材は市販の『概論 日本歴史』佐々木潤之介（吉川弘文館）と同一です。〉  
〔当日資料配布〕参照プリントを 1～2 枚配付

◆**参考書** 配布プリントで適宜紹介する

◆**成績評価基準** 授業内提出レポート（70%）、授業内小テスト（30%）の総合評価 ※ 15 回全出席を前提とした評価です。

**注意** E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」  
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。



# 講座内容 (シラバス)

※ 2019年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

## 〔英語L〕★★☆

石川 勝

- ◆**授業概要** 初級レベルだが、あくまで大学レベルである。基本的な文法の説明を行ったうえで、英文を読んでいく。テキストはヨーロッパの文化について書かれたものである。
- ◆**学修到達目標** 基本的な英文法を理解した上でそれを活用し比較的容易な英文を正確に訳せるようになることを目標とする。
- ◆**授業方法** 先に文法の説明を行い、その後でテキストを読み進めていく。アトランダムに指名するので必ず予習した上で出席すること。2回予習していない場合は不可とする。
- ◆**授業計画〔各 90 分〕**

1 回	授業内容：五文型 事前学修：テキストの購入 事後学修：授業内容の整理
2 回	授業内容：五文型とテキストの訳 事前学修：テキストの予習 事後学修：訳の修正
3 回	授業内容：不定詞とテキストの訳 事前学修：テキストの予習 事後学修：訳の修正
4 回	授業内容：関係代名詞とテキストの訳 事前学修：テキストの予習 事後学修：訳の修正
5 回	授業内容：that 節とテキストの訳 事前学修：テキストの予習 事後学修：訳の修正
6 回	授業内容：Ing とテキストの訳 事前学修：テキストの予習 事後学修：訳の修正
7 回	授業内容：テキストの訳、小テスト 事前学修：試験勉強 事後学修：課題の復習
8 回	授業内容：仮定法とテキストの訳 事前学修：テキストの予習 事後学修：訳の修正
9 回	授業内容：過去分詞とテキストの訳 事前学修：テキストの予習 事後学修：訳の修正
10 回	授業内容：発音記号とテキストの訳 事前学修：テキストの予習 事後学修：訳の修正
11 回	授業内容：五文型の復習とテキストの訳 事前学修：テキストの予習 事後学修：訳の修正
12 回	授業内容：五文型の復習とテキストの訳 事前学修：テキストの予習 事後学修：訳の修正
13 回	授業内容：文法のおさらい 事前学修：テキストの予習 事後学修：訳の修正
14 回	授業内容：テキストの訳、小テスト 事前学修：試験勉強 事後学修：課題の復習
15 回	授業内容：課題の克服 事前学修：自分で課題を見つける 事後学修：課題の復習

- ◆**教科書** 丸沼『ヨーロッパの国と人々』金星堂 2,052 円 (税込) (送料 300 円)
- ◆**参考書** 特になし
- ◆**成績評価基準** 2 回の小テストの結果で決める。4 回欠席した場合不可とする。

**注意** E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」  
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

# 講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

## 〔政治学原論〕

吉野 篤

- ◆**授業概要** 政治概念の歴史の変容を概観することを通じて、政治という現象の特質を把握する
- ◆**学修到達目標** 政治とはどのような営みなのかを過去の学問的営為を振り返ることで把握できるようにする。
- ◆**授業方法** 基本的に講義形式で行う。また、ジャーナルな政治問題を考えるために主として新聞報道を素材としてコピーを配布し、授業の材料としたい。
- ◆**授業計画〔各 90 分〕**

1 回	授業内容	オリエンテーションとして前期の全体像を示す
	事前学修	テキストに目を通すこと
	事後学修	内容を確認すること
2 回	授業内容	古典古代の政治概念：プラトン
	事前学修	テキストの該当箇所をチェックすること
	事後学修	ノートを整理し、論点を確認すること
3 回	授業内容	古典古代の政治概念：アリストテレス
	事前学修	テキストで内容を事前にチェックすること
	事後学修	ノートを整理して論点を確認すること
4 回	授業内容	中世の政治像
	事前学修	中世の政治状況について事前に概要を把握すること
	事後学修	ノートを整理するとともに論点を確認すること
5 回	授業内容	マキャベリの画期的概念
	事前学修	ルネサンスの意義について学習しておくこと
	事後学修	ノートを改めて整理して論点を明確化すること
6 回	授業内容	社会契約説の歴史的意義
	事前学修	該当箇所をチェックすること
	事後学修	ノートを改めて整理し論点を明確化すること
7 回	授業内容	古典的自由主義の政治概念
	事前学修	市民革命の概要を学習すること
	事後学修	論点を改めて整理すること
8 回	授業内容	市民革命の政治過程：イギリス革命
	事前学修	17 世紀のイギリスの状況を事前にチェックすること
	事後学修	改めて論点を整理すること
9 回	授業内容	アメリカ独立革命の意義
	事前学修	18 世紀のアメリカ植民地の状況を調べる
	事後学修	論点を改めて整理すること
10 回	授業内容	フランス革命の政治過程
	事前学修	革命の位置づけについて事前に調べておくこと
	事後学修	論点を改めて整理すること
11 回	授業内容	保守主義の歴史的意義
	事前学修	保守という概念について事前に確認すること
	事後学修	論点を改めて整理すること
12 回	授業内容	19 世紀の政治概念 マルクスの政治理論
	事前学修	テキストで事前にチェックすること
	事後学修	論点を改めて整理すること
13 回	授業内容	20 世紀の政治概念 国家像の変遷
	事前学修	大衆社会の政治状況について事前に学習すること
	事後学修	論点を改めて整理すること
14 回	授業内容	丸山眞男の政治概念
	事前学修	丸山について事前に調べる
	事後学修	論点を再整理すること
15 回	授業内容	1980 年代の政治潮流、最終試験
	事前学修	1980 年代の政治的特質について事前に調べておくこと
	事後学修	改めて論点を確認・整理すること

- ◆**教科書** 丸沼『政治学 第2版』吉野篤編 弘文堂 2018年 2,160円（税込）（送料300円）
- ◆**参考書** 講義の際に指示する
- ◆**成績評価基準** 授業への取り組み、最終試験により総合的に判断する。

### 注意

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」  
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

# 講座内容 (シラバス)

※ 2019年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

## 〔英作文 I〕

大庭 香江

◆**授業概要** プレゼンテーションの原稿の書き方を、10の型：列挙型プレゼンテーション、分類型プレゼンテーション、プロセス型プレゼンテーション、調査型プレゼンテーション、報告型プレゼンテーション、説得型プレゼンテーション、問題解決型プレゼンテーション、原因・結果型プレゼンテーション、比較対照型プレゼンテーション、説得型・提案型プレゼンテーションに分類して学び、それぞれの型に合わせてプレゼンテーション原稿を書きます。

◆**学修到達目標** コミュニケーションのツールとしてのプレゼンテーションの基本や型を分析し、理解することで、オーディエンスに分かりやすい英文原稿を作成できるようになることを目標とします。

◆**授業方法** まず、DVD に英語字幕を付けて、プレゼンテーションの模様を視聴します。次に、そのプレゼンテーションの原稿を模範例文として読み、内容理解問題を解きます。毎回違った型のプレゼンテーションを取り上げ、その構造について学び、10項目に分けられたプレゼンテーションの型に合わせた原稿を書いています。

### ◆授業計画 (各 90 分)

1 回	授業内容： <b>プレゼンテーションの構造</b> 事前学修： プレゼンテーションの模様を、DVD を英語字幕付きで視聴しておく。 事後学修： 授業で学んだ型に当てはめ英作文を行なう。DVD を字幕無しで視聴する。
2 回	授業内容： <b>プレゼンテーションのスキル</b> 事前学修： プレゼンテーションの模様を、DVD を英語字幕付きで視聴しておく。 事後学修： 授業で学んだ型に当てはめ英作文を行なう。DVD を字幕無しで視聴する。
3 回	授業内容： <b>情報収集と情報倫理</b> 事前学修： プレゼンテーションの模様を、DVD を英語字幕付きで視聴しておく。 事後学修： 授業で学んだ型に当てはめ英作文を行なう。DVD を字幕無しで視聴する。
4 回	授業内容： <b>プレゼンテーションの環境の準備</b> 事前学修： プレゼンテーションの模様を、DVD を英語字幕付きで視聴しておく。 事後学修： 授業で学んだ型に当てはめ英作文を行なう。DVD を字幕無しで視聴する。
5 回	授業内容： <b>列挙型プレゼンテーション</b> 事前学修： プレゼンテーションの模様を、DVD を英語字幕付きで視聴しておく。 事後学修： 授業で学んだ型に当てはめ英作文を行なう。DVD を字幕無しで視聴する。
6 回	授業内容： <b>分類型プレゼンテーション</b> 事前学修： プレゼンテーションの模様を、DVD を英語字幕付きで視聴しておく。 事後学修： 授業で学んだ型に当てはめ英作文を行なう。DVD を字幕無しで視聴する。
7 回	授業内容： <b>プロセス型プレゼンテーション</b> 事前学修： プレゼンテーションの模様を、DVD を英語字幕付きで視聴しておく。 事後学修： 授業で学んだ型に当てはめ英作文を行なう。DVD を字幕無しで視聴する。
8 回	授業内容： <b>調査型プレゼンテーション</b> 事前学修： プレゼンテーションの模様を、DVD を英語字幕付きで視聴しておく。 事後学修： 授業で学んだ型に当てはめ英作文を行なう。DVD を字幕無しで視聴する。
9 回	授業内容： <b>報告型プレゼンテーション</b> 事前学修： プレゼンテーションの模様を、DVD を英語字幕付きで視聴しておく。 事後学修： 授業で学んだ型に当てはめ英作文を行なう。DVD を字幕無しで視聴する。
10 回	授業内容： <b>説得型プレゼンテーション</b> 事前学修： プレゼンテーションの模様を、DVD を英語字幕付きで視聴しておく。 事後学修： 授業で学んだ型に当てはめ英作文を行なう。DVD を字幕無しで視聴する。
11 回	授業内容： <b>問題解決型プレゼンテーション</b> 事前学修： プレゼンテーションの模様を、DVD を英語字幕付きで視聴しておく。 事後学修： 授業で学んだ型に当てはめ英作文を行なう。DVD を字幕無しで視聴する。
12 回	授業内容： <b>原因・結果型プレゼンテーション</b> 事前学修： プレゼンテーションの模様を、DVD を英語字幕付きで視聴しておく。 事後学修： 授業で学んだ型に当てはめ英作文を行なう。DVD を字幕無しで視聴する。
13 回	授業内容： <b>比較対照型プレゼンテーション</b> 事前学修： プレゼンテーションの模様を、DVD を英語字幕付きで視聴しておく。 事後学修： 授業で学んだ型に当てはめ英作文を行なう。DVD を字幕無しで視聴する。
14 回	授業内容： <b>説得型・提案型プレゼンテーション</b> 事前学修： プレゼンテーションの模様を、DVD を英語字幕付きで視聴しておく。 事後学修： 授業で学んだ型に当てはめ英作文を行なう。DVD を字幕無しで視聴する。
15 回	授業内容： <b>まとめと試験、解説</b> 事前学修： プレゼンテーションの模様を、DVD を英語字幕付きで視聴しておく。 事後学修： 授業で学んだ型に当てはめ英作文を行なう。DVD を字幕無しで視聴する。

◆**教科書** 丸沼『Winning Presentations』 Bill Benfield 他著 成美堂 2,700 円 (税込) (送料 300 円)

◆**参考書** 特になし

◆**成績評価基準** 試験、及び、プレゼンテーション原稿の評価

### 注意

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」  
※ 授業相談 (連絡先) に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

## 〔哲学基礎講読〕

石井 友人

- ◆**授業概要** 17 世紀西洋思想の古典アルノー、ニコル共著『論理学、別名思考の技法』及び同書と関連する諸テキストを読んでいきます。デカルトからの影響下に執筆された同書第一部「観念について」の読解を通して、近代哲学の基礎概念と基本問題（主にデカルト哲学とその周辺思想）を確認し、近代哲学がその黎明期にもっていた可能性を考察していきます。
- ◆**学修到達目標** 『論理学、別名思考の技法』の読解を通して、西洋哲学の基本用語と問題意識を学び、基礎的な哲学書を自力で読んでいくための力を身につけていく事を目的とします。また、併せて、近代的な人間の思考法の特徴を理解することを目的とします。
- ◆**授業方法** 教科書と配布プリントにより講義形式で行いますが、質疑応答を取り入れ、受講者からの積極的な参加を期待します。最初は、内容を大づかみにしながら読んでいきます。本文が分かりにくい場合は、部分的に、デカルトたちのより分かりやすいテキストに切り替えるなど、内容把握を優先します。何回かは、教科書を離れて、哲学史的な背景を説明する事にさく予定です。（講読の進度によっては授業計画を変更することもある）。
- ◆**授業計画〔各 90 分〕**

1 回	<p>授業内容 デカルトの何が新しくあったのか？『精神指導の規則』冒頭を読む。</p> <p>事前学修 『精神指導の規則』第一節を読んでおくこと。翻訳はどの版でもかまいません。</p> <p>事後学修 デカルトの学問観とスコラの学問観の違いが何処にあるのかをまとめておくこと。</p>
2 回	<p>授業内容 『論理学、別名思考の技法』「第一序説」「前文」を読み、本書の基本問題、書物全体の枠組みを確認する。</p> <p>事前学修 「第一序説」「前文」を読んでおくこと。</p> <p>事後学修 「第一序説」「前文」の範囲で、良識について、また論理学について、説明ができるようにしておくこと。そして、アルノーが、どのような人間観、問題意識でこの本を書いているのか、まとめられるようにしておくこと。</p>
3 回	<p>授業内容 『論理学、別名思考の技法』第一部「観念について」における「観念」の定義を確認する。</p> <p>事前学修 第一部第一章「諸観念の本性と起源とについて」を読み、いくつかの話題からできているのか、段落分けをしておくこと。また、冒頭、観念は単純なものであると述べられているが、どのような意味であるか考えておくこと。また観念の定義はどのようなものか？</p> <p>事後学修 上記事前学修で述べたものについて答えられるように、確認しておく。</p>
4 回	<p>授業内容 デカルト『省察』の第二省察における観念についての議論を読む。</p> <p>事前学修 『省察』の第二省察の観念についての分類と蜜ろうの例について読んでおくこと。</p> <p>事後学修 蜜ろうの例の意味するところが何であるのか、まとめておくこと。またアルノーの観念についての記載と、デカルトの記載はどのような呼応関係にあるのか、まとめられるようにしておくこと。</p>
5 回	<p>授業内容 観念の起源について</p> <p>事前学修 第一章「諸観念の本性と起源とについて」の後半部分を読んでおくこと。</p> <p>事後学修 アルノーの生得観念説擁護のポイントをまとめておくこと。</p>
6 回	<p>授業内容 観念の明晰と判明について、身心問題について</p> <p>事前学修 「第九章」を読んでおくこと。</p> <p>事後学修 明晰と判明の定義の確認をしておくこと。</p>
7 回	<p>授業内容 身心問題について、『デカルト＝エリザベト往復書簡』を読む。</p> <p>事前学修 『デカルト＝エリザベト往復書簡』第五書簡まで。ざっと読んでおくこと。</p> <p>事後学修 身心の区別、また合一について、まとめておくこと。</p>
8 回	<p>授業内容 何が過ちを生じさせるのか？ 言葉の多義性の問題</p> <p>事前学修 「第十一章」を読んでおくこと。また、『論理学』においては、過ちの様々な原因が考察される。「第九章」から「第十一章」まで、どのような原因が指摘されているのか確認しておくこと。</p> <p>事後学修 過ちの原因について確認しておくこと。</p>
9 回	<p>授業内容 記号について</p> <p>事前学修 「第四章」を読んでおくこと。</p> <p>事後学修 記号の三つの分類についてまとめられるようにしておくこと。</p>
10 回	<p>授業内容 記号と観念の関係について。ホップスの唯名論について。言葉の恣意性とは何か？</p> <p>事前学修 「第一章」の 41 から 43 頁のホップスへの批判を読んでおくこと。</p> <p>事後学修 ホップスが言葉について、どのような議論をしているのか、まとめられるようにしておくこと。また、アルノーの言う、言葉が恣意的であるとは、どのような事柄をさしているのか、まとめられるようにしておくこと。</p>
11 回	<p>授業内容 ホップスの哲学について</p> <p>事前学修 前回のホップスの言語観について、まとめておくこと。</p> <p>事後学修 ホップスの社会についての考え方について、自分なりにまとめられるようにしておくこと。</p>
12 回	<p>授業内容 誤謬をいかにして取り除きうるか。名前の定義と事物の定義</p> <p>事前学修 「第十一章」「第十二章」を読んでおいて下さい。</p> <p>事後学修 名前の定義と事物の定義の特徴を確認しておくこと。</p>
13 回	<p>授業内容 名前の定義と事物の定義</p> <p>事前学修 「第十三章」を読んでおいて下さい。</p> <p>事後学修 名前の定義から引き出される諸結論、またその利点、誤用、規則をまとめておくこと。</p>
14 回	<p>授業内容 動物機械論について デカルト『方法序説』『第 5 部』を読む</p> <p>事前学修 『方法序説』『第 5 部』を読んでおくこと。</p> <p>事後学修 動物と人間との差異はどこにあるとされているのか確認しておくこと。</p>
15 回	<p>授業内容 試験（通常授業へ変更することもある）</p> <p>事前学修 試験範囲はあらかじめ告知する。教科書の範囲を資料と合わせて熟読し、あらかじめノートに要点を整理しておくことが望ましい。</p> <p>事後学修 観念という言葉は 17 世紀の哲学のキーワードです。ロック、マルブランシュ、ライブニッツなど、この授業で扱った以外の哲学者たちの著作にも触れて、なぜこの語がそれほどの重要性を持ったのかを考えてみて下さい。</p>

- ◆**教科書** 教材 『哲学基礎講読 P20100』 通信教育教材（教材コード 000042） 4,000 円（送料込）
- ◆**参考書** 講義の中で紹介します
- ◆**成績評価基準** 三分の二以上の出席を前提に、試験（80%）と授業への参加度（20%）により評価、尚、試験はレポートへの変更の場合もある

**注意** E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」  
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

# 講座内容 (シラバス)

※ 2019年度より授業計画が全 15回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

## 〔市場調査論〕

最上 健児

- ◆**授業概要** 市場調査とはマーケティングに必要な情報を集め、整理し、発見を提示する一連のプロセスである。現在はビッグデータと呼ばれるすでに集められている大量なデータがあり、あとはそこから何を発見できるかということが重要な課題となっている。本講義では代表的な統計量を紹介し、その意味を数学的に解説する。さらに二つの値の関係を表す方法として回帰分析を数学的に紹介する。
- ◆**学修到達目標** 市場調査とマーケティングの関係を理解できるようになる。  
平均・分散・共分散・相関係数の意味を知り、それぞれの関係を理解できるようになる。  
線形回帰分析を数学的に理解できるようになる。
- ◆**授業方法** 授業は数回ごとにまとめた内容の講義となっている。ある程度区切りのいい部分で毎回の授業を構成するが、前回の内容を踏まえ当日の授業を進める形式をとるため当日の資料を入手するだけにとどまらず前回の内容を確認しておくことが好ましい。
- ◆**授業計画〔各 90 分〕**

1回	授業内容：マーケティングと市場調査論 事前学修：「資料を事前に入手」 URL: <a href="http://mogami-labo.sakura.ne.jp/">http://mogami-labo.sakura.ne.jp/</a> 事後学修：資料を確認し授業内容と照らし合わせておく。
2回	授業内容：市場調査の基礎概念 事前学修：「マーケティングと情報の関係」について復習しておく。 事後学修：「マーケティングと市場調査の役割の違い」について復習しておく。
3回	授業内容：市場調査のプロセス 事前学修：資料を確認しておく。 事後学修：「プロセス」について復習しておく。
4回	授業内容：集計と分析 事前学修：「集計表」について資料を確認しておく。 事後学修：「集計と分析の違い」について復習しておく。
5回	授業内容：平均 分散 標準偏差 事前学修：資料を確認しておく。 事後学修：「シグマの計算」「平均・分散・標準偏差の関係」について復習しておく。
6回	授業内容：共分散と相関係数 事前学修：「シグマの計算」「平均・分散・標準偏差の関係」について復習しておく。 事後学修：「共分散と相関係数の関係」について復習しておく。
7回	授業内容：相関係数の範囲 事前学修：「 $0=ax^2+2bx+c$ の解の公式」について復習しておく。 事後学修：「絶対値の処理」について復習しておく。
8回	授業内容：直線上の値の相関係数 事前学修：「シグマの計算」「展開」について復習しておく。 事後学修：「平均・分散の定義」について復習しておく。
9回	授業内容：直線の当てはめと誤差 事前学修：「シグマの計算」「展開」について復習しておく。 事後学修：「誤差の定義」について復習しておく。
10回	授業内容：一次導関数 事前学修：「シグマの計算」「展開」について復習しておく。 事後学修：「導関数の定義」「 $f'(ax^2+bx+c)$ 」について復習しておく。
11回	授業内容：最小二乗解 事前学修：「連立方程式の解法」について復習しておく。 事後学修：「加減法」「代入法」について復習しておく。
12回	授業内容：決定係数 事前学修：「最小二乗解」について復習しておく。 事後学修：「RSS TSS ESS と決定係数」について復習しておく。
13回	授業内容：統計的検定 事前学修：「残差平方和」について復習しておく。 事後学修：「正規分布と x 二乗分布と t 分布の関係」を確認しておく。 「残差平方和の期待値」について復習しておく。
14回	授業内容：重回帰分析 事前学修：「単回帰」について復習しておく。 事後学修：「多重共線性」について復習しておく。
15回	授業内容：数値列を使った演習 事前学修：「最小二乗解」について復習しておく。 事後学修：具体的な数値列を用いて最小二乗解を求めておく。

- ◆**教科書** インターネット経由で資料は配布する  
<http://mogami-labo.sakura.ne.jp/>
- ◆**参考書** 特になし
- ◆**成績評価基準** 最終レポート (100%) によって評価する。

### 注意

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」  
※ 授業相談 (連絡先) に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

# 講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

## 〔哲学C〕

中澤 瞳

- ◆**授業概要** 本授業は、古代から近代まで西洋の哲学の歴史を通して、一般的な哲学の知識を修得することも目的とした授業である。
- ◆**学修到達目標** この授業は、代表的な哲学者の考え方を説明することができるようになること、哲学者の観点を理解し、批判的な視点をもつことができるようになることを目標とする。
- ◆**授業方法** 授業は講義形式で行う。資料プリントをもとに、解説を行う。資料プリントは、基本的には参加者に読んでいただく（挙手制）。また、複数回の小レポート（授業内で記述し、提出する簡単なレポート）を行う。なお、進行具合によっては、授業計画に記載した内容に若干の変更がある場合がある。その際は、随時授業中に指示する。
- ◆**授業計画〔各 90 分〕**

1 回	授業内容	ガイダンス・哲学とはなにか
	事前学修	哲学とはどのような学問か調べる。
	事後学修	哲学とはどのような学問か整理する。
2 回	授業内容	古代ギリシアの哲学—ソクラテス以前の哲学者たち
	事前学修	ソクラテス以前の哲学者たちとはどのような人たちが調べる。
	事後学修	ソクラテス以前の哲学者たちの特徴を整理する。
3 回	授業内容	古代ギリシアの哲学—ソクラテスの思想を中心に
	事前学修	ソクラテスとはどのような人物か調べる。
	事後学修	ソクラテスの思想の特徴をまとめる。
4 回	授業内容	古代ギリシアの哲学—プラトンの思想 1
	事前学修	プラトンについて調べる。
	事後学修	プラトンの思想の特徴を理解する。
5 回	授業内容	古代ギリシアの哲学—プラトンの思想 2
	事前学修	前回の授業の内容を確認する。
	事後学修	プラトンの思想の特徴を理解する。
6 回	授業内容	古代ギリシアの哲学—アリストテレスの哲学と倫理学 1
	事前学修	アリストテレスについて調べる。
	事後学修	アリストテレスの思想の特徴を理解する。
7 回	授業内容	古代ギリシアの哲学—アリストテレスの哲学と倫理学 2
	事前学修	前回の授業の内容を確認する。
	事後学修	アリストテレスの思想の特徴を整理する。
8 回	授業内容	中世期の哲学
	事前学修	中世期の哲学とはどのようなものか調べる。
	事後学修	授業の内容をまとめ、理解を深める。
9 回	授業内容	近代哲学—F. ベーコンの思想を中心に
	事前学修	F. ベーコンについて調べる。
	事後学修	F. ベーコンの思想の特徴を整理する。
10 回	授業内容	近代哲学—デカルトと合理主義者を中心に 1
	事前学修	デカルトについて調べる。
	事後学修	デカルトの思想と合理主義の特徴を理解する。
11 回	授業内容	近代哲学—デカルトと合理主義者を中心に 2
	事前学修	前回の授業の内容を確認する。
	事後学修	デカルトの思想の特徴を整理する。
12 回	授業内容	近代哲学—デカルトと合理主義者を中心に 3
	事前学修	前回の授業の内容を確認する。
	事後学修	デカルトの思想と合理主義の特徴を整理する。
13 回	授業内容	近代哲学—経験論者の考え 1
	事前学修	経験論者にはどのような人がいるか調べる。
	事後学修	経験論の思想を理解する。
14 回	授業内容	近代哲学—経験論者の考え 2
	事前学修	前回の授業の内容を確認する。
	事後学修	経験論の思想を整理する。
15 回	授業内容	まとめ・筆記試験
	事前学修	これまでの授業を振り返り、代表的な哲学者の考え方を整理する。
	事後学修	哲学者の観点を理解し、批判的な視点を培う。

- ◆**教科書** 〔当日資料配布〕
- ◆**参考書** 授業中に随時指示する。
- ◆**成績評価基準** 授業への参加、貢献（20%）、小レポート（20%）、筆記試験（60%）により総合的に評価する。なお、評価を行う際には、毎回出席していることを前提とする。

### 注意

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」  
 ※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

# 講座内容 (シラバス)

※ 2019年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

## 〔国文学概論〕

山崎 泉

◆**授業概要** グローバル化の中、国文学の定義も徐々に変容しつつあります。本講義では国文学とは何かに関する概説を行った後、近世小説を代表する作品の一つである上田秋成の『雨月物語』の中から「浅茅が宿」を講読します。一つの作品とじっくり向き合う中で、国文学の神髄に触れ、国文学とは何かについて具体的に考察することを主眼とします。

◆**学修到達目標** 古典作品の読解力が向上し、国文学に対する理解が深まります。

近世文学と先行する時代の文学との関連性が理解できるようになります。

国文学を学ぶ上での基本的なスキルが向上します。

◆**授業方法** 主に講義形式で行います。まず、国文学の定義について考察した後、近世小説のジャンルとおおまかな歴史を学びます。その上で、上田秋成と『雨月物語』に関する概説を行い、「浅茅が宿」の本文を読み進めていきます。講読に際しては、原文の音読を受講生の皆さんにそれぞれ担当して頂く予定です。

◆**授業計画 (各 90 分)**

1回	授業内容: 授業の進め方・オリエンテーション・国文学とは何か? まずは授業の進め方について説明します。その上で、国文学の定義について考察し、多様化する国文学の現在に関する解説を行います。 事前学修: テキストに一通り目を通して置いて下さい。 事後学修: 再度テキストに目を通して下さい。
2回	授業内容: 近世小説 その歴史とジャンル 配布するレジュメを参照しつつ、多種多様なジャンルを生み出した近世小説の流れ及び代表的な作品について解説します。 事前学修: 前回の授業内容をノートにまとめて置いて下さい。 事後学修: レジュメの内容を再確認して下さい。
3回	授業内容: 上田秋成 その生涯と作品 『雨月物語』の作者である上田秋成の人物像及び代表的な作品について解説します。 事前学修: テキストの解説を読んで置いて下さい。 事後学修: 配布したレジュメの内容を元に、これまでの授業内容を再確認して下さい。
4回	授業内容: 「浅茅が宿」講読 (1) 「浅茅が宿」の本文を講読します。まず原文を読んだ後、現代語訳を参照、再び原文に戻って作品内容の解説を行います。 事前学修: 原文が読めるように予め準備して置いて下さい。 事後学修: 講読した本文の内容を確認し、ノートにまとめて下さい。
5回	授業内容: 「浅茅が宿」講読 (2) 前回講読した内容を確認した後、引き続き「浅茅が宿」の本文を講読します。逐一、現代語訳も参照し、的確に内容を把握しながら読み進めていきます。 事前学修: 前回講読した内容を再確認して下さい。 事後学修: 講読した本文の内容を確認し、ノートにまとめて下さい。
6回	授業内容: 「浅茅が宿」講読 (3) 引き続き「浅茅が宿」の本文を講読します。講読と同時に、本文中に引用される和歌や先行文学作品に関する調査も行います。 事前学修: 前回講読した内容を再確認して下さい。 事後学修: 講読した本文の内容を確認し、ノートにまとめて下さい。
7回	授業内容: 「浅茅が宿」講読 (4) 引き続き「浅茅が宿」の本文を講読します。講読と同時に、典拠とされた明代の小説に関する学修も行います。 事前学修: 前回講読した内容を再確認して下さい。 事後学修: 講読した本文の内容を確認し、ノートにまとめて下さい。
8回	授業内容: 「浅茅が宿」講読 (5) 引き続き「浅茅が宿」の本文を講読します。現代語訳に頼る比率を少しずつ下げ、原文のみで読み進めることができるようにしていきます。 事前学修: 前回講読した内容を再確認して下さい。 事後学修: 講読した本文の内容を確認し、ノートにまとめて下さい。
9回	授業内容: 「浅茅が宿」講読 (6) 引き続き「浅茅が宿」の本文を講読します。主人公の人物造形等、作品内容の深い部分にまで考察しながら、講読を進めていきます。 事前学修: 前回講読した内容を再確認して下さい。 事後学修: 講読した本文の内容を確認し、ノートにまとめて下さい。
10回	授業内容: 「浅茅が宿」講読 (7) 引き続き「浅茅が宿」の本文を講読します。自分なりに疑問点、問題点を見つけ、それらについて考察しながら読み進めることができるようにしていきます。 事前学修: 前回講読した内容を再確認して下さい。 事後学修: 講読した本文の内容を確認し、ノートにまとめて下さい。
11回	授業内容: 「浅茅が宿」講読 (8) 引き続き「浅茅が宿」の本文を講読します。最後まで講読した後、全体の内容確認を行います。 事前学修: 前回講読した内容を再確認して下さい。 事後学修: 前回講読した本文の内容を確認し、ノートにまとめて下さい。
12回	授業内容: 映画『雨月物語』鑑賞 (1) 『雨月物語』の映画化作品を鑑賞し、原作と映画との相違点について考察します。 事前学修: 映画『雨月物語』の概略について調査して下さい。 事後学修: 鑑賞した作品の内容を確認して下さい。
13回	授業内容: 映画『雨月物語』鑑賞 (2) 引き続き『雨月物語』の映画化作品を鑑賞し、秋成文学がどのように映像化されたのかを考察します。 事前学修: 前回鑑賞した部分の内容を再確認して下さい。 事後学修: 映画『雨月物語』の概略について再調査して下さい。
14回	授業内容: まとめ・理解度の確認 これまで学修してきた内容の総括を行い、試験に備えます。 事前学修: これまで学修してきた内容を改めて確認して下さい。 事後学修: ノートの内容を確認し、問題点を整理して下さい。
15回	授業内容: 試験及び解説 事前学修: 試験に備えた資料収集を行って下さい。 事後学修: 授業で学んだことを振り返り、その内容をもう一度確認して下さい。

◆**教科書** 丸沼『改訂版 雨月物語 現代語訳付き』上田秋成著 鷗洋訳注 角川学芸出版 (角川ソフィア文庫) 864円 (税込) (送料 215円)

〔当日資料配布〕

◆**参考書** 授業時に紹介します。

◆**成績評価基準** 平常点 (20%)、試験 (80%) により、総合的に評価します。毎回出席することを前提として採点します。

### 注意

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例:「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」  
※ 授業相談 (連絡先) に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

# 講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

## 〔宗教学概論〕

合田 秀行

- ◆**授業概要** 異文化を理解する上で、その宗教文化を理解することは、重要な要素と言えます。この講義では世界における五大宗教の理解を軸として、それぞれの開祖・主要な教義・聖典・歴史的展開を概説していきます。その過程で、諸宗教に共通して見られる概念について理解を深め、宗教学という学問の特徴や宗教学における基本的な概念・用語について取り上げます。
- ◆**学修到達目標** 世界三大宗教でもある東洋を代表する仏教、インドの民族宗教であるヒンドゥー教の歴史と主な教義を理解することを主たる目的とします。さらに、その他の宗教では、日本の民族宗教である神道をはじめ、儒教・道教・アイヌの宗教など、その他の東洋の宗教についてもその特徴の理解を目指します。
- ◆**授業方法** 指定した市販教科書に基づいて講義形式で進めます。第 1 章「仏教」、第 2 章「ヒンドゥー教」、第 6 章「その他の宗教」を取り上げます。テキストの内容によっては、補足資料を用いて、より理解を深めていきます。また、適時、関連する映像資料「仏教」「ヒンドゥー教」も活用します。数回、小テストを実施します。
- ◆**授業計画〔各 90 分〕**

1 回	授業内容	講義の進め方全般に関してガイダンスを行う。 仏教① 釈迦の生涯、初期仏教と大乘仏教という歴史的展開を概説する。
	事前学修	テキストの 20～27 ページを予め読み、仏教の概観を予習しておくこと。
	事後学修	テキストと講義内容を踏まえ、釈迦伝・仏教の歴史を整理して確認しておくこと。
2 回	授業内容	仏教② 初期仏教における煩悩・菩提・中道・四諦・八正道等を解説する。
	事前学修	テキストの 28～29、34～41 ページを予め読み、初期仏教の教理を予習しておくこと。
	事後学修	テキストと講義内容を踏まえ、初期仏教の教理を整理して確認しておくこと。
3 回	授業内容	仏教③ 大乘仏教の空・六波羅蜜の教義や大乘仏教の諸仏・諸菩薩を解説する。
	事前学修	テキストの 30～33、42～55 ページを予め読み、大乘仏教の特徴を予習しておくこと。
	事後学修	テキストと講義内容を踏まえ、大乘仏教の特徴を整理して確認しておくこと。
4 回	授業内容	仏教④ パーリ初期仏典の成立過程を学び、ダンマパダなどの仏典を講読する。
	事前学修	テキストの 56～61 ページを予め読み、初期仏典について予習しておくこと。
	事後学修	テキストと講義内容を踏まえ、初期仏典の特徴を整理して確認しておくこと。
5 回	授業内容	仏教⑤ 大乘仏典の成立、特に日本人に親しまれている般若心経を概説する。
	事前学修	テキストの 62～65 ページを予め読み、大乘仏典について予習しておくこと。
	事後学修	テキストと講義内容を踏まえ、大乘仏典の特徴を比較・整理して確認しておくこと。
6 回	授業内容	仏教⑥ 大乘仏典で日本の宗派に影響を及ぼした法華経・浄土三部経を概説する。
	事前学修	テキストの 62～77 ページを予め読み、大乘仏典について予習しておくこと。
	事後学修	テキストと講義内容を踏まえ、大乘仏典の特徴を比較・整理して確認しておくこと。
7 回	授業内容	仏教⑦ 日本仏教の特徴を概観し、南都六宗・密教の宗派を概説する。
	事前学修	テキストの 78～81 ページを予め読み、日本仏教の特徴を予習しておくこと。
	事後学修	テキストと講義内容を踏まえ、日本仏教の特徴を整理して確認しておくこと。
8 回	授業内容	仏教⑧ 日本仏教の浄土信仰・法華信仰・禪の諸宗派を概説する。小テスト実施。
	事前学修	テキストの 82～89 ページを予め読み、日本仏教の諸宗派を予習しておくこと。
	事後学修	テキストと講義内容を踏まえ、日本仏教の諸宗派の特徴を整理して確認しておくこと。
9 回	授業内容	ヒンドゥー教① ヒンドゥー教の特徴、その歴史的展開を概観する。
	事前学修	テキストの 92～101 ページを予め読み、ヒンドゥー教について予習しておくこと。
	事後学修	テキストと講義内容を踏まえ、ヒンドゥー教の歴史を整理して確認しておくこと。
10 回	授業内容	ヒンドゥー教② ヒンドゥー教の教義（輪廻・解脱・儀礼）を概説する。
	事前学修	テキストの 102～109 ページを予め読み、ヒンドゥー教の教義を予習しておくこと。
	事後学修	テキストと講義内容を踏まえ、ヒンドゥー教の教義を整理して確認しておくこと。
11 回	授業内容	ヒンドゥー教③ ヴィシュヌ神とシヴァ神、諸叙事詩の特徴を概説する。小テスト実施。
	事前学修	テキストの 110～119 ページを予め読み、神々と叙事詩について予習しておくこと。
	事後学修	テキストと講義内容を踏まえ、ヒンドゥー教の神々と叙事詩を整理して確認しておくこと。
12 回	授業内容	その他の宗教① ゾロアスター教・ジャイナ教・シク教などの特徴について概説する。
	事前学修	テキストの 266～274 ページを予め読み、東洋の諸宗教について予習しておくこと。
	事後学修	テキストと講義内容を踏まえ、東洋の諸宗教の特徴を整理して確認しておくこと。
13 回	授業内容	その他の宗教② 神道における古代・中世の特徴を補足資料も併用して概説する。
	事前学修	テキストの 276～277 ページ、補足資料を予め読み、神道について予習しておくこと。
	事後学修	テキストと講義内容を踏まえ記紀神話・本地垂迹説などを整理して確認しておくこと。
14 回	授業内容	その他の宗教③ 神道における近世・近代の特徴を補足資料も併用して概説する。
	事前学修	テキストの 276～277 ページ、補足資料を予め読み、神道の展開を予習しておくこと。
	事後学修	テキストと講義内容を踏まえ、国学・教派神道・国家神道を整理して確認しておくこと。
15 回	授業内容	その他の宗教④ 琉球の宗教・アイヌの宗教・日本の新宗教を概説する。小テスト実施。
	事前学修	テキストの 278～285 ページを予め読み、琉球・アイヌの宗教などを予習しておくこと。
	事後学修	テキストと講義内容を踏まえ、その他の宗教の特徴を整理して確認しておくこと。

- ◆**教科書** 丸沼『図解世界 5 大宗教全史』中村圭志著 ディスカヴァー・トゥエンティワン 2,376 円（税込）（送料 350 円）
- ◆**参考書** 通材『宗教学 B11000』通信教育教材（教材コード 000004）2,200 円（送料込）  
通材『宗教学概論 P30400』通信教育教材（教材コード 000139）1,850 円（送料込）
- ◆**成績評価基準** 数回、実施する小テスト（30%）と前期末に講義内で提出してもらった 2000 字程度のレポート（70%）とによって総合的に評価する。レポートは、前期に取り上げた内容の中から、各自がテーマを決めて作成してもらいます。

**注意** E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」  
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。



# 講座内容（シラバス）

※ 2019年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

## 〔商業史〕 オープン受講：不可

竹内 真人

◆**授業概要** 商業史（前期）では、西洋商業史の発展について学修するが、特にイギリスで最初に確立し、その後周辺諸国に拡大した近代資本主義の世界的展開過程について考察する。イギリスで近代資本主義がどのように成立し、その後全世界に拡大したのかを解説する。グローバルな観点から、近現代の政治・経済・文化現象を総合的に把握できるようにすることを目的としている。

◆**学修到達目標** 1. イギリスで封建制から近代資本主義がどのように成立してきたのかを歴史的観点から説明することができる。  
2. 近代資本主義における資本増殖のメカニズムを説明できる。  
3. 近代資本主義が周辺諸国を巻き込みながら、どのように世界的に拡大してきたのかを説明できる。  
4. 近代資本主義が帝国主義とどのように関係してきたかを説明できる。

◆**授業方法** プリント（資料）や映像資料（DVD、パワーポイント）を活用して授業を行う。第1～2回目では、世界経済を捉える視点について説明する。第3～5回目では、プリントに沿いながら、近代資本主義の資本増殖のメカニズムについて解説する。第6回目以降は、地図や映像資料も活用しながら、近代資本主義が帝国主義と関係しながら、どのように世界的に拡大してきたかを説明する。

◆**履修条件** 前期のみの受講、後期のみの受講も可能だが、学修効果を上げるため、前期・後期の連続受講が望ましい。

### ◆授業計画（各 90 分）

1回	授業内容：「商業史（前期）」の課題と方法 事前学修：百科事典等を活用し、産業革命について調べておくこと。 事後学修：授業内容をノートに整理し、理解しておくこと。
2回	授業内容：大塚史学と近代世界システム論 事前学修：大塚久雄とウォーラステインについてインターネット等で調べておくこと。 事後学修：授業内容をノートに整理し、理解しておくこと。
3回	授業内容：産業革命と工業化（1）資本の本源の蓄積 事前学修：資本の本源の蓄積についてインターネット等で調べておくこと。 事後学修：プリント（資料）と授業内容をノートに整理し、理解しておくこと。
4回	授業内容：産業革命と工業化（2）産業資本の循環 事前学修：百科事典等を活用し、カール・マルクスについて調べておくこと。 事後学修：プリント（資料）と授業内容をノートに整理し、理解しておくこと。
5回	授業内容：産業革命と工業化（3）欧米諸国の産業革命 事前学修：世界史事典等を活用し、欧米諸国の産業革命について調べておくこと。 事後学修：プリント（資料）と授業内容をノートに整理し、理解しておくこと。
6回	授業内容：「大西洋三角貿易」の構造と展開 事前学修：世界史事典等を活用し、「奴隷貿易」について調べておくこと。 事後学修：プリント（資料）と授業内容をノートに整理し、理解しておくこと。
7回	授業内容：「アヘン三角貿易」の構造と展開 事前学修：世界史事典等を活用し、アヘン戦争について調べておくこと。 事後学修：プリント（資料）と授業内容をノートに整理し、理解しておくこと。
8回	授業内容：汽船ネットワークの世界的拡大 事前学修：インターネット等を活用して、イギリスの海運会社について調べておくこと。 事後学修：プリント（資料）と授業内容をノートに整理し、理解しておくこと。
9回	授業内容：鉄道ネットワークの世界的拡大 事前学修：インターネット等を活用して、鉄道の歴史を調べておくこと。 事後学修：プリント（資料）と授業内容をノートに整理し、理解しておくこと。
10回	授業内容：アジア人移民労働者の世界的展開 事前学修：世界史事典やインターネット等で、苦力（クーリー）について調べておくこと。 事後学修：プリント（資料）と授業内容をノートに整理し、理解しておくこと。
11回	授業内容：福音主義と奴隷貿易規制の展開 事前学修：世界史事典やインターネット等で、奴隷貿易廃止について調べておくこと。 事後学修：プリント（資料）と授業内容をノートに整理し、理解しておくこと。
12回	授業内容：武器＝労働力交易規制と帝国主義 事前学修：世界史事典等で、アフリカと太平洋の分割について調べておくこと。 事後学修：プリント（資料）と授業内容をノートに整理し、理解しておくこと。
13回	授業内容：インド大反乱と電信ネットワークの世界的拡大 事前学修：世界史事典等で、インド大反乱について調べておくこと。 事後学修：プリント（資料）と授業内容をノートに整理し、理解しておくこと。
14回	授業内容：日本の近代化、帝国主義、戦後経済 事前学修：世界史事典等で、日本の帝国主義について調べておくこと。 事後学修：プリント（資料）と授業内容をノートに整理し、理解しておくこと。
15回	授業内容：試験及びまとめ 事前学修：これまでの授業内容を確認し、ノートをよく復習しておくこと。 事後学修：授業内容を確認・理解すること。

◆**教科書** 〔当日資料配布〕 特に教科書は指定せず、当日にプリント（資料）を配布する。

◆**参考書** 〔教材〕『商業史 S32100』通信教育教材（教材コード 000555）1,750 円（送料込）  
〔この教材は市販の「イギリス帝国の歴史—アジアから考える」秋田茂著（中央公論新社）と同一です。〕  
〔汎用〕『世界流通史』谷澤毅著 昭和堂 2,916 円（税込）（送料 300 円）

◆**成績評価基準** 試験の結果（80%）、授業への取り組み（授業内レポート等、20%）をもって総合的に評価する。

### 注意

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」  
※ 授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

# 講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

## 〔教育原論 / 教育の思想〕

古賀 徹

◆**授業概要** 「教育」とは何か？ 人間が社会の中で生きていく上で、なぜ教育が必要なのか。現在のように公教育が当たり前を実現されるようになってくるのは紆余曲折があったのだが、その歴史の変遷を理解する。その公教育実現のための強い光となったのが様々な教育思想である。本講義ではこの教育思想の歴史の変遷について学んでいく。

◆**学修到達目標** 本講義では以下の知識を習得するとともに、教育思想を現実の教育の糧（かて）として活かしていけるような考え方を養っていく。①コメニウスからペスタロッチまでの事物の教授法の誕生の意義。②ルソーやデューイ等の教育による社会改造主義的な考え方。③フレーベルやヘルバルト等による子どもの発達段階に照射した学習方法の構想。④教育の脱構築的な試みの誕生とその意味。

◆**授業方法** 前半はテキストに記された思想家（人物）に関する講義を行う。後半はグループで担当箇所を決めて人物の思想上の特色について調査・研究する。その報告と質疑により互いに学び深める授業とする。

### ◆授業計画〔各 90 分〕

1 回	授業内容 教育の歴史・思想とは？ 事前学修 教職課程でこの科目（基礎理論）がもつ意味についてイメージしておく。 事後学修 テキストに登場する人物について年譜を作成する。
2 回	授業内容 世界の教育思想の歴史の変遷。 事前学修 序章（1～10 頁）を読み、流れを理解しておく。 事後学修 近代教育のパラドックスについてレポートをまとめる（次回提出）。
3 回	授業内容 コメニウスの教授法。 事前学修 第 1 章（11～23 頁）を読み、コメニウスの業績について学んでくる。 事後学修 テキストを超えて学べたこと理解したことについて復習し、まとめる。
4 回	授業内容 ロックの自立論。 事前学修 第 2 章（24～32 頁）を読み、難しい部分に下線を引き質問をつくる。 事後学修 テキストを超えて学べたこと理解したことについて復習し、まとめる。
5 回	授業内容 ルソーの市民教育（子どもの発見）。 事前学修 第 3 章を読み、ルソーの何が優れているのか自身の感想をまとめる。 事後学修 テキストを超えて学べたこと理解したことについて復習し、まとめる。
6 回	授業内容 ペスタロッチの人間教育（直観教授）。 事前学修 第 4 章を読む。「日本のペスタロッチ」について検索しリストをまとめる。 事後学修 テキストを超えて学べたこと理解したことについて復習し、まとめる。
7 回	授業内容 ヘルバルトの科学的教育学（段階教授）。 事前学修 第 5 章を読む。現在の授業における展開（指導計画）について調べておく。 事後学修 テキストを超えて学べたこと理解したことについて復習し、まとめる。
8 回	授業内容 報告 1：フレーベルの幼児教育思想。 事前学修 第 6 章を読み、疑問点や質問事項を考えておく。 事後学修 テキストを超えて学べたこと理解したことについて復習し、まとめる。
9 回	授業内容 報告 2：マンの公教育普及論。 事前学修 第 7 章を読み、疑問点や質問事項を考えてリストを作成する。 事後学修 テキストを超えて学べたこと理解したことについて復習し、まとめる。
10 回	授業内容 報告 3：デューイの新教育思想・新教育運動。 事前学修 第 8 章を読み、疑問点や質問事項を考えておく。 事後学修 テキストを超えて学べたこと理解したことについて復習し、まとめる。
11 回	授業内容 報告 4：ニールの自由主義教育論。 事前学修 第 9 章を読む。とくに「フリースクール」について疑問点をまとめておく。 事後学修 テキストを超えて学べたこと理解したことについて復習し、まとめる。
12 回	授業内容 報告 5：ブーバーの教育的出会い論。 事前学修 第 10 章を読み、疑問点や質問事項を考えてリストを作成する。 事後学修 テキストを超えて学べたこと理解したことについて復習し、まとめる。
13 回	授業内容 報告 6：アリエスの心性史研究（子どもの誕生）。 事前学修 第 11 章を読み、疑問点や質問事項を考えておく。 事後学修 テキストを超えて学べたこと理解したことについて復習し、まとめる。
14 回	授業内容 報告 7：イリイチの脱学校論。 事前学修 第 12 章を読み、疑問点や質問事項を考えておく。 事後学修 テキストを超えて学べたこと理解したことについて復習し、まとめる。
15 回	授業内容 現代教育と教育の課題、そして教育の基礎理論としての教育思想。 事前学修 報告した思想家についてレポートをまとめる（提出する）。 事後学修 教職課程において「理論」を学修する意味・意義についてまとめる。

◆**教科書** 教材『教育原論 T10200』通信教育教材（教材コード 000199）1,550 円（送料込）

◆**参考書** 適宜に資料・レジュメを配布する。

◆**成績評価基準** この授業の評価は、授業への参加、提出物、課題、試験成績の総合的評価とする。課題未提出の場合は評価を行わない。

**注意** E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」  
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

# 講座内容 (シラバス)

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

## 〔社会学B〕

服部 慶巨

- ◆**授業概要** 「つまづいたっていいじゃないか／にんげんだもの」という相田みつをの言葉に、「人間らしさ」の本質を見ることができ。では、なぜ人間は「つまづいて」もよいのだろうか。この講義において、まず我々「人間」はどのような存在であるのかを確認し、「人間らしさ」について社会的に理解できるように努めていく。
- ◆**学修到達目標** 「大学で学んだことは、日常で役に立たない」という声を聞くが、本当にそうだろうか？ そんな疑問と対峙しつつ、学問が自分の日常生活や人生の現在・過去・未来と密接に関わっていることを理解し、社会（科）学的な視点で自分自身をとらえる技術を身につける。
- ◆**授業方法** 教科書・プリント・板書（パワーポイント）などを用い、受講生自身も陥りがちな問題点を指摘・解説する。必要に応じて視聴覚資料（CD、DVD、マンガ、その他）を多用する。また、学生に質問を投げかけ、対話とシミュレーションを展開しながら講義を進めていく。よって、講義を単に「聴く」のではなく、講義に「参加」する意欲が好成绩につながるものと思われる。また、後期の講義内容への橋渡しも随時行う。
- ◆**履修条件** 同時期（前期）開講の「社会学A」との積み重ね履修不可
- ◆**授業計画〔各 90 分〕**

1 回	授業内容：前期ガイダンス 講義の方針、展開方法、目標などを確認する。 事前学修：シラバスを読んで、講義の目的・目標を理解する。 事後学修：テキストを入手し、「もくじ」に目を通しておく。
2 回	授業内容：状況（情況）判断①「レディネス」(readiness) について。 事前学修：前回の講義内容を確認しておく。 事後学修：講義で紹介された事例・概念などを自身の日常生活の中でキチンと確認（実践）する。
3 回	授業内容：状況（情況）判断② 人間の為す「判断」の特徴。 事前学修：前回までの講義内容を確認しておく。 事後学修：講義で紹介された事例・概念などを自身の日常生活の中でキチンと確認（実践）する。
4 回	授業内容：状況（情況）判断③「知識」と「技術」の関係性。 事前学修：前回までの講義内容を確認しておく。 事後学修：講義で紹介された事例・概念などを自身の日常生活の中でキチンと確認（実践）する。
5 回	授業内容：状況（情況）判断④「行為」と「行動」の違いについて。 事前学修：前回までの講義内容を確認しておく。 事後学修：講義で紹介された事例・概念などを自身の日常生活の中でキチンと確認（実践）する。
6 回	授業内容：社会的動物としての人間① 社会学の研究対象である「社会」の定義づけ。 事前学修：これまでの講義内容をふまえて、「日常生活」について説明できるようにしておく。 事後学修：講義で紹介された事例・概念などを自身の日常生活の中でキチンと確認（実践）する。
7 回	授業内容：社会的動物としての人間② 日常生活における「自我」と「客我」の関係性について。 事前学修：前回までの講義内容を確認しておく。 事後学修：講義で紹介された事例・概念などを自身の日常生活の中でキチンと確認（実践）する。
8 回	授業内容：社会的動物としての人間③「生理的早産」について。 事前学修：前回までの講義内容を確認しておく。 事後学修：講義で紹介された事例・概念などを自身の日常生活の中でキチンと確認（実践）する。
9 回	授業内容：人間関係の諸相と構造①「Human Being」という言葉の本質について。 事前学修：これまでの講義内容をふまえて、「人間とは何か？」という問いに対する答えを考えておく。 事後学修：講義で紹介された事例・概念などを自身の日常生活の中でキチンと確認（実践）する。
10 回	授業内容：人間関係の諸相と構造②「人間らしさ」について、様々な名言を紹介する。 事前学修：前回までの講義内容を確認しておく。 事後学修：講義で紹介された事例・概念などを自身の日常生活の中でキチンと確認（実践）する。
11 回	授業内容：人間関係の諸相と構造③「地位」(status) と「役割」(role) の関係性について。 事前学修：前回までの講義内容を確認しておく。 事後学修：講義で紹介された事例・概念などを自身の日常生活の中でキチンと確認（実践）する。
12 回	授業内容：人間関係の諸相と構造④「役割演技」と「地位剥奪」について。 事前学修：前回までの講義内容を確認しておく。 事後学修：講義で紹介された事例・概念などを自身の日常生活の中でキチンと確認（実践）する。
13 回	授業内容：人間関係の諸相と構造⑤「地位」の性質別分類と、人間関係について。 事前学修：前回までの講義内容を確認しておく。 事後学修：講義で紹介された事例・概念などを自身の日常生活の中でキチンと確認（実践）する。
14 回	授業内容：理解度確認（まとめ） 事前学修：これまでの講義内容を、テキストやノート、資料を読んで再確認しておく。 事後学修：試験に向けて、これまでの講義内容を復習しておく。
15 回	授業内容：試験および解説 事前学修：これまでの講義内容について、テキストやノート、資料を読んで、自身でまとめておく。 事後学修：今後の受講、または日常生活改善に向けて、講義内容を再確認する。

- ◆**教科書** 丸沼『人間生活の理論と構造』夏川康男（ほか）学文社 2,700 円（税込）（送料 350 円）  
丸沼『補強版ストレス・スパイラル』服部慶巨 人間の科学社 1,296 円（税込）（送料 300 円）
- ◆**参考書** プリント配布
- ◆**成績評価基準** 終講試験（70%）、授業参加度（20%）、レポート類（10%）で評価する。なお、全講義回数数の3分の2以上の出席が原則（公欠などは申し出ること）。

### 注意

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」  
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

講座の選定

時間割

開講講座表・シラバス使用教科書（火曜日）

開講講座表・シラバス使用教科書（水曜日）

開講講座表・シラバス使用教科書（木曜日）

開講講座表・シラバス使用教科書（金曜日）

受講及び試験

受講手続

申込講座の許可と不許可

受講料等の納入

受講準備

体育実技の受講について

オープン受講

胸部X線検査

各種用紙

付録

# 講座内容 (シラバス)

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

## 〔ドイツ語 I ・ II〕

中島 伸

◆**授業概要** 平易なドイツ語文を読み書きするために必要な初級レベルのドイツ語文法、語順、会話表現、そしてドイツ語を聞き取る力といった総合的な基礎ドイツ語を習得することによって、会話の流れや文章内容の把握ができるようになることを目標とします。また、総合的なドイツ語能力を高めるために、毎年6月と12月に行われるドイツ語技能検定試験（以下、独検と表記）の5級と4級の対策も行います。

◆**学修到達目標** 1. 正しいドイツ語の発音ができる。  
2. 基本的なドイツ語会話が話せるようになる。  
3. 語彙力の強化、そして基本的なドイツ語文法と語順の理解によって、独和辞典を使うことなく、1・2行程度のドイツ語文の読み書きができる。

◆**授業方法** 授業計画で挙げられている文法事項の説明後、練習問題で定着させていきます。更に、独検対策として該当する文法事項を含む過去に出題された問題を解いてもらいます。また、授業時に中間テストを行い、間違った箇所と確認のために個別に解説を添えて答案を返却いたします。そして、文法事項の説明をある程度終えたら、毎回会話表現をいくつか説明し、皆様がリラックスしてドイツ語を学べる環境にしていきます。

### ◆授業計画〔各 90 分〕

1 回	授業内容	授業の進め方・オリエンテーション・音と文字 はじめに、本授業の進め方を説明する。次に、ドイツ語のアルファベットの読み方、アクセントの位置、母音の長短、そして注意すべき母音と子音の読み方について説明する。
	事前学修	教科書 1～2 頁を読んでおくこと。
	事後学修	授業の内容をノートに整理し、教科書の該当箇所を読んで、授業内容を確認し理解しておくこと。
2 回	授業内容	名詞 名詞の性の種類、そして名詞の性の識別について説明する。
	事前学修	教科書 3～4 頁を読んでおくこと。
	事後学修	授業の内容をノートに整理し、教科書の該当箇所を読んで、授業内容を確認し理解しておくこと。
3 回	授業内容	動詞の現在人称変化 不定詞と定動詞の形式の違い、そして動詞の現在人称変化について説明する。
	事前学修	教科書 6～8 頁を読んでおくこと。
	事後学修	授業の内容をノートに整理し、教科書の該当箇所を読んで、授業内容を確認し理解しておくこと。
4 回	授業内容	定冠詞と不定冠詞 定冠詞と不定冠詞の用法と格変化について説明する。
	事前学修	教科書 10～12 頁を読んでおくこと。
	事後学修	授業の内容をノートに整理し、教科書の該当箇所を読んで、授業内容を確認し理解しておくこと。
5 回	授業内容	定冠詞類と所有冠詞 定冠詞類と所有冠詞の用法と格変化について説明する。
	事前学修	第 4 回の授業時に説明した定冠詞の格変化を確認しておくこと。
	事後学修	授業の内容をノートに整理し、教科書の該当箇所を読んで、授業内容を確認し理解しておくこと。
6 回	授業内容	定動詞の位置と疑問文 平叙文と疑問文の違い、そして両者における定動詞の位置について説明する。
	事前学修	第 3 回の授業時に説明した動詞の現在人称変化を確認しておくこと。
	事後学修	授業の内容をノートに整理し、教科書の該当箇所を読んで、授業内容を確認し理解しておくこと。
7 回	授業内容	不規則な現在人称変化をする動詞 (1) 主語の種類に応じて不規則な現在人称変化をする動詞について説明する。
	事前学修	第 3 回の授業時に説明した動詞の現在人称変化を確認しておくこと。
	事後学修	授業の内容をノートに整理し、教科書の該当箇所を読んで、授業内容を確認し理解しておくこと。
8 回	授業内容	不規則な現在人称変化をする動詞 (2) 第 7 回の授業時に扱わなかった不規則な現在人称変化をする動詞について説明する。
	事前学修	第 7 回の授業時に説明した不規則な現在人称変化をする動詞を確認しておくこと。
	事後学修	授業の内容をノートに整理し、教科書の該当箇所を読んで、授業内容を確認し理解しておくこと。
9 回	授業内容	名詞の複数形 複数名詞の 5 種類の語尾について説明する。
	事前学修	教科書 21 頁を読んでおくこと。
	事後学修	授業の内容をノートに整理し、教科書の該当箇所を読んで、授業内容を確認し理解しておくこと。
10 回	授業内容	人称代名詞 (1) 1・2 人称の人称代名詞の形式と用法について説明する。
	事前学修	第 4 回の授業時に説明した 4 つの格の種類及び対応する意味を確認しておくこと。
	事後学修	授業の内容をノートに整理し、教科書の該当箇所を読んで、授業内容を確認し理解しておくこと。
11 回	授業内容	人称代名詞 (2) 3 人称の人称代名詞の形式と用法について説明する。
	事前学修	第 10 回の授業時に説明した 1・2 人称の人称代名詞を確認しておくこと。
	事後学修	授業の内容をノートに整理し、教科書の該当箇所を読んで、授業内容を確認し理解しておくこと。
12 回	授業内容	命令形 動詞の命令形の作り方と用法について説明する。
	事前学修	第 3 回の授業時に説明した動詞の現在人称変化を確認しておくこと。
	事後学修	授業の内容をノートに整理し、教科書の該当箇所を読んで、授業内容を確認し理解しておくこと。
13 回	授業内容	否定表現 (1) 否定表現の 1 つである否定冠詞 kein の用法について説明する。
	事前学修	第 4 回の授業時に説明した定冠詞の格変化を確認しておくこと。
	事後学修	授業の内容をノートに整理し、教科書の該当箇所を読んで、授業内容を確認し理解しておくこと。
14 回	授業内容	否定表現 (2) 否定表現の 1 つである否定詞 nicht の用法について説明する。
	事前学修	第 13 回の授業時に説明した否定冠詞 kein の用法を確認しておくこと。
	事後学修	授業の内容をノートに整理し、教科書の該当箇所を読んで、授業内容を確認し理解しておくこと。
15 回	授業内容	試験及び解説
	事前学修	予め配布された資料を熟読し、テキスト該当箇所を事前にまとめておくこと。
	事後学修	授業内容を確認・理解して、自身が解いた問題の解答が適切かどうかを再確認すること。

◆**教科書** 〔丸〕『必要最低限のドイツ語文法』 中島伸著 DTP 出版 1,728 円 (税込) (送料 300 円)

◆**参考書** 独和辞典が必要となります。推奨独和辞典は初回授業時に紹介します。

◆**成績評価基準** テスト (50%)、中間テスト (30%)、授業参画度 (20%) により総合的に評価します。

**注意** E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」  
※ 授業相談 (連絡先) に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

# 講座内容（シラバス）

※ 2019年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔日本政治史〕 オープン受講：不可

石川 徳幸

◆**授業概要** 本講義では、近代日本において展開された政治を通史のかたちで学んでいく。歴史的な文脈を正しく把握するためには、時代ごとに区切って学ぶことは必ずしも得策ではないが、便宜上、本講義では幕末から明治前期を対象とする。史料に基づいて通説を批判的に検証しながら、日本における近代国家の形成過程に対する理解を深める。

◆**学修到達目標** 歴史を考察するための基本的な方法を理解し、批判的に史料を読むことができる。  
幕藩体制が崩壊した過程を、内的要因と外的要因を踏まえて説明することができる。  
明治新政府が進めた集権化政策・近代化政策について、具体的に説明することができる。  
当時の国際情勢を踏まえて日本が抱えていた条約問題を理解し、条約改正運動の展開を説明することができる。

◆**授業方法** 基本的には、通信教育教材（教科書）の章立てに沿うかたちで、史料や最新の研究成果を紹介しながら講義を進める。授業の内容は、あくまでも初学者を対象として構成しているが、高校までの歴史科目で扱われている基本的な出来事や人物に関しては、おおむね理解していることを前提に話を進める。受講にあたっては、かならずノートを用意すること。

## ◆授業計画〔各 90 分〕

1 回	授業内容：イントロダクション 事前学修：シラバスを確認しておくこと。 事後学修：ノートの取り方を確認すること。
2 回	授業内容：幕藩体制の動揺 事前学修：教科書第 1 章第 1 節を読んでおくこと。 事後学修：ノートを整理し、幕末期の対外的危機や藩政改革について理解する。
3 回	授業内容：開国 事前学修：教科書第 1 章第 2 節を読んでおくこと。 事後学修：ノートを整理し、安政の五力国条約の歴史的意義を理解する。
4 回	授業内容：尊王攘夷運動 事前学修：教科書第 2 章第 1 節を読んでおくこと。 事後学修：ノートを整理し、尊王攘夷や公武合体の論理を理解する。
5 回	授業内容：幕府権力の衰退 事前学修：教科書第 2 章第 2 節を読んでおくこと。 事後学修：ノートを整理し、八月十八日の政変や長州征討の歴史的意義を理解する。
6 回	授業内容：幕府の終焉① 事前学修：教科書第 2 章第 3 節を読んでおくこと。 事後学修：ノートを整理し、公儀政体論の論理を理解する。
7 回	授業内容：幕府の終焉② 事前学修：教科書第 2 章第 3 節を読んでおくこと。 事後学修：ノートを整理し、大政奉還や王政復古の大王令の歴史的意義を理解する。
8 回	授業内容：新政権の骨格 事前学修：教科書第 3 章第 1 節を読んでおくこと。 事後学修：ノートを整理し、版籍奉還や廃藩置県の歴史的意義を理解する。
9 回	授業内容：集権化政策 事前学修：教科書第 3 章第 2 節を読んでおくこと。 事後学修：ノートを整理し、藩閥有司政権の統治機構を理解する。
10 回	授業内容：近代化政策 事前学修：教科書第 3 章第 3 節を読んでおくこと。 事後学修：ノートを整理し、地租改正や殖産興業政策の歴史的意義を理解する。
11 回	授業内容：反政府運動 事前学修：教科書第 4 章第 1 節を読んでおくこと。 事後学修：ノートを整理し、明治六年の政変や西南戦争の歴史的意義を理解する。
12 回	授業内容：立憲政治への胎動 事前学修：教科書第 4 章第 2 節を読んでおくこと。 事後学修：ノートを整理し、明治十四年の政変の歴史的意義を理解する。
13 回	授業内容：内閣制度の創設 事前学修：教科書第 4 章第 3 節第 1 項～第 2 項を読んでおくこと。 事後学修：ノートを整理し、内閣制度の制定過程と目的を理解する。
14 回	授業内容：条約改正交渉 事前学修：教科書第 4 章第 3 節第 3 項～第 5 項を読んでおくこと。 事後学修：ノートを整理し、条約改正問題と大同団結運動について理解する。
15 回	授業内容：前期の講義内容の総括 事前学修：ノートを見返し、教科書や参考文献で補うこと。 事後学修：日本における近代国家の形成過程についてポイントを整理しておくこと。

◆**教科書** 教材『日本政治史 L30400』通信教育教材（教材コード 000452）3,400 円（送料込）

◆**参考書** 必要に応じて、授業のなかで紹介する

◆**成績評価基準** 筆記試験の結果をもとに成績評価を行う。なお、全体の 3 分の 1 を超える欠席がある場合は、試験を受けても評価の対象にはならない。

**注意** E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」  
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

受講料  
納入までの流れ

講座の選定

時間割

開講講座表・シラバス  
（火曜日）

開講講座表・シラバス  
（水曜日）

開講講座表・シラバス  
（木曜日）

開講講座表・シラバス  
（金曜日）

受講及び試験

受講手続

申込講座の許可と不許可

受講料等の納入

受講準備

体育実技の受講について

オープン受講

胸部 X 線検査

各種用紙

付録

# 講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

## 〔日本史特講Ⅱ〕

坂口 太助

### ◆授業概要 全体テーマ：「1910～20年代の世界と日本」

明治以降「欧米諸国に追いつくこと」を目標に近代化を進めた日本は、日露戦争（1904～05年）に勝利し「大国」の1つとなり、国際連盟でも中心的役割を果たしていた。しかし、満州事変（1931年）を契機として国際的な孤立へと向かうことになる。本講義では、「大国」となった日本がどのように世界とかわり、なぜ満州事変へと至ることになるのか、その過程を考えていく。

- ### ◆学修到達目標
1. 近代の日本は様々な戦争（及び事変）にかかわり、その影響は現在でも残っていると考える。それらの戦争のうち、本講義で扱う日露戦争・第一次世界大戦についてその概要を理解する。
  2. 結果を見るだけでなく「過程」を考えることで、歴史的（実証的）な考え方・分析を行う力を養う。
  3. 国際環境を把握し、そのうえで日本が選択した進路について考えることで、「世界の中の日本」という視点から物事を見る力を養う。

### ◆授業方法

プリントを配布して講義形式で行い、要点については板書する。また理解を深めるため映像資料も使用する予定である。最終日に筆記試験を実施するほか、授業内アンケート（小テストではなく、出欠確認を兼ねた感想シートのようなもの）を数回実施する。なお、受講者の状況（受講者数等）によっては授業の内容・方法を変更する場合もある。

### ◆授業計画〔各 90 分〕

1 回	授業内容	ガイダンス及び総論①：この講義の目的・到達目標・評価方法等について解説するとともに、日本の「近代」という時代の概要・特徴を確認する。
	事前学修	これまでに近代史関係の講義を受講していた場合には、その内容を簡単に振り返っておくこと。
	事後学修	歴史は話が続いていくので確認・復習が大切となる。プリントをもとに授業内容を整理しておくこと。
2 回	授業内容	総論②：近代の日本がかかわった様々な戦争について確認する。
	事前学修	前回の授業で使用したプリントの内容を確認しておくこと。
	事後学修	プリントをもとに授業内容を整理しておくこと。
3 回	授業内容	総論③：第一次世界大戦という戦争と「総力戦」について確認する。
	事前学修	前回の授業で使用したプリントの内容を確認しておくこと。教科書の 153～155、167 頁を読んでおくこと。
	事後学修	プリントをもとに授業内容を整理しておくこと。
4 回	授業内容	明治時代の日本の概観①：日本の「近代化」と日清戦争の概要（特にその後への影響）を確認する。
	事前学修	前回の授業で使用したプリントの内容を確認しておくこと。教科書の 86～92、97～102 頁を読んでおくこと。
	事後学修	プリントをもとに授業内容を整理しておくこと。
5 回	授業内容	明治時代の日本の概観②：日露戦争の概要（特にその後への影響）と「満州権益」について確認する。
	事前学修	前回の授業で使用したプリントの内容を確認しておくこと。教科書の 103～106 頁を読んでおくこと。
	事後学修	プリントをもとに授業内容を整理しておくこと。
6 回	授業内容	日露戦争後の世界と韓国併合：日露戦争後の日本を取り巻く国際環境と韓国併合の過程について考えていく。
	事前学修	前回の授業で使用したプリントの内容を確認しておくこと。教科書の 107～111 頁を読んでおくこと。
	事後学修	プリントをもとに授業内容を整理しておくこと。
7 回	授業内容	第一次世界大戦と日本：第一次世界大戦と日本との関わりについて考えていく。
	事前学修	前回、及び第3回の授業で使用したプリントの内容を確認しておくこと。
	事後学修	プリントをもとに授業内容を整理しておくこと。
8 回	授業内容	辛亥革命と対華 21 カ条要求：第一次世界大戦中の日本の行動を、中国との問題を中心に考えていく。
	事前学修	前回の授業で使用したプリントの内容を確認しておくこと。教科書の 156～158 頁を読んでおくこと。
	事後学修	プリントをもとに授業内容を整理しておくこと。
9 回	授業内容	「5大国」日本と国際連盟：第一次世界大戦後の日本の国際的な地位・立ち位置と、国際連盟という組織について考えていく。
	事前学修	前回の授業で使用したプリントの内容を確認しておくこと。教科書の 167～170 頁を読んでおくこと。
	事後学修	プリントをもとに授業内容を整理しておくこと。
10 回	授業内容	ワシントン会議と日本①：会議の概要を確認するとともに、9カ国条約について考えていく。
	事前学修	前回の授業で使用したプリントの内容を確認しておくこと。教科書の 170～175 頁を読んでおくこと。
	事後学修	プリントをもとに授業内容を整理しておくこと。
11 回	授業内容	ワシントン会議と日本②：海軍軍縮条約と日米関係について考えていく。
	事前学修	前回の授業で使用したプリントの内容を確認しておくこと。
	事後学修	プリントをもとに授業内容を整理しておくこと。
12 回	授業内容	世界恐慌①：世界恐慌の概要について確認する。
	事前学修	前回の授業で使用したプリントの内容を確認しておくこと。教科書の 205～207 頁を読んでおくこと。
	事後学修	プリントをもとに授業内容を整理しておくこと。
13 回	授業内容	世界恐慌②：世界恐慌発生後の各国の対応を、日本とドイツを中心に考えていく。
	事前学修	前回の授業で使用したプリントの内容を確認しておくこと。教科書の 222～224 頁を読んでおくこと。
	事後学修	プリントをもとに授業内容を整理しておくこと。
14 回	授業内容	1920 年代後半の日中関係：満州事変前夜として、世界恐慌発生前後の日中関係について考えていく。
	事前学修	前回の授業で使用したプリントの内容を確認しておくこと。教科書の 199～204、213～214 頁を読んでおくこと。
	事後学修	プリントをもとに授業内容を整理しておくこと。
15 回	授業内容	試験及び解説：筆記試験を実施するとともに解説を行う。
	事前学修	これまでの 14 回の内容を復習しておくこと。
	事後学修	解説をもとに要点を再確認しておくこと。

### ◆教科書

丸沼『もういちど読む山川日本近代史』 鳥海靖 山川出版社 2013年  
1,620円（税込・2019年1月現在）（送料 300円）

### ◆参考書

授業内で紹介する。

### ◆成績評価基準

筆記試験 80%、授業参画度 20%。授業参画度は授業内アンケートの内容等から判断する。

### 注意

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」  
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

# MEMO

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

講座の選定

時間割

開講講座表・  
シバス使用教科  
(火曜日)

開講講座表・  
シバス使用教科  
(水曜日)

開講講座表・  
シバス使用教科  
(木曜日)

開講講座表・  
シバス使用教科  
(金曜日)

受講及び試験

受講手続

申込講座の  
許可と不許可

受講料等の納入

受講準備

体育実技の  
受講について

オープン受講

胸部X線検査

各種用紙

付録

# V 受講及び試験

## 1 講座受講時の注意点

<p>①ポータルサイト及び 掲示板で最新情報の 確認</p>	<p>登校の際は、通信教育部1号館1階学生ホールにある掲示板で最新情報を確認してから講義に出席してください。 また、「講堂変更」・「休講」等、日々の授業に関する情報についても随時、ポータルサイトや掲示板でお知らせします。</p>
<p>②受講上の注意 (出席・欠席・遅刻等)</p>	<p><b>【出席について】</b> スクーリングは、毎回出席することを原則としています。 交通機関の遅れや特別な事情がある場合以外での遅刻はしないよう心掛けてください。 ※授業を途中から受講することは、担当教員や周りの受講者に対しても迷惑な行為です。時間に余裕を持って行動してください。</p> <p><b>【欠席について】</b> 止むを得ぬ事情によりスクーリングを欠席した場合は、次回の出席時に直接、担当教員へ欠席した旨を伝えてください。事務局及び講師室では、欠席の連絡は受け付けません。</p>
<p>③受講上の注意 (休講・補講)</p>	<p><b>【休講について】</b> スクーリング期間中、担当教員の都合や天候により授業を休講する場合があります。</p> <p>① 事前に情報を得ている場合は、ポータルサイト及び掲示板にてお知らせします。</p> <p>② 当日、急きよ、担当教員の体調不良等の理由により休講する場合は、職員より通知があります。</p> <p>③ その他、天候により急きよ、休講となる場合はホームページ、ポータルサイトにてお知らせします。</p> <p><b>【補講について】</b> スクーリング期間中に休講した場合、必ず補講を実施します。補講は、下記の①もしくは②の日程で実施します。</p> <p>① 補講日程に実施 7月13日(土)、7月22日(月)</p> <p>② スクーリング期間中のその他日程</p>



## 「スクーリング試験」受験上の注意

- 1 「学生証」及び「領収書（銀行領収印の押印されているもの）」を机上通路側の監督者が見やすいところに置くこと。受講手続及び受講料納入がない場合、受験できない。
- 2 「学生証」を忘れた場合又は未更新の場合は、事前に教務課（講師室）に申し出て指示を受けること。
- 3 携帯電話等は、電源を切り、鞆等に収納し身体から離しておくこと。時計・電卓としての使用も禁止する。
- 4 持ち込みを許可されたもの以外は机の上に置かないこと。
- 5 解答用紙は、1人1枚とし、再交付はしない。
- 6 解答用紙の下段、太線枠内※印の事項については、必ずペン又はボールペンで記入すること。当該事項について記載がない場合又は誤記等は採点の対象にならない場合がある。
- 7 試験開始後20分以上遅刻した者は受験することができない。
- 8 途中退場は、試験監督者の指示がある場合に限り、試験開始30分後から認める。解答用紙を試験監督者に提出して退場すること。なお、用紙の持ち帰りは一切認めない。
- 9 試験場では、試験監督者の指示に従うこと。
- 10 不正行為（不正とみなされる行為含む）は絶対行わないこと。不正行為を行った場合は、学則により処分（停学・退学等）される。

※試験中の参照物等の貸し借りは不正行為とみなす。

## 2 スクーリング結果の確認

スクーリングの結果は、2019年度授業料及びスクーリング受講料を納入した学生に対し、ポータルサイトでお知らせします。ただし、スクーリングの申込を「受講届」にて行った場合には、教務課から、結果通知を郵送します。ポータルサイトから申込みを行った場合には送付されませんので、あらかじめご了承ください。掲載の開始はポータルサイトの「お知らせ」に掲載します。

電話・郵便による問い合わせには一切応じることができません。また、スクーリング結果通知の再発行はいたしません。天災による郵便の遅延・未着や、その他の事故に対していかなる配慮も行いませんので、スクーリング結果通知を紛失した場合などはポータルサイトで確認、又は「単位照合票」の交付を受け、確認してください。

結果内容に疑義がある場合は、結果通知日から3か月以内に教務課まで問い合わせてください。なお、それ以降の疑義に関しては対応いたしません。

結果発表時期	2019年8月下旬
--------	-----------

### ① 結果の表示

結果は、「合格」、「不合格」、「未受講」で発表します。

受講許可のない講座を受験した場合には「無効」とし、単位は修得できません。

### ② 単位数

結果が「合格」の場合、開講講座表に記載されている開講単位数を修得したことになり、また同時にスクーリング単位も修得したことになります。

# VI 受講手続

## 1 履修登録をする

### 履修登録上の注意事項

「ポータルサイト」と「履修届」の両方で申込みがあった場合は、「ポータルサイト」の内容を有効とします。

履修登録を行っただけでは、スクーリングの申込みとはなりません。後述の『2 講座を申し込む』を必ず行ってください。申込みが完了しておらず、受講料を納入していない場合、受講は認めません。


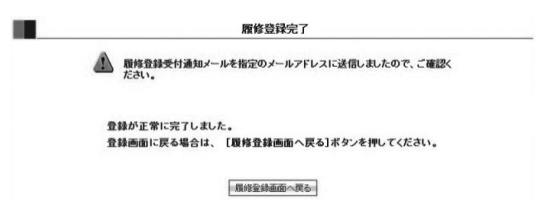
### ① 「ポータルサイト」による申込み

#### ●履修登録の前に


1	履修登録には、ID とパスワードが必要です。 ID = 学生番号 初期パスワード = 自分の西暦生年月日 (半角数字 8 桁)
2	履修登録の受付メールを受信するには、メールアドレスの登録が必要です。 「学生メニュー」の「学生情報照会・修正」より、送付先アドレスを事前に登録してください。

#### ●履修登録方法

1	通信教育部公式ホームページ (URL:http://www.dld.nihon-u.ac.jp) の「在学生ログイン」をクリックしてください。	
2	「学生メニュー」を選択し、「履修登録」をクリックしてください。	
3	履修登録科目の一覧から登録したい科目のチェックボックスを選択し、「登録確認」ボタンをクリックしてください。 ※一覧には学修が開始できる科目が表示されます。	


<p>4 履修登録する科目を確認し、<b>登録実行</b> ボタンをクリックしてください。</p>	
<p>5 履修登録が完了すると、登録されているメールアドレスに受付通知メールが配信されます。</p>	

●履修登録確認

<p>1 履修登録方法の1の手順で、ログインしてください。</p>	
<p>2 「学生メニュー」を選択し、「履修登録確認表」をクリックしてください。</p>	

●履修登録の変更・取りやめ

同一履修年度かつまだ、学修を開始していない科目に限り、「ポータルサイト」で変更・取りやめをすることができます。

<p>1 履修登録方法の1・2の手順で、履修登録の画面まで進んでください。</p>	
<p>2 取り消したい科目の前の「消しゴム」部分をクリックし、「取消」に変わったら、<b>登録確認</b> ボタンをクリックし、履修登録方法の4・5の手順で変更を完了させてください。</p>	

② 「履修届」による申込み

「履修届」による申込みは、以下の要領で本誌巻末の「履修届」を作成し、教務課に提出してください。

(1) 履修登録年度 **2019 年度** (2) 提出年月日 **2019 年 4 月 1 日**

履修届

学生番号 **12199999** (フリガナ) **ミチダイ ハナコ** (氏名) **日大 花子** (電話番号) **090-0000-0000**  
(必ず連絡のとれる電話番号を記入すること)

	科目コード	科目名	単位		科目コード	科目名	単位
1	B10700	哲学	4	14			
2	C10100	英語 I	2	15			
3	C10200	英語 II	2	16			
4	H10100	保健体育講義 I	1	17			
5	L30100	行政学	4	18			
6	K20100	憲法	4	19			
7	K20200	民法 I	4	20			
	K20300	刑法 I	4	21			
9	J10150	体育実技 I	1	22			
10	B11700	政治学	4	23			
11	T10100	現代教職論	2	24			
12				25			
13							

記入例 **0123456789** (3)

合計 **28** 単位 (5) ← 年間48単位まで登録できます。  
教職生および2学年以上の教職コース登録者は年間60単位まで登録できます。

日本大学通信教育部

(4)

書き損じた場合は、修正テープ又は修正液で訂正してください。  
 訂正線で訂正する場合は、訂正印は不要です。

(1) 登録年度

本履修届にて履修登録する場合は、前期生は「2019年度」、後期生は「2018年度」と記入してください。

(2) 学生番号・氏名・提出年月日・電話番号

電話番号は、記載事項を確認する場合に使用します。確実に連絡のとれる電話番号を記載してください。

(3) 科目コード・科目名

科目コード及び科目名は、『学修要覧』又は『コース履修の手引』を確認し、科目コード(6ケタ)を記入してください。不備がある場合は受理できませんので注意してください。

(4) 単位

各科目の所定単位を記入してください。

(5) 合計単位

必ず合計単位数を記入してください。

【よくある不備】

- ・科目コード及び科目名の記入漏れ
- ・科目コードと科目名の不一致
- ・不配当科目の記入(例: 3学年から履修登録できる科目を2学年で「履修届」に記入する。)  
 学部や入学年度によって名称が異なる科目や登録できない科目があります。  
 特に教職コースの科目は注意が必要です。
- ・「卒業論文」、「博物館実習Ⅱ」及び「博物館実習Ⅲ」、「教育実習」及び「教育実践指導」及び「教育実習事前・事後指導」、「教職実践演習」は履修登録する必要がありません。従って履修届には記載しないでください。  
 「履修届」とは別の手続きとなります。『学修要覧』及び『コース履修の手引』を確認してください。
- ・履修登録済みの科目の記入  
 一度履修登録した科目は在学中有効ですので、再度履修登録することは必要はありません。  
 もし記入された場合は、『履修登録エラー一覧』に『すでに履修登録済の科目です。』と表記されます。
- ・スクーリング等で所定単位が4単位の科目で、2単位分修得している科目は登録できません。履修登録済と同様の扱いとなります。
- ・単位修得済み科目の記入及び登録はできません。  
 もし記入された場合は、『履修登録エラー一覧』に『修得済みのため再履修できません。』と表記されます。
- ・年間登録単位を超過  
 年間48単位(教職生及び2学年以上の教職コース履修生は60単位)まで履修できます。  
 もし超過して記入された場合は、『履修登録エラー一覧』に『履修制限単位を超えた履修登録はできません。』と表記されます。

## ③ 履修登録上の注意

- ・「履修届」の不備内容によっては、受理せず返却する場合があります（不受理）。その場合、科目修得試験やスクーリング併用試験方式等の履修登録締切日以前に「履修届」が大学に到着していても、不受理の場合は履修登録にならず、受講の申し込みができません。
- ・履修登録を行っただけでは、教科書の配本はありません。配本申請を別途行う必要があります。
- ・履修登録済みの科目の変更、取消しは同一履修年度かつ学修を行っていない（レポート未提出、スクーリング申込みなし等）場合のみ可能です。追加は履修登録単位数の上限に達していない場合、Web履修登録や巻末の「履修届」をコピーして使用してください。
- ・履修登録を行っただけでは、スクーリングの申込みとはなりません。後述の『2 講座を申し込む』を必ず行ってください。申込みが完了しておらず、受講料を納入していない場合、受講は認めません。

## 2 講座を申し込む

## 申し込み上の注意事項

「ポータルサイト」と「受講届」の両方で申込みがあった場合は、「ポータルサイト」の内容を有効とします。

## ① 「ポータルサイト」による申込み

## ●申込みの前に

1	申込みには、IDとパスワードが必要です。 ID = 学生番号 初期パスワード = 自分の西暦生年月日（半角数字8桁）
2	申込みには、パソコンのメールアドレスの登録が必要です。 登録していない場合は、「ポータルサイト」にある「NU-AppsG（在学生専用メールアドレス）」を参照して登録してください。
3	事前に履修登録が必要です。履修登録を行っていない科目は表示されません。 126 ページ参照

## ●申込方法

1	通信教育部公式ホームページ（URL: <a href="http://www.dld.nihon-u.ac.jp">http://www.dld.nihon-u.ac.jp</a> ）の「在学生ログイン」をクリックしてください。	
2	「学生メニュー」を選択し、「スクーリング申請・取消」をクリックしてください。	

3 「未申請スクーリング一覧」から申請したいスクーリングのチェックボックスを選択し、「申請」ボタンをクリックしてください。

※履修登録を行った科目のみ表示されます。  
必ず事前に履修登録を行ってください。

### ●受付完了

申請受付が完了すると、登録されているパソコンのメールアドレスに申請受付メールが配信されます。配信されない場合は、「スクーリング・メディア授業申請・取消」内の「申請済みスクーリング一覧」に該当講座があることを確認してください。

### ●申込確認

随時、「ポータルサイト」で確認することができます。

1 申込方法の1の手順で、ログインしてください。

2 「学生メニュー」を選択し、「スクーリング・メディア授業情報一覧」をクリックしてください。

3 申込みをしたスクーリング・メディア授業の一覧が表示されますので、内容を確認してください。

### ●申込内容の変更・取りやめ

申込期間内に限り、「ポータルサイト」で変更・取りやめをすることができます。

1 申込方法の1～2の手順で、申請中のスクーリングの画面まで進んでください。

2 「申請済みスクーリング一覧」より取消したいスクーリングのチェックボタンを選択し、「取消」ボタンをクリックしてください。申込内容を変更する場合は、いったん取消後、再度申請してください。

※申込期限後に、スクーリング申込はできません。

② 「受講届」による申込み（ポータルサイトで申込みを行った場合は不要です）

「受講届」による申込みは、以下の要領で本誌巻末の「受講届」を作成し、教務課に提出してください。

(1) 記入上の注意

(ア) 講座コード

開講講座のコード番号です。記入にあたっては、「開講講座表」の「講座コード」欄を参照してください。

(イ) 講座名

開講される講座の名称です。この講座名を「開講講座表」を参照の上、記入してください。間違えて「充当科目名」を記入しないよう注意してください。

(ウ) 充当科目コード

開講講座の単位修得により充当できる科目のコード番号です。記入にあたっては、「開講講座表」の「科目コード」欄、及び後掲の「(2) 注意事項」を参照してください。

(エ) 学生番号・氏名

提出年月日 年 月 日

昼間スクーリング(前期)受講届

学生番号	フリガナ	氏名			
種別コード	A1				
1	曜日	時間	講座コード	講座名	充当科目コード
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
合計		講座(14講座まで登録できます。)			

＜記入例＞

曜日	時間	講座コード	講座名	充当科目コード
火	1	A B 1 1 1	政治学	B 1 1 1 7 0 0

※ 書で選んだ場合は修正テープ、修正液で訂正してください。  
 ※ 本誌で他のスクーリングの受講料を併せて支払うことはできません。  
 ※ 履修登録を行っていない科目は、本用紙のみでは申込みが完了しません。必ず、履修登録を行ってください。  
 提出締切日：(窓口) 4月22日(月) 事務取扱期限内厳守 (郵送) 4月22日(月) 必着

(2) 注意事項(「総合科目」、「英語」などの外国語科目及び「各演習科目」など)

例えば、「英語」の講座は、「英語Ⅰ」、「英語Ⅱ」、「英語Ⅲ」及び「英語Ⅳ」という科目を含んで開講されます。今回のスクーリングで「英語Ⅰ～Ⅳ」のどの科目に充当させるかは、各自の履修状況・履修計画によって異なります。したがって、英語をスクーリングで受講する際には、「受講届」に記載する充当科目コードによって「英語Ⅰ～Ⅳ」のうちどの科目で受講するのか、各自が大学に申告しなければなりません。

「受講届」では4桁の講座コードと6桁の充当科目コードの計10桁のコードによって、受講講座(科目)を登録します。コードは「開講講座表」の「講座コード」欄、「科目コード」欄に記載されています。

「英語」の場合、「開講講座表」の「科目コード」欄に4つのコードが記載されていますが、各自の履修計画に合致する科目(「英語Ⅰ～Ⅳ」のいずれか)のコードを、1つ選択してください。

《記入例》（講座「英語 C」において「英語Ⅲ」を選択した場合）

講座コード	開講講座名	担当講師名	充 当 科 目	
			科 目 代 号	科 目 名
●●●●	英語 B	○○ ○○	C10100	英語 I
			C10200	英語 II
			C10300	英語 III
			C10400	英語 IV
▲▲▲▲	英語 C	○○ ○○	C10100	英語 I
			C10200	英語 II
			C10300	英語 III
			C10400	英語 IV

(イ) (ア) (エ) (ウ)

- (ア) 希望する講座として「英語 C」を選択。  
 (イ) 「英語 C」を選択したことによって講座コードは「▲▲▲▲」となる。  
 (ウ) その講座で充当する科目として「英語Ⅲ」を選択。  
 (エ) 「英語Ⅲ」を選択したことによって充当科目コードは「C10300」となる。  
 (オ) 「受講届」の記入は、講座コードに「▲▲▲▲」、充当科目コードに「C10300」と記入します。また講座名に「英語 C」と記入します。  
 ※「・・・演習」という講座も同様で、例えば「英語学演習」の場合、「英語学演習Ⅰ」、「英語学演習Ⅱ」及び「英語学演習Ⅲ」という科目を含んで開講されます。今回のスクーリングで「英語学演習Ⅰ～Ⅲ」のどの科目に充当させるかを「受講届」に記入する充当科目コードによって各自が大学に申告してください。

### 記入上の注意事項

- (1) 黒のボールペンを使用し、楷書で正確に記入してください。
- (2) 「受講届」提出締切後の追加、変更はできません。
- (3) 記入誤り、記入漏れによる追加変更は一切いたしません。
- (4) 次の場合、大学の判断により事務的な処理にて講座の決定を行いますので、希望講座を受講できない可能性があります。
  - ・乱雑な記入
  - ・記入誤り、記入漏れ
  - ・記入した講座コード、講座名、充当科目コードの不一致

### (3) 「受講届」を提出する（提出締切日は表紙を参照）

「受講届」の記入が終わったら、申込内容の控えをとり、「受講届」を教務課に提出してください。提出方法は以下の2通りです。

#### ア 教務課窓口に直接提出

教務課前に設置のポスト（白色）に投函してください。【提出期限は事務取扱時間内】

#### イ 郵送で提出する

「受講届」を封筒に入れ、切手貼付の上、郵送してください。【提出締切日必着】

### 郵送提出における注意事項

天災や郵便の遅延・未着そのほかの事故については、いかなる配慮も行いません。

「受講届」が教務課に届かなかった場合、受講ができなくなりますので、特定記録郵便・簡易書留・書留を強くお勧めします。

特定記録郵便の場合、大学での受領記録が残りませんので、「スクーリング受講資格審査結果通知書」が届くまで、郵送した際の受領証を必ず保管してください。紛失の場合、郵便追跡確認ができなくなります。

また、レポート等、他の書類と一緒に送付するとその間にはさまってしまい、事故の原因になります。「受講届」は単体で送付してください。



### 3 受講講座の変更・追加

#### ① 受講講座変更届の作成

用紙で受講講座の変更・追加をする場合は、本誌巻末の「受講講座変更届」を使用し、以下の記入例を参考に作成してください。なお、ポータルサイトを利用することで、変更届を出さずに受講講座の変更・追加が可能です。

※変更・追加のために、複数の「受講届」用紙を使用した場合や他のスクーリングの「受講届」を使用した場合は、正しい申込みが判別不能となり、申込みが「無効」となりますので、決して使用しないでください。

また、変更届はスクーリング毎に用紙を分けてください。

#### ② 記入事項

変更・追加する事項の記入を行うほかに変更前の申込講座の「スクーリング開催期」、「講座コード」、「講座名」及び「充当科目コード」を明記してください。また、学生番号・氏名も忘れずに記入してください。

※記入する講座が5講座以上の場合はコピーして使用してください。

#### ③ 提出先・提出方法

「受講届」提出と同様です。

#### ④ 提出締切

「受講届」提出の締切日と同一（4月22日（月））です。別途の日程はありません。

※郵送の場合は受講届の提出と同様に提出締切日までの必着です。

#### 《記入例》

2019年4月22日			
日本大学通信教育部 御中			
<b>2019年度スクーリング受講講座変更届</b>			
標記のことについて、既に「受講届」にて申し込んだ受講講座を下記のとおり変更いたしたく、本書面をもってお願いいたします。			
記			
(当初の受講講座)			
スクーリング 開講期	講 座 コード	講 座 名	充当科目 コード
火曜 1 時限	AB11	政治学	B11700
火曜 2 時限	AB21	心理学B	B12100
火曜 3 時限	AB31	英語 A	C10100
(変更後の受講講座)			
スクーリング 開講期	講 座 コード	講 座 名	充当科目 コード
火曜 1 時限	AB11	政治学	B11700
火曜 4 時限	AB41	哲学A	B10700
火曜 5 時限	AB51	英語 B	C10100
上記のとおり相違ありません。			
学 生 番 号	2	2	1 7 3 9 9 9
フリガナ	ニチ ダイ タ ロウ		
氏 名	日 大 太 郎		
自宅電話番号	03-5275-8911		
緊急時電話番号			
	教務課受付印		
提出締切日：【窓口】4月22日（月）事務取扱時間内厳守 【郵送】4月22日（月）必着			



## 【主な不備理由一覧】

## ○履修なし

受講届のみ提出している場合に表示されます。スクーリングの受講はできません。

## ○希望日程重複

ポータルサイトと受講届の両方で申込みを行った場合に表示されます。スクーリングの受講は可能です。

## ○科目修得試験方式確定

科目修得試験にすでに合格している場合に表示されます。スクーリングの受講はできません。  
(ポータルサイトから申込みの場合、修得済の科目は表示されません)

## 2 講座振り分け及び受講不許可について

各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者が定員を超えた場合、以下の①から③のいずれかで対応させていただきます。

## ① 超過した人数分の学生を他講師担当の同一科目講座へ振り分ける

## ② 新たに他講師担当の同一科目講座を増設し、超過した人数分の学生をその講座へ振り分ける

※①及び②の場合、振り分けられた講座を受講することになります。担当講師、授業内容は振り分けられた講座の内容に変更されますのでご注意ください。

## ③ 超過した人数分の学生を受講不許可にする

※希望した講座を受講できないこととなります。また、新たに代替りの講座を申し込むこともできません。あらかじめご了承ください。

振り分けられた講座の受講を辞退する場合には、「3 許可講座を辞退する」を参照し、辞退手続を行ってください。なお、①及び②についても受講辞退後、新たに代替りの講座を申し込むことはできません。あらかじめご了承ください。

### 3 許可講座を辞退する

この手続は、振込用紙を受け取った後、やむを得ない理由等により受講許可講座の全部又は一部の受講ができなくなった場合、その講座の辞退を行う手続です。

**ただし、この辞退手続はスクーリング受講料等納入前であることが条件となります。スクーリング受講料等納入後に受講辞退の意思表示があったとしても受講料等は一切返還しません。**

また、一部辞退を行わないまま、希望する講座を受講しようとした場合、受講申込講座全ての受講料をお支払いいただくこととなります。

講座の辞退を行う場合には以下により手続を行ってください。

#### ① 手続書類

以下の(1)及び(2)を教務課試験係まで提出してください。

- |   |
|---|
| (1) 「受講申込辞退願」【各種用紙】<br>(2) 振込用紙<br>(3) 362円分郵便切手（大学からの再送付時の速達郵便料）を貼付した、長形3号（A4判三つ折の用紙が入る大きさ）の返信用封筒（自己の郵便番号、住所及び氏名を明記） |
|---|

※(3)は、一部の講座を辞退する場合のみ必要です。

#### ② 手続期限 いかなる場合でも期限後は手続できません。

**5月17日（金）《事務取扱時間内必着》**

#### ③ 提出先 **教務課試験係**

事務取扱時間内であれば窓口での提出もできます。

※この手続は他の講座への変更・追加申込みではありませんので注意してください。

受講許可の下りた講座に対し、振込用紙を送付します。

申込講座の辞退がない場合、受講料を期限までに納入してください。

納入がない場合、いかなる理由があっても受講はできず、成績も反映されません。

### 1 受講料：1講座 10,000円×受講講座数

「情報概論」のみ 13,000円（コンピュータ等実習料を含むため）

### 2 振込用紙発送予定日：5月10日（金）

### 3 納入期限：5月24日（金）

### 4 納入方法

2018年7月より、ATM・インターネットバンキングからも納入ができるようになりました。

大学から送付される振込用紙を使用し銀行窓口から納入、または、ATM・インターネットバンキングで納入してください。

## 注 意 事 項

#### ① 納入に際しての注意事項

- (1) ゆうちょ銀行窓口、会計課窓口及び郵送での納入はできません。
- (2) 振込用紙に記載された事項（納入金額等）を修正した納入は受け付けません。
- (3) ATM・インターネットバンキングで納入する場合は、138～139ページの「三菱UFJ銀行ATMでの振込のお取扱いについて」及び「三菱UFJ銀行以外のATM、各金融機関のインターネットバンキングを利用して振込を行う場合」を参照し、手続きしてください。

#### ② その他の注意事項

- (1) 発送予定日から5日経過しても振込用紙が届かない場合は、至急会計課に連絡してください。また、期日までに納入できない事情が発生した場合は、至急教務課に連絡してください。
- (2) 領収書（銀行領収印の押印されているもの）は、受講時及び試験時に提出を求められる場合があります。受講期間中は、学生証と共に常に携帯してください。  
なおATM・インターネットバンキングからの納入については、ATMから発行される「明細書」、インターネットバンキング上の振込完了画面を印刷したのものをもって領収書に代えます。
- (3) 受講料等を納入した後に、受講申込辞退の意思表示があったとしても、受講料等の返還は行いません。

# 三菱UFJ銀行ATMでの振込のお取扱いについて

スクーリング受講料及び年度授業料については、三菱UFJ銀行ATMでのキャッシュカード（振込金額100万円以下）および現金（振込金額10万円以下）による振込が可能となります。

大学から送付された振込用紙を持参し、以下の手順に従い振込を行ってください。

なお、三菱UFJ銀行ATMから納入いただいた場合は振込手数料が無料となります。

ATM利用手数料については、注意事項をご覧ください。

## 【振込手順】

### 1. 振込方法の選択

「お振り込み」より、現金またはキャッシュカードを選択し、キャッシュカードの場合は暗証番号を入力してください。

### 2. 振込先口座の選択・入力

振込用紙に記載の口座情報を選択・入力し、確認してください。

### 3. お振込金額の入力

今回納入する金額を入力してください。

### 4. 依頼人番号=管理番号（10桁）の入力

振込用紙に記載の管理番号（10桁）を入力してください。

なお、管理番号（10桁）は振込用紙ごとに毎回異なります。

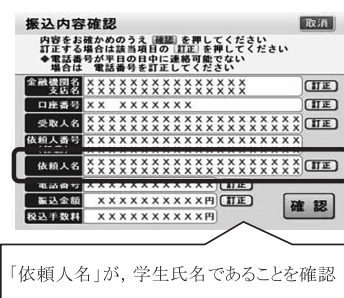
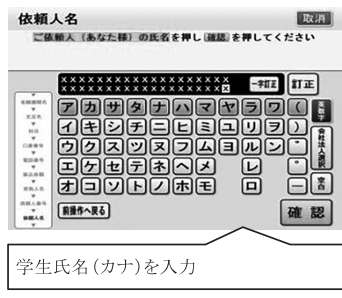
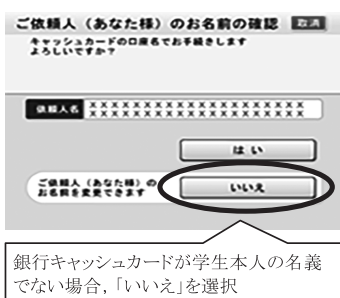


電信振 (B) 20XX年度 昼間 (前期) 受講料振込依頼書

依頼日	年	月	日	振込指定	電信振	手数料	円
銀行名	三菱UFJ	三菱UFJ	神保町	店番	013	金額	200000
振金種目	普通預金	口座番号	0686723	内訳	現金	当座	
お受取人	ニホンダイガクツウシンキョウイック		取扱期限	20XX年 X月 XX日			
口座名	日本大学通信教育部		依頼日				
管理番号	*****		依頼人				
フリガナ	ニチダイ		依頼人				
氏名	日本 太郎		依頼人				
住所	東京都千代田区千代田		依頼人				
電話番号	03-5275-8925		依頼人				

### 5. 依頼人名の確認及び振込実行

キャッシュカード名義が学生本人でない場合、学生氏名に変更してください。



### 6. 明細票の受取

銀行の出納印は不要です。「明細票」をもって領収書に代えますので、振込用紙とともに、大切に保管してください。

#### ※注意事項

- ①ATM指定時間外（8:45～21:00 外）のお手続や、他の金融機関のキャッシュカードによるお手続には「ATM利用手数料」がかかります。
- ②振込用紙に記載の内容を変更しての振込は受け付けられません。
- ③振込内容が複数ある場合は、1件ごとに送金してください。
- ④やむを得ずコンビニATMや三菱UFJ銀行以外の金融機関のATM及びインターネットバンキングを利用する場合は、別途「三菱UFJ銀行以外のATM、各金融機関のインターネットバンキングを利用して振込を行う場合」を参照し、手続きしてください。

【お問い合わせ先】日本大学通信教育部会計課（電話）03-5275-8925

## 三菱UFJ銀行以外のATM、各金融機関のインターネットバンキングを利用して振込を行う場合

振込用紙を参照の上、以下の内容を入力し、振込してください。

(切り取らないで銀行窓口へ提出してください)

電信扱 (B) 20XX年度 昼間 (前期) 受講料振込依頼書		3. 振込金額		振込依頼書	
2. 振込先口座		振替科目		金額	
依頼日	年 月 日	振込指定	電信扱	千 円	円
銀行名	三菱UFJ	ジンボウチョウ 神保町	店番	013	20000
お受取人	預金種目	普通預金	口座番号	0686723	現金
お受取人	口座名	ニホンダイガクツウシンキョウイクブ		当店券	
お受取人	お受取人	日本大学通信教育部		他店券	
お受取人	管理番号	*****		取扱期限厳守	
お受取人	フリガナ	ニチダイ タロウ		納入期限 20XX年 X月XX日	
お受取人	氏名	日大 太郎		取納印または振替印	
お受取人	住所	〒102-8005 東京都千代田区九段南 4-8-28			
お受取人	電話番号	03-5275-8925		(取扱銀行保管)	

管理番号・氏名の順に打電してください

1. 管理番号 (10桁), 依頼人名

(お振込時のお願い)

1. [ ] の部分は全て打電してください。
2. 納入期限の過ぎたものは受付できません。
3. 金額、納入期限、管理番号、氏名を訂正したものは受付できません。
4. 三菱UFJ銀行本・支店窓口及び三菱UFJ銀行ATMご利用の場合、振込手数料は無料となります。

### 1. 管理番号 (10桁), 依頼人名

管理番号 (10桁) を入力した後、学生氏名を入力してください。

なお、「管理番号 (10桁)」は振込用紙ごとに毎回異なります。

### 2. 振込先口座

振込先の講座情報を選択・入力し、確認してください。

### 3. 振込金額

今回納入する金額を入力してください。

例) 上の振込用紙の内容を振込する場合は、以下のとおり入力することとなります。

依頼人名 : \*\*\*\*\*ニチダイ タロウ

(振込用紙記載の10桁の管理番号を入力した後、学生氏名を入力)

振込先 : 三菱UFJ銀行 神保町支店 普通 0686723 日本大学通信教育部

振込金額 : 20,000円

#### ※注意事項

- ①銀行の出納印は不要です。振込完了後、ATMから発行される「明細票」(インターネットバンキングの場合は振込完了の画面を印刷したもの)を大切に保管し、受講期間中は学生証と共に常に携帯してください。
- ②振込用紙に記載の内容を変更しての振込は受け付けられません。
- ③振込内容が複数ある場合は、1件ごとに送金してください。
- ④振込に係る手数料は、全て依頼人(学生)の負担となります。

【お問い合わせ先】日本大学通信教育部会計課 (電話) 03-5275-8925

## 1 使用教材の入手

スクーリングは集中講義形式の授業ですので予習なしでの受講は学修効果が期待できません。受講許可後、本誌のシラバス（教科書、参考書）で使用教材が、『通信教育教材』か『市販教材（市販本）』かを確認の上、以下の要領で教材を入手してください（教科書等の価格・送料はシラバスに記載されています）。教材入手方法の見分け方は、後掲の「③教材入手方法の見分け方」を参照してください。

### 注 意 事 項

すでに所持している『通信教育教材』であっても、教材改訂によりシラバスに記載されている「教科書」や「参考書」と異なる場合がありますので、科目名のみによらず、シラバスに掲載されている「教材コード」と所持する『通信教育教材』の教材コードとを照合し、不一致の場合は、教材を入手してください。

なお、教材購入後の変更・取消及び費用の返還はできませんので注意してください。

### ① 使用教材が『通信教育教材』の場合

**通材**印が付されている教材は、本誌「各種用紙」の「教材配本申請書」を使用し配本申請または「教材購入願」を使用し購入してください。既に今回の使用教材を入手している場合は、改めて「教材配本申請書」によって配本申請または「教材購入願」によって購入する必要はありません。教材の送付先は、すべて大学に登録されている各自の住所への発送となります。教材が手元に届くまでは手続完了後、約1週間を要しますので、受講許可を確認した後、速やかに手続を行ってください。

※本手引掲載の教材価格は2019年度の教材価格です。

なお、『通信教育教材』について不明な点は、研究事務課（電話 03-5275-8890）にお問い合わせください。

### ② 使用教材が『市販教材（市販本）』の場合

『市販教材（市販本）』は、一般書店で購入してください。住居地周辺の書店で購入できない場合、

**丸沼**印のついている本については、丸沼書店で購入できます。

（書店名）（株）丸沼書店

（所在地）〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町2-8-12

（電話）03-3261-4540

（FAX）03-3261-0118

（営業時間）9：00～20：00（日曜日：10：00～19：00）

（購入方法）直接店頭（179ページを参照）で購入のほか以下（1）～（3）の方法で通信販売も可能です。

（1）代金引換払（手数料260円が別途かかります）

本誌「各種用紙」の「教材購入用紙（丸沼書店用）」に必要事項を記入の上、上記あてに郵送又はFAXをしてください。

（2）為替（前納）

本誌「各種用紙」の「教材購入用紙（丸沼書店用）」と税込価格＋送料の合計金額分の定額小為替又は普通為替を同封して上記あてに郵送してください。

（3）現金書留（前納）

本誌「各種用紙」の「教材購入用紙（丸沼書店用）」と税込価格＋送料の合計金額を同封して上記あてに郵送してください。

不明な点は、丸沼書店に直接問い合わせてください。

『市販教材（市販本）』の価格・送料は『手引』作成時の金額です。改訂等により金額が変わる場合があります。あらかじめご了承ください。





## 2 通学定期券の購入手続

通学定期券は、正科生がスクーリング受講を目的として通学する場合に限り購入できます。通学定期券購入の手続き等は、以下のとおりです。

学生証裏面シールへの記入	① 「学生番号」, 「氏名」, 「現住所」を黒のボールペンで記入してください。 ② 「通学区間」欄に対象区間及び経由(乗り換え駅)を記入してください。また、定期券が2枚に分かれる場合は2行に分けて記入してください。
学生課窓口で記入する所定用紙について	① 通学定期乗車券発行控(全員必要)[本誌巻末177ページ参照] ② 通学証明書(都営地下鉄, 都電, 各路線バス等を利用する場合及び三崎町キャンパスに通学する場合に必要)
対象区間	自宅(又は滞在先)の最寄駅から「通信教育部最寄の駅」までの最短経路
購入手続	① 上記「通学定期乗車券発行控」を記入の上、学生証持参で事務取扱時間内に学生課窓口にて「 <b>経路確認</b> 」印の押印を受けてください。 ② 通学定期券取扱駅の窓口にて定期券購入用紙に必要な事項を記入し、押印済の学生証を提示することで通学定期券が購入できます。
その他注意事項	① 通学区間が変更となった場合は、学生課に届け出てください。 ② 年度内に学生証裏面シールの「通学定期乗車券発行控」欄が不足となった場合は、学生課へ届け出てください。 ③ 「 <b>経路確認</b> 」印は、スクーリング期間内に限り有効です。 ④ 科目履修生は対象外です。

### 【通信教育部最寄り駅】

鉄道会社	最寄駅(市ヶ谷キャンパス)
JR東日本	総武線 市ヶ谷駅
都営地下鉄	新宿線 市ヶ谷駅
東京メトロ	有楽町・南北線 市ヶ谷駅

※最短経路とは所要の時間が最短、交通費が最安、乗換が最少である等の合理的な経路のことをいいます。

※途中経路や迂回経路は一切認められません。

### 【注意事項】

通学定期券を不正に使用してはいけません。不正使用したことが発覚すると、鉄道会社等の営業規則に基づき定期運賃の数倍の罰則金等が科せられます。また、大学自体も通学定期券発行の指定から外され、他の学生に多大な迷惑をかけることとなります。不正使用は絶対に行わないでください。

### 【不正使用の例】

① 通学以外の目的で使用すること。	③ 記名人以外が使用すること。
② 現住所及び通学区間を偽ること。	④ 他人に譲渡・貸与すること。

# MEMO

受講料から受講料  
納入までの流れ

講座の選定

時間割

開講講座表・  
シバス使用教材  
(火曜日)

開講講座表・  
シバス使用教材  
(水曜日)

開講講座表・  
シバス使用教材  
(木曜日)

開講講座表・  
シバス使用教材  
(金曜日)

受講及び試験

受講手続

申込講座の  
許可と不許可

受講料等の納入

受講準備

体育実技の  
受講について

オープン受講

胸部X線検査

各種用紙

付  
録

# X 体育実技の受講について

体育実技は他の講座と異なり、日本大学文理学部にて実施されます。申込締切日程、授業時間等も異なりますので、以下の事項をよく確認してください。

## 1 受講申込から受講料納入までの流れ

① 受講手続説明会	『昼間スクーリング（前期）の手引』を読み、受講手続方法から試験までの流れを確認。受講制限・時間割を確認し、受講講座を選択する。
-----------	---



② 授業開始までの準備	授業期間は2日間もしくは3日間にわたります。シラバスや時間割をよく読み、受講講座を選択してください。特に下記の項目を事前に確認すること。 ①開講日程及び時間割 ②使用教材（教科書）の有無 ③準備学修 ④成績評価基準 【要確認】 授業期間に出席可能なこと。
-------------	--



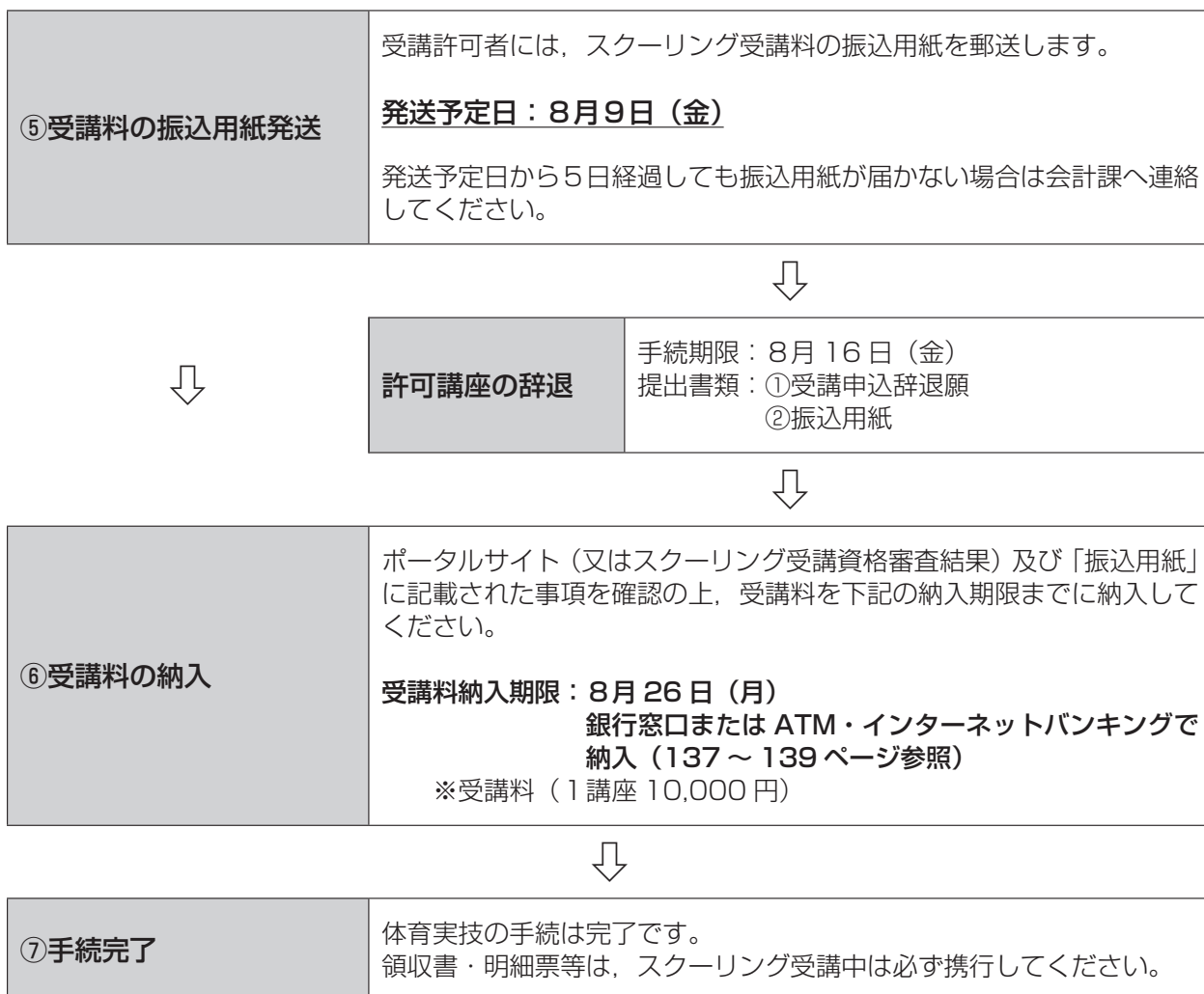
③ 履修登録・ 受講申込締切	申込締切：7月26日（金） （窓口提出）18時00分（事務取扱時間）まで （ポータルサイト）締切日24時00分まで 提出先：（郵送）提出締切日 必着 （窓口）教務課窓口提出 事務取扱時間内厳守 ※ 受講届で申し込んだ講座がわかるように必ず申込内容の控えを取り各自で保管してください。
-------------------	--



④ 受講許可の確認	ポータルサイト上の「スクーリング・メディア授業情報一覧」にて申し込んだ講座が「申請許可」になっているか確認してください。 ※受講届提出者には、「スクーリング受講資格審査結果通知書」を送付しますので、確認してください。  必ず以下の内容を確認してください。 ※1 申込講座・時間割の確認及び担当講師 ※2 充当科目コード
-----------	--



次ページにつづく



## 2 開講講座表・シラバス

時 限	講 座 コ ー ド	開 講 講 座 名	担 当 講 師 名	単 開 位 数 講	充 当 科 目		制 限 ・ 注 意			受 オ ー プ ン 講 座
					科 目 コ ー ド	科 目 名	併 用	配 当 学 年	受 講 条 件	
別 日 程	AT11	体育実技Ⅰ・Ⅱ	高橋 正則	1	J101S0	体育実技Ⅰ	×	1年	・スクーリング1回の合格 で単位完成する科目です。	
					J102S0	体育実技Ⅱ				

# 講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが、授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

## 〔体育実技 I・II〕

高橋 正則

- ◆**授業概要** 現代の高齢社会において、健康を維持・増進するためには、適度な運動習慣を生活習慣に取り込むことが求められる。そこで、まず自己の体力の現状を把握し、身体運動の必要性について認識を高める。そして、年齢や体力に応じた運動参加への具体的方法を理解し、スポーツ実践を通して、他者とコミュニケーションを図る能力を養う。そのためにも、日頃より 1 日 20 分以上の連続歩行や軽い柔軟運動の実施を心がけ、コンディショニングの維持が大切である。
- ◆**学修到達目標** この授業では、多くの運動やスポーツの実践を通して、その楽しさや具体的方法を学び、自らが身体活動を継続して実施することの重要性を認識する。また、スポーツを通して、他者とのコミュニケーションを深め、社会的スキルを向上させることができることを習得する。
- ◆**授業方法** 原則、天候に左右されない体育館内での授業とし、いくつかの小グループに分かれ、体力測定をはじめとする様々な運動やネット型スポーツを中心としたスポーツを体験する。
- ◆**授業計画〔各 90 分〕**

1 回	授業内容	ガイダンス：集中授業における運動の効果とリスク・施設の使用法・注意事項の説明、グループ分けと準備体操の実施。
	事前学修	前日よりコンディショニングの維持に留意しておくこと。
	事後学修	運動実施後には、ストレッチや柔軟運動などの整理運動を徹底すること。
2 回	授業内容	体力測定の実施と評価：5 種目（閉眼片足立ち、握力、長座体前屈、上体起こし、反復横跳び）、具体的な説明の実施。測定後、各測定項目の基準値と比較照合し、自己評価する。
	事前学修	前日よりコンディショニングの維持に留意しておくこと。
	事後学修	運動実施後には、ストレッチや柔軟運動などの整理運動を徹底すること。
3 回	授業内容	卓球：用具の理解、フォアハンドとバックハンド、サーブ、ボールの回転とショットとの関係、ラリー（施設等の事情により、スポーツ競技が変更となる場合があります）
	事前学修	前日よりコンディショニングの維持に留意しておくこと。
	事後学修	運動実施後には、ストレッチや柔軟運動などの整理運動を徹底すること。
4 回	授業内容	卓球：ダブルスにおけるペアとのコンビネーション（施設等の事情により、スポーツ競技が変更となる場合があります）
	事前学修	前日よりコンディショニングの維持に留意しておくこと。
	事後学修	運動実施後には、ストレッチや柔軟運動などの整理運動を徹底すること。
5 回	授業内容	卓球：ルールの理解、ダブルスの試合（施設等の事情により、スポーツ競技が変更となる場合があります）
	事前学修	前日よりコンディショニングの維持に留意しておくこと。
	事後学修	運動実施後には、ストレッチや柔軟運動などの整理運動を徹底すること。
6 回	授業内容	バドミントン：用具の理解、フォアハンドとバックハンド、ラリー（施設等の事情により、スポーツ競技が変更となる場合があります）
	事前学修	前日よりコンディショニングの維持に留意しておくこと。
	事後学修	運動実施後には、ストレッチや柔軟運動などの整理運動を徹底すること。
7 回	授業内容	バドミントン：サーブ、ハイクリアー、ダブルスにおけるペアとのコンビネーション（施設等の事情により、スポーツ競技が変更となる場合があります）
	事前学修	前日よりコンディショニングの維持に留意しておくこと。
	事後学修	運動実施後には、ストレッチや柔軟運動などの整理運動を徹底すること。
8 回	授業内容	バドミントン：ルールの理解、ダブルスの試合（施設等の事情により、スポーツ競技が変更となる場合があります）
	事前学修	前日よりコンディショニングの維持に留意しておくこと。
	事後学修	運動実施後には、ストレッチや柔軟運動などの整理運動を徹底すること。
9 回	授業内容	ミニテニス：用具の理解、フォアハンドとバックハンド、ボールの回転とショットとの関係、ラリー（施設等の事情により、スポーツ競技が変更となる場合があります）
	事前学修	前日よりコンディショニングの維持に留意しておくこと。
	事後学修	運動実施後には、ストレッチや柔軟運動などの整理運動を徹底すること。
10 回	授業内容	ミニテニス：サーブ、ハイクリアー、ダブルスにおけるペアとのコンビネーション（施設等の事情により、スポーツ競技が変更となる場合があります）
	事前学修	前日よりコンディショニングの維持に留意しておくこと。
	事後学修	運動実施後には、ストレッチや柔軟運動などの整理運動を徹底すること。
11 回	授業内容	ミニテニス：ルールの理解、ダブルスの試合（施設等の事情により、スポーツ競技が変更となる場合があります）
	事前学修	前日よりコンディショニングの維持に留意しておくこと。
	事後学修	運動実施後には、ストレッチや柔軟運動などの整理運動を徹底すること。
12 回	授業内容	バレーボール（施設等の事情により、スポーツ競技が変更となる場合があります）
	事前学修	前日よりコンディショニングの維持に留意しておくこと。
	事後学修	運動実施後には、ストレッチや柔軟運動などの整理運動を徹底すること。
13 回	授業内容	バレーボール（施設等の事情により、スポーツ競技が変更となる場合があります）
	事前学修	前日よりコンディショニングの維持に留意しておくこと。
	事後学修	運動実施後には、ストレッチや柔軟運動などの整理運動を徹底すること。
14 回	授業内容	ソフトバレーボール：ルールの理解、試合（施設等の事情により、スポーツ競技が変更となる場合があります）
	事前学修	前日よりコンディショニングの維持に留意しておくこと。
	事後学修	運動実施後には、ストレッチや柔軟運動などの整理運動を徹底すること。
15 回	授業内容	グループ別対抗ソフトバレーボール大会（施設等の事情により、スポーツ競技が変更となる場合があります）
	事前学修	前日よりコンディショニングの維持に留意しておくこと。
	事後学修	運動実施後には、ストレッチや柔軟運動などの整理運動を徹底すること。

- ◆**教科書** 使用しない。
- ◆**参考書** 丸沼『健康・スポーツ教育論』日本大学文理学部体育学研究室編 八千代出版 1,836 円（税込）（送料 300 円）
- ◆**成績評価基準** 授業への取り組みおよび自己の体力に合った運動への理解と遂行の程度によって総合的に評価する。

**注意** E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」  
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

### 3 日程・会場等

#### ① 日程

【雨天決行】

講座名	日 程	授業時間
体育実技 I・II	8月31日(土)～9月2日(月)	9:00～17:30

※上記すべての日程に出席すること。

#### ② 実施会場

体 育 実 技：日本大学文理学部総合体育館及び百周年記念館  
住 所 東京都世田谷区桜上水 3-25-40  
交通案内 京王線下高井戸駅及び桜上水駅下車徒歩約 10 分  
…次頁案内図参照

#### ③ 持参物

- ・運動のできる服装（トレーニングウェア等）
- ・室内用運動靴
- ・健康保険証
- ・学生証
- ・筆記用具
- ・スクーリングの手引
- ・領収書（初回出席時は必携のこと）

#### ④ 体育実技の集合場所・集合時間

日本大学文理学部総合体育館入口 8:45 から受付開始

※毎回、総合体育館入口に集合し、遅くとも授業開始5分前までに出席確認を受け、更衣後、実施会場に移動してください。

#### ⑤ 受講について

体育実技は必修科目となっていますが、疾病及び身体等の障害により実技を行うことが困難であると思われる方は、**受講申込前**に教務課までお問い合わせください。

#### ⑥ 注意事項

- (1) **体育実技の単位は9月卒業の単位には算入できません。**
- (2) 体育実技はジーンズや普段着での受講はできません。
- (3) 文理学部周辺は住宅地で付近に食事をする場所が少なく、また、当日、文理学部内の食堂は利用できない可能性があるため、**食事は事前に済ませるか、持参することをお勧めいたします。**
- (4) 体育実技の更衣室は文理学部総合体育館及び百周年記念館内にあります。ただし、更衣室内のロッカーは使用できないため、更衣後、荷物は受講会場へ持参してください。
- (5) 貴重品は各自で管理してください。
- (6) 体育実技は授業開始 15 分前から出席をとります。受付及び更衣の時間を考慮の上、必ず遅れることのないようにしてください。
- (7) このスクーリングに関するお問い合わせは、必ず通信教育部にしてください。  
文理学部はあくまで校舎の貸出をしているだけなので、授業講堂等のお問い合わせには回答できかねます。あらかじめご了承ください。

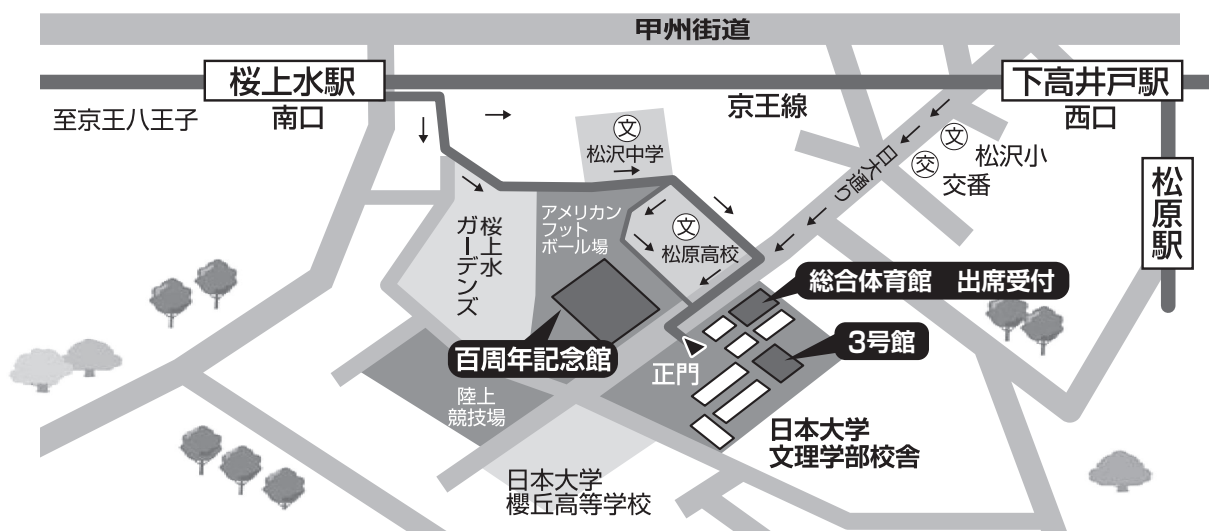
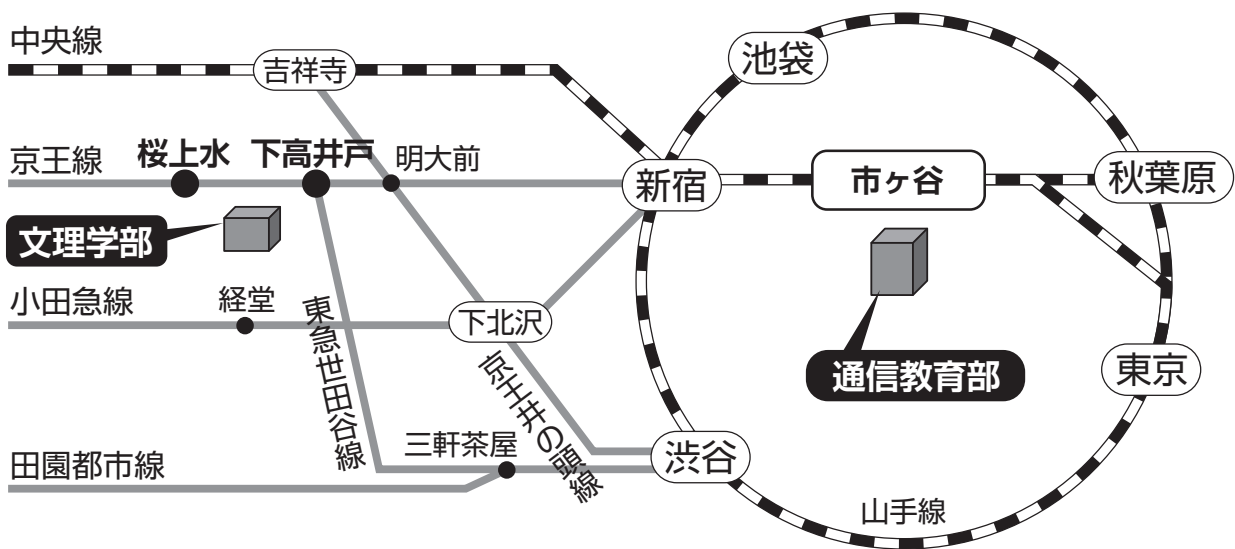
## 文理学部までの交通

### ○ JR 市ヶ谷駅から

JR 総武線・中央線各駅停車（新宿・中野方面）で新宿駅下車。京王線各駅停車，快速及び急行のいずれかに乗り換え，下高井戸駅及び桜上水駅下車徒歩約 10 分。通信教育部から約 45 分。

### ○ 都営地下鉄新宿線市ヶ谷駅から

新宿・笹塚方面，笹塚駅下車。京王線各駅停車，快速及び急行のいずれかに乗り換え，下高井戸駅及び桜上水駅下車徒歩約 10 分。通信教育部から約 40 分。





## 4 スクーリング結果の確認

スクーリングの結果は、教務課から2019年度授業料及びスクーリング受講料を納入した学生に対し、ポータルサイトでお知らせします。ただし、スクーリングの申込みを「受講届」で行った場合のみ、教務課から結果通知を郵送します。ポータルサイトから申込みを行った場合には送付されませんので、あらかじめご了承ください。掲載の開始はポータルサイトの「お知らせ」に掲載します。

電話・郵便による問合せには一切応じることができません。また、「スクーリング結果通知書」の再発行はいたしません。天災による郵便の遅延・未着や、その他の事故に対していかなる配慮も行えませんので、「スクーリング結果通知書」を紛失した場合などはポータルサイトで確認、又は「単位照合票」の交付を受け、確認してください。

結果内容に疑義がある場合は、結果通知日から3か月以内に問い合わせください。なお、それ以降の疑義に関しては対応いたしません。

結果発表時期	2019年10月上旬
--------	------------

※9月卒業の単位には算入できません。

### ① 結果の表示

結果は、「合格」、「不合格」、「未受講」で発表します。

受講許可のない講座を受験した場合には「無効」とし、単位は修得できません。

### ② 単位数

結果が「合格」の場合、開講講座表に記載されている開講単位数を修得したことになり、また同時にスクーリング単位も修得したことになります。「講座内容(シラバス)」に記載されている単位数が、それぞれの科目(講座)のスクーリング単位数です。

# XI オープン受講

通信教育部の在學生で既に修得した科目の受講を希望する場合もしくは社会人等（卒業生を含む）で受講を希望する場合、オープン受講の申込をすることで受講することができます。下記、流れに従い、手続きを行ってください。

項目	手続内容
・『手引』入手 ・受講科目選択	・『手引』を読み、受講講座を決定する。 ※シラバスにて、「オープン受講：不可」と記載がある場合は、受講することはできません。
↓	
使用教材の入手	・シラバスを参照し、教材を入手する。
↓	
授業開始	・1階の掲示板で、講堂表を確認した上で、それぞれの講堂で受講する。 ※成績の評価は行わず、単位は付与しません。
↓	
受講希望の講座を申し込む	・受講を希望する講座を本誌巻末の「オープン受講届」に記入し、教務課へ提出する。 ・表紙記載の締切日に注意してください。 【申込に必要な書類等】 ①スクーリングオープン受講届（本誌巻末） ②身分証明書コピー（学生証、運転免許証等）
↓	
受講資格審査	各講座の申込者数等確認し、受講に支障がないか教務課にて資格審査を行います。
↓	
許可通知書兼納金票の受け取り	・受講許可者に、「受講許可通知書兼納金票」を郵送します。 なお、受講学生の調整により、「受講許可通知書兼納金票」が発送予定日より遅れる場合があります。あらかじめご了承ください。
↓	
受講料の納入	・納入方法は下記のとおりです。 ①窓口で手続きを行う場合 納金票と共にスクーリング受講料を会計課窓口にて現金で納入してください。 ②郵送で手続きを行う場合 (1)定額小為替証書または普通為替証書で納入する場合 納金票と共に簡易書留にて教務課宛に郵送してください。その際、返信用封筒（住所・氏名を明記の上、82円切手貼付）を同封してください。 (2)現金で納入する場合 納金票と共に現金書留にて会計課宛に郵送してください。その際、返信用封筒（住所・氏名を明記の上、82円切手貼付）を同封してください。 ※受講料未納者は受講できません。
↓	
手続完了	オープン受講の手続きは完了です。

肺結核等の感染症予防を目的として、「胸部X線間接撮影」を実施しています。大学では集団感染を防止する義務があるので、必ず受診してください。また、毎年受診が必要です。

## 1 対象者

対象者	①昼間スクーリング受講者 ②夜間スクーリング受講者
受診対象から除く者	上記①②対象者であっても、次に該当する場合は受診対象から除く。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・2019年度に教育実習又は介護等体験を受講する場合。</li> <li>・検査実施日の6か月以内に医療機関において検査を受けている場合。該当する場合は、検査の結果を証明できる診断書（コピー可）を提出する。</li> <li>・妊娠等の理由により検査を受けることができない場合。該当する場合は任意の理由書を提出する。</li> <li>・就職活動用の健康診断を受診予定の場合。</li> </ul>

## 2 受診日及び時間

2019年5月14日（火）～5月17日（金）4日間（予定）  
 10時00分～18時30分（13時00分～14時00分を除く）  
 ※男女別に受診時間を分けて実施します。

## 3 場所及び受診方法

1階学生ホールに受付を設置します。事前申込は不要。各自都合の良い日・時間に受診してください。

## 4 受診料

無料（大学負担）

## 5 受診結果

全員に通知します。なお、受診・健康診断証明書は発行できません。

## 6 その他注意事項

女性は下着の金属類が写ってしまうため、白無地のTシャツ等を用意していただく方が無難です（検診車内で着替え可）。その他、相談は学生課（03-5275-8921）までお問い合わせください。

# *MEMO*

A series of horizontal dashed lines for writing.

- ・履修届
- ・昼間スクーリング（前期）受講届
- ・昼間スクーリング（前期）体育実技受講届
- ・オープン受講届（在学生用）
- ・オープン受講届（社会人等（卒業生用））
- ・「スクーリング」受講講座変更届
- ・受講申込辞退願
- ・体育実技受講申込辞退願
- ・教材配本申請書
- ・教材購入用紙（丸沼書店用）
- ・教材購入願（通信教育教材用）
- ・通学定期乗車券発行控

## 「為替」送付時の注意事項

「証明書交付願」「教材購入願」等の各種手続において、手数料等を郵送にて「定額小為替証書」又は「普通為替証書」で納入する場合には、以下のことに注意してください。

なお、「定額小為替証書」又は「普通為替証書」をゆうちょ銀行又は郵便局窓口で購入する際は、手数料がかかります（詳細は郵便局窓口でご確認ください）。

**注意事項①**  
「証書」と「払渡票」は切り離さないでください。

<b>見本表</b>	<b>定額小為替証書</b>	<b>定額小為替払渡票</b>
	01234-567890	01234-567890
	指定受取人 おなまえ	300円
	おとこ おなまえ	300円
	発行日付印	発行日付印

**注意事項②**  
これらの欄には何も記入しないでください。

「普通為替証書」も同様に、何も記入しないでください。

**注意事項④**  
この欄には何も記入しないでください。

**注意事項③**  
為替の有効期間は発行日から6か月以内ですが、金融機関への手続き等があるため、有効期間が2週間以上残っているものを送付してください。

<b>見本裏</b>	ご 注 意
	<ol style="list-style-type: none"> <li>この証書をお受取人に送られる際は、表面の指定受取人欄にお受取人のおなまえをご記入下さい。なお、お受取人の指定がない証書については、証書の持参人にお受取人のおなまえをご記入下さい。これにより生じた損害については、当行及び郵便局株式会社（郵便局株式会社が発注した者を含みます）は責任を負いません。</li> <li>この証書は、他の銀行等の発行の定める金融機関以外の銀行に振り出すことができません。</li> <li>当行または当行と同一の手形交換所に参加している他の銀行等の金融機関にお受取人のご名義の口座をお持ち等の場合、同日中の振金への入金等を行うことができます。なお、証書の発行日から一定期間経過後は、このお取扱いができません。</li> <li>為替金をお受け取りになるときは、表面の所定の欄におとこ、おなまえを記入し、押印またはご署名をしてください。</li> <li>為替金をお受け取りを代理の方に委任される場合は、委任欄に代理の方のおなまえと委任者（お受取人）のおとこ、おなまえを記入し、押印を押ししてください。</li> <li>代理の方がお受取人になる場合は、表面の所定の欄に「〇〇〇〇代理人」のように肩書をつけて、代理の方のおとこ、おなまえを記入し、押印を押ししてください。</li> <li>ゆうちょ銀行または郵便局内では、お受取人本人であることをご確認させていただくため、運転免許証または健康保険証等の書類のご提示をお願いすることがあります。なお、代理の方が為替金をお受け取りになる場合は、代理の方の書類のご提示をお願いすること、お受取人と代理の方両方の書類のご提示をお願いすることがあります。</li> <li>発行の日から6か月以内に為替金をお受け取りにならないときは、お申出により証書を再交付いたします。なお、発行の日から5年間が過ぎた場合は、再交付の請求はできません。再交付の請求は、再交付の請求書と為替金を受け取る権利がなくなります。</li> </ol>
	委任欄
	(代理人) おなまえ 上記の者を代理人としてこの証書の金額を受け取ることを委任します。 (委任者) おとこ 干 おなまえ

**注意事項⑤**  
右「受領書」は送付せず、各自で保管してください。郵便事故等で「為替」が行方不明になった場合、この「受領書」が必要になりますので、各種手続が完了するまで大切に保管してください。

<b>見本表</b>	<b>定額小為替金受領証書</b>
	01234-567890
	300円
	料金 100円
	発行日付印

(お客さま控)

(お客さま控)



履修登録年度	年度	提出年月日	年 月 日
--------	----	-------	-------

## 履 修 届

学生番号	フリガナ氏名	電話番号	(必ず連絡のとれる電話番号を記入すること)
------	--------	------	-----------------------

科目コード	科目名	単位
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		

記入例

科目コード	科目名	単位
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

合計	単位 ←	<p>年間 48 単位まで登録できます。          教職生および2 年以上の教職コース登録者は          年間 60 単位まで登録できます。</p>
----	------	--





□内をすべて記入してください。

提出年月日	年	月	日
-------	---	---	---

## 昼間スクーリング（前期）受講届

学生番号	フリガナ
	氏名

種別コード	A1
-------	----

	曜日	時限	講座コード	講座名	充当科目コード
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
<b>合計</b>			<b>講座（14講座まで登録できます。）</b>		

<記入例>

	曜日	時限	講座コード	講座名	充当科目コード
1	火	1	A B 1 1	政治学	B 1 1 7 0 0

- ※ 書き損じた場合は修正テープ、修正液で訂正してください。
- ※ 本票で他のスクーリングの受講申込はできません。
- ※ 履修登録を行っていない科目は、本用紙のみでは申込が完了しません。必ず、履修登録を行ってください。

提出締切日：【窓口】 4月22日（月）事務取扱時間内厳守  
 【郵送】 4月22日（月）必着

事務局使用欄



内をすべて記入してください。

年 月 日

## 2019年度昼間スクーリング（前期） 体育実技受講届

講座名 (講座コード)	充当科目名 (充当科目コード)	
体育実技 (AT11)	<input type="checkbox"/>	体育実技Ⅰ (J101S0)
	<input type="checkbox"/>	体育実技Ⅱ (J102S0)



充当科目をどちらか選択し、  
○をつけてください。

- 提出締切日 **〔7月26日（金） 必着〕**
- 郵送又は窓口にて、提出してください。
- **これは、昼間スクーリング体育実技の受講届です。**それ以外のスクーリングをこの受講届で申し込んだ場合、無効となります。
- 2019年9月卒業の単位には算入できません。
- 本受講届は、上記スクーリングの受講に関する事項について使用します。
- 履修登録を行っていない科目は、本用紙のみでは申込が完了しません。必ず、履修登録を行ってください。

学 生 番 号	<input type="text"/>
フリガナ	<input type="text"/>
氏 名	<input type="text"/>
自宅電話番号	<input type="text"/>
緊急時電話番号	<input type="text"/>



## スクーリングオープン受講届

下記のとおり、スクーリングのオープン受講を希望します。

学部・学科	学部	学科 専攻（            ）
学 年	年	学生番号
フリガナ		
氏 名		

### 【希望スクーリング】

スクーリング種別		開催地
講座名	講座コード	講座名
	講座コード	講座名
	講座コード	講座名
	講座コード	講座名
	講座コード	講座名
	講座コード	講座名
	講座コード	講座名
受講希望理由		

学生証コピー貼付欄

### 【提出書類】

- スクーリングオープン受講届
- 学生証コピー

教務課受付印



## スクーリングオープン受講届

下記のとおり、スクーリングのオープン受講を希望します。

卒業時 学部・学科	学部	学科 専攻 (            )	学 外
住所等	〒            -		
フリガナ	Tel:            -		
氏 名			

### 【希望スクーリング】

スクーリング種別		開催地
講座名	講座コード	講座名
	講座コード	講座名
	講座コード	講座名
	講座コード	講座名
	講座コード	講座名
	講座コード	講座名
	講座コード	講座名
受講希望理由		

身分証明書コピー貼付欄

### 【提出書類】

- スクーリングオープン受講届
- 身分証明書コピー

教務課受付印

※ 身分証明書として「マイナンバーカード」は、原則として使用できません。不明な点は、確認してください。





年 月 日

日本大学通信教育部 御中

## 2019年度スクーリング受講講座変更届

標記のことについて、既に「受講届」にて申し込んだ受講講座を下記のとおり変更いたしたく、本書面をもってお願いいたします。

記

(当初の受講講座)

スクーリング 開講期	講 座 コード	講座名	充当科目 コード

(変更後の受講講座)

スクーリング 開講期	講 座 コード	講座名	充当科目 コード

上記のとおり相違ありません。

学 生 番 号							
フリガナ	-----						
氏 名							
自宅電話番号							
緊急時電話番号							

教務課受付印

提出締切日： [窓口] 4月22日（月）事務取扱時間内厳守  
[郵送] 4月22日（月）必着



併せて提出するもの

全講座辞退→振込用紙  
一部講座辞退→振込用紙  
返信用封筒（長形3号, 362円切手貼付）

年 月 日

日本大学通信教育部 御中

## 2019年度昼間スクーリング（前期）受講申込辞退願

1 学 生 番 号 \_\_\_\_\_

2 氏 名(フリガナ) \_\_\_\_\_

3 連絡先電話番号 \_\_\_\_\_ - \_\_\_\_\_

- 4 辞 退 内 容  全講座辞退  
 (  にチェック ) ⇒ 振込用紙記載講座すべてを辞退する場合  
 一部講座辞退  
 ⇒ 振込用紙記載講座の一部を辞退する場合, 辞退講座のみ を  
 以下へ記入

講座コード	講座名	講座コード	講座名

5 辞 退 理 由 (詳述)

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

※ 提出期限【教務課必着】5 / 17 (金) ※提出期限以降の辞退手続きはできません。

※ 振込用紙と一緒に送付すること。

※ この「辞退願」は「2019年度昼間スクーリング(前期)」専用です。他のスクーリングの辞退手続きには使用できませんので、各スクーリング専用の「辞退願」を使用してください。

※ 一部講座辞退の場合、362円分の郵便切手(大学からの再送付時の速達郵便料を貼付した長形3号(A4判三つ折の用紙が入る大きさ)の返信用封筒(自分の郵便番号・住所・氏名を明記)を同封すること。

※ 辞退手続きは1回しかできません。

教務課受付印	会計課受付印



年 月 日

日本大学通信教育部 御中

## 2019年度昼間スクーリング（前期） 体育実技受講申込辞退願

1 学 生 番 号 \_\_\_\_\_

2 氏 名(フリガナ) \_\_\_\_\_

3 連絡先電話番号 \_\_\_\_\_ - \_\_\_\_\_ - \_\_\_\_\_

4 辞 退 内 容

講座コード	講座名

5 辞 退 理 由 (詳述)

---



---

- ※ 提出期限【教務課必着】8/16（金）
- ※ 提出期限以降の辞退手続きはできません。
- ※ 振込用紙と一緒に送付すること。
- ※ この「辞退願」は「2019年度昼間スクーリング（前期）体育実技」専用です。他のスクーリングの辞退手続きには使用できませんので、各スクーリング専用の「辞退願」を使用してください。
- ※ 辞退手続きは1回しかできません。

教務課受付印	会計課受付印



# 配本申請（無料）

年 月 日
-------

日本大学通信教育部 御中  
 （提出先：研究事務課）

## 教材配本申請書

学 生 番 号	氏 名
連絡先電話番号	- -

（太線枠内にボールペンで記入してください）

No	教材コード (科目コードではありません)	教材名	配本 単位数
1	0 0		単位
2	0 0		単位
3	0 0		単位
4	0 0		単位
5	0 0		単位
6	0 0		単位
7	0 0		単位
8	0 0		単位
9	0 0		単位
10	0 0		単位
合 計			単位



ポータルサイト「教材発送照会」の「配本申請」から申請できます。  
 ポータルサイトから申請できない方は、この用紙を使用してください。

- ※年度内2回まで、計32単位分まで教材の申請ができます。
- ※科目履修生は申請できません。「教材購入願」にて購入してください。
- ※消えないボールペンを使用し、記入してください。
- ※書ききれない場合には、用紙をコピーして2枚用いてください。
- ※「教材コード」は『教材要綱』、『各種スクーリングの手引』で確認し、記入してください。「教材コード」と「科目コード」は異なりますので注意してください。
- ※2冊組教材はセットコードを記入してください。
- ※スクーリング等で指定する丸沼表記の教材は、対象外です。

事務局使用欄

## 教材入手の手続き

### 1 教材の入手方法について

通信教育部で扱う教材は、「通信授業」（在宅学修）を目的とした教材です。  
一部のスクーリング等で、通信教育教材（**通材**と表記）を使う場合も、対象となります。  
通信教育部で扱う教材の入手方法は、2通りあります。  
なお、教材コード・販売価格等は『ポータルサイト』・『スクーリングの手引』に掲載されます。

#### ① 「教材配本申請書」による配本（無料）

正科生のみ対象となります。年度内2回まで合計32単位分まで申請できます。  
所定の「教材配本申請書」で申請してください。  
一度提出した書類の追加・変更はできません。  
ポータルサイトの「教材発送照会」画面の「登録（配本）」からも申請できます。

#### ② 「教材購入願」による購入（有料）

教材を有料で購入することができます。  
科目履修生の教材入手や、「教材配本申請書」の回数・単位数の上限を超えた場合、その他の理由で教材を入手したい場合には、有料で購入することができます。  
教材を購入する場合、「教材購入願」に必要事項を記入し、次の手続により購入してください。  
ポータルサイトの「教材発送申請・照会」画面の「教材購入（有料）」からも用紙を作成・出力できます。

##### (1) 窓口の場合

会計課窓口にある「教材購入願」に必要事項を記入し、現金を添えて会計課窓口で手続をしてください。

##### (2) 郵送の場合

『スクーリングの手引』巻末の「教材購入願」に必要事項を記入し、費用と併せて会計課に郵送してください（「教材購入願」裏面の注意事項を確認してください）。

※ 「教材購入願」による教材購入の場合、通信教育部の規定により送料が含まれるため、本体価格より高額になります。お近くの書店でお求めになることをお勧めいたします。

なお、市販本のISBNは教材要綱（ポータルサイトにも掲載）で確認できますので、書店での購入の際にご活用ください。

### 2 注意事項

- ① 教材は「通信教育部教材」に限り購入できます。スクーリング等で指定する市販教材（**丸沼**表記の教材）は、対象外です。
- ② 手続後の変更・取消し、納入金額の返還はできません。
- ③ 印刷教材は、大学登録住所あてに送付します。教材が手元に届くまで約1週間を要しますので、余裕をもって手続をしてください。
- ④ 窓口での教材のお渡しはできません。



**教材購入用紙** (丸沼書店用)

市販教材 (市販本) 購入用

※**丸沼**印の教材を郵送にて購入の際は、この用紙で申し込んでください。  
 詳細は、「使用教材の入手」のページを参照してください。

(送付先) 丸沼書店

2019年度 昼間スクーリング			
申 込 日	2019 年 月 日		
科 目 名	書 名	教材費 (税込)	送 料
小 計		円	円
合 計		円	
購入方法 (いずれかに○)	①代金引換    ②定額小為替・郵便為替    ③現金書留		

※下記の住所、氏名の欄は返信用に使用しますのではっきり書いてください。

送 り 先	住 所	〒                      ー
	氏 名	
	電 話 番 号	(                      )

※この用紙で『通信教育教材』は購入できません。  
 ※不足する場合は複写の上、使用してください。

購入方法は裏面を参照してください。

## 【購入方法】

(1) ～ (3) の方法での購入も可能です。

(1) 代金引換払（手数料 260 円が別途かかります）

本紙「教材購入用紙（丸沼書店用）」に必要事項を記入の上，下記宛に郵送又は FAX をしてください。

(2) 郵便為替（前納）

本紙「教材購入用紙（丸沼書店用）」と税込価格 + 送料の合計金額分の「定額小為替証書」又は「普通為替証書」を同封して下記へ郵送してください。

(3) 現金書留（前納）

本紙「教材購入用紙（丸沼書店用）」と税込価格 + 送料の合計金額を同封して下記へ郵送してください。

不明な場合は，丸沼書店に直接問い合わせてください。

### ※送料について

送料は書籍の総重量で変わります。それぞれの書籍の組み合わせにより送料が異なりますので，郵便為替・現金書留の場合，ご注文各書籍の送料の合計をお送りください。余った送料については，ご返金いたします。また，代金引換払の場合，書籍代 + 送料（実費） + 手数料（260 円）を受取時にお支払いください。

（書 店 名）（株）丸沼書店

（所 在 地）〒 101 - 0061

東京都千代田区神田三崎町 2-8-12

（電 話）03 - 3261 - 4540

（F A X）03 - 3261 - 0118

（営業時間）9：00 ～ 20：00（日曜日は10：00 ～ 19：00）

# 通 材

年 月 日
-------

日本大学通信教育部 御中  
(提出先：会計課)

## 教材購入願 (通信教育教材用)

学 生 番 号	氏 名	フリガナ
連絡先電話番号		-

(太線枠内にボールペンで記入してください)

	教材コード	科 目 名	金 額	スクーリング種別 講 座 名
1	0 0 0			
2	0 0 0			
3	0 0 0			
4	0 0 0			
5	0 0 0			
6	0 0 0			
合計科目数		合計金額		
_____ 科目		_____ 円		



- ※ボールペンで記入してください。
- ※「教材コード・科目名・金額」は『ポータルサイト』・『スクーリングの手引』で確認し、必ず記入してください。  
「教材コード (6桁)」と「科目コード」は異なりますので、注意してください。
- ※「スクーリング種別・講座名」にはスクーリング・メディア授業において『通信教育教材』を使用する場合にのみ記入してください。
- ※『スクーリングの手引』における各講座の教科書(参考書)欄で指定されているもの、例えば、「**通材**『政治学 B11700』通信教育教材(教材コード 000279)」と記載されている教材を購入する場合は「政治学」を科目名として記入してください(受講科目ではなく指定された教材の科目名を記入)。

会計課領収印

## 「通信教育教材」の購入について

『通信教育教材』は「配本申請」又は「教材購入」で入手できます。

「教材購入」をする場合、「教材購入願」を使用し、以下の手続きにしたがって教材を入手してください。また「教材購入願」で購入できる教材は、『通信教育教材』のみです。

スクーリング等で教科書・参考書に指定された『市販教材（市販本）』は丸沼書店又はお近くの書店で購入してください。

### 1 購入手続

#### ① 窓口手続

「教材購入願」に必要事項を記入し、現金を添えて会計課窓口（1号館2階）へ提出してください（なるべく釣り銭のないようにしてください）。

#### ② 郵送手続

現金書留又は為替が利用できます。

##### (1) 現金書留での購入

「教材購入願」と合計金額分の「現金」を現金書留封筒にて会計課宛に送付してください。**その際、必ず釣り銭のないようにしてください。**

注意：普通郵便の中に現金を封入することは、郵便法によって禁止されています。

また、郵便事故による補償もありませんので、必ず現金書留を利用してください。

##### (2) 為替での購入

「教材購入願」と合計金額分の「定額小為替証書」又は「普通為替証書」を会計課あてに送付してください。

注意：郵便事故防止のため、なるべく簡易書留や特定記録郵便を利用してください。**為替には何も記入せず送付してください。**

※ 「教材購入願」による教材購入の場合、通信教育部の規定により送料が含まれてしまい、本体価格より高額になります。お近くの書店でお求めになることをお勧めいたします。

なお、市販本のISBNは教材要綱（ポータルサイトに掲載）で確認できますので、書店での購入の際にご活用ください。

### 2 注意事項

① 手続後の変更・取り消しはできません。また、返金もいたしませんので注意してください。

② 教材は大学に登録されている住所へ発送し、**窓口ではお渡ししません。**

教材が手元に届くまでに約1週間要しますので、特にスクーリング、メディア授業で使用する場合は「受講資格審査結果通知書」を確認した後、速やかに購入手続きをしてください。



# 通学定期乗車券発行控

		年	月	日
学 科	学 年	学 生 番 号		
大 学 院				
フリガナ		性 別	年 齢	才
氏 名		男・女		
現 住 所				
電 話	(            )			
通学区間	会社線名	駅～	駅	經由
	会社線名	駅～	駅	經由

※記入後、学生課に提出すること。

日本大学通信教育部長 殿

## 2019年度スクーリング受講に係る通学定期券の使用について

私は、2019年度 以下のスクーリングを受講する予定です。  
 つきましては、当該スクーリングを受講しなくなった場合には、学生課に申し出た上、通学定期券の使用を中止いたします。  
 なお、万一、不正使用した場合は、学則に基づき処分を受けることを誓約いたします。  
 また、本件について、大学から呼び出しされた場合は、その指示に従うことを併せて誓約いたします。

受講スクーリング：

学生番号

氏 名

以 上



## 校舎案内 市ヶ谷キャンパス 【所在地】〒102-8005 東京都千代田区九段南 4-8-28

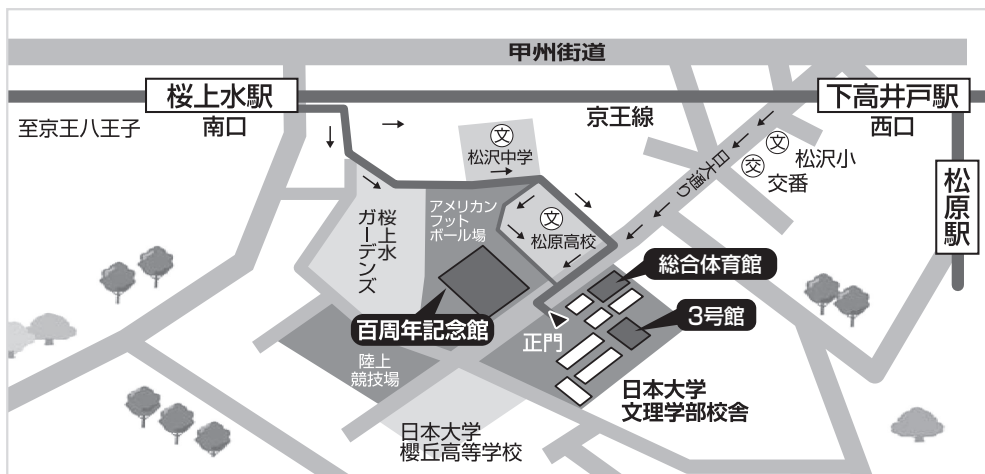


JR 中央・総武線 (各駅停車)

市ヶ谷駅下車 徒歩3分

都営地下鉄新宿線, 東京メトロ有楽町線・南北線  
市ヶ谷駅 A2 出口から 徒歩2分

## 世田谷キャンパス 【所在地】〒156-8550 東京都世田谷区桜上水 3-25-40



京王線下高井戸駅 又は、桜上水駅から 徒歩約 10分

## 丸沼書店案内図 【所在地】〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町 2-8-12



JR 中央・総武線 (各駅停車), 都営地下鉄三田線  
水道橋駅東口から 徒歩2分

都営地下鉄三田線・新宿線, 東京メトロ半蔵門線  
神保町駅 A4 出口から 徒歩5分

# *MEMO*

A series of horizontal dashed lines spaced evenly down the page, intended for writing a memo.



## スクーリング手続 チェックシート

このシートは、受講届の記入からスクーリングを受講するまでの確認用です。

チ ャ ッ ク 項 目	参 照
<b>◆受講届の記入</b>	
<input type="checkbox"/> 希望する科目の履修登録は済んでいますか	VI-1 履修登録をする表紙 (③履修登録締切日)
<input type="checkbox"/> 申し込む「受講届」用紙の選択に間違いはありませんか	巻末「受講届」
<input type="checkbox"/> <input style="width: 50px; height: 15px;" type="text"/> 内の必要事項の記入漏れはありませんか (講座コード・講座名・充当科目コード・学生番号・氏名・電話番号)	VI-2 講座を申し込む ◆各スクーリングの開講講座表
<input type="checkbox"/> 講座コード・講座名・充当科目コードは一致していますか	◆各スクーリングの開講講座表
<input type="checkbox"/> 希望科目の受講条件は満たしていますか (配当学年・適用カリキュラム・その他受講条件)	IV-1 「開講講座表」の見方 ◆各スクーリングの開講講座表
<input type="checkbox"/> 申し込む開講曜日、開講時限は間違っていないですか	◆各スクーリングの開講講座表
<input type="checkbox"/> 修得済科目を申し込んでいませんか	・単位照合票 ・単位修得状況確認 (ポータルサイト)
<b>◆受講届の提出</b>	
<input type="checkbox"/> 提出締切日に間に合いますか (郵送の場合は締切日必着)	表紙 (③受講申込締切日) VI-2 講座を申し込む
<input type="checkbox"/> <推奨> 申込内容の控えはありますか (受講届のコピー)	
<input type="checkbox"/> 申込完了のメールは届いていますか(ポータルサイトからの申込の場合のみ)	
<input type="checkbox"/> <推奨> 特定記録郵便で発送しましたか	VI-2 講座を申し込む
<b>◆受講料の納入</b>	
<input type="checkbox"/> ポータルサイト「スクーリング・メディア情報一覧」又は、受講資格審査結果通知の内容と振込用紙の内容に間違いはありませんか	VII-1 受講許可を確認する
<input type="checkbox"/> 受講料の納入期限は厳守していますか	VIII 受講料等の納入



### 各種連絡先

- |                                       |  |
|---------------------------------------|--|
| ○スクーリングの手續等に関する事項<br>教務課 03-5275-8911 | ○各種学修相談に関する事項<br>学修支援センター 03-5275-8857 |
| ○受講料の振込に関する事項<br>会計課 03-5275-8925     | ○通学定期・学割に関する事項<br>学生課 03-5275-8921     |
| ○教材（教科書）に関する事項<br>研究事務課 03-5275-8890  |  |

**DISTANCE LEARNING DIVISION, NIHON UNIVERSITY**

〒102-8005 東京都千代田区九段南4-8-28 日本大学通信教育部